

令和5年度

主要な施策の成果に関する説明書

伊万里市

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定に基づき、  
令和5年度における主要な施策の成果に関する説明書を提出します。

令和6年9月18日

伊万里市長 深 浦 弘 信

## 目 次

1. 令和5年度決算の概要	1
2. 令和5年度一般会計歳入歳出決算額	3
3. 令和5年度特別会計歳入歳出決算額	6
4. 令和5年度企業会計歳入歳出決算額	7
5. 主要な施策の成果の説明	
(1) 一般会計	
第1款 議会費	8
第2款 総務費	9
第3款 民生費	50
第4款 衛生費	88
第5款 労働費	103
第6款 農林水産業費	104
第7款 商工費	136
第8款 土木費	150
第9款 消防費	181
第10款 教育費	189
第11款 災害復旧費	242
(2) 特別会計	
国民健康保険特別会計	249
介護保険特別会計	252
後期高齢者医療特別会計	257
(3) 企業会計	
水道事業特別会計	258
工業用水道事業特別会計	259
下水道事業特別会計	260
6. 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	261

## 令和 5 年度決算の概要

令和 5 年度の国の経済動向としては、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いています。

今後については、ロシアによるウクライナ侵略を背景とした国際的な原材料価格の上昇や円安の影響等によるエネルギー・食料品価格の高騰、欧米各国の金融引締めによる世界的な景気後退懸念など厳しさが増しており、こうした状況から国民生活と事業活動を守り抜くとともに、景気の下振れリスクに先手を打ち、民需主導の持続的な成長経路に乗せていくため、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を速やかに実行し、経済対策の効果が最大限に発揮されるよう万全の経済財政運営を行うこととされています。

このような状況下において、本市が活力ある都市として持続的に発展するために、市政の各分野において将来を見据えた施策の展開が望まれ、第 6 次伊万里市総合計画の将来都市像である「人がいきいきと活躍する 幸せ実感のまち 伊万里」の実現に向けて各種施策を展開しました。

施策の実施に当たっては、小・中学校やコミュニティセンター等の建設、老朽化した公共施設の大規模改修など、大型プロジェクトを抱え、それに加えて、エネルギー、食料価格及び物価等の高騰対策を緊急的に講じる必要があるなど、厳しい財政状況が続く中で、第 5 次財政基盤安定化計画に沿って可能な限りの財源確保と徹底した歳出削減に取り組みました。

一方で、国・県等の補助金や交付税措置がある地方債を活用し、東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の建設、道路や橋りょうの整備などを行うとともに、物価等の高騰に対応するための経済対策を実施しました。

また、「伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向け、シティプロモーションや、子どもの医療費助成、移住・定住対策の推進など施策全般にわたって事業を厳選し、限られた財源を重点的、効率的に配分することにより、健全な財政運営に努めました。

令和 5 年度の一般会計の歳入総額は、3 4 5 億 9, 7 0 8 万円で、前年度に比べて 0. 9 % の減、歳出総額は、3 3 2 億 8, 1 4 5 万円で、前年度に比べて 1. 1 % の減となりました。また、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は 1 3 億 1, 5 6 3 万円、翌年度へ繰り越すべき財源の 4 億 1, 4 0 8 万円を差し引いた実質収支は 9 億 1 5 5 万円の黒字となりました。

歳入について前年度と比較すると、市税については、市内企業の設備投資等による影響で固定資産税が増加したことなどから、市税全体において、1. 5 % の増加となりました。地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせた全体で 1. 2 % の減少となりました。

また、法人事業税交付金（9. 2 %）、株式等譲渡所得割交付金（5 6. 1 %）などが増加となりましたが、地方消費税交付金（△ 1. 4 %）、地方特例交付金（△ 4. 8 %）、利子割交付金（△ 1 7. 1 %）などが減少となりました。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業費補助金などの減少により、全体で4.2%の減少となりました。

県支出金は、産地パワーアップ事業費補助金、ため池ハザードマップ作成事業費補助金などの減少により、全体で19.5%の減少となりました。

寄附金は、ふるさと応援基金寄附金が減少したことから、全体で18.9%の減少となりました。

繰入金は、公共施設整備基金などからの繰入金が増加したことにより、全体で7.5%の増加となりました。

市債は、小学校施設整備事業債、一般廃棄物処理施設適正管理事業債などが増加したことから、全体で49.4%の増加となりました。

その他の収入は、分担金及び負担金(0.7%)、財産収入(341.4%)、繰越金(64.9%)が増加したものの、使用料及び手数料(△1.4%)、諸収入(△27.0%)が減少しました。

歳出については、物価等の高騰の影響を受けている住民生活や地域経済を支援するため、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業、肉用牛肥育農家物価高騰対策支援事業、第2次プレミアム付商品券発行事業などを実施しました。

また、留守家庭児童クラブ管理運営事業などの子育て支援施策の充実、防災活動事業や防災行政無線施設管理事業などの防災の推進、園芸農業機械・施設等整備支援事業、伊万里梨・牛産地強化支援事業などの産業の振興、東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業などの学校教育環境の改善に取り組みました。

目的別に前年度と比較すると、教育費(35.0%)、衛生費(10.5%)、土木費(11.4%)などが増加しましたが、農林水産業費(△33.1%)、商工費(△41.2%)、総務費(△2.4%)、公債費(△5.6%)などが減少しました。

性質別に見ると、義務的経費は、人件費(△0.9%)が減少しましたが、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業などの増加により扶助費(2.8%)は増加しました。投資的経費は、東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業などが増加したものの、園芸農業機械・施設等整備支援事業や楠久津地区浸水対策事業などが減少したことにより普通建設事業費(±0.0%)は昨年度とほぼ同額となり、災害復旧費(△21.5%)は減少しました。そのほか物件費(△3.0%)や補助費等(△3.3%)、積立金(△2.2%)は減少しました。

特別会計については、歳入総額153億1,393万円、歳出総額147億7,593万円となり、前年度と比較すると、歳入で0.3%、歳出で1.8%の増加となりました。

## 令和5年度 一般会計歳入歳出決算額

(歳入)

(単位:千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減率 (%)	令和5年度 構成比 (%)
自 主 財 源	15,573,793	15,479,406	0.6	45.0
市 税	7,990,014	7,871,929	1.5	23.1
分担金及び負担金	192,688	191,275	0.7	0.6
使用料及び手数料	341,545	346,529	△ 1.4	1.0
財 産 収 入	122,887	27,839	341.4	0.3
寄 附 金	2,416,182	2,979,356	△ 18.9	7.0
繰 入 金	2,610,305	2,427,768	7.5	7.5
繰 越 金	1,268,400	769,157	64.9	3.7
諸 収 入	631,772	865,553	△ 27.0	1.8
依 存 財 源	19,023,283	19,431,755	△ 2.1	55.0
地 方 譲 与 税	336,435	335,623	0.2	1.0
利 子 割 交 付 金	1,951	2,354	△ 17.1	0.0
配 当 割 交 付 金	22,596	19,026	18.8	0.1
株式等譲渡所得割交付金	25,485	16,325	56.1	0.1
法 人 事 業 税 交 付 金	125,333	114,802	9.2	0.4
地 方 消 費 税 交 付 金	1,315,942	1,334,080	△ 1.4	3.8
環 境 性 能 割 交 付 金	28,311	23,358	21.2	0.1
地 方 特 例 交 付 金	49,639	52,147	△ 4.8	0.1
地 方 交 付 税	6,269,297	6,343,350	△ 1.2	18.1
交通安全対策特別交付金	7,434	8,344	△ 10.9	0.0
国 庫 支 出 金	5,866,963	6,126,231	△ 4.2	16.9
県 支 出 金	3,012,823	3,743,108	△ 19.5	8.7
市 債	1,961,074	1,313,007	49.4	5.7
合 計	34,597,076	34,911,161	△ 0.9	100.0

(歳出)

(単位:千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減率 (%)	令和5年度 構成比 (%)
議 会 費	229,705	234,396	△ 2.0	0.7
総 務 費	8,006,879	8,202,463	△ 2.4	24.0
民 生 費	11,651,207	11,556,590	0.8	35.0
衛 生 費	2,703,340	2,445,833	10.5	8.1
労 働 費	71,164	70,943	0.3	0.2
農 林 水 産 業 費	1,414,316	2,114,278	△ 33.1	4.2
商 工 費	664,937	1,131,709	△ 41.2	2.0
土 木 費	1,251,161	1,122,671	11.4	3.8
消 防 費	1,020,362	1,066,848	△ 4.4	3.1
教 育 費	3,162,428	2,342,798	35.0	9.5
災 害 復 旧 費	120,439	184,708	△ 34.8	0.4
公 債 費	1,762,132	1,866,949	△ 5.6	5.3
諸 支 出 金	1,223,378	1,302,575	△ 6.1	3.7
合 計	33,281,448	33,642,761	△ 1.1	100.0

## (性質別歳出分析)

(単位:千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減率 (%)	令和5年度 構成比 (%)
義務的経費	13,250,926	13,188,532	0.5	39.8
人件費	3,997,333	4,032,787	△ 0.9	12.0
扶助費	7,491,461	7,288,796	2.8	22.5
公債費	1,762,132	1,866,949	△ 5.6	5.3
投資的経費	3,371,487	3,406,645	△ 1.0	10.1
普通建設事業費	3,244,469	3,244,796	0.0	9.7
補助事業費	1,407,907	2,205,908	△ 36.2	4.2
単独事業費	1,750,359	930,826	88.0	5.3
県営事業負担金	86,203	108,062	△ 20.2	0.2
災害復旧費	127,018	161,849	△ 21.5	0.4
消費的経費	9,220,921	9,501,067	△ 2.9	27.7
物件費	4,964,136	5,116,908	△ 3.0	14.9
維持補修費	125,850	112,597	11.8	0.4
補助費等	4,130,935	4,271,562	△ 3.3	12.4
その他の経費	7,438,114	7,546,517	△ 1.4	22.4
積立金	3,717,818	3,801,232	△ 2.2	11.2
投資及び出資金	902,084	929,408	△ 2.9	2.7
繰出金	2,518,212	2,515,877	0.1	7.6
貸付金	300,000	300,000	0.0	0.9
合 計	33,281,448	33,642,761	△ 1.1	100.0

## 令和5年度 特別会計歳入歳出決算額

(歳入)

(単位:千円)

区 分	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	増 減 率 (%)
国 民 健 康 保 険	7,196,589	7,189,056	0.1
介 護 保 険	6,557,780	6,551,855	0.1
後 期 高 齢 者 医 療	1,559,560	1,523,053	2.4
合 計	15,313,929	15,263,964	0.3

(歳出)

(単位:千円)

区 分	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	増 減 率 (%)
国 民 健 康 保 険	6,899,696	6,911,143	△ 0.2
介 護 保 険	6,324,338	6,084,935	3.9
後 期 高 齢 者 医 療	1,551,900	1,520,771	2.0
合 計	14,775,934	14,516,849	1.8

※消費税を含む。

## 令和5年度 企業会計歳入歳出決算額

(単位:千円)

区 分			令和5年度	令和4年度	増減率 (%)
水道事業	収益的収支	収入	1,496,442	1,517,368	△ 1.4
		支出	1,358,666	1,435,200	△ 5.3
	資本的収支	収入	306,303	333,692	△ 8.2
		支出	1,003,513	861,906	16.4
工業用水道事業	収益的収支	収入	1,023,111	1,017,087	0.6
		支出	949,720	998,226	△ 4.9
	資本的収支	収入	633,453	640,862	△ 1.2
		支出	855,126	802,220	6.6
下水道事業	収益的収支	収入	1,283,130	1,336,379	△ 4.0
		支出	1,253,699	1,262,995	△ 0.7
	資本的収支	収入	1,017,778	1,094,875	△ 7.0
		支出	1,326,965	1,411,957	△ 6.0

※消費税を含む。

## 主要な施策の成果の説明

款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
事務事業名	05	議員政務活動支援事業	6つのまちづくり			06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	議会事務局			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 90	
4,725	3,389				3,389	1,336		

【令和5年度における事務事業の概要】

行政運営の多様化・高度化が進む中で、議会運営の充実、審議能力向上及び議会活性化を図るため、議員の調査研究活動等に必要な経費の一部を助成しました。

- 政務活動費交付限度額 ※改選期により4月分は不支給  
 ・21人 1人当たり225,000円  
 内訳 上半期(5月) 125,000円  
 下半期(10月) 100,000円

$225,000円 \times 21人 = 4,725,000円$

【令和5年度における事務事業の成果】

4月の改選に伴い、5月1日に議員21人中20人から申請があり、交付しました。  
 令和6年3月提出の収支報告書により全額返還は0人、一部返還は14人(令和4年度は全額返還0人、一部返還13人)となり、議員の調査研究活動等の活性化に努めることができました。  
 交付額4,500,000円(225,000円×20人)－返還額1,110,895円＝支出額3,389,105円

○令和5年度 収支報告額等実績

項 目	収支報告額	割合	政務活動費支出額
研究研修・調査旅費	1,544,242円	43%	3,389,105円  75% (交付額に占める割合)
資料作成・購入費	713,960円	20%	
広 報 費	668,405円	18%	
事 務 所 費	285,000円	8%	
その他経費(通信費等)	414,801円	11%	
合 計	3,626,408円	100%	

<参考> 令和4年度(交付額 4,950,000円)

項 目	収支報告額	割合	政務活動費支出額
研究研修・調査旅費	1,538,065円	37%	3,896,399円  79% (交付額に占める割合)
資料作成・購入費	770,725円	18%	
広 報 費	1,306,538円	31%	
事 務 所 費	60,000円	1%	
その他経費(通信費等)	521,200円	12%	
合 計	4,196,528円	100%	

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	04	職員研修事業				6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総務部 総務課			施 策		27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,622	2,732			36	2,696	890	P. 94	

【令和5年度における事務事業の概要】

少子・高齢化、グローバル化、高度情報化など社会経済情勢が著しく変化する中、地方自治体においては、多様化・複雑化する市民ニーズに対して、限られた人員で的確に対応することが求められています。

このようなことから職員一人ひとりの実務処理能力の向上とともに、社会の要請を敏感に感じ取る能力、新たな分野に柔軟に対応しうる適応力等、総合的な能力を持った職員が求められており、職員個々に目を向けた計画的な能力開発等を推進するための階層別研修や、事務処理スキル向上のための実務研修、様々な課題に対応するための課題研修、さらには自治大学校や県等への派遣研修を実施しました。

特に、令和5年度は、市町村アカデミー等で開催されるDXやGXに関連する研修に職員を派遣し、DXやGXを推進するための専門的な知識の習得と実務遂行能力の向上を図りました。

課題研修においては、民間企業等体験研修や外部講師を招いて人事評価制度基本研修などを行い、個人の成長や組織力の向上を図りました。

実務研修においては、佐賀県市町村振興協会主催による法務や公会計、DX推進研修など、幅広く実務に必要な知識と技能の習得に努めました。

接遇研修では、福祉課と子育て支援課の職員を対象に、組織接遇力向上研修などを実施し、より実践的な接客サービスや組織での接遇意識の向上を図りました。

また、職務の遂行に有益な知識又は技術を自発的に習得しようとする職員に対し、自己啓発研修助成金を交付しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

(1) 研修

次のとおり研修を実施し、実務処理能力など職員の様々な能力開発を図ることができました。また、同和問題の解決に向けて、職員の意識を高め、認識を深めることができました。

種類	回数	人数	内容
階層別研修	10回	99人	新規採用職員研修、新任係長研修、新任課長研修等
課題研修	3回	215人	民間企業等体験研修、人事評価制度基本研修等
実務研修	23回	120人	法務基礎研修、公会計研修、DX推進研修等
接遇研修	2回	66人	新規採用職員接遇実践研修、組織接遇力向上研修
派遣研修	20回	21人	国、県、自治大学校、市町村アカデミー、NOMA等
同和問題研修	11回	983人	職員同和問題研修、佐賀県人権・同和教育研究大会等
その他	5回	676人	市町行政講演会、交通安全講習会等
計	74回	2,180人	

(2) 自己啓発研修助成金

5人に対し、38,000円を交付し、職員のスキルアップを後押しすることができました。

(認定ファシリティマネージャー資格試験、2級土木施工管理技術検定、佐賀県介護専門員実務研修受講試験)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	11	防犯灯設置促進事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施策	23		暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,500		1,494				1,494	6	P. 98

【令和5年度における事務事業の概要】

夜間における安全を確保するため、行政区が維持管理を行う防犯灯について、設置に要する経費の2分の1を助成しました。

補助内容：補助率2分の1

新設（LED防犯灯）及び

更新（既設の防犯灯が機能せず、軽微な修繕では対応できない場合及びLED化）  
上限10,000円

新設（建柱を伴うLED防犯灯）

上限20,000円

【令和5年度における事務事業の成果】

各行政区で取り組んでいる防犯灯の設置について、71行政区146基に対して補助金を交付し、夜間における安全の確保に努めました。

●過去3年の補助金交付実績

年度	行政区数	補助件数		補助金額
		新規	更新	
令和3年度	74	46	102	1,498,890
令和4年度	80	54	92	1,492,200
令和5年度	71	49	97	1,493,600

●白熱球からLED防犯灯への更新事例



【工事前】



【工事後】

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	15	庁舎管理事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 財政課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
120,483		112,358			1,221	111,137	8,125	P. 98

【令和5年度における事務事業の概要】

庁舎施設の維持管理のための業務委託等を行うとともに、不良箇所の修繕や改修工事等を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

来庁者や職員が安全かつ安心して利用できるよう、設備等の維持管理、不良箇所の修繕や改修工事等を行いました。

(単位：千円)

内 容	決算額	内 訳 等
空調及び照明設備改修	23,808	事前調査業務委託 2,090 実施設計業務委託 21,718
公用車駐車場整備	19,152	実施設計業務委託 671 工事監理業務委託 264 駐車場整備工事 18,174 建築確認手数料 43
売店前通路バリアフリー化	4,259	段差解消工事 (舗装面積152㎡、嵩上げ0～15cm)
トイレ改修	3,399	庁舎1階外改修設計業務委託 1,320 庁舎別館2階トイレ改修工事 2,079
その他の管理経費	61,740	光熱水費 22,916 修繕料 1,557 庁舎管理業務委託 18,930 その他 18,337

【公用車駐車場整備工事】



【売店前通路バリアフリー化工事】



※不用額は、令和6年度への繰越明許費1,474千円を含みます。

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	02	文書広報費
事務事業名	01	広報広聴事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 情報政策課			施策	24	市政に関する情報共有と市民参画の促進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 100	
22,024	18,890	1,651		482	16,757	3,134		

【令和5年度における事務事業の概要】

市政に関する情報を市民と共有し、市民が主体的にまちづくりに参画できるように、的確でわかりやすい情報発信を目的として、毎月1日に「広報伊万里」、5月1日に「予算特集号」を発行しました。

また、ホームページやケーブルテレビ、SNSを活用し、多様な手段により、幅広く情報を発信しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

行政情報の広報活動としての「広報伊万里」では、市民に分かりやすい紙面作りを行うとともに、市のホームページの活用や、点字版（毎月6部発行）や声の広報を作成するなど多様な手法による情報発信の充実を図りました。

発行部数 年間254,306部（月平均21,192部）、紙面平均 28ページ

《 令和5年度広報伊万里発行実績 》

（単位：ページ）

発行月	特集の内容	ページ数
5月	地域を守る消防団～地元愛が原動力～	36
6月	自らの命は自らが守る～災害に備える～	34
	6月は環境月間です	
7月	空き家対策 我が家の未来を考えてみませんか	28
8月	8月は同和問題啓発強調月間です	26
9月	認知症は自分事	24
10月	も～っと知って欲しい 伊万里梨・伊万里牛	32
	令和4年度決算報告	
11月	《人生100年時代》生涯現役～技を磨き継承する～	30
12月	伊万里市 この1年	22
1月	多様な性を理解し対応していく～誰もが自分らしく暮らせるために～	24
2月	みんなでつくろう『SAGA2024』	30
3月	バリアなしの、本のある広場に	26
4月	健診を受けて健康寿命を伸ばそう	26

（合計） 338 ページ

予算特集号 16 ページ

また、ケーブルテレビ放送を用いての情報発信では、行政情報コーナーとして「こんにちは！市役所です」を毎日放送するほか、市議会開催時の中継や災害時などの緊急放送を行い、情報発信の充実を図りました。

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	04	デジタル田園都市構想推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,363	1,092				1,092	271	P. 106	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

国が策定したデジタル田園都市国家構想総合戦略（令和4年12月閣議決定）に基づき、第2期伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略を改訂し、令和6年1月に「デジタル田園都市構想実現に向けた第3期伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和5年度～令和9年度）を策定し、デジタルの力を活用した地方創生の取組を推進しました。  
また、「伊万里で子育て！」支援情報発信業務において、市内外に本市の子育てに関する情報発信を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

まち・ひと・しごと・創生総合戦略推進本部、推進委員会、推進部会で協議のうえ「デジタル田園都市構想実現に向けた第3期伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、デジタルを活用した地方創生を推進することができました。  
また、「伊万里で子育て！」支援情報発信業務において、情報誌muchu!を年4回（各15,000部）、市内外1,000箇所を設置したほか、さらに総登録者数約6,000名のSNS（Youtube、Instagram、X など）を活用し、本市の子育てに関する様々な情報を発信することができました。

月日	「デジタル田園都市構想実現に向けた第3期伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定にかかる協議等実績
5月1日	まち・ひと・しごと創生総合戦略本部会議
5月18日	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
8月2日	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進部会
9月19日	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
10月2日～ 10月25日	パブリックコメントの実施
11月10日	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進部会
令和6年 1月31日	デジタル田園都市構想実現に向けた第3期伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	06	みんなの地域創造拠点形成事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,919		5,918			5,900	18	1	P. 106

【令和5年度における事務事業の概要】

近隣大学の学生が中心となった伊万里まちなかラボ活動（市内を学習及び実践の場とする活動）により、市内事業者や市民との交流を行い、地域資源を活用した新商品の開発などの取組を通して、大学生を中心とする関係人口の創出を目指しています。

令和5年度は、長崎県立大学の学生が市内事業者との協力によるまちなか活性化に向けたフィールドワークや新商品の開発、物産展の開催等を行いました。

- 地域活性化起業人 馬庭亜由（派遣元：株式会社GAROO）  
令和4年度～令和6年度の3年間の予定
- 予算の内容
  - ・人件費に相当する額 300万円
  - ・活動費に相当する額 257万円
  - ・公用車借上料 35万円
- 特別交付税措置
  - ・人件費及び公用車借上料 10/10
  - ・受入に要する経費 上限560万円
  - ・起業人が提案した事業に要する経費 上限100万円（1/2）



JA伊万里と共同開発した「こいが伊万里メンチ」

【令和5年度における事務事業の成果】

長崎県立大学の学生によるフィールドワークや物産展の開催などを通して、多くの大学生が本市を訪れ、本市の魅力を体験してもらうことで、関係人口の創出につなげることができました。



フィールドワークの様子

時期	内容	参加者 (延べ人数)
4月～7月	長崎県立大学経営学科 地域と実践フィールドワーク ・ワーク内容：大川内山・鍋島焼の歴史を学ぶ 伊万里梅の商品開発、物産展出店 ・協力市内企業：一般社団法人伊万里市観光協会、株式会社RURAL、山口製茶園株式会社、有限会社伊万里グリーンファーム、有限会社エトワール・ホリエ、デンデン農園	354人
8月～11月	長崎県立大学経営学科 地域と実践フィールドワーク ・ワーク内容：親子世代向け観光イベント企画、新商品開発（メンチカツ・クラフトビール）、物産展出店 ・協力市内企業：伊万里市農業協同組合、くすきの杜、伊万里菓舗うちだ	65人
12月～3月	長崎県立大学経営学科 地域と実践フィールドワーク ・ワーク内容：新商品開発（メンチカツ・クラフトビール） 物産展出店 ・協力市内企業：伊万里市農業協同組合	492人
合計		911人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	10	職員提案制度運用事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
31		31				31	0	P. 108

**【令和5年度における事務事業の概要】**

職員の業務に関する意識改革を促し、効率的な行政運営を推進するため、市政運営に関する提案や自己の業務改善（カイゼン）を職員から募集し、職員提案審査委員会において、優秀な内容と認められた提案等の表彰を行いました。

また、各課で取り組んだカイゼンについて、職員間で投票を行い、最も獲得票が多かったものについて、部門賞として表彰を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

提案及びカイゼンを募集し、提出された内容について職員間で情報を共有することで、職員の業務に関する意識改革に繋がりました。

●表彰件数及び提出件数

- ・提案1件（提出3件）（C賞：1件）
- ・カイゼン8件（提出14件）（B賞：3件、C賞：5件）
- ・部門賞1件（提出27件）
- ※B賞：図書カード7,000円分、C賞：賞状、部門賞：図書カード10,000円分

●主な取り組み

**【件名】**

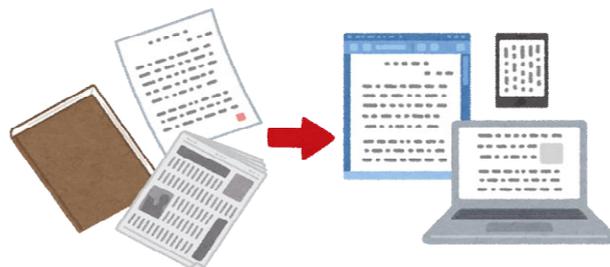
無線化PCを活用し資料をペーパーレス化（契約監理課）

**【内容】**

市指名委員会や委託部会においては、委員の資料を紙ベース（カラー印刷）で準備していたため、用紙代やトナー代に加え、印刷作業にも時間を要していました。

庁内のパソコンが無線化されたことで、委員には委託部会等の際、パソコンを持参してもらうことが可能となり、資料を全てPDF化し、事前に配布することができるようになりました。

この結果、用紙代やトナー代、印刷に要する時間を削減することができました。



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	12	プロジェクト推進事業	6つのまちづくり			06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 プロジェクト推進課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 110	
6,845	6,811			6,800	11	34		

**【令和5年度における事務事業の概要】**

市が掲げる重点施策の実現を目指し、「若者の市外流出の抑止」や「地域が必要とする人材の確保」に寄与する大学などの高等教育機関のキャンパス誘致に向けた取組を推進しました。

また、伊万里駅周辺の新たなにぎわいづくりのため、市営駅前駐車場の用地を活用した伊万里駅周辺活性化プロジェクトの実現に向けた取組等を進めました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

①高等教育機関の立地可能性基礎調査について

あらゆる高等教育機関の本市への立地の可能性を検討するため、個別の訪問や電話による聞き取りなどの情報収集のほか、以下の項目について取り組みました。

- (1) 高等教育機関を取り巻く環境や立地の傾向整理
- (2) 立地の視点からみた本市の強みや課題の明確化
- (3) 全国の高等教育機関を対象とした本市への立地の意向やその条件を問うアンケート

これらを基に課題の整理や今後の取組の方向性について分析（調査報告書を作成）を行いました。

**【成果の一例】立地可能性基礎調査において実施したアンケート調査の概要**

調査対象	全国に立地する高等教育機関（大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校）を有する法人
送付数	2,377
回収数	672（回答率28.3%）
調査期間	2023年10月31日（火）～2023年11月17日（金）

②伊万里駅周辺活性化プロジェクトに係る基本協定の締結について

市営駅前駐車場の用地を活用した伊万里駅周辺の活性化の実現に向け、令和5年10月6日に市内でホテルなどを経営している株式会社アイ・エスと伊万里駅周辺活性化プロジェクトに係る基本協定を締結しました。



伊万里駅周辺活性化プロジェクトに係る基本協定締結式の様子

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	13	ファシリティマネジメント 推進事業			6つの まちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 プロジェクト推進課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,934		1,907				1,907	27	P. 110

**【令和5年度における事務事業の概要】**

公共施設マネジメントシステムによる施設データの一元管理や業務の効率化を図ることをはじめ、公共建築物の状況を把握し、予防的な保全および安全確保、不具合への早期対策など、公共建築物の計画的な維持管理を推進するため、制度化した定期点検に取り組みました。

また、跡地及び低未利用施設の利活用については、地域や民間事業者を対象としたサウンディング型市場調査などを実施し有効な利活用について検討するとともに、国見台公園の総合的な整備に向けて検討するため、先進地視察を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

制度化した定期点検により、施設の予防的な保全と安全確保、また点検結果のシステム入力により各施設状況の集約管理が可能となり、今後総合管理計画等の各種計画の見直し、調整を図る際の資料として活用できるようになりました。

跡地及び低未利用地の利活用については、伊万里ファミリーパーク、旧林業研修センター、旧滝野小中学校跡地について、サウンディング型市場調査等を実施し、公民連携等による新たな公共施設のあり方やニーズの把握、利活用の検討を進めることができました。

また、国見台公園について、市中央部の基幹公園としてのさらなる活用を踏まえ、体育館と武道場の建替えを核とした総合的な整備に向けて検討を行うため、大阪府高槻市及び門真市、熊本県山都町及び菊陽町など先進地視察を行い、事業構想に取り組むことができました。

(R6. 2. 20 熊本県菊陽町視察)



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	14	ふるさと応援寄附募集事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 財政課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,848,956		1,431,909			1,431,909	0	417,047	P. 110

【令和5年度における事務事業の概要】

- 10のふるさと納税ポータルサイトに、伊万里牛・伊万里梨をはじめとした農産物や伊万里焼、海産物、地酒などのお礼の品を掲載し、ふるさと応援寄附金の募集を行いました。
- 国のふるさと納税制度の改正に伴い、令和5年10月、ふるさと納税に係る経費を寄附金額の5割以内とするため寄附額を見直しました。  
あわせて、経費削減策の一つとして、令和6年1月から返礼品の配送を一括契約することで配送単価を抑えるなど、ふるさと納税制度に沿った運用に努めました。
- ふるさと納税を活用し、令和5年7月豪雨の災害復旧に要する経費の支援を募り、28人から354,000円の寄附をいただきました。

【令和5年度における事務事業の成果】

●令和5年度寄附実績

- |                                |                |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 産業振興による「活気あふれるまち」づくり        | 3億2,002万7,600円 |
| 2. 地域資源を活かした「行きたいまち」づくり        | 1億7,466万5,000円 |
| 3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」づくり        | 7億5,258万7,400円 |
| 4. 時代にあった都市づくりで「安心して住みたいまち」づくり | 1億3,937万2,500円 |
| 5. 市長お任せコース                    | 10億 238万5,140円 |
| 6. 令和5年7月豪雨支援                  | 35万4,000円      |

令和5年度合計 23億8,939万1,640円

●令和4年度との比較

令和4年度寄附件数 166,107件  
 令和5年度寄附件数 124,487件 25.1%減

令和4年度寄附金額 29億2,554万6,320円  
 令和5年度寄附金額 23億8,939万1,640円 18.3%減

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

【返礼品画像の一例】



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	15	移住・定住促進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	28		移住・定住の促進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
61,391		54,675	32,892		21,700	83	6,716	P. 112

【令和5年度における事務事業の概要】

本市のプロモーション映像やガイドブック、リーフレットの活用や、ウェブサイトやインスタグラム、LINE公式アカウントなどのSNS等を通じた情報発信をはじめ、東京や大阪、福岡などの都市部における対面式で開催される移住相談会への出展、近県大学訪問によるPR活動など、移住・定住促進のためのプロモーションを推進しました。

また、移住・定住支援員1名を継続配置し、移住・定住相談窓口を設置して、移住希望者へのきめ細やかな情報提供や相談対応を行いました。

移住・定住に係る支援制度については、区長会連合会の総会や高校の同窓会など、様々な機会を捉えてPRを行い、転入者で市内に住宅の新築や空き家を購入する者に対する奨励金や首都圏及び県外、市外から市内企業への就職者に対する支援金を交付するなど、移住・定住の促進を図りました。

【令和5年度における事務事業の成果】

【申請実績】

- ・移住支援金 4世帯 6名
- ・いまり暮らしスタート支援金 75世帯 115名
- ・移住促進奨励金（新築・空き家購入等） 11世帯 27名
- 合計 90世帯 148名



■ 移住相談会の様子



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	16	関係人口創出事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14		商工業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,657		1,657				1,657	0	P. 114

【令和5年度における事務事業の概要】

様々な経営課題を抱える市内企業と、高いスキルを持つ都市部の副業人材をマッチングし、市内企業の課題解決を図ることを目的として、セミナーの開催や地元金融機関（伊万里信用金庫）による市内企業訪問を行い、副業人材の活用事例等を紹介するとともに、副業人材マッチングシステム「Skill Shift」への登録を勧奨するなど、副業人材活用を促進しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

- 1 市内企業の副業人材マッチングセミナー開催  
 日 時：令和5年7月5日（水）14:00～15:30  
 場 所：伊万里市民センター 文化ギャラリー  
 参加者：市内企業24社26名

セミナーでは、講師から副業人材を活用しての課題解決の事例や副業人材マッチングシステム「Skill Shift」の紹介があったほか、市内企業3社に副業人材活用の取組を紹介いただき、参加企業の副業人材活用の促進に努めました。

- 2 システム活用実績  
 Skill Shift掲載数 6社（うちマッチング2社 3名）

※市の事業としては民間による自走化を図る当初の予定どおり令和3年度～令和5年度の3か年で終了し、令和6年度以降は「Skill Shift」の掲載パートナーである伊万里信用金庫による取組が継続されています。



伊万里市 伊万里信用金庫 MIRAIWORKS  
伊万里市と伊万里信用金庫との地方創生に関する包括連携協定事業

**関係人口創出事業  
「市内企業の副業人材マッチング」セミナー**

**参加  
無料**

**日時** 令和5年7月5日(水)  
**14:00～15:30**

**会場** 伊万里市民センター  
1階 文化ギャラリー

**内容**

- ・副業人材の活用方法のご紹介 ((株)みらいワークス)
- ・市内の事例紹介  
((株)伊万里陶苑様、(株)IDEE's Company様、伊万里市)

その課題、社長ひとりで やりますか？

専門スキルと豊富な経験を持ったスキル人材を見つけ、やりたいことをサポートしてもらう中小企業が全国的に増えています！

年収約1000万円で活躍する人材を副業で迎える！  
それも、平均3.4万円/月で！

▶出会える理由はセミナーで。

伊万里信用金庫 電話23-7693 F A X 23-4065

氏名	会社名
〒	住所
電話番号	メールアドレス

参考事例が豊富！まずは、他社の求人をお調べください！

スキルシフト

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	17	シティプロモーション推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	28		移住・定住の促進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
22,067	17,227				17,200	27	4,840	P. 114

【令和5年度における事務事業の概要】

福岡都市圏の30代女性をメインターゲットに、本市の魅力をもっと高め市内外に広く伝えるため、外部人材とも引き続き連携しながら、メディアを活用した本市のプロモーションに取り組みました。

また、伊万里市物産観光振興協議会との共催で、福岡都市圏において「伊万里プロモーションフェア」を開催しました。

更に、令和6年度に市制施行70周年を迎えることを九州各県に向けて広く伝えるため、西日本新聞の朝刊においてPR記事を掲載しました。



【令和5年度における事務事業の成果】

【外部人材】

地域ブランディング向上アドバイザーと連携し新たな市のロゴマークを行政のみならず民間でも簡単に使用できるようにしたことで、商品パッケージ等様々な場面で活用していただくことができました。

また、SNSアンバサダーやシティプロモーション公認サポーターとの連携で、SNSでの発信を強化することができました。

【メディア活用プロモーション】

観光DVDとは違った切り口で本市の魅力伝える短編本格ドラマや、実際の移住者を主役とした移住定住PRのためのドキュメンタリー動画など、今後市のPRに活用するためのツールを制作することができました。

また、SNSキャンペーンを新たに展開したほか、TVやラジオ等のマスメディアを活用するなど、本市の魅力をこれまでより多くの層に届けることができました。

【伊万里プロモーションフェア】

RKBカラフルフェス、福岡天神ライオン広場、天神地下街イベントコーナーにおいてそれぞれ2日ずつフェアを開催しました。



主な支出

委託料	
メディア活用等プロモーション	5,494千円
福岡でのプロモーションフェア	5,180千円
広告料 西日本新聞朝刊PR記事	2,299千円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	18	道の駅伊万里再生支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15		観光の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,405	2,405			2,300	105	0	P. 116	

【令和5年度における事務事業の概要】

道の駅伊万里「伊万里ふるさと村」の再生に向けて、施設の現状分析や課題の抽出等を行い、その結果に基づいて事業計画案を策定した伊万里市農業協同組合に対して補助金を交付しました。

○事業実施主体

- ・伊万里市農業協同組合

○補助率

- ・補助対象経費の2分の1以内

○補助対象経費

- ・道の駅伊万里を取り巻く外部環境及び内部環境の現状分析に要する経費
- ・道の駅伊万里の現状分析を踏まえた課題抽出等の協議に要する経費
- ・道の駅伊万里の再生に向けた事業内容及び運営形態等の検討に要する経費
- ・道の駅伊万里の再生に向けた事業収支案及び事業計画案の策定に要する経費

○補助金額

- ・2,335,000円

【令和5年度における事務事業の成果】

西九州自動車道の延伸や新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの影響によって利用者数が減少した、道の駅伊万里「伊万里ふるさと村」が、再び地域交流や地域課題解決の拠点となり、さらには福岡方面からの観光の玄関口として活気づくための再生の一助となりました。



▲施設の外観



▲施設内の特産館

※財源内訳の「その他」はふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	男女協働参画推進費
事務事業名	01	男女協働参画推進事業			6つの まちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	26		男女協働参画社会の形成
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
964		593				593	371	P. 116

【令和5年度における事務事業の概要】

男女協働参画社会の実現を目指し、市民と行政との協働により推進を図ることを目的として発足した男女協働参画懇話会「いまりプラザ」と連携し、啓発活動を行いました。  
また、各地区と団体から推薦された女性を「いまり女性ネットワーク」に会員として登録し、その会員に審議会等の委員として参画してもらうことで、女性の参画拡大を図りました。

【令和5年度における事務事業の成果】

○男女協働参画懇話会「いまりプラザ」15期委員と連携し、男女協働参画社会の実現のため積極的な啓発活動を行い、男女協働参画意識の市民への浸透を図ることができました。

- ・懇話会開催（10回 延べ130名）
- ・フォーラムやセミナーの開催（4回 参加者61名）
- ・出前講座の実施（3回 参加者41名 委員延べ6名）
- ・「いまりプラザだより」発行（2回）
- ・学習会の開催（4回 参加者40名）
- ・DV根絶啓発パネル展（1回）
- ・男女共同参画週間啓発パネル展の実施（1回）
- ・DV防止街頭キャンペーンの実施（1回）
- ・パープルライトアップ実施（3事業所）

- 「いまり女性ネットワーク」  
（登録53名、31審議会等に延べ32名参画）
- ・セミナー参加等（2回 20名参加）

- ・男女協働参画審議会（1回（書面開催））
- ・男女協働参画推進会議（1回）

- 働き方改革等に関する職員研修会
- ・人のタイプと接し方研修会（採用1～5年目の職員60名）
- ・ハラスメント防止研修会（副課長級24名）

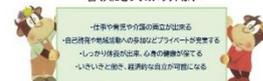
- 働き方改革の啓発
- ・ワーク・ライフ・バランスガイド（市民用 900部）
- ・ワーク・ライフ・バランスガイド（事業所用 600部）

WORK(仕事)とLIFE(生活)の調和と好循環  
ワーク・ライフ・バランス

“ワーク・ライフ・バランス”とは  
働くすべての人々が、「仕事-work」と生活や介護など「仕事以外の生活-life」の両輪が軸れ、その両方が充実している状態をいいます。  
一人ひとりが協働を持って働きながら、「仕事以外の生活」も充実させ、その結果が仕事にも溢れ得るという好循環を確立しています。



働く人にとってのメリットは？



市民用パンフレット

なぜいま“ワーク・ライフ・バランス”が必要なのか？

事業所にとっての  
ワーク・ライフ・バランス

子育て世代の増加、労働人口の減少は、  
従業員が生活や介護に悩む一方、一人ひとりの働き方を支える  
働き手も必要とされる。ワーク・ライフ・バランスの推進が求められます。



- 事業所にとってのメリット ●  
・働く人々の健康・満足・生産  
・働く人々の生活・介護・子育て  
・働く人々の生活・介護・子育て  
・働く人々の生活・介護・子育て  
・働く人々の生活・介護・子育て
- 従業員にとってのメリット ●  
・働く人々の健康・満足・生産  
・働く人々の生活・介護・子育て  
・働く人々の生活・介護・子育て  
・働く人々の生活・介護・子育て

事業者用パンフレット

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	男女協働参画推進費
事務事業名	02	女性自立支援相談事業				6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総合政策部 企画政策課				施 策	26	男女協働参画社会の形成	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,170	2,272				2,272	898	P. 116	

【令和5年度における事務事業の概要】

女性自立支援相談員による週3日（月・水・金）の女性相談を実施し、DV被害をはじめ女性が抱える家庭や子育てなどの悩みの相談に対応しました。令和5年度からは、週2日（火・木）の相談窓口を業務委託により追加し、これまでの週3日から週5日へ相談日を増やすことで切れ目のない支援を行うとともに、相談者や中学校等へ生理用品を配布するなど事業の拡充を図りました。

【令和5年度における事務事業の成果】

○女性相談窓口を拡充したことで、より多くの相談対応、DV被害者支援を行うことができました。  
 ・令和5年度相談件数 409件（うちDV相談 84件[20.5%]）  
 ○DV被害者の的確な支援と二次被害防止のため、関係職員を対象としたDV被害者支援研修会（26名参加）と庁内関係部署からなる庁内連絡会議を開催し、情報共有を図ることができました。  
 特に、緊急性が高い事案についての二次被害の防止と加害者対応については、関係課で迅速な対応が必要なため、関係部署の担当者と情報を共有し連携して対応しました。  
 ○「伊万里市DV被害者支援マニュアル」については、随時見直しを行い、マニュアルに即して適切な対応の徹底を図ることができました。

女性相談対応件数等

	相談件数												相談者 実人数	
	電話相談		来庁相談		メール/手紙		他機関との連 携/電話連絡		施設への 搬送/庁内 手続等		合計件数			
	相談室	委託先	相談室	委託先	相談室	委託先	相談室	委託先	相談室	委託先	相談室	委託先	相談室	委託先
令和元年度 (うちDV)	124 (60)		84 (59)				88 (61)		152 (105)		448 (285)		66 (34)	
令和2年度 (うちDV)	99 (68)		77 (60)				102 (98)		120 (97)		398 (323)		67 (45)	
令和2年度 (うちDV)	196 (151)		60 (40)				15 (14)		99 (71)		370 (276)		64 (41)	
令和4年度 (うちDV)	25 (3)		45 (31)				2 (2)		51 (28)		123 (64)		63 (36)	
令和5年度 (うちDV)	38 (10)	55 (3)	57 (36)	49 (3)	0 (0)	115 (1)	12 (7)	27 (2)	47 (22)	9 (0)	154 (75)	255 (9)	63 (37)	29 (2)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	市民相談費
事務事業名	01	市民相談事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施 策	23		暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
944		944				944	0	P. 116

【令和5年度における事務事業の概要】

社会情勢の変化やそれに伴って起こる様々な問題、悩みに市民が直面したときに、手助けになるように各種相談窓口を開設し、弁護士など専門の相談員を配置しました。

相談対応依頼先

相談の種類	依頼先	相談日
法律相談	佐賀県弁護士会唐津支部	毎月第2,4水
司法書士相談	伊万里市内の司法書士	毎月第3水
公証人相談	唐津公証役場	毎月第3木
人権相談	人権擁護委員	毎月第1,3火
行政相談	行政相談委員	毎月第3金
不動産相談	(一社)佐賀県宅地建物取引業協会	毎月第2木

【令和5年度における事務事業の成果】

相談受付件数

※増減は、対前年度比

相談の種類	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	件数	件数	増減	件数	増減
法律相談	194	186	△ 8	173	△ 13
司法書士相談	34	38	4	39	1
公証人相談	21	33	12	31	△ 2
人権相談	1	2	1	4	2
行政相談	4	8	4	4	△ 4
不動産相談	18	8	△ 10	17	9
合 計	272	275	3	268	△ 7

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	市民相談費
事務事業名	02	消費生活相談事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施 策	23	暮らしの安全・安心の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 116	
3,782	3,739	152			3,587	43		

【令和5年度における事務事業の概要】

巧妙で複雑多岐にわたる消費者トラブルの相談を迅速かつ的確に処理し、被害を未然に防ぐため、「NPO法人消費生活相談員の会さが」に委託し、相談業務を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

年間243日相談日を開設し、429件の相談がありました。

	商品・役務名	件数	内 容
1	金融・保険サービス	83	借金問題、ヤミ金、生命保険、投資などに関するトラブル
2	土地・建築・設備	21	賃貸借契約、新築住宅、造成工事、住宅リフォーム、住宅設備等に関するトラブル
3	運輸・通信サービス	34	携帯電話サービス、光回線、固定電話サービス、衛星放送、公共放送、配送サービスなどのトラブル
4	保健衛生品	42	化粧品(白髪染め、基礎化粧品、しわ・しみ改善クリーム、歯磨き粉)などの定期購入に関するトラブル、シャンプー・電位治療器などの契約トラブル
5	教養娯楽サービス	25	アダルトサイト、出会い系サイト、デジタルコンテンツ、オンラインゲーム、当選メール、コンサートチケットなどのトラブル
6	商品一般	30	不審な電話・メール、架空請求はがき・メールなどの相談
7	被服品	17	婦人服、靴、貴金属、バッグ、着物、Tシャツなどの契約トラブル
8	教養娯楽品	27	腕時計、スマートウォッチ、肖像画、電子タバコなどの契約トラブル
9	住居品	19	エアコン、浄水器カートリッジ、洗濯機などの契約に関するトラブル
10	食料品	39	健康食品、サプリメントなどの定期購入に関するトラブルなど
11	その他	92	上記以外の相談
年間全相談件数			429件

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	01	コミュニティバス等運行事業			6つのまちづくり	04		生活の基盤づくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	17		道路・交通体系の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
39,926		32,917			32,900	17	7,009	P. 118

【令和5年度における事務事業の概要】

高齢者や学生をはじめとした市民の日常生活を支える交通手段を確保するとともに、公共交通機関の充実を図るため、市街地の公共施設や商業施設、病院、住宅地などを循環する「いまりんバス市街地線」、伊万里駅を中心とする半径4km圏内を循環する「いまりんバス郊外線」、山代町内の交通空白地域内を巡回する「いまりんバス地域線」の運行を西肥自動車株式会社に委託しました。

また、松浦町及び二里町においては、デマンドタクシー（予約制乗合タクシー）の運行を西肥亀の井タクシー株式会社に委託しました。

加えて、いまりんバス市街地線のバス停の修繕に905,850円を支出するとともに、市民や関係者との地域交通についての合意形成の場として設置している「伊万里市民と考える地域交通会議」に対し、伊万里市地域公共交通計画策定のための負担金として7,009,380円を支出しました。

【運行委託料】

いまりんバス	市街地線	13,822,853円
	地域線	1,824,981円
	郊外線	5,845,907円
デマンドタクシー（予約制乗合タクシー）		
	松浦町	1,656,730円
	二里町	819,850円



市街地線を運行するいまりんバス車両（乗客32人乗）

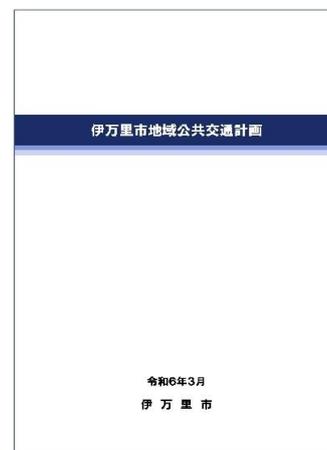
【令和5年度における事務事業の成果】

いまりんバス及びデマンドタクシーの運行委託により、市民の日常生活を支える交通手段を確保することができました。利用実績は次のとおりとなりました。

また、持続可能な交通ネットワークの構築を目指し、「伊万里市地域公共交通計画」を策定しました。

いまりんバス	市街地線	44,071人
	地域線	655人
	郊外線	3,546人
デマンドタクシー		
	松浦町	285人
	二里町	70人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



伊万里市地域公共交通計画

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	02	バス交通支援事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
97,025	94,929			94,900	29	2,096	P. 118	

【令和5年度における事務事業の概要】

通学や買い物、通院など市民の日常生活を支える交通手段を確保するため、路線バスの運行費補助金として73,951,000円を支出しました。

また、地域が主体となった新たな交通体系への補助金として下記のとおり支出を行いました。

東山代町「元気バス」	8,657,000円	(平成21年4月1日運行開始)
波多津町「波多津ふれあい号」	3,257,000円	(平成28年1月18日運行開始)
大川町「コミュニティすこやかバス」	3,973,000円	(平成29年10月2日運行開始)
黒川町「町内巡回バスくろがわ号」	5,040,000円	(平成30年3月20日運行開始)



東山代町元気バス



波多津ふれあい号

【令和5年度における事務事業の成果】

路線バスの運行経費のほか、地域が主体となって取り組む地域コミュニティバス等に対する運行経費への補助を行い、市民の日常生活を支える交通手段を確保することができました。路線バス及び地域コミュニティバスの利用実績は次のとおりとなりました。

路線バス	127,236人
東山代町「元気バス」	5,432人
波多津町「波多津ふれあい号」	5,586人
大川町「コミュニティすこやかバス」	3,602人
黒川町「町内巡回バスくろがわ号」	4,050人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



大川町コミュニティすこやかバス



町内巡回バスくろがわ号

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	03	鉄道交通支援事業			6つのまちづくり		04	生活の基盤づくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		17	道路・交通体系の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
16,854	16,198	1,500			14,600	98	656	P. 118

【令和5年度における事務事業の概要】

第三セクター方式により運営される松浦鉄道株式会社を支援するため、「松浦鉄道自治体連絡協議会」に対し負担金60,000円を支出したほか、同社が取り組む、老朽化した鉄道設備等の更新などの安全対策に対し、国庫補助額を除く施設整備事業費として、12,703,000円を補助しました。

また、JR筑肥線の沿線自治体で組織している「筑肥線複線化電化促進期成会」に対し、負担金として41,000円を支出しました。期成会では、利用促進に関する事項、利用しやすいダイヤの改正、利用環境に関する事項など、快適な輸送サービスについての要望・提案活動を国やJR九州に対して行いました。

なお、燃料費高騰により影響を受けた松浦鉄道株式会社に対し1,612,000円の公共交通維持確保支援金を支出し、公共交通の維持確保に努めました。

加えて、駅の賑わいづくりや鉄道の利用促進を図るため、絵画コンクール等の取り組みや、イベント鉄道利用案内掲載等奨励金120,000円を支出したほか、令和4年度に実施したガバメントクラウドファンディングにより集まった寄附金1,288,000円を、市内の老朽化した駅名標及び待合所いすのリニューアル経費として松浦鉄道株式会社に補助しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

松浦鉄道株式会社への施設整備事業費に対する沿線自治体と協調した補助を通じて、旅客輸送の安全を確保することができました。

また、JR筑肥線沿線自治体で組織する「筑肥線複線化電化促進期成会」による鉄道事業者等への要望活動を通じ、利便性の維持に努めるとともに、本市、JR九州、唐津市、県で組織する「筑肥線（伊万里～唐津）活用に関する検討会」では、ロマンシング佐賀列車の運行、「いまり秋祭り」でのミニトレインの運行を実施するなど、JR筑肥線（伊万里～唐津）の利用促進に取り組みました。

加えて、松浦鉄道株式会社において補助金を活用し、市内の老朽化した7駅の駅名標及び4駅の待合所いすのリニューアルが実施されました。

松浦鉄道利用者数（伊万里市管内駅乗降客数） 586,576人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



リニューアルされた駅名標



リニューアルされた待合所いす

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	13	交通安全対策費
事務事業名	01	交通安全指導員活動事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施策	23		暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,853		5,406				5,406	447	P. 122

【令和5年度における事務事業の概要】

市内における交通安全活動の推進を図り、市民の交通安全を確保するため、伊万里市交通安全指導員設置条例に基づき、交通安全指導員を配置し、児童・生徒の通学時を中心とした交通安全指導およびイベント等における交通安全確保を行いました。

伊万里地区	3人	黒川町	3人	二里町	3人
牧島地区	1人	波多津町	3人	東山代町	3人
大坪地区	3人	南波多町	2人	山代町	3人
立花地区	3人	大川町	2人	合計	33人
大川内町	2人	松浦町	2人		

【令和5年度における事務事業の成果】

33名の交通安全指導員を委嘱し、児童・生徒の通学時や市内の各種イベント等における街頭指導に取り組み、市内の交通安全運動の推進を図りました。



就退任式の様子  
◆辞令交付、市長あいさつ  
伊万里警察署講話（市内の交通情勢）



交通安全指導員研修会の様子  
◆応急手当講習（伊万里・有田消防組合）  
◆交通安全指導要領等講習（伊万里警察署）

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	13	交通安全対策費
事務事業名	02	交通安全啓発事業			6つのまちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施策		23	暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
216		127				127	89	P. 122

【令和5年度における事務事業の概要】

「守ろう交通ルール 高めよう交通マナー」のスローガンのもと、関係機関や団体の協力を得て、市民への交通安全の啓発活動を実施しました。

●交通安全県民運動における主な取組

【春：5月】 Imari Line作戦

参加者：市、立花地区交通対策協議会、伊万里警察署 など

【夏：7月】 高齢者交通安全指導員講習会

参加者：市、高齢者交通安全指導員、伊万里警察署 など

体験 de 交通安全 in 図書館

参加者：市、伊万里警察署、JAF、市民 など

【秋：9月】 外国人を対象とした交通安全教室

参加者：市、市内在住の外国人、市国際交流協会、伊万里警察署 など

交通安全教室

参加者：市、大川内小学校1・2年生、大川内町交通対策協議会、

市交通安全指導員会、ヤマト運輸㈱、伊万里警察署 など

【冬：12月】 伊万里市・松浦市合同交通安全キャンペーン

参加者：市、山代町交通対策協議会、市交通安全指導員会、

松浦警察署、伊万里警察署 など

【令和5年度における事務事業の成果】

交通安全運動期間の機会を捉えて、季節ごとに交通安全の課題に取り組んだほか、年間を通して飲酒運転の根絶および子どもと高齢者の事故防止を重点において取組を行いました。

また、高齢者の交通事故を防ぐため、実技指導や踏み間違い防止装置搭載車の乗車体験などを取り入れた高齢者の交通安全教室を実施しました。

このほか、新入学児童を交通事故から守るため、新1年生全員へ黄色いランドセルカバーを贈呈するなど交通安全意識の啓発に努めました。



交通安全県民運動期間の取組

◆体験 de 交通安全 in 図書館

パトカー乗車体験、こども安全免許証交付、交通安全シミュレーター体験を実施



高齢者交通安全教室

◆伊万里警察署による講話

各老人クラブ単位等で実施

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	01	情報政策事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 情報政策課			施策		24	市政に関する情報共有と市民参画の促進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,381		1,303	996			307	78	P. 122

【令和5年度における事務事業の概要】

高齢者を対象としたデジタルデバインド対策として、各コミュニティセンター及び市内事業所の会議室にてスマートフォン講習会を開催しました。

※「デジタルデバインド」とは、パソコンやスマートフォン等の情報通信技術を使える人と使えない人の間に生まれる情報格差のことを指します。

【令和5年度における事務事業の成果】

- 高齢者向けスマートフォン講習会（基本編）
  - 開催時期：令和5年11月～令和6年2月
  - 会場及び回数：各コミュニティセンター 計37回（1回当たり2時間）
  - 延べ参加人数：下記のとおり
  - 講師：NPO法人シニアネット佐賀
  - 講習内容：①スマートフォンの基本的な使い方  
②LINEの基本的な使い方  
③セキュリティ対策やネット詐欺等について

会場	開催数	参加人数	会場	開催数	参加人数
伊万里	3回	48人	大川	3回	18人
牧島		21人	松浦		39人
大坪		27人	二里		27人
立花		33人	東山代	2回	24人
黒川		33人	山代		12人
波多津		12人	大川内		6人
南波多		12人	合計		37回



※山代と大川内は大雪の影響による開催数の減

- 高齢者向けスマートフォン講習会（応用編）
  - 開催時期：令和6年2月～3月
  - 会場及び回数：市内事業所内会議室 6回（1回当たり3時間）
  - 延べ参加人数：66人
  - 講師：NPO法人シニアネット佐賀
  - 講習内容：①インターネットを活用した行政手続き  
②伊万里市公式LINEアカウント等を活用した行政情報の収集方法  
③マイナンバーカードの活用方法

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	02	全庁ネットワーク運用事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 情報政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
145,749	139,250			834	138,416	6,499	P. 124	

【令和5年度における事務事業の概要】

自治体間を相互に接続する行政専用のネットワークであるLGWAN (Local Gaverment Wide Area Network) と接続する庁内のネットワークである全庁ネットワークシステム等の適正な維持管理や、技術部門のCAD・GISシステムの整備と運用に取り組みました。

※CAD (Computer Aided Design) : パソコン上で製図を行うためのシステム

※GIS (Geographic Information System) : 地理情報等をパソコン上で作成・保存・利用・管理・表示・検索するシステム

【令和5年度における事務事業の成果】

○職員用パソコンの導入実績

年度	事務職員用パソコン	技術職員用パソコン
R元	100台	6台
R02	100台	6台
R03	60台	6台
R04	50台	-
R05	100台	11台

○ 全庁ネットワーク管理サーバ (ADサーバ等) の更新

○ 予算編成及び執行、備品管理、決算等を管理運用する財務会計システムの更新

○ インターネットから分離された全庁ネットワーク内のパソコンからセキュリティを担保しつつインターネットを閲覧できる仮想ブラウザシステムの導入

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	03	基幹業務システム管理運営 事			6つの まちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 情報政策課			施 策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
113,919		112,236			19,672	92,564	1,683	P. 124

【令和5年度における事務事業の概要】

住民記録や税の賦課徴収、国民健康保険、介護保険など住民生活に密接にかかわる情報の管理・運用を行いました。

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ① 住民票・人口統計    | ⑫ 国民年金      |
| ② 印鑑登録        | ⑬ 後期高齢者医療   |
| ③ 選挙人名簿管理     | ⑭ 介護保険      |
| ④ 固定資産税（賦課課税） | ⑮ 児童手当      |
| ⑤ 個人住民税（申告納税） | ⑯ 教育        |
| ⑥ 法人住民税（申告納税） | ⑰ 行政基本      |
| ⑦ 軽自動車税（賦課課税） | ⑱ 公営住宅      |
| ⑧ 総合収納管理      | ⑲ 下水道受益者負担金 |
| ⑨ 総合滞納管理      | ⑳ 住基ネット     |
| ⑩ 国民健康保険（資格）  | ㉑ 団体内統合宛名   |
| ⑪ 国民健康保険税     |             |

【令和5年度における事務事業の成果】

- 地方税共通納税システムの改修を行いました。
- 基幹業務システムの契約業者と月1回の定例会を行い、適切なシステム運用と法改正に対応するシステム改修を行いました。
- 基幹業務システムのサービスを、開庁時間内に停止することなく提供することができました。システムの稼働率は、下表のとおりです。

〈システム稼働率〉

(時間単位：分)

システム名	対象システム運用時間	業務停止時間	システム稼働率
住民情報	131,220	0	100.00%
受益者負担金	131,220	0	100.00%
選挙	131,220	0	100.00%
総合福祉	131,220	0	100.00%
健康管理	131,220	0	100.00%
公営住宅	131,220	0	100.00%
滞納管理	131,220	0	100.00%
税務LAN	131,220	0	100.00%

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	総務管理費
事務事業名	04	DX推進事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 情報政策課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
94,161	93,835	44,880		48,900	55	326	P. 126	

【令和5年度における事務事業の概要】

市民の視点に立った住みやすい環境づくりを実現するために、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、スマート窓口の導入、母子健康手帳アプリ「いまりん子育てアプリ」の導入、大坪保育園のICT化、市内小中学校・義務教育学校のICT化の4つの事業を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

- スマート窓口の導入  
住民異動手続（転入・転出・転居）の際に、窓口で職員が内容を聞き取りタブレットに入力することで、住民異動届のほか国民健康保険の加入等に必要届出書等を自動で作成できるシステムを令和6年3月から市民課に導入し、1,397件の利用がありました。
- 母子健康手帳アプリ「いまりん子育てアプリ」の導入  
子育て情報の配信、成長記録の管理、乳幼児等相談などの予約をアプリで実施できる「いまりん子育てアプリ」を令和5年12月から導入し、679件の登録がありました。
- 大坪保育園のICT化  
スマートフォンアプリ等を活用したQRコード読み取りによる園児の登降園管理や、保育記録の管理や各種計画の作成、保護者のスマートフォンアプリ等へお便りの配信ができるシステムを令和6年1月から大坪保育園に導入し、全園児（91人）の保護者によるアプリの登録が完了しました。
- 市内小中学校・義務教育学校のICT化  
児童生徒の出欠席情報管理、通知表の作成、国・県からの調査書等の作成が可能な校務支援システムと、児童生徒一人ひとりの理解度や進捗に応じた学習指導やサポートが可能なデジタルドリルを令和6年1月から全小中学校・義務教育学校に導入しました。

【スマート窓口の導入】



入力内容を確認後、タブレットに本人名を記入。

【いまりん子育てアプリ】

成長記録の管理や乳幼児等相談の予約がアプリ上で可能。



【大坪保育園のICT化】



QRコード読み取りで園児の登降園の管理が可能。

【市内小中学校・義務教育学校のICT化】



教員向けの校務支援システム研修会

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	18	国際交流推進費
事務事業名	01	国際交流推進事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,792	1,265	63			1,202	527	P. 128	

【令和5年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月より「5類感染症」に移行したことにより、市職員を含む7名が大連市を訪れて「アカシア祭りウオーキング大会」に参加したほか、7月には、大連市中日友好訪問団が本市を訪れるなど、友好都市の人的交流を再開することができました。

また、令和2年度から4年度まで、文化庁の補助事業として、市内に在住する外国人に対し地域日本語教室を行ってきましたが、令和5年度からは市国際交流協会への委託事業として事業を実施しました。

なお、令和5年度は公益財団法人「かめのり財団」の多文化共生地域ネットワーク事業に採択されたことから、市の委託料とは別に500,000円の助成を受け、例年より多い15回の教室を開催することができました。

他にも、市民の国際交流への理解と関心を高めるため、民間レベルでの国際交流を行う2団体（市国際交流協会、市日中友好協会）へそれぞれ支援を行いました。

負担金 市日中友好協会負担金 30,000円 補助金 市国際交流協会補助金 90,000円

【令和5年度における事務事業の成果】

●外国人のための「ワンストップ相談窓口」を開設し、51件（前年比22件増）の相談を受け付けました。

●「日本語教室Awesome IMARI」を15回開催しました。

第1回 5月28日 「日本語を使ったミニゲーム会～プリンをゲットしよう」

第2回 7月13日 「『伊万里産』を使って、料理を作ろう」

第3回 7月23日 「ジョイントコンサート」

第4回 7月25日 「茶道体験『喫茶去』」

第5回 7月27日 「『本場の味を堪能しよう』～餃子会」

第6回 7月30日 「『川内野で』世界一周GOHAN旅」

第7回 8月27日 「食とマナー」

第8回 9月24日 「自転車教室」

第9回 10月15日 「日本人との交流①秋のボーリング大会」

第10回 11月 4日 「日本人との交流②秋のサッカー大会」

第11回 11月12日 「着付けin大川内山、伊万里でインスタ映え」

第12回 12月12日 「キムチづくり」

第13回 12月17日 「防災と食」

第14回 1月 7日 「もちつきと春の七草」

第15回 2月 4日 「国際交流ひろば」

外国人参加者計422人

●大連市人民対外友好協会主催の「中日青少年交流ウィーク」に参加するため、伊万里市の高校生10名が大連市を訪問しました。



第3回日本語教室「ジョイントコンサート」



第11回日本語教室「着付け IN 大川内山」

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	02	地域づくり推進事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
10,363		9,170			9,150	20	1,193	P. 130

【令和5年度における事務事業の概要】

人口減少や少子高齢化社会が急進していくなか、住み慣れた地域で将来にわたって元気に安心して暮らせるまちを目指し、地域課題の解決や身近なまちづくりに取組に対して支援を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

地域づくりサポーター（集落支援員）の活動や地区のコミュニティ運営協議会のまちづくり計画に基づく地域住民の交流を促進する取組に対して支援を行いました。

○地域づくりサポーター

- ・波多津コミュニティセンター 1人 (R2. 4.1から継続)
- ・黒川コミュニティセンター 1人 (R2. 10.1から継続)
- ・大坪コミュニティセンター 1人 (R4. 4.1から継続)
- ・山代コミュニティセンター 1人 (R5. 10.1から)

<活動費>

- ・費用弁償： 61千円
- ・消耗品費： 254千円
- ・燃料費： 257千円
- ・使用料及び賃借料：1,478千円 (公用車リース料)
- ・負担金： 20千円
- 合 計： 2,070千円

○地域づくり交付金

地区名	交付金額	区分	主 な 事 業
伊万里地区	550,000円	継 続	花を植える運動、子ども伊万里塾
牧島地区	550,000円	継 続	カプトガニとホテルの保護事業
大坪地区	550,000円	継 続	大坪の夢プロジェクト
立花地区	550,000円	継 続	たっしゅかネットワーク事業
大川内町	550,000円	継 続	「全町民参加型」まるごと大川内プロモーション大作戦！！
黒川町	550,000円	継 続	家読のすすめ推進事業、外国人実習生との交流事業
波多津町	550,000円	継 続	波多津ふれあい広場 軽トラ市、波多津花いっぱい活動
南波多町	550,000円	継 続	観光リーフレット作成事業、大野岳自然公園活用事業
大川町	550,000円	新 規	私の好きな大川町絵はがきコンテスト
松浦町	550,000円	継 続	松浦ハッピーフェスティバル開催事業
二里町	550,000円	継 続	地域環境整備事業、魅力情報収集提案事業
東山代町	550,000円	継 続	史跡巡りウォーキング大会開催事業、明星塾活動推進事業
山代町	469,000円	継 続	河川浄化活動(泥だんご大作戦)、山代町移動支援事業
合 計	7,069,000円		

※財源内訳の「その他」のうち7,150千円はまちづくり基金繰入金、2,000千円はふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	03	市民活動促進事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
25,668		25,638	1,734		23,800	104	30	P. 130

【令和5年度における事務事業の概要】

自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として行うコミュニティ助成事業を活用し、地域のコミュニティ活動に必要な備品や自治公民館の建設などに要する費用に対し助成を行いました。

また、伊万里市さが未来アシスト事業費補助金事業では、県の補助事業を活用し、地域に存在する自然、人等の地域資源を活かした自発の地域づくりに取組む実施事業主体に対して補助金を交付しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

○コミュニティ助成事業

- 1 申請団体：4団体
- 2 助成金：22,500千円
  - ①浦ノ崎区 2,500千円
  - ②内野区 2,500千円
  - ③井手野区 2,500千円
  - ④中通区 15,000千円

3 実施内容：

- ①LED投光器の整備等
- ②有線放送設備の更新
- ③冷暖房エアコン、照明器具の整備
- ④中通公民館（コミュニティセンター）の建設

○伊万里市さが未来アシスト事業費補助金事業

- 1 申請団体：4団体
- 2 助成金：3,120千円
  - ①大野岳タイワントツバメシジミ保存会 624千円
  - ②特定非営利活動法人NPO栄町地域づくり会 914千円
  - ③黒川町家読連絡会 1,062千円
  - ④大川内町まちづくり運営協議会 520千円

3 実施内容：

市天然記念物であるタイワントツバメシジミの保存活動や、コミュニティ活動拠点整備事業、家読講演会、大川町のプロモーションビデオ制作及び上映会など市民との協働によるまちづくりに貢献することができました。

※財源内訳の「その他」のうち1,300千円は、ふるさと応援基金繰入金



完成した中通公民館



家読ウォークラリー開催事業の様子

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	04	婚活推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	28		移住・定住の促進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
480		480				480	0	P. 130

【令和5年度における事務事業の概要】

結婚を希望する男女に対し、①婚活イベントの開催 ②1対1のお引き合わせ ③結婚支援相談員による婚活相談業務 ④婚活応援事業者の婚活イベントの情報提供などの結婚活動支援を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

※数値は、令和6年3月31日現在

○登録者数

男性	女性	合計
816人	757人	1,573人

内、成婚353人、退会710人

○実数

男性	女性	合計
347人	163人	510人

	令和5年度			
	開催回数	参加者数		
		男性	女性	合計
出会いの場のイベント	12回	63人	64人	127人
プロフィール引き合わせ	57回	57人	57人	114人
合 計		120人	121人	241人

	平成22～令和5累計	令和5年度
登録者数	1,573人	43人
成婚報告者 (内、登録者同士)	353人 (120人)	18人 (0人)
イベント回数	144回	12回
カップル数	581組	23組
現在交際中	6組	6組
プロフィールによる引き合わせ	456組	36組
カップル数	263組	36組
現在交際中	12組	12組
相談・問い合わせ件数 (内、メール)	12,246件 (5,197件)	1,013件 (485件)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	08	地域おこし協力隊事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,420		2,717			2,700	17	703	P. 134

【令和5年度における事務事業の概要】

人口減少や高齢化が進むなか、本市では、平成29年度から市外の人材を「地域おこし協力隊」として採用しています。令和5年度は2名の地域おこし協力隊員が市内で活動を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年度は、東山代町川内野区の1名に加えて、二里町中里地区に1名を配置しました。川内野区では、まちづくり支援活動として、農産物の共同出荷の支援や地域特性を活かしたイベントの企画立案から関係者との協議調整を行い、イノピカコンサートなどを実施しました。一方、中里地区では、地域資源である棚田の景観維持や棚田を活かしたイベントを行うなど、隊員の活動が地域活性化や地域コミュニティの維持・強化に繋がりました。

○活動概要

活動拠点：東山代町川内野区

活動内容：農産物の共同出荷支援、佐賀大学との協議調整等イベント運営支援、SNSによる集落の情報発信、地区内でのチラシ等の発行

活 動 費：住宅借上料（360千円）、公用車燃料費・リース料（507千円）など

活動拠点：二里町中里地区

活動内容：地元小学生とのイベント、国際交流イベント、田んぼをテーマパークとしたイベントの補助

活 動 費：住宅借上料（480千円）、公用車燃料費・リース料（363千円）  
パソコン、プリンター購入（297千円）など

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



イノピカコンサート（川内野区）



稲刈りイベント（中里地区）

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	09	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
49,074		49,074		44,100	4,974	0	0	P. 134

【令和5年度における事務事業の概要】

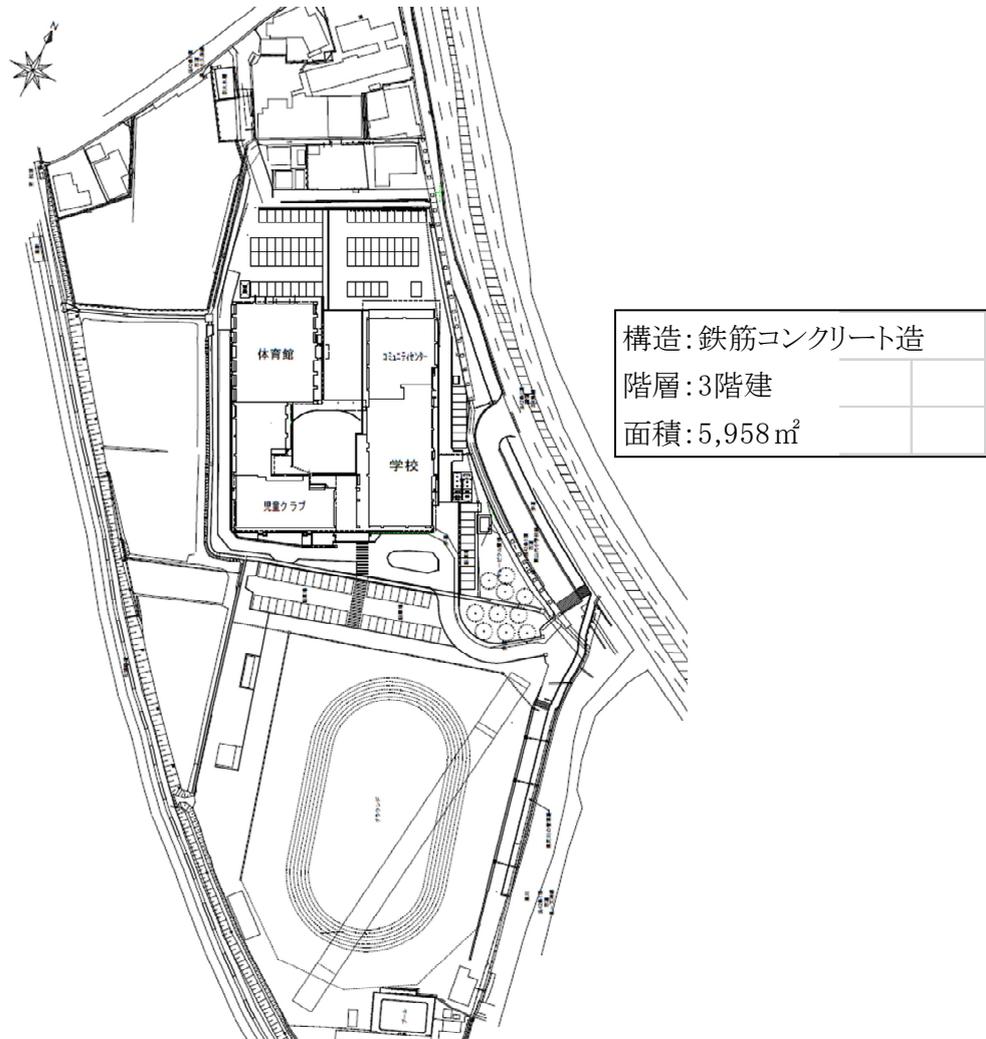
老朽化した東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの3施設を複合施設として整備するため、施設の建設工事を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

令和4年度の実施設計を基に、東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの複合施設の建設工事を行いました。

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金

◆東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設 計画配置図



(全体進捗率28.1%)

工 事	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年度割	28.1%	66.2%	5.7%

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	21	市民センター費
事務事業名	01	市民センター管理運営事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 市民センター			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
55,358	53,033			7,447	45,586	2,325	P. 134	

【令和5年度における事務事業の概要】

市民の文化活動の拠点である市民センターの適正な運営と維持管理に努めました。また、文化ギャラリーで絵画や書、写真等を展示するための移動式パネルが30年以上経過し、傷や汚れ、錆等が目立っていたことから、新たに20台を更新するなど、備品の充実を図りました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した令和5年度の市民センターの利用状況は、利用者数が前年度比1,824人の減ではあったものの、件数は前年度比167件の増となりました。

【令和5年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した中、施設の利用はコロナ禍前の状況までにはほぼ回復しており、貸館業務を通じて、市民の文化活動の推進に貢献することができました。

○市民センター利用状況推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用件数	2,882件	3,269件	3,436件
利用者数	80,231人	102,851人	101,027人

○市民センター光熱水費決算額推移

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
電気料	4,034	5,764	8,379
ガス代	1,733	2,530	2,207
水道料	396	408	292
合計	6,163	8,702	10,878

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	21	市民センター費
事務事業名	02	市民センター改修事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 市民センター			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
36,183	36,060			36,000	60	123	P. 136	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

市民センターは建設から30年以上が経過し、文化ホールの空調設備をはじめ舞台の吊物設備、音響設備、照明設備等の経年劣化が進み、機器等の不具合も年々増加しています。このため、施設の貸館業務等に支障をきたさないよう、舞台吊物設備の改修を引き続き行うとともに、ホール棟の一部照明のLED化はリース方式で改修し、設備の長寿命化、費用負担の平準化を図りました。

また、令和4年度から2か年計画で取り組んでいたセンター内すべてのトイレを洋式化するとともに、多目的トイレ2か所にベビーキープと折りたたみ式ベビーベッドを設置するなど、来館者や施設使用者の利便性の向上を図りました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

市民センターの改修を通じて、より利用しやすい施設の整備を行うことで、市民の文化活動の推進に貢献しました。

○主な改修事業

- ・文化ホール舞台吊物設備改修 12,650千円
- ・文化ホール舞台音響設備機器リース料 5,442千円【※5年間リース料総額 27,212千円】
- ・文化ホール照明設備機器リース料(R6.3月の1か月分) 124千円【※7年間リース料総額 10,395千円】
- ・トイレ洋式化工事 5,335千円
- ・多目的トイレ ベビーキープ・折りたたみ式ベビーベッド設置工事 499千円



【ベビーキープ】



【折りたたみ式ベビーベッド】

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	02	徴税费	目	02	賦課徴收费
事務事業名	01	市税賦課事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総務部 税務課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 138	
56,570	53,452	31,353			22,099	3,118		

【令和5年度における事務事業の概要】

個人市民税の課税対象となる所得の把握のため、未申告者の呼出や個人年金・一時金受給者の調査を行い、また固定資産税については、課税客体の把握による適正な課税を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

現年度の調定額は、給与所得の増加により個人市民税は増加しましたが、県内の経済は回復しつつあるものの、企業収益の減少などにより法人市民税は減少したため、市民税全体では、前年度に比べ13,900千円（0.4%）の減少となりました。

固定資産税は、家屋の新築や設備投資の増加などにより、前年度に比べ129,931千円（3.3%）増加したため、市税全体では、前年度に比べ110,092千円（1.4%）の増加となりました。

《令和5年度歳入 市税賦課の状況》

（単位：千円）

税 目	予算額	調定額	調定額前年度比 (%)
個人市民税	2,221,408	2,317,129	3.3
法人市民税	361,702	953,206	▲ 8.1
固定資産税	3,868,776	4,074,113	3.3
軽自動車税	235,634	235,512	1.0
市たばこ税	453,896	528,383	▲ 2.0
入湯税	3,762	3,569	181.7
合計	7,145,178	8,111,912	1.4

款	02	総務費	項	02	徴税费	目	02	賦課徴收费
事務事業名	02	市税等徴収事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総務部 収納管理課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 140	
74,198	66,727	10,220		317	56,190	7,471		

【令和5年度における事務事業の概要】

令和5年度から市税3税（市・県民税、固定資産税、国民健康保険税）を税目ごとに徴収する「単税徴収方式」を導入し、市・県民税と固定資産税の納期を変更（10期から4期へ）しました。

また、納税者の利便性向上のため、固定資産税と軽自動車税の納付書に地方税統一QRコードを付与し、キャッシュレスなどの納付手段を拡充するとともに、市税の収納率向上と収入未済額の縮減による税収の確保を図るため、初期滞納者に対する催告等による納税勧奨の実施や、預貯金等の差押えなどの早期滞納処分に取り組みました。

【令和5年度における事務事業の成果】

納税者の利便性向上を目的として、新たに地方税統一QRコードを活用した市税の納付を開始し、全国の地方税統一QRコード対応金融機関窓口での納付や、各種スマートフォン決済アプリ・クレジットカード・インターネットバンキングなどキャッシュレス納付の手段拡充により、納税しやすい環境整備に努め、自主納付の推進を図りました。

滞納者に対しては、文書・電話催告等による納税勧奨を行い、その後も納付がなければ早い段階で滞納処分（差押等）を実施するなど、滞納の抑制に努めました。

また、令和5年度から県と市町の共同徴収において、県職員による直接徴収を行うことで市・県民税の徴収強化を図りました。加えて、滞納累積事案については、滞納者の実態把握や財産調査を徹底するとともに、預貯金などの債権を中心とした差押えなどの滞納処分の強化を図り、収入未済額を前年より5,394千円縮減することができました。

このような取り組みの結果、滞納繰越分を含めた市税全体の収納率は前年度に比べ0.1ポイント増の98.5%となり、健全な財政基盤の確立に寄与しました。

《令和5年度歳入 市税決算の状況》

(単位:千円)

税 目	予算額	調定額	収入済額	収 納 率 (%)		
				現年課税分	滞納繰越分	合 計
個人市民税	2,221,408	2,317,129	2,274,680	99.4	39.7	98.2
法人市民税	361,702	953,206	950,588	99.9	29.8	99.7
固定資産税	3,868,776	4,074,113	4,001,875	99.5	15.6	98.2
軽自動車税	235,634	235,512	230,919	99.3	28.9	98.0
市たばこ税	453,896	528,383	528,383	100.0	-	100.0
入湯税	3,762	3,569	3,569	100.0	-	100.0
合計	7,145,178	8,111,912	7,990,014	99.6	25.9	98.5

《令和5年度収納率向上の取組実績》

- ・ 差押件数 : 889件 (執行額: 130,277千円、換価額: 30,039千円、解除額: 39,625千円)
- ・ 口座振替件数 : 54,767件 (対前年比46%) ※国民健康保険税除く
- ・ 電子決済件数 : 7,154件 (対前年比117%) ※国民健康保険税除く
- ・ 夜間・休日相談件数 : 207件
- ◎収入未済額 108,536千円 (対前年比95%)

款	02	総務費	項	03	戸籍住民基本台帳費	目	01	戸籍住民基本台帳費
事務事業名	01	戸籍住民基本台帳事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 市民課			施策		27	自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
43,671	26,472	505		11,977	13,990	17,199	P. 140	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

住民異動届を受付し、住民基本台帳への記録等を適正に行うとともに、住民票に関する証明書、戸籍の附票等の交付、印鑑登録事務を行いました。  
 また、戸籍届の審査、受理及び戸籍の記載処理、諸証明書の交付を行うとともに、出生死亡等の人口統計に関する報告を行いました。  
 戸籍法の一部を改正する法律が令和6年3月1日に施行され、全国の市区町村と法務省との戸籍事務内連携が始まりました。  
 市民の利便性の向上及び行政の効率化、公平公正な社会の実現を図るため、マイナンバーカード所有者の転出・転入手続のワンストップ化、住民票等のコンビニ交付を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

住民異動等に伴う届出の事務処理及び住民基本台帳法、戸籍法等に基づく諸証明の発行を正確かつ迅速に行いました。  
 令和6年3月から始まった戸籍事務内連携により、本籍地以外の市区町村窓口で戸籍の証明書を発行すること（戸籍の広域交付）ができるようになったほか、戸籍の届出において戸籍謄抄本の添付が省略できるようになるなど、住民の利便性が向上しました。  
 なお、戸籍事務へのマイナンバー制度の導入に伴い、氏名の振り仮名を戸籍等に記載するための戸籍システムの改修、マイナンバーカードに氏名のローマ字等を表記するための住民基本台帳システムの改修が必要となりましたが、国の仕様等が確定しなかったことから令和6年度に繰り越して実施します。

※不用額は令和6年度への繰越明許費16,467千円を含みます。

○諸証明

項目	件数
戸籍等	33,681
住民票	21,995
記載事項証明書等	312
印鑑証明書	15,698
税証明書	13,947
その他証明書等	1,031
計	86,664

○住民異動届

項目	件数
転入	1,427
転出	1,474
転居	907
年金	1,247
国保	2,158
その他	584
戸籍届	1,691
計	9,488

○コンビニ交付

項目	件数
住民票	3,505
印鑑証明書	2,004
税証明書	426
計	5,935

款	02	総務費	項	03	戸籍住民基本台帳費	目	01	戸籍住民基本台帳費
事務事業名	02	マイナンバーカード交付事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 市民課			施策		27	自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
23,396		22,037	21,590			447	1,359	P. 142

**【令和5年度における事務事業の概要】**

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」による社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）が導入され、市民の利便性の向上及び行政の効率化、公平公正な社会の実現を図るため、マイナンバーカードの交付等を行いました。  
また、国のマイナンバーカード普及の政策であるマイナポイント事業を令和5年9月末まで行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

マイナンバーカード取得促進については、CATVや広報・折込チラシ等により、取得を呼びかけました。  
また、平日昼間に来庁が難しい方に対し、土日曜開庁や平日の窓口延長の実施、市役所へ来庁困難な方の自宅を訪問する出張申請・交付手続きを実施したこと等により、5,182件を交付できました。

○マイナンバーカード交付件数

年度	件数
平成27年度	1,477
平成28年度	1,827
平成29年度	1,266
平成30年度	1,330
令和元年度	1,706
令和2年度	5,395
令和3年度	8,528
令和4年度	18,393
令和5年度	5,182
計	45,104



款	02	総務費	項	04	選挙費	目	03	県知事県議会議員選挙費
事務事業名	01	県議会議員選挙執行业				6つの まちづくり		
担当部課	選挙管理委員会事務局			施策		施策体系外事業		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,690	2,685				2,685	5	P. 144	

【令和5年度における事務事業の概要】

令和5年4月9日執行の佐賀県議会議員選挙の管理執行経費として1,510千円、第20回佐賀県議会議員選挙に要する経費の返還額として1,175千円を支出しました。

※財源内訳について

一般財源のうち2,679千円は令和4年度に第20回佐賀県議会議員選挙に要する経費の交付(第1回)として県より交付済

- ・ 県議会議員選挙
  - 告示日 令和5年3月31日
  - 投票日 令和5年4月9日

【令和5年度における事務事業の成果】

- ・ 県議会議員選挙
  - 投票率 (伊万里市) 無投票 (H31県議会議員選挙 55.25%)  
(佐賀県) 42.44% (H31県議会議員選挙 46.12%)

※決算額は、総務課人件費等838千円を含みます。

## 佐賀県議会議員選挙



令和4年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール伊万里市審査会  
佳作 国見中学校 3年 上野 青空さんの作品

# 投票日は4月9日(日)

投票時間 午前7時～午後8時



選挙区議員選挙  
伊万里市ホームページ

土・日も  
投票できる
期日前投票
4/1<sup>土</sup>～4/8<sup>土</sup>  
投票時間/午前8時30分～午後8時  
投票場所/市役所1階市民ロビー

款	02	総務費	項	04	選挙費	目	04	市議会議員選挙費
事務事業名	01	市議会議員選挙執行业			6つのまちづくり			
担当部課	選挙管理委員会事務局		施策		施策体系外事業			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 146	
32,128	32,121				32,121	7		

【令和5年度における事務事業の概要】

令和5年4月23日執行の市議会議員選挙の管理執行経費として32,121千円を支出しました。

- ・市議会議員選挙
  - 告示日 令和5年4月16日
  - 投票日 令和5年4月23日

【令和5年度における事務事業の成果】

- ・市議会議員選挙
  - 投票率 59.79% (H31市議会議員選挙 61.93%)

※決算額は、総務課人件費等7,942千円を含みます。

## 伊万里市議会議員選挙

令和4年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール伊万里市審査会  
優秀賞 南波多郷学館 8年 梅村 瑠奈さんの作品

伊万里市ホームページ

土曜日も投票できる
期日前投票
4/17(月)～4/22(土)  
投票時間/午前8時30分～午後8時  
投票場所/市役所1階市民ロビー

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	03	社会福祉協議会支援事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		01	地域福祉の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
16,718		10,312				10,312	6,406	P. 152

【令和5年度における事務事業の概要】

地域福祉の充実を図るため、地域福祉活動の中核的存在である 社会福祉法人 伊万里市社会福祉協議会に対し、人件費の補助を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

伊万里市社会福祉協議会の職員の安定した雇用を維持することにより、地域関係団体等との連携による地域福祉の充実を図ることができました。

(単位：千円)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	対象人数	金額	対象人数	金額	対象人数	金額
補助金	5	11,892	5	13,376	4	10,312
運営費分	4	9,845	4	11,446	3	8,212
福祉バス分	1	2,047	1	1,930	1	2,100

※人数は、補助対象者人数。

補助対象者職種		令和3年度	令和4年度	令和5年度
		運営費分	副事務局長兼地域福祉係長	副事務局長兼地域福祉係長
		総務係長	総務係長	総務係長
		書記	書記	書記
		書記	書記	書記
福祉バス分		福祉バス運転手	福祉バス運転手	福祉バス運転手

※不用額の理由

- ①補助対象である人件費の一部が委託事業（国庫補助対象事業）から支出されたため。  
（対象人数も1名減）
- ②育児休業の職員の4月復帰を見込んでいたが、実際は6月から復帰したため。

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	04	民生・児童委員活動事業			6つの まちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施 策	01		地域福祉の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
23,774		23,405	12,849			10,556	369	P. 152

【令和5年度における事務事業の概要】

住民の身近な相談相手となり、関係機関の福祉サービス事業につなげる役割を担い、地域の社会福祉の増進に寄与する民生委員・児童委員の活動の支援を行いました。

●佐賀県民生委員・児童委員活動費等市町交付金

民生委員・児童委員活動費	60,200円/人 ×	161人 =	9,692,200円
民生委員・児童委員活動費（会長）	11,770円/人 ×	11人 =	129,470円
地区民生委員協議会運営費	1,700円/人 ×	163人 =	277,100円
地区民生委員協議会活動推進費	250,000円 ×	11地区 =	2,750,000円

【令和5年度における事務事業の成果】

民生委員・児童委員の活動を支援することにより、支援を必要とする地域住民の生活の安定に寄与することができました。

(単位：千円)

費 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
報 酬	36	229	0	委員交替なく、推薦会未開催
報 償 費	0	76	0	委員交替なく、感謝状なし
旅 費	4	40	13	会長会視察随行(費用弁償なし)
委 託 料	19,679	19,592	19,452	民生委員児童委員活動委託料
使用料及び賃借料	0	2	0	R4は改選で退任式会場使用料
負 担 金、補 助 金 及 び 交 付 金	3,950	3,950	3,940	全国民児協負担金・共助負担金 419千円 佐賀県民児協負担金 375千円 地区民児協運営費補助金 396千円 地区民児協活動推進費補助金 2,750千円
計	23,669	23,889	23,405	

○財源内訳

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般財源	10,700	10,930	10,556
県補助金	12,969	12,959	12,849
民生委員・児童委員活動費	9,813	9,773	9,693
民生委員・児童委員会長活動費	129	129	129
地区民生委員協議会運営費	277	277	277
地区民生委員協議会活動推進費	2,750	2,750	2,750
民生委員推薦会費	-	30	-

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	07	避難行動要支援者支援事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	01		地域福祉の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
529		490				490	39	P. 152

【令和5年度における事務事業の概要】

災害時に円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、避難等に支援を要する避難行動要支援者のうち、地域の避難支援関係者（駐在員、民生委員・児童委員、防災会長、消防署、警察署、社会福祉協議会）への情報提供に同意された人の名簿及び個別避難計画を作成し提供しました。

また、この名簿及び個別避難計画は年に2回更新を行っていますが、実用性のある個別避難計画となるよう避難支援関係者（特に民生委員・児童委員）に、本人や家族の状況確認や新規登録・施設入所などの現状報告をいただくことで見直しを行っています。

なお、対象者のうち返答がなく状況が確認できていない人については、各地区の民生委員・児童委員に状況確認を依頼し多数の方から回答を得ることができました。

《対象者》

生活の基盤が自宅にある人のうち、次のいずれかに該当する人。

- ・要介護認定を受けている人（要介護1～5）
- ・身体障がい者手帳の1, 2級（総合等級）で第一種の人（心臓、腎臓機能障がいのいずれかのみ該当する人は除きます）
- ・療育手帳Aの人
- ・精神障がい者保健福祉手帳1～2級で単身世帯の人
- ・市が実施する生活支援サービスを受けている難病患者
- ・上記以外で市が支援の必要を認めた人

【令和5年度における事務事業の成果】

同意者名簿を駐在員、民生委員・児童委員、防災会長、消防署、警察署、社会福祉協議会に提供し、地域における支援体制の推進を図ることができました。

随時、名簿登録情報の追加・修正・削除を行うことで、最新の状況を反映した名簿と個別避難計画の提供を行いました。

名簿登録者数（年度末現在の人数）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
避難行動要支援者名簿登録者数	2,852人	1,939人	1,835人
同意者数	1,033人	1,005人	1,171人
その他	—	217人	409人
未回答	—	717人	255人

※同意者以外の内容精査は令和4年度から実施

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	03	障がい者(児)介護・訓練等給付事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		03	障がい者支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 154	
1,566,809	1,540,330	1,110,861			429,469	26,479		

【令和5年度における事務事業の概要】

障がい者(児)が利用する障がい福祉サービス(訪問系、日中活動系、施設系、訓練・就労系など)の利用に要する費用を支給しました。

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

[特定財源] 障がい者自立支援給付費負担金《負担割合:国1/2、県1/4》

<決算額(支出済額)の推移>

(単位:千円)

歳出(節以下)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
役務費(支払事務手数料)	1,866	1,808	1,903
扶助費(自立支援給付費等)	1,484,852	1,432,375	1,481,148
返還金(国庫支出金等精算返納金)	20,197	46,232	57,279

【令和5年度における事務事業の成果】

障がい福祉サービスの提供を通じて、障がい者の充実した生活や地域における社会参加を支援することができました。

支援の種類(主なもの)		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問系	居宅介護	決定者数	83人	87人	102人
		延べ利用者数	854人	861人	916人
日中活動系	療養介護	決定者数	21人	21人	20人
		延べ利用者数	252人	252人	242人
	生活介護	決定者数	169人	167人	174人
		延べ利用者数	1,988人	1,941人	2,008人
短期入所	決定者数	95人	97人	103人	
	延べ利用者数	278人	298人	373人	
施設系	施設入所支援	決定者数	97人	94人	94人
		延べ利用者数	1,153人	1,136人	1,130人
訓練・就労系	就労移行支援	決定者数	9人	7人	12人
		延べ利用者数	140人	79人	75人
	就労継続支援	決定者数	287人	296人	300人
		延べ利用者数	3,107人	2,995人	3,078人
居住系	共同生活援助	決定者数	108人	110人	121人
		延べ利用者数	1,271人	1,237人	1,289人
相談系	計画相談支援	決定者数	552人	554人	572人
		延べ利用者数	1,782人	1,726人	1,902人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	04	障がい者（児）自立支援医療等給付事業			6つのまちづくり		01	安心して健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		03	障がい者支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 156	
127,996	112,679	80,226			32,453	15,317		

【令和5年度における事務事業の概要】

【更生医療】

18歳以上の身体障がい者に対し、障がいの除去や軽減を図るための医療に要した費用を支給しました。

【育成医療】

身体に障がいをもつ18歳未満の児童、又は現在の状況をそのままにすると将来的に身体に障がいを残すと認められる児童に対し、原則手術により、将来、生活能力を得させるための医療に要した費用を支給しました。

【療養介護医療】

医療が必要かつ常時介護を必要とする障がい者に対し、医療機関での機能訓練、療養上の管理、看護、介護、日常生活の世話などに要する費用を支給しました。

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

[特定財源] 障がい者自立支援医療費負担金《負担割合：国1/2、県1/4》

<決算額（支出済額）の推移>

(単位：千円)

歳出（節以下）	令和3年度	令和4年度	令和5年度
役務費（支払事務手数料）	219	220	209
扶助費（医療給付費）	113,993	113,304	106,969
返還金（国庫支出金等精算返納金）	4,918	3,206	5,501

【令和5年度における事務事業の成果】

【更生医療】 ※主な事業として抜粋

給付の種類	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人工透析	決定者数	211 人	226 人	233 人
	延べ支給件数	4,561 件	4,447 件	4,220 件
心臓	決定者数	51 人	66 人	49 人
	延べ支給件数	75 件	97 件	86 件
整形	決定者数	5 人	10 人	12 人
	延べ支給件数	17 件	15 件	14 件
肝臓	決定者数	3 人	3 人	3 人
	延べ支給件数	18 件	24 件	24 件
免疫	決定者数	5 人	7 人	7 人
	延べ支給件数	40 件	63 件	56 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	05	障がい者（児）補装具等給付事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		03	障がい者支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 156	
19,162	18,136	13,589			4,547	1,026		

【令和5年度における事務事業の概要】

身体障がい者（児）に対し、日常生活及び社会生活をより容易にするための補装具の購入・修理、補聴器の購入・修理・更新等に要する費用を支給しました。

○補装具交付

[対象者] 身体障がい者等（対象品目に応じて身体障がい者手帳が一定の等級以上、難病患者等）

[対象品目] 義肢（義手・義足）、装具、補聴器、車椅子など

[特定財源] 障がい者自立支援給付費負担金《負担割合：国1/2、県1/4》

○軽度・中度難聴児補聴器給付事業

[対象者] 身体障がい者手帳の交付対象外の軽度・中度難聴児、又は人工内耳を装着する難聴児

[対象品目] 補聴器の購入・修理・更新、人工内耳体外機の更新

[特定財源] 佐賀県難聴児補聴器購入費助成事業補助金《補助率：県1/2以内》

<決算額（支出済額）の推移>

（単位：千円）

歳出（節以下）	令和3年度	令和4年度	令和5年度
扶助費	13,164	13,604	18,136
（補装具費）	(13,087)	(13,352)	(18,084)
（軽度・中度難聴児補聴器給付費）	(77)	(252)	(52)

【令和5年度における事務事業の成果】

補装具の購入や修理、補聴器の購入や修理、更新等に要する費用を給付し、身体障がい者（児）の日常生活と社会生活の利便性の向上を図ることができました。

○補装具

装具等の種類（主なもの）	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
装具	決定者数	40 人	44 人	40 人
	延べ支給件数	42 件	50 件	47 件
補聴器	決定者数	33 人	26 人	25 人
	延べ支給件数	33 件	26 件	26 件
車椅子	決定者数	54 人	42 人	45 人
	延べ支給件数	63 件	53 件	49 件

○軽度・中度難聴児補聴器、人工内耳

補聴器等の種類（主なもの）	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
重度難聴用耳かけ型	決定者数	- 人	1 人	- 人
	延べ支給件数	- 件	1 件	- 件
軽度・中度難聴用耳かけ型	決定者数	1 人	1 人	2 人
	延べ支給件数	1 件	1 件	3 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	06	障がい者（児）相談支援事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,371	1,000	396			604	371	P. 156	

【令和5年度における事務事業の概要】

- 障がい者相談事業  
 [根拠規定] 身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、伊万里市障がい者相談員設置要綱  
 [事業内容] 障がい者の更生援護に関する相談支援、関係機関の業務協力 等  
 [委嘱先] 身体障がい者相談員10人、知的障がい者相談員2人
- 精神保健相談事業  
 [根拠規定] 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律  
 [事業内容] 精神に障がいがある人の相談支援（平成14年4月権限移譲事務）等  
 [対応人員] 精神保健福祉相談員1人 ※課内配置
- 自殺対策（自殺予防啓発）事業  
 [根拠規定] 自殺対策基本法  
 [事業内容] 自殺予防に関する啓発（3月の自殺対策強化月間に合わせたケーブルテレビでの啓発番組の放送）
- 障がい者相談支援事業（基幹相談支援）  
 [根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
 [事業内容] 障がい者やその家族等からの相談対応、サービスの情報提供や手続の支援等  
 [対象地域] 原則として伊万里市  
 [特定財源] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

【令和5年度における事務事業の成果】

- 障がい者相談、精神保健相談

支援の種類	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
障がい者相談事業	延べ対応件数	96 件	41 件	69 件
精神保健相談事業	延べ対応件数	60 件	30 件	47 件

- 障がい者相談支援事業（基幹相談支援）

支援の種類	令和4年度	令和5年度
相談者数	355 人	490 人
延べ相談・支援件数	2,158 件	3,358 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	08	手話通訳者・要約筆記者派遣養成事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	03		障がい者支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,356	1,355	502			853	1	P. 158	

【令和5年度における事務事業の概要】

○手話通訳者・要約筆記者派遣事業

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市手話通訳者・要約筆記者派遣事業実施要綱

[対象者] ・聴覚障がい者又は音声・言語機能障がい者等で、コミュニケーションの手段として手話又は要約筆記を使用する者

・聴覚障がい者等が参加する大会、講演、講習会等の主催者

[派遣条件] ・届出、相談等のため、公的機関に赴く場合

・受診、相談等のため、医療機関等に赴く場合

・就業等の職業に関することで、事業所等に赴く場合 など

[基準単価] ・派遣活動費：最初の1時間まで2,600円、以降30分ごと800円加算

・コーディネート費：申請1回当たり1,000円

※手話通訳者等の交通費、入場料その他の実費は、派遣対象者の負担

[委託先] 一般社団法人 佐賀県聴覚障害者協会

[特定財源] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

○手話奉仕員養成事業

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市手話奉仕員養成事業実施要綱

[対象者] 手話の学習経験がなく、聴覚障がい者等の福祉増進に理解と熱意がある者

[事業内容] 『手話奉仕員及び手話通訳者養成カリキュラム』に基づく講習

※受講者数は25名を上限、講座は1回当たり2時間・全47回

[受講料] 無料

※講師料(1人1時間当たり2,500円)、テキスト代(3,300円)等は公費負担

[委託先] 一般社団法人 佐賀県聴覚障害者協会

[特定財源] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

<決算額（支出済額）の推移>

(単位：千円)

歳出（節以下）	令和3年度	令和4年度	令和5年度
需用費（消耗品費）	88	85	78
役務費（郵送料）	4	4	4
委託料	1,023	1,175	1,268
（手話通訳者・要約筆記者派遣事業委託料）	(228)	(346)	(435)
（手話奉仕員養成講座開催業務委託料）	(795)	(829)	(833)
負担金、補助及び交付金			
（手話研修会参加負担金）	0	0	5

【令和5年度における事務事業の成果】

支援の種類	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
手話通訳者・要約筆記者派遣事業	延べ派遣回数	96 回	79 回	106 回
手話奉仕員養成事業（講座開催）	受講修了者数	7 人	19 人	10 人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	09	障がい者（児）等日常生活用具給付事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
12,066	10,754	3,951			6,803	1,312	P. 158	

【令和5年度における事務事業の概要】

在宅の重度障がい者に対して、日常生活をより便利にするための日常生活用具を給付しました。

○重度障がい者等日常生活用具給付事業

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市重度障がい者等日常生活用具給付等事業実施要綱

[対象者] 在宅の重度障がい者（児）（身体障がい者手帳が概ね2級以上、療育手帳A、難病患者等）

[対象品目] 日常生活用具（入浴補助用具、ストーマ装具、紙おむつ等）

[特定財源] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

○小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業

[根拠規定] 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知（「小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業の実施について」）

伊万里市小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業実施要綱

[対象者] 在宅の小児慢性特定疾病（845疾病、R6.3.31現在）医療の給付対象児童

[対象品目] 日常生活用具（入浴補助用具、ストーマ装具、紙おむつ等）

[特定財源] 佐賀県小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業費補助金  
《補助率：県1/2》

<決算額（支出済額）の推移>

（単位：千円）

歳出（節以下）	令和3年度	令和4年度	令和5年度
扶助費	11,523	10,249	10,659
（日常生活用具給付費）	(11,523)	(10,249)	(10,659)
（小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付費）	(0)	(0)	(0)
返還金（国庫支出金等精算返納金）	-	64	95

【令和5年度における事務事業の成果】

介護・訓練支援用具などの日常生活用具を給付し、在宅の重度障がい者の生活支援を図ることができました。

○日常生活用具給付事業

用具の種類 ※内訳は主なもの	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護・訓練支援用具	- 件	2 件	4 件
自立生活支援用具	7 件	1 件	8 件
在宅療養等支援用具	3 件	3 件	5 件
情報・意思疎通支援用具	13 件	6 件	10 件
排泄管理支援用具	1,069 件	1,037 件	1,063 件
居宅生活動作補助用具（住宅改修費）	2 件	1 件	- 件

○小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業

※過去3年間（令和3年度～令和5年度）実績なし。

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	10	障がい者（児）移動支援事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
7,243	6,189	1,214			4,975	1,054	P. 158	

【令和5年度における事務事業の概要】

- 移動支援事業
  - [対象者] 在宅の障がい者(児)で身体介護や見守り等が必要な者
  - [事業内容] 社会生活上又は余暇活動など社会参加のために、障がい者(児)が公共交通機関を利用して外出する場合(原則として佐賀県内)に実施する。
  - [特定財源] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》
- タクシー利用料金助成(福祉タクシー利用券発行)事業 ※市単独事業
  - [対象者] 在宅の障がい者のうち、身体障がい者手帳(1・2級)所持者、療育手帳(障がい程度A)または精神障がい者保健福祉手帳(1・2級)所持者
  - [事業内容] 福祉タクシー利用券(1枚当たり500円×20枚)を年間に1冊交付する。
- 自動車運転免許取得費補助金 ※市単独事業
  - [対象者] 市内に住所を有する障がい者
  - [事業内容] 障がい者の自動車運転免許の取得に要した経費のうち100,000円を上限として交付する。
- 身体障がい者用自動車改造補助金 ※市単独事業
  - [対象者] 身体障がい者手帳1級所持者又は2級の上肢、下肢又は体幹機能障がい者
  - [事業内容] 自動車の操向装置及び駆動装置等の改造に要する経費のうち100,000円を上限として交付する。

<決算額(支出済額)の推移>

(単位：千円)

歳出(節以下)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料 (障がい者移動支援事業委託料) (福祉タクシー券共通利用精算等業務委託料)	3,410 (3,370) (40)	3,655 (3,615) (40)	3,320 (3,274) (46)
障がい者自動車運転免許取得費補助金		400	600
身体障がい者用自動車改造等補助金		200	0
扶助費(福祉タクシー利用料金助成費)	2,493	2,445	2,269

【令和5年度における事務事業の成果】

支援の種類	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
移動支援事業	利用者数	25 人	26 人	26 人
	延べ利用回数	558 回	549 回	488 回
タクシー利用料金助成事業 (福祉タクシー利用券交付)	交付者数	367 人	366 人	352 人
	使用枚数	4,986 枚	4,890 枚	4,539 枚
運転免許取得費補助金	補助件数	0 件	4 件	6 件
自動車改造補助金	補助件数	0 件	2 件	0 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	12	障がい者（児）日中生活支援事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	03		障がい者支援の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,620		4,555	1,770			2,785	1,065	P. 158

【令和5年度における事務事業の概要】

障がい者支援施設等において、障がい者の日中における活動の場を提供しました。  
また、居宅における訪問入浴車での入浴介助サービスを提供しました。

○日中一時支援事業

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市障がい者等日中一時支援事業実施要綱

[対象者] 在宅の障がい者（児）で、日中に監護者がおらず一時的な見守りが必要な者

[事業内容] 障がい者支援施設等において、障がい者（児）の日中活動の場の提供や一時的な見守り、社会に適応するための日常的な訓練等を実施する。  
※宿泊を伴うものを除く。

[基準単価(1回)] 4時間以下：1,220円～5,970円

4時間超8時間以下：2,440円～11,950円

8時間超：3,660円～17,920円

送迎加算：550円（特別支援学校から施設までの区間）

入浴加算：2,000円（重度心身障がい児が入浴を利用する場合）

[特定財源] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

○訪問入浴サービス事業

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市障がい者等訪問入浴サービス事業実施要綱

[対象者] 在宅の障がい者（児）で、当該事業を利用しなければ入浴が困難な者

※本事業に相当する他のサービス給付が受給可能な者を除く。

[事業内容] 居宅を訪問し、浴槽を提供して行われる入浴介護（訪問入浴車など）

※利用回数は、1週間のうち3回以内

[基準単価(1回)] 12,500円

[特定財源] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

＜決算額（支出済額）の推移＞

(単位：千円)

歳出（節以下）	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	4,276	3,806	3,927
（障がい者等日中一時支援事業委託料）	(1,489)	(1,393)	(1,289)
（障がい者等訪問入浴サービス事業委託料）	(2,787)	(2,413)	(2,638)
重度障がい者地域生活重点支援事業費補助金	重度障がい者地域生活重点支援事業	541	628

【令和5年度における事務事業の成果】

障がい者（児）の日中における活動の場を提供するとともに、家族等の介護者の一時的な休息を確保することができました。

また、訪問入浴サービスを提供し、障がい者（児）の身体の清潔の保持を図ることができました。

支援の種類	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
日中一時支援事業	利用者数	21人	21人	19人
	延べ利用回数	585回	558回	537回
訪問入浴サービス事業	利用者数	3人	3人	3人
	延べ利用回数	223回	182回	211回

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	14	重度障がい者（児）医療給付事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	03		障がい者支援の充実
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
95,694	94,776	49,205			45,571	918	P. 160	

【令和5年度における事務事業の概要】

重度の心身障がい者（児）が診療を受けた場合に要する医療費を助成しました。

[根拠規定] 伊万里市重度心身障がい者の医療費の助成に関する条例

[対象者] 精神又は身体に重度の障がいを持つ者（児）で、公的保険（国民健康保険、社会保険、後期高齢者医療制度等）の被保険者又は被扶養者

- ・知的障がい：療育手帳A所持者
- ・身体障がい：身体障がい者手帳（障がい等級1・2級）所持者
- ・精神障がい：精神障がい者保健福祉手帳（障がい程度1級）所持者
- ・重複障がい：身体障がい者手帳（障がい等級3級）かつ療育手帳（知能指数50以下）の所持者

※生活保護費受給者を除く、対象者を含む世帯の所得制限あり

[助成額] 医療機関等での診療（入院を含む）に要した1月当たりの医療費（保険適用分）の自己負担額から、その他の医療給付や保険給付等を控除し、かつ500円（最終自己負担額）を差し引いた額

[助成方式] 償還払い方式

[特定財源] 佐賀県重度心身障がい者医療助成事業費補助金《補助率：県1/2》

<決算額（支出済額）の推移>

（単位：千円）

歳出（節以下）	令和3年度	令和4年度	令和5年度
扶助費（重度心身障がい者医療費助成金）	97,339	91,352	94,776

【令和5年度における事務事業の成果】

医療費の自己負担額を助成することで、重度の心身障がい者（児）の福祉の増進を図ることができました。

給付の対象	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
重度心身障がい者医療費助成	受給資格者数	1,084 人	1,087 人	1,069 人
	延べ支給件数	26,375 件	26,239 件	26,905 件
	（通院）	(24,797 件)	(24,773 件)	(25,429 件)
	（入院）	(1,578 件)	(1,466 件)	(1,476 件)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	15	障がい児通所給付事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策	03	障がい者支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 160	
355,433	339,931	236,288			103,643	15,502		

【令和5年度における事務事業の概要】

○障がい児やその保護者が利用する児童通所サービス（児童発達支援、放課後等デイサービスなど）の利用に要する費用を給付しました。

〔根拠規定〕 児童福祉法

〔特定財源〕 障がい児通所給付費等負担金《負担割合：国1/2、県1/4》

<決算額（支出済額）の推移>

(単位：千円)

歳出（節以下）	令和3年度	令和4年度	令和5年度
役務費（支払事務手数料）	616	630	694
扶助費	277,757	291,443	315,191
返還金（国庫支出金等精算返納金）	6,398	3,562	24,046

【令和5年度における事務事業の成果】

障がい児や保護者に対し、日常生活における基本的動作や知識技能の習得、集団生活への適応訓練などの機会を提供することができました。

○障がい児通所給付費等

支援の種類	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童発達支援	決 定 児 童 数	67 人	72 人	86 人
	延べ利用児童数	635 人	674 人	877 人
放課後等デイサービス	決 定 児 童 数	135 人	144 人	154 人
	延べ利用児童数	1,513 人	1,584 人	1,622 人
保育所等訪問支援	決 定 児 童 数	10 人	17 人	26 人
	延べ利用児童数	8 人	19 人	18 人
障がい児相談支援	決 定 児 童 数	211 人	236 人	264 人
	延べ利用児童数	622 人	633 人	708 人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	16	障がい児生活適応施設（ひまわり園）管理運営事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課				施策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
30,050	30,016			18,949	11,067	34	P. 160	

【令和5年度における事務事業の概要】

指定児童発達支援事業所「伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園」（療育施設）を指定管理者制度により運営しました。

〔根拠規定〕 児童福祉法

伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園条例

〔事業所概要〕

・場所：伊万里市立花町（木造平屋建）

・開園日：月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

・受入対象地域：伊万里市、有田町

・職員数：管理者（園長）1人、児童発達支援管理者1人、指導員4人

・定員：1日当たり概ね10人

〔指定管理者〕 社会福祉法人 伊万里福祉会（指定期間：令和3年度～令和5年度）

〔特定財源〕 障がい児通所給付費（伊万里市・有田町）、運営費負担金（有田町）

※無償化対象外児童の使用料（利用者負担額）は全額減免措置

<決算額（支出済額）の推移>

（単位：千円）

歳出（節以下）	令和3年度	令和4年度	令和5年度
需用費（修繕料）	-	20	-
需用費（消耗品費）	-	-	25
役務費（手数料）	-	-	29
委託料（指定管理料）	27,066	29,343	29,962

【令和5年度における事務事業の成果】

心身の発達に支援を要する児童とその保護者に対し、1人ひとりの成長に合わせた訓練や指導を行うことができました。

支援の種類	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童発達支援	在園児童数[月最大]	37 人	36 人	38 人
	（うち新規入園）	(16 人)	(19 人)	(14 人)
	伊万里市	33 人	35 人	38 人
	（うち新規入園）	(16 人)	(18 人)	(14 人)
	有田町	4 人	1 人	-
	（うち新規入園）	(- 人)	(1 人)	(- 人)
	延べ利用日数	1,256 日	1,308 日	1,431 日

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	17	特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	04		子育て支援の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
23,888	20,975	10,136			2,085	8,754	2,913	P. 160

【令和5年度における事務事業の概要】

就労等により保護者が昼間家庭にいない特別支援学校の児童生徒を預かり、適切な遊びや生活の場として学校の余裕教室を提供しました。

[根拠規定] 伊万里市特別支援学校留守家庭児童クラブ条例

[施設概要] ・場所 : 伊万里市大坪町(伊万里特別支援学校内のプレイルーム棟ほか)

・開所日 : 月曜日～土曜日(祝日を除く)

学校が授業日の場合 午後1時30分～午後6時

学校が休業日の場合 午前8時～午後6時

・職員数 : 基準指導員5人、介助補助員3人

・定員 : 1日当たり20人

[対象者] 伊万里特別支援学校に就学する者で、保護者が就労等により昼間不在の家庭の児童(小学部)又は生徒(中学部・高等部)

[利用料] 1人当たり日額300円(月額3,000円を上限)

※同一世帯に2人以上が利用する場合は、2人目以降は1人当たり日額150円(月額1,500円を上限)

[委託先] はってんクラブ運営協議会(構成団体:伊万里特別支援学校保護者会、社会福祉法人 桑梓舎)

[特定財源] 佐賀県特別支援学校放課後児童健全育成事業費補助金《補助率:県1/2》  
運営費負担金(対象者の居住市町)

<決算額(支出済額)の推移>

(単位:千円)

歳出(節以下)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料(特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業委託料)	23,822	23,362	20,975

【令和5年度における事務事業の成果】

特別支援学校留守家庭児童クラブ(はってんクラブ)を利用する児童・生徒の健全な育成と、保護者の子育てと仕事の両立を支援することができました。

事業の内容	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業	登録児童・生徒数[月最大]	42人	50人	48人
	伊万里市	38人	44人	42人
	有田町	3人	5人	5人
	武雄市	1人	1人	1人
	延べ利用日数	3,884日	3,692日	3,166日
	平均利用者数(1日当たり)	16人	17人	14人



2. 認知症高齢者等の損害保険への加入

**【令和5年度における事務事業の概要】**

認知症高齢者（若年性認知症を発症した者を含む。）又は療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を持っている人が、第三者に対して法律上の損害賠償責任を負う場合に備えて、認知症高齢者等を被保険者とする個人賠償責任保険に、市が保険契約者として加入し、保険加入料の全額を市が負担しました。

(1) 保険が適用される時

- ・ 日常生活で他人のものを壊してしまった
- ・ 自転車に乗っていて歩行者にぶつかり、けがをさせてしまった
- ・ 線路内に立ち入って電車に接触し、鉄道会社に車両損壊や遅延損害を与えた など

(2) 保険加入の対象者

次の（ア）又は（イ）のいずれか、かつ（ウ）及び（エ）のいずれにも該当する人が対象

- （ア） 在宅の認知症高齢者で「日常生活自立度」がⅡa（※1）以上相当である人
- （イ） 療育手帳、又は精神障がい者保健福祉手帳（てんかん、中毒精神病、器質性精神障がいがある、もしくは認知症に起因して日常生活能力のうち身の安全保持又は危機対応ができないものに限る。）の交付を受けている在宅の人
- （ウ） 市税、介護保険料及び後期高齢者医療保険料の滞納がない人
- （エ） 他に同種の保険に加入していない人

※1 日常生活の中で、たびたび道に迷う、買い物や金銭管理等にミスが目立つなどの症状や行動が見られる。意思疎通の困難さが多少見られるが、誰かが注意していれば自立できる状態。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

保険に加入することで、本人や家族の不安を解消し、生活の安全・安心を確保することができました。

1. 保険への加入状況（令和2年8月事業開始）

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加入者数※1	35人	34人	32人
うち加入※2	40人	50人	44人
うち廃止※3	5人	16人	12人

（加入者数は年度末の数）

※1 うち、令和3～5年度の障がい者（児）は0人

※2 前年度継続分も含む

※3 廃止理由 令和3年度 施設入所4人、死亡1人  
 令和4年度 施設入所6人、死亡5人、長期入院5人  
 令和5年度 施設入所6人、死亡1人、長期入院5人

2. 保険契約内容

保 険 会 社	インズパークス株式会社（伊万里市新天町77番地1）
年 間 保 険 料	1,810円/年

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	05	敬老行事支援事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 長寿社会課			施 策		02	高齢者支援の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,742		5,529				5,529	213	P. 162

【令和5年度における事務事業の概要】

高齢者に敬意を表し長寿を祝うために、敬老の日を中心に市内各地で実施される敬老行事を支援しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

敬老行事の実施を支援することにより、長寿の節目を迎えた高齢者に敬意を表し、長寿を祝福することができました。

敬老行事支援交付金 7,372人×750円＝5,529,000円（13町及び4施設に交付）

1. 実施状況

13町 (区長会等)	町	実施主体	町	実施主体
	伊万里地区	町	南波多町	町
	牧島地区	町	大川町	区
	立花地区	区	松浦町	町
	大坪地区	区	二里町	町
	大川内地区	区	東山代町	区
	黒川町	町	山代町	区
	波多津町	町	町主体：7町 / 区主体：6町	

施設	特別養護老人ホーム	長生園（伊万里市立花町2703番地2）
		敬愛園（伊万里市黒川町大黒川2201番地）
		グランパランいまり（伊万里市大坪町乙1579番地2）
	養護老人ホーム	伊万里向陽園（伊万里市立花町2404番地10）

2. 対象者

10月1日時点で77歳以上の高齢者

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数	7,632人	7,566人	7,372人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	07	公共老人施設管理運営事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 長寿社会課			施策	02	高齢者支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 164	
14,323	14,133				14,133	190		

【令和5年度における事務事業の概要】

伊万里市老人福祉センターの管理運営は、指定管理者制度により指定管理者が行い、管理運営費として指定管理料を支払いました。

対象施設	施設名称 (住所)	指定管理者
	伊万里市老人福祉センター (伊万里市松島町73番地1)	伊万里市社会福祉協議会
主な利用内容	健康麻雀、囲碁、大正琴、手芸、百歳体操など 大浴場：月～金曜日 午前11時～午後3時まで	
開館日	月～土曜日 午前9時～午後4時30分まで	
休館日	日曜日、祝日、年末年始（12月29日～31日、1月2日～3日）	
使用料	市内：1日20円/市外：1日50円 ※特別利用券：半年500円	

【令和5年度における事務事業の成果】

高齢者の教養の向上やレクリエーション活動のための場など、総合的なサービスを提供することにより、健康増進や社会参加活動を促進することができました。また、指定管理者制度を導入し、民間事業者の創意工夫による質の高いサービスを行うことができました。

対象施設	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
老人福祉センター	利用者数	15,696人	16,302人	13,890人
	1日平均利用者数	59人	56人	47人
	年開館日	268日	292日	293日
	指定管理料	7,859,000円	7,985,000円	7,985,000円

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館や利用制限あり

※令和5年度はボイラー故障により、4～6月は大浴場を休止

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	02	人権意識啓発事業	6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	市民交流部 人権・同和対策課		施策	11	人権教育と啓発の推進			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
649	610	603			7	39	P. 166	

【令和5年度における事務事業の概要】

すべての人の人権が尊重される明るく住みよい社会の実現を目指し市民の人権意識の高揚を図るため、次代を担う高校生と人権擁護機関などが連携して行う「ハートフルフォーラム2023in伊万里」や人権啓発映画上映会「伊万里じんけんシアター」を開催しました。また、のぼり旗や懸垂幕等々の掲示による啓発を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

○ハートフルフォーラム2023in伊万里

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止していた参集型のフォーラムを、人権週間にあわせ12月5日に伊万里市民センターで開催しました。

敬徳高等学校の生徒を中心に伊万里人権擁護委員協議会や伊万里市男女参画懇話会「いまりプラザ」などで実行委員会を組織し、企画・運営にあたりました。



ハートフルフォーラム デートDV防止啓発紙芝居

フォーラムでは、敬徳高校生徒による人権に関する意見発表やデートDV防止啓発紙芝居の後に、人権講演や人権コンサートを行い、500人を超える来場がありました。

来場者のアンケートでは、94.9%の方が人権問題に対する関心・理解が「大変深まった」、「ある程度深まった」と回答しており、効果的な人権啓発イベントとなりました。

○伊万里じんけんシアター

同和問題をテーマとして、島崎藤村原作の映画「破戒」の上映会を、同和問題啓発強調月間にあわせ8月19日に市民図書館で開催しました。

1部・2部あわせて140人の来場があり、映画鑑賞者のアンケートでは、79.0%の方が同和問題に対する関心・理解が「大変深まった」、「ある程度深まった」と回答しており、同和問題への理解や人権意識の向上を図ることができました。

令和5年度 法務省人権啓発活動地方委託事業  
 伊万里じんけんシアター  
 主催：伊万里市・伊万里市教育委員会  
 後援：唐・伊万里人権啓発活動実行委員会

8月19日(土)  
 1部 10時～12時 (開場 9:30)  
 2部 14時～16時 (開場 13:30)  
 伊万里市民図書館  
 ホール

入場無料
事前申込が必要
各回定員 140名

お問い合わせ・お申し込み先 TEL 0955-23-2190  
 伊万里市役所 FAX 0955-23-2121  
 人権・同和対策課 メール jinken-douwa@city.imari.lg.jp

伊万里じんけんシアターチラシ

○のぼり旗などによる啓発

8月の同和問題啓発強調月間や12月の人権週間において、市の公共施設等に、のぼり旗、懸垂幕、横断幕を掲示するなど、市民への啓発を行いました。

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	03	同和問題研修参加促進・地区活動支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 人権・同和対策課			施策	11		人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 166	
8,475	8,302				8,302	173		

【令和5年度における事務事業の概要】

同和問題の正しい理解と早期解決を実現するための活動を実施する2つの運動団体に対して、補助金を交付し活動を支援しました。

○交付額

部落解放同盟佐賀県連合会伊万里支部	5,600,000円
全日本同和会佐賀県連合会伊万里支部	2,702,030円
合 計	8,302,030円

【令和5年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年は各種大会への参加の見合わせや、大会自体の中止、オンラインでの開催となるなど活動が制限されてきましたが、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、ほとんどの大会で制限がなくなり従来の形態で開催されました。

このような中、運動団体においても、同和問題の正しい理解と早期解決の実現を目指し、関係機関と連携して活発な運動を展開するなど、行政の補完的な役割を果たすことができました。



佐賀県作成の同和問題啓発ポスター

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	04	隣保館管理運営事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	市民交流部 人権・同和対策課			施 策	11	人権教育と啓発の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,975	1,753	846		10	897	222	P. 166	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

福祉の向上や人権啓発の住民活動及び地域交流の拠点として、生活上の各種相談事業や人権教育と啓発推進のための各種事業を行いました。主な事業は下記のとおりです。

- 相談事業
  - ・相談受付
- 地域福祉事業
  - ・高齢者あいさつ声かけ巡回(毎週水曜日)
  - ・ふれあい昼食会
- 地域交流事業
  - ・大川町夏休みワイワイキャンプ
  - ・大川・松浦小学校6年生交流事業
  - ・はつらつサロン
  - ・百歳体操
- 啓発・広報活動
  - ・隣保館だより(月1回発行)
  - ・研修団体受入

**【令和5年度における事務事業の成果】**

各種相談事業では、必要に応じて関係行政機関に連絡や紹介を行い適切な支援を行うことができました。また、地域交流事業や研修団体の受入れを通して、参加者の人権意識の高揚を図ることができました。

- 相談事業
  - ・相談受付 …48件
- 地域福祉事業
  - ・高齢者あいさつ声かけ巡回(毎週水曜日) …50回
  - ・ふれあい昼食会 …3回31名参加
- 地域交流事業
  - ・大川町夏休みワイワイキャンプ(7月22・23日) …83名参加
  - ・大川・松浦小学校6年生交流事業(2月3日) …60名参加
  - ・はつらつサロン …13回90名参加
  - ・百歳体操(令和6年1月～) …8回42名参加
- 啓発・広報活動
  - ・隣保館だより(月1回発行) …12回発行
  - ・研修団体受入 …15団体202名



伊万里市隣保館

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	07	子どもの医療費助成事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 174	
221,702	209,829	43,903		111,643	54,283	11,873		

【令和5年度における事務事業の概要】

疾病の早期発見・早期治療を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、子どもの医療費の自己負担分の一部を助成しました。

◇保護者負担額

(未就学児児童)

通院・入院・調剤 自己負担なし

(小・中学生)

通院及び入院：1医療機関1月1,000円を上限

調剤：自己負担なし

(高校生世代)

入院：1医療機関1月1,000円を上限

通院及び調剤：自己負担

【令和5年度における事務事業の成果】

子どもの医療費の自己負担分の一部を助成することにより、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることができました。

○ 令和5年度の助成実績

未就学児実績額	89,810,870円
小・中学生実績額	110,930,602円
高校生世代実績額	698,110円
合 計	201,439,582円

※令和5年度から、未就学児の医療費の保護者負担をなくすとともに、高校生の入院分の助成を開始しました。

● 過去の実績

	令和3年度	令和4年度
未就学児実績額	78,889千円	75,539千円
小・中学生実績額	79,750千円	89,546千円
合 計	158,639千円	165,085千円

※財源内訳の「その他」のうち111,600千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	09	ひとり親家庭等医療費助成事業			6つのまちづくり	01	安心して健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 174	
25,860	22,420	15,799			6,621	3,440		

【令和5年度における事務事業の概要】

ひとり親家庭等（母子家庭、父子家庭及び父母のいない児童の養育者家庭）の生活の安定と福祉の向上を図るため、医療費の自己負担分の一部を助成しました。

（医療費の助成）

医療を受けた日の翌月から起算して1年以内の医療費（保険診療分）について申請を受け付け、申請月の翌月末に助成しました。

◇受給者自己負担上限月額 500円（1人あたり）

【令和5年度における事務事業の成果】

ひとり親家庭等の医療費の自己負担分の一部を助成することで、その生活の安定と福祉の向上を図ることができました。

○ 令和5年度の助成実績

		受給対象者	助成件数	助成実績額	財源
母子家庭	母	503人	6,081件	16,563,017円	県1/2 市1/2
	児童	763人	4,659件	4,648,910円	県1/2 市1/2
父子家庭	父	36人	304件	1,052,858円	県1/2 市1/2
	児童	42人	182件	155,450円	県1/2 市1/2

● 過去の実績

令和4年度

		受給対象者	助成件数	助成実績額	財源
母子家庭	母	522人	5,718件	16,092,093円	県1/2 市1/2
	児童	746人	3,890件	4,468,008円	県1/2 市1/2
父子家庭	父	32人	342件	1,460,632円	県1/2 市1/2
	児童	39人	222件	338,983円	県1/2 市1/2

令和3年度

		受給対象者	助成件数	助成実績額	財源
母子家庭	母	554人	5,683件	16,452,271円	県1/2 市1/2
	児童	770人	4,023件	5,229,873円	県1/2 市1/2
父子家庭	父	37人	297件	1,117,914円	県1/2 市1/2
	児童	53人	291件	380,553円	県1/2 市1/2

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	12	幼児インフルエンザ予防接種費助成事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 176	
2,435	1,180			1,100	80	1,255		

【令和5年度における事務事業の概要】

幼児のインフルエンザの発病や重症化を予防するため、インフルエンザの予防接種を受けた幼児の保護者に対して、子育て支援の観点から接種費用の一部を助成しました。

(対象者) 幼児を養育している保護者

(内 容) 幼児の2回目のインフルエンザ予防接種費  
※2回目接種に要した費用(自己負担額)のうち幼児1人に対して2,000円を助成

【令和5年度における事務事業の成果】

予防接種費用の一部を助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができました。

○助成実績

助成件数	590件
助成額	1,180千円

●過去の実績

	令和3年度	令和4年度
助成件数	1,033件	695件
助成額	2,066千円	1,390千円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	17	特別保育促進事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
19,460	18,702	8,511			10,191	758	P. 178	

【令和5年度における事務事業の概要】

保育施設における障がい児保育事業、延長保育事業、一時預かり事業の実施を支援し、保育サービスの充実を図りました。

また、保育施設において、医療的ケア児の受け入れを可能とするための体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図りました。

【令和5年度における事務事業の成果】

●障がい児保育事業実績

心身に障がい又は発達遅滞のある児童を受け入れている施設に補助を行い、保育施設における障がい児の受入体制を整えました。

種別	施設数	対象者	補助金額	
重度障がい児	1園	1名	181,520円	※重度障がい児：45,380円/月
軽度障がい児	11園	37名	9,135,500円	※軽度障がい児：30,250円/月

●延長保育事業実績

保護者の多様化する就労形態に対応するため、認定区分を超えて延長保育を行う保育施設に補助を行い、子育て期の保護者の負担軽減と延長保育の実施体制の充実を図りました。

種別	施設数	補助金額
標準時間認定分	18園	5,400,000円
短時間認定分	7園	907,865円

●一時預かり事業実績

保育施設を利用していない子どもの保護者の突発的な理由により一時的に子どもを預かる一時預かり事業を行う保育施設に補助を行い、保護者の負担軽減と一時保育の受入体制を整えました。

種別	施設数	補助金額
一時保育	1園	200,000円

●医療的ケア児保育支援事業実績

医療的ケアを必要とする児童の保育施設への入所について、伊万里市医療的ケア児入園検討会を開催し、集団保育の可否の確認及び保育施設における医療的ケアの安全かつ円滑な実施を図りました。また、医療的ケア児保育支援事業を行う保育施設に補助を行い、受入体制の整備と医療的ケア児の地域生活支援の向上を図りました。

- ・ 医療的ケア児入園検討会 1回
- ・ 対象児童 2名
- ・ 受入施設 2園（私立1園、小規模保育事業所1園）
- ・ 補助金額 2,664,000円

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	20	保育対策総合支援事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 178	
48,150	38,187	30,276			7,911	9,963		

【令和5年度における事務事業の概要】

保育環境の改善を図り、子どもを安心して育てることができる体制整備を行うため、新型コロナウイルス感染者等が発生した場合に、職員が感染症対策の徹底を図りながら、事業を継続的に実施するに当たり必要となる消耗品等の購入経費を補助しました。また、保育士等の業務負担の軽減を図るため、保育に関する計画・記録や保護者との連絡、登降園管理等の業務のICT化を行うためのシステムの導入費用等の一部補助を行うとともに、送迎バスへの安全装置の設置に要する経費の補助及び保育施設の老朽化した備品や床の張替え等の改修に対する補助を行いました。

保育士確保策としては、保育士資格を持たない保育補助者や保育の周辺業務を行う保育支援者を雇用した保育施設に対し、雇用経費の一部を補助しました。

●保育環境改善策（事業名：負担割合）

- ・新型コロナウイルス感染症に係る保育所等事業継続支援事業（認可）：国1/2・市1/2
- ・新型コロナウイルス感染症に係る保育所等事業継続支援事業（認可外）：国1/2・県1/2
- ・保育所等におけるICT化推進等事業：国1/2・市1/4・施設1/4
- ・安全対策事業（送迎用バスの安全装置の設置）：国10/10
- ・保育環境向上等事業：国1/3・県1/3・市1/3

●保育士確保策（事業名：負担割合）

- ・保育補助者雇上強化事業：国3/4・県1/8・市1/8
- ・保育体制強化事業：国1/2・県1/4・市1/4

【令和5年度における事務事業の成果】

●保育環境改善策

保育環境改善のための経費を助成することで、保育施設における感染拡大防止や子どもが安心して過ごせる環境と保育士が働きやすい環境を整備することができました。

補助事業名	施設数	事業費	補助金額
新型コロナウイルス感染症に係る保育所等事業継続支援事業（認可）	11園	1,395,750円	1,390,000円
新型コロナウイルス感染症に係る保育所等事業継続支援事業（認可外）	1園	137,870円	137,000円
保育所等におけるICT化推進等事業	3園	4,446,250円	2,313,000円
安全対策事業（送迎用バスの安全装置の設置）	3園	1,073,000円	1,050,000円
保育環境向上等事業	4園	4,538,360円	4,058,000円

●保育士確保策

保育士資格を持たない保育補助者や、保育の周辺業務を行う保育支援者を雇用した保育施設に対し、雇用経費を助成することで、保育士の離職防止を図るとともに、保育士が働きやすい職場環境を整備することができました。

補助事業名	施設数	雇用人数	事業費	補助金額
保育補助者雇上強化事業	9園	延12人	22,150,155円	19,107,000円
保育体制強化事業	9園	延11人	12,894,844円	9,717,000円

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	23	留守家庭児童クラブ管理運営事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 180	
193,304	186,367	83,990		59,535	42,842	6,937		

【令和5年度における事務事業の概要】

就労等により、保護者が昼間家庭にいない児童を対象に安全な生活の場や適切な遊びの場を提供することにより、児童の健全な育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

また、支援体制の充実として、クラブを利用する児童の中に支援を要する児童が増加しているため、令和3年度から令和5年度まで各年3名、合計9名の支援員を増員し、児童の受入れを行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

市内13小学校区に24の児童クラブを開設し、年間286日間の運営を行い、1,390人の児童の受入れと675人の児童の時間を延長しての受入れを行うことにより、児童の健全な育成と子育て支援に貢献することができました。

支援を要する児童の増加に伴い、支援員を増員したことにより、児童の受入体制の強化ができました。

- ・ 開所時間 小学校の授業がある日：授業終了後から午後7時まで  
土曜日、長期休業日：午前8時から午後7時まで  
※午後6時から延長利用、1日100円。
- ・ 休所日 日曜日、祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日
- ・ 利用料 月額3,500円（8月のみ5,000円）  
長期休業期間のみ利用の場合、日額300円  
※2人目以降、半額。 非課税世帯、半額。

児童クラブ名	利用児童	延長利用者	定員	児童クラブ名	利用児童	延長利用者	定員
伊万里第1	88	52	70	大川内	55	35	45
伊万里第2	91	31	50	黒川	35	9	50
伊万里第3	56	31	50	波多津	60	24	80
牧島	39	15	35	南波多	49	9	45
大坪第1	62	33	55	松浦	57	15	50
大坪第2	41	25	40	二里	105	75	85
大坪第3	31	9	31	東山代第1	151	64	100
大坪第4	78	24	40	東山代第2	35	11	34
立花第1	82	57	70	若楠第1	33	12	35
立花第2	46	25	40	若楠第2	18	12	34
立花第3	73	35	35	山代西	15	10	25
立花第4	45	36	40	合 計	1,390	675	1,179
立花第5	45	26	40				

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	24	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業	6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり			
担当部課	教育委員会 教育総務課		施策	04	子育て支援の充実			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
74,070	74,069	49,376		24,693	0	1	P. 182	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

東山代小学校内に開設している東山代第1児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの和室を借用して受入れを行っている東山代第2児童クラブについて、一体的な新たな施設を整備することとし、複合施設の建設工事に着手しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

東山代小学校、東山代コミュニティセンター及び東山代児童クラブの複合施設の建設工事に着手しました。（工事全体進捗率28.1%）

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金  
 ※不用額は、令和6年度への継続費繰越1千円です。

◆ スケジュール（予定）

- ・ 令和3年度 基本設計
- ・ 令和4年度 実施設計
- ・ 令和5・6年度 建設工事
- ・ 令和7年度 開所

◆ 東山代児童クラブ概要（予定）

- ・ 支援単位数 4部屋
- ・ 定員 160名（40名×4部屋）
- ・ 開所時間 小学校の授業がある日 授業終了後から午後7時まで  
土曜日、長期休業日 午前8時から午後7時まで
- ・ 休所日 日曜日、祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日

（全体進捗率 28.1%）

工事	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年度割	28.1%	66.2%	5.7%

※令和7年度は、施設解体外構工事

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	25	多子世帯給食費助成事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,857	3,243			3,200	43	614	P. 182	

【令和5年度における事務事業の概要】

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、平成27年度より小学1年生から満18歳に達する学年までに4人以上の兄弟姉妹がいる多子世帯の保護者に対して、小中学校に通う4人目以降の給食費全額を補助しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年度は、79世帯91人に対して補助を行い、多くの多子世帯の負担軽減を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

【年度別支給者数】

年 度	対象者数	支給者数	支給率
平成29年度	74人	59人	79.7%
平成30年度	75人	61人	81.3%
令和元年度	93人	77人	82.8%
令和2年度	102人	91人	89.2%
令和3年度	104人	94人	90.4%
令和4年度	96人	88人	91.7%
令和5年度	94人	91人	96.8%

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	26	東陵中校区小中一貫校等整備事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,433	10,432	5,696		4,736	0	1	P. 182	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

東陵中学校、大川小学校、松浦小学校の統合が決定されたため、東陵中学校の改修にあわせ、松浦小学校内に開設している松浦児童クラブから移行する児童と現在児童クラブがない大川小学校区の児童が利用するための新たな児童クラブの整備に着手しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

東陵中校区小中一貫校等整備の一部である児童クラブを整備するための建設工事に着手しました。（工事全体進捗率31.8%）

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金  
 ※不用額は、令和6年度への継続費繰越1千円です。

◆ スケジュール（予定）

- ・ 令和4年度 実施設計
- ・ 令和5・6年度 建設工事
- ・ 令和7年度 開所

◆ 東陵児童クラブ（仮称）概要【予定】

- ・ 支援単位数 2部屋
- ・ 定員 80名（42名×1部屋、38名×1部屋）
- ・ 開所時間 小学校の授業がある日 授業終了後から午後7時まで  
土曜日、長期休業日 午前8時から午後7時まで
- ・ 休所日 日曜日、祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日

（全体進捗率 31.8%）

工事	令和5年度	令和6年度
年度割	31.8%	68.2%

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	27	私立保育園整備促進事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 182	
14,857	14,857	9,905			4,952	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

施設の老朽化等に伴い、大規模改修等を行った保育施設に対し、経費の一部を補助しました。

補助金名：就学前教育・保育施設整備補助金  
負担割合：国1/2・市1/4・事業者1/4

【令和5年度における事務事業の成果】

老朽化したサッシの取り替えや外廊下への雨の降り込み防止のための園舎の一部改修を行った保育施設に対し、補助金を交付し、保育環境の改善を図りました。

施設名	中里保育園	伊万里幼稚園
内 容	サッシ取替工事	園舎の一部改修
対象事業費	5,984千円	13,827千円
補助金額	4,488千円 (国2,992千円、市1,496千円)	10,369千円 (国6,913千円、市3,456千円)

○過去の実績

年度	施設名	内容	事業費	補助金額
R1	立花保育園	トイレ改修	7,920千円	5,940千円
	大里保育園	トイレ改修	10,956千円	8,217千円
R2	川東保育園	ホール改修、医務室・職員室増築	13,604千円	10,203千円
	愛育園	施設内外部改築	4,890千円	3,667千円
R3	大川内保育園	屋根瓦の交換、塗装	5,720千円	4,290千円
	久原保育園	屋根瓦、外壁塗装	6,159千円	4,618千円
R4	鳴石保育園	倉庫解体、園舎一部改築	120,831千円	90,622千円

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	02	児童手当給付費
事務事業名	01	児童手当支給事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 182	
873,979	872,426	737,407			135,019	1,553		

【令和5年度における事務事業の概要】

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として、父、母、その他児童を養育している者に対し、児童手当を支給しました。

(支給月額)

- ・3歳未満(一律) 15,000円
- ・3歳以上小学校修了前  
第1子、第2子 10,000円  
第3子 15,000円
- ・中学校修了前(一律) 10,000円
- ・所得制限限度額以上(一律) 5,000円

(支給時期)

2月・6月・10月(それぞれの前月分までを支給)の15日

【令和5年度における事務事業の成果】

対象児童を養育する父、母、その他児童を養育している者に対して児童手当を支給することにより、児童の健全育成を図ることができました。

○ 令和5年度の支給実績

支 給 額	870,725千円
延児童数	76,634人

● 過去の実績

	令和3年度	令和4年度
支 給 額	929,285千円	900,710千円
延児童数	82,225人	79,511人

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	03	児童措置費
事務事業名	01	私立保育園等支援事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 184	
2,414,836	2,390,797	1,634,870		124,546	631,381	24,039		

【令和5年度における事務事業の概要】

市内にある私立保育園18園、私立認定こども園2園、私立幼稚園1園、私立小規模保育事業所6園、私立事業所内保育事業所1園、市外の保育所等に入所している児童の分の運営に必要な経費を、保育園の規模、児童の年齢、人数に応じた額（公定価格）で支払いました。

また、物価高騰による子育て世帯の負担増の回避を図るため、給食を提供する保育所に係る給食の材料費等の高騰分に対して補助を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

●子どものための教育・保育給付交付金

子どもを安心して預け、育てることができる体制を整えました。

延入所者数	内 訳	施設数	延入所者数
22,536人	市内私立	28園	21,234人
	市外公立・私立	39園	1,302人

○過去の実績

年度	延入所者数	内 訳	施設数	延入所者数
R2	20,968人	市内私立	26園	19,620人
		市外公立・私立	43園	1,348人
R3	19,813人	市内私立	26園	18,504人
		市外公立・私立	35園	1,309人
R4	22,127人	市内私立	29園	20,944人
		市外公立・私立	35園	1,183人

●保育所等給食材料費高騰対策事業費補助金

給食材料費の高騰分を補助することにより、子育て世代の負担軽減と給食の質・量を維持することができました。

(令和5年度実績) 補助金額合計 14,023,000円  
 <内訳>  
 市内私立 (17園)

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	02	生活保護レセプト点検・指導事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	05		低所得者支援の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
5,384	4,665	3,752			913	719	P. 188	

【令和5年度における事務事業の概要】

生活保護費の約6割を占める医療扶助費について、適正な運営を図るためレセプト(診療報酬明細書)の点検を専門の業者に委託しました。

令和5年度は単月点検13,995件と縦覧点検13,096件を行いました。また、医療扶助相談・指導員が被保護世帯へ年間314回の同行訪問を行い、後発医薬品の使用促進や健康管理指導を行いました。加えて、今年度はマイナンバーを利用したオンライン資格確認の導入のためのシステム改修を行いました。

- ・生活困窮者自立相談支援事業等国庫負担金 負担率：3/4
- ・社会保障・税番号制度システム整備費等補助金 補助率：10/10
- ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国) 補助率：3/4
- ※補助対象経費：報償費、共済費、需用費(印刷製本費、消耗品費)  
役務費(通信運搬費)、委託料

◆レセプト点検の内容

1. 資格審査

職員において医療券交付処理簿との照合を行うことにより、診療月、受給者名、指定医療機関名及び診療別等が医療券と一致するか、また、指定医療機関における医療券等の公費負担番号、受給者番号、氏名及び本人支払額の記載内容のレセプトの転記が正確であるかを確認する。

2. 単月点検(業者委託)

毎月、全てのレセプトについて、その内容の点検を行う。

- (1) 診療報酬、調剤報酬等の算定方法、算定点数の点検
  - ・診療日数、初診料、再診料、乳幼児加算、指導料、入院料、調剤レセプト
- (2) 重複請求の点検
- (3) 重複受診の点検
- (4) 診療報酬明細書と調剤報酬明細書の突合

3. 縦覧点検(業者委託)

複数月のレセプトを審査することにより、単月のレセプトの点検では確認できない項目等について点検・確認する。

・単月点検により特異な診療傾向が認められる指定資料機関、連続月あるいは一定期間内に重複算定できない診療内容、単月ではその適否が判断できない診療内容等に係るレセプトについて、4か月に1回レセプトを縦覧し点検する。

【令和5年度における事務事業の成果】

レセプト点検による過誤調整136件を医療費請求に反映させるとともに、後発医薬品の使用促進により医療費を抑制することができました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
過誤調整件数(全体)	360件	282件	204件	136件
過誤調整件数(委託分)	141件	91件	157件	53件
過誤調整効果額(委託分)	237,644円	159,774円	118,720円	164,820円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
後発医薬品使用率(平均)	82.4%	85.9%	86.1%	87.1%

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	03	生活困窮者自立支援事業			6つの まちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施 策	05		低所得者支援の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
19,141	18,409	13,147			5,262	732	P. 190	

【令和5年度における事務事業の概要】

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、生活困窮者に対する相談支援体制を整えるため、社会福祉協議会に自立相談支援事業、就労準備支援事業を委託しました。また、グリーンコープ生活協同組合さがに家計改善支援事業を委託し、伊万里市生活自立センター（社会福祉協議会の事務所内）にて相談窓口を設置し、連携して一体的に実施するとともに、住居確保給付金を給付する相談窓口も併せて設置しました。

- ・生活困窮者自立相談支援事業等国庫負担金 負担率：3/4
- ・自立相談支援事業費国庫負担基準額 10,600,000円(人口区分4万人以上～5.5万人未満)
- ・住居確保給付金 負担率：3/4 ※支給期間：3か月間(3か月間の延長及び再延長可能)  
(月額) 単身世帯：29,000円 2人世帯：35,000円 3人～5人世帯：38,000円

【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年度は新規相談者数72人、新規相談件数（延べ）137件を受け付け、うち14人が就労による自立につながりました。また、生活困窮者自立支援調整会議を毎月1回開催し、生活困窮者の情報共有と支援計画等について検討を行いました。

※自立支援調整会議メンバー：収納管理課1名、まちづくり課1名、消費生活センター1名、地域包括支援センター1名、長寿社会課1名、人権・同和対策課1名、都市政策課1名、上下水道部管理課1名、学校教育課1名、生活自立センター（社協）4名、家計改善支援員1名、福祉課4名計18名

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	530件	3,346件	3,750件
新規相談件数	-	217件	137件
新規相談者数	148人	86人	61人
就労者数	3人	4人	14人
増収者数	5人	5人	26人
委託料	13,250,000円	10,426,000円	10,500,000円

	令和4年度	令和5年度
相談件数	287件	678件
新規	287件	230件
継続	-	448件
支援者数	1人	3人
委託料	3,108,000円	4,350,000円

※R4.4.1から実施

	令和4年度	令和5年度
新規面談件数	33件	37件
継続面談	86件	91件
支援件数	16件	34件
委託料	3,144,852円	3,558,500円

※R4.6.1から実施

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
申請件数	7件	1件	0件	0件
決定件数	5件	1件	0件	0件
給付額	625,800円	348,000円	0円	0円

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	04	生活保護扶養義務調査事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		05	低所得者支援の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
744	682	510			172	62	P. 190	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

生活保護法第4条に定める保護の補足性の要件を充足させるため、扶養義務者の資産能力等を十分に調査するとともに親子関係等、人間的連携を基に自立援助を促しました。

生活保護受給者の扶養義務者の実態を把握し文書による援助照会を行うとともに、遠隔地に居住する扶養義務者に対して訪問面接により援助要請を行いました。

- ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（国） 補助率：3/4
- ・補助対象経費：報償費、共済費、需用費（印刷製本費、消耗品費）  
役務費（通信運搬費）、委託料

**【令和5年度における事務事業の成果】**

令和5年度は、関西方面（大阪府）に4件訪問しました。また、生活保護受給者の扶養義務者の実態を把握するため、11月に全世帯の扶養義務者を対象に文書による援助照会を行いました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実地調査件数	0件	0件	7件	4件
経済的援助	0人	0人	0人	0人
精神的援助	0人	0人	6人	3人

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、実施できず。令和4年度から再開。

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	02	扶助費
事務事業名	01	生活保護費支給事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策	05	低所得者支援の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 190	
1,001,232	962,346	742,752			219,594	38,886		

【令和5年度における事務事業の概要】

生活に困窮する低所得者の最低限度の生活を維持し自立を支援するため、生活保護法に基づき生活保護費等を支給しました。

- ・生活保護費等国庫負担金 負担率：3/4

【令和5年度における事務事業の成果】

生活扶助、医療扶助等の支給により最低限度の生活の維持が可能となりました。  
令和5年度は、生活保護世帯数の減少により、全体的に扶助費の支給額が減少しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
月平均保護世帯数	487世帯	480世帯	461世帯
月平均保護人員	640人	620人	584人
保護相談件数	151件	146件	124件
保護申請件数	41件	43件	36件

※福祉行政報告例による数値

【生活保護費の推移】

歳出

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年比
生活扶助	219,190,095	213,777,114	204,003,990	▲ 9,773,124
住宅扶助	87,441,466	87,702,577	85,485,625	▲ 2,216,952
教育扶助	3,866,540	2,924,436	2,928,951	4,515
介護扶助	32,487,252	24,957,601	25,097,538	139,937
医療扶助	633,934,700	641,411,426	602,410,558	▲ 39,000,868
出産扶助	421,500	0	487,970	487,970
生業扶助	2,444,801	3,220,483	1,320,957	▲ 1,899,526
葬祭扶助	1,550,106	1,695,129	1,468,103	▲ 227,026
進学準備給付金	1,200,000	300,000	0	▲ 300,000
就労自立給付金	140,537	198,749	124,968	▲ 73,781
保護施設事務費	28,721,645	35,643,046	39,017,081	3,374,035
合 計	1,011,398,642	1,011,830,561	962,345,741	▲ 49,484,820

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
事務事業名	15	伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		市民交流部 市民課			施策		06	保健医療体制の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
221,214		221,214				221,214	0	P. 200

【令和5年度における事務事業の概要】

市民が安心して暮らせるまちづくりを推進するために、救急医療や高度医療など伊万里・有田地区医療福祉組合が行っている伊万里有田共立病院事業に対し、繰出基準に基づいた負担金及び当福祉組合の運営経費に対する負担金を支出しました。  
(負担割合：伊万里市55%、有田町45%)

【令和5年度における事務事業の成果】

伊万里・有田地区医療福祉組合に対し、病院事業に対する繰出基準に基づく負担金及び当福祉組合の運営経費に対する負担金221,214千円を支出し、佐賀県西部医療圏において中核的役割を有する伊万里有田共立病院の円滑な運営を図りました。

○病院事業に対する繰出基準に基づく負担金 (単位：千円)

区 分	繰出額
病床数割	77,040
救急医療の確保に要する経費	11,879
病院の建設改良に要する経費	64,715
不採算地区に所在する中核病院の運営に要する経費	37,498
感染症医療に要する経費	537
小児医療に要する経費	3,425
院内保育所の運営に要する経費	1,052
医師の派遣等に要する経費	1,296
地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費	16,385
会計年度任用職員期末手当	6,112
病院事業会計経営強化プランに要する経費	907
合 計	220,846

○伊万里・有田地区医療福祉組合の運営経費に対する負担金 (単位：千円)

区 分	繰出額
議会費・総務費	368

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	02	予防費
事務事業名	01	予防接種事業				6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	健康福祉部 健康づくり課、こども家庭センター			施 策		06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
167,049	150,387	1,059			149,328	16,662	P. 200	

【令和5年度における事務事業の概要】

予防接種は15種類で、全て、かかりつけ医のもとで実施する個別接種とし、安全な接種体制で感染症による疾病や重症化予防に努めました。

また、過去に風しんの公的予防接種を受ける機会のなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に、抗体検査と予防接種を行う「風しん第5期予防接種」を、妊娠を希望する女性や妊婦の同居者を対象に、佐賀県風しん予防接種事業（任意接種）を実施し、大人の風しんの流行の予防に努めました。（令和元年度からの3か年事業が令和6年度まで延長）

【令和5年度における事務事業の成果】

出生届時に予防接種の説明書と予診票を配付し、赤ちゃん訪問時にお母さんに対して保健師等から予防接種の意義や効果について説明を行いました。

また、幼児期以降の予防接種については、保育園や学校を通じてちらしの配布や個人通知（麻しん風しん、ジフテリア破傷風、日本脳炎、高齢者の肺炎球菌、ヒトパピローマウイルス感染症）を行い、適切な情報提供と接種勧奨を行いました。

<予防接種接種者数>

(単位：人)

予防接種名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4種混合	1,504	1,382	1,401
麻しん風しん	778	796	708
日本脳炎	1,041	2,259	1,810
ジフテリア破傷風	412	431	358
ロタウイルスワクチン	846	828	755
結核 (BCG)	373	371	327
ヒトパピローマウイルス感染症	239	428	696
ヒブ感染症	1,495	1,392	1,347
小児の肺炎球菌感染症	1,490	1,394	1,348
水痘	691	604	651
B型肝炎	1,112	1,057	1,010
高齢者の肺炎球菌感染症	498	320	422
高齢者等インフルエンザ	10,200	10,368	9,624
【国】風しん第5期定期接種	95	60	31
【県】風しん予防接種	51	42	40

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	02	予防費
事務事業名	03	新型コロナウイルス ワクチン接種事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 健康づくり課			施 策		06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 200	
193,458	149,756	136,078			13,678	43,702		

【令和5年度における事務事業の概要】

国の方針のもと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び重症化予防を目的として、市が実施主体となり、ワクチン接種のための体制確保を図るとともに、令和3年度に接種を開始した、初回（1、2回目）接種及び追加接種等を継続するとともに、令和5年度から令和5年春、秋開始接種を実施しました。

(1) 接種実施医療機関 32カ所

(2) 実施内容

12歳以上を対象とした接種に加え、小児接種（5歳～11歳以下）、乳幼児接種（6ヵ月～4歳以下）を実施

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
初回接種（1、2回目）	実施	実施	実施
追加接種（3回目）	実施（R3.12月～）	実施	実施
追加接種（4回目）	-	実施（R4.6月～）	実施
令和4年秋開始接種	-	実施（R4.9月～）	実施
令和5年春開始接種	-	-	実施（R5.5月～）
令和5年秋開始接種	-	-	実施（R5.9月～）

【令和5年度における事務事業の成果】

ワクチン接種を実施することで、市民の新型コロナウイルス感染症に対する感染予防、重症化リスクの軽減を図ることができました。

(1) 体制確保

予約システムの構築及びコールセンターの運営業務を民間事業者へ委託するとともに、医療機関及び地元医師会と連携することで、接種希望者が予約から接種まで円滑に行うことができる体制を構築することができました。

(2) 接種者数

区分	人数
初回接種（1、2回目）	111人
追加接種（3回目）	93人
追加接種（4回目）	392人
追加接種（5回目）	3,444人
追加接種（6回目）	12,137人
追加接種（7回目）	8,236人

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	01	環境衛生総務事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 202	
4,893	4,211		2,200		2,011	682		

**【令和5年度における事務事業の概要】**

環境基本条例に基づいた環境審議会を開催した他、脱炭素社会の実現に向けて、市民の環境に対する意識啓発を図る各種取組を実施しました。

- 《令和5年度実施した主な取組》
- 市公用車に電気自動車を導入
  - グリーンカーテンコンテストの実施
  - 緑のまちづくり推進交付金の交付

**【令和5年度における事務事業の成果】**

○市公用車に電気自動車を導入  
ストップザ温暖化いまりアクションプログラムに基づき、市の公用車として初めて電気自動車を導入し、電気自動車の普及に向けた機運醸成を図りました。



○グリーンカーテンコンテストの実施  
夏の強い日差しを和らげ、室温の上昇を抑える効果があるグリーンカーテンの実施について、市内の個人や事業所等で取り組まれた写真を募集しコンテストを実施することで、積極的な取組に繋げることができました。



**【家庭部門 最優秀賞】**

- 【応募数】** 計5件
- (1) 家庭部門/戸建て4件
  - (2) 家庭部門/集合住宅0件
  - (3) 事業者・団体部門1件

○緑のまちづくり推進交付金  
地域の緑化に必要な花の種や苗、プランター等の資材などを購入するための費用（最大10万円）を交付して、地域の緑化の取組みを推進しました。

- 【令和5年度実績】** 4団体 316,000円
- ・すみやま棚田を守る会（二里町）：100,000円
  - ・波多津町まちづくり運営協議会：100,000円
  - ・伊万里地区まちづくり運営協議会：95,000円
  - ・二里町古子区：21,000円



款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	03	伊万里・有田地区衛生組合 運営負担金			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課		市民交流部 環境政策課			施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 204	
254,725	254,725				254,725	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

し尿等の処理及び火葬場事業を適切に行うため、1市1町で構成する伊万里・有田地区衛生組合に対して負担金を支出し、一部事務組合による効率的な事業運営を図りました。

【令和5年度における事務事業の成果】

衛生センターと火葬場（やすらぎ斎苑）の適正かつ効率的な事業運営を図ることができました。

また、やすらぎ斎苑においては、空調設備の全面改修工事を行うとともに、火葬炉の計画的な更新を行うことができました。

■伊万里・有田地区衛生組合運営負担金の内訳

(単位：千円)

区 分	組合運営事務	し尿等の処理事業		火葬場事業		合 計
		管理運営	施設建設	管理運営	施設建設	
伊万里市	16,681	128,079	18,903	91,062	0	254,725
有田町	7,582	64,801	12,101	41,387	0	125,871
合 計	24,263	192,880	31,004	132,449	0	380,596

■し尿・浄化槽汚泥の搬入量（伊万里市分）

(単位：kℓ)

区 分	し尿	浄化槽汚泥	合 計
R元	28,640	6,948	35,588
R2	28,680	7,021	35,701
R3	28,310	7,268	35,578
R4	27,838	7,359	35,197
R5	28,216	7,330	35,546

■やすらぎ斎苑での火葬件数（伊万里市分）

(単位：件)

区分	遺がい	身体一部	改葬遺がい	合計
R元	738	1	19	758
R2	730	4	12	746
R3	724	5	13	742
R4	814	3	26	843
R5	705	6	18	729

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	09	環境基本計画・地球温暖化対策実行計画策定事業	6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり			
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
9,188	9,174	6,072			3,102	14	P. 206	

【令和5年度における事務事業の概要】

市域における地球温暖化対策について、総合的かつ計画的に取り組むため、令和6年度に環境基本計画を改定し、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定することとしており、令和5年度は、計画策定に必要なデータ収集や市民ニーズの把握等を行いました。

（内容）

- 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に必要な温室効果ガス排出量調査
- 市民ワークショップの開催
- 市民アンケート、事業者アンケートの実施

【令和5年度における事務事業の成果】

○地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に必要な温室効果ガス排出量調査  
令和6年度に行う環境基本計画の改定に向けて、市内における温室効果ガス排出量の推計など基礎データの収集を行うことができました。

【温室効果ガスの現況推計】

部門・分野	温室効果ガス排出量（千t-CO <sub>2</sub> ）									2020年度 2013年度比 増減率	
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度			
産業部門	製造業	286.4	325.3	269.7	230.6	257.6	231.0	234.4	244.4	-14.7%	
	建設業・鉱業	5.3	4.9	4.6	4.3	4.2	3.6	3.4	4.1	-23.6%	
	農林水産業	6.5	11.1	13.7	12.8	11.8	11.0	11.2	6.9	+5.8%	
	小計	298.2	341.2	288.0	247.7	273.6	245.6	249.0	255.3	-14.4%	
業務その他部門	125.3	110.4	86.9	71.3	66.1	54.9	69.8	60.3	-51.9%		
家庭部門	118.7	105.3	93.7	84.7	86.5	54.0	66.9	67.0	-43.6%		
運輸部門	自動車	旅客	62.5	60.1	59.4	59.0	58.5	57.8	56.4	49.6	-20.6%
		貨物	58.4	57.8	57.4	55.0	54.3	53.3	53.1	50.1	-14.2%
	鉄道	4.4	4.2	4.1	4.0	3.8	3.5	3.4	3.3	-24.7%	
	船舶	4.4	5.0	4.8	4.9	4.7	5.7	9.8	6.2	+40.5%	
小計	129.7	127.1	125.7	122.9	121.2	120.4	122.7	109.2	-15.8%		
廃棄物分野	5.7	5.4	5.2	8.3	6.1	5.7	5.4	6.0	+3.9%		
合計	677.6	689.5	599.5	534.9	553.5	480.6	513.9	497.8	-26.5%		

○市民ワークショップの開催

「伊万里市の脱炭素に向けた今後を考えるワークショップ」を開催し、地球温暖化に対する考えや普段の行動、日ごろ感じている課題、その解決方法などを考えるグループワークを行い、市民ニーズを把握し、脱炭素社会の実現に向けた機運醸成を図ることができました。

《参加者人数》

- 12月8日（金）一般：14名
- 12月9日（土）高校生：30名
- 12月9日（土）一般：12名



款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	10	浄化槽設置促進事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課		上下水道部 管理課			施策	18	上下水道の整備	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳			不用額 (千円)	決算書	
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
22,902	22,784	15,188				7,596	118	P. 206

**【令和5年度における事務事業の概要】**

公共下水道など集合処理の整備が困難な地域において、公共下水道と同等の浄化能力を有する合併処理浄化槽の普及促進を図るため、一般家庭用住居に浄化槽を設置する市民に対し、設置整備補助金として22,724千円を交付しました。

(補助内訳)

5人槽	332千円×46基	=15,272千円
7人槽	414千円×18基	= 7,452千円
10人槽	548千円× 0基	= 0千円
計	64基	=22,724千円

※別途、佐賀県浄化槽普及促進協議会会費及び負担金として、60千円を支出。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

生活排水に起因する環境の悪化及び公共用水域の水質汚濁を防止するため、污水处理施設の整備を促進することができました。

**・事業の課題について**

公共下水道区域と農業集落排水区域を除いた区域の合併浄化槽の普及率は、毎年上昇しており、令和5年度末で41.7%となっています。

汲み取りや単独浄化槽から合併浄化槽への転換は、費用負担が大きいため、特に高齢者世帯への普及が課題になっています。

**・事業の継続性について**

国・県からそれぞれ事業費の3分の1ずつの補助金を受けて事業を実施しています。

国・県の補助金が継続する間は、本事業を実施する方針ですが、国・県の補助金が廃止された場合、市単独での事業継続は困難であると考えています。



(画像引用)  
環境省作成  
「快適な生活と美しい環境を守る合併処理浄化槽」リーフレット

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	健康増進費
事務事業名	03	健康診査事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 健康づくり課			施 策		06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 208	
39,316	36,693	1,345		621	34,727	2,623		

【令和5年度における事務事業の概要】

健康増進法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、伊万里市前立腺がん検診実施要領、伊万里市30歳代健康診査実施要綱に基づき、がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺）、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、生活保護受給者を対象とした健康増進健診、30歳代健康診査を実施し、市民の健康増進・疾病の早期発見に努めました。

また、昨年度に引き続き集団健診予約専用電話を設置したほか、大腸がん検診を医療機関でも実施できる体制を整えるとともに、集団健診や医療機関以外でも健康診査やがん検診が実施できるよう、佐賀県健診・検査センターで行われている毎日健診を受けられる体制を整えました。

【令和5年度における事務事業の成果】

広報や市民健康カレンダー、個人通知等により周知を行い、医療機関での個別健診は5月から3月まで、市民センターでの集団健診は、感染予防と待ち時間を短縮するため予約制にて19日間実施しました。Logoフォームによる集団健診のネット予約を開始し、24時間いつでも予約ができる環境を整えました。

胃がん・子宮頸がん・乳がんについては、未受診者に対し再勧奨通知を送付したことで、受診者数が増加しました。

検診名	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
胃がん検診(2年に1回)	464人	6.9%	317人	9.1%	390人	12.3%
肺がん検診	2,063人	15.0%	2,300人	16.1%	2,261人	14.7%
大腸がん検診	1,247人	9.9%	1,818人	13.4%	1,693人	12.0%
子宮頸がん検診	1,698人	57.6%	1,795人	53.3%	1,815人	54.2%
HPV検査数	314人	—	393人	—	386人	—
乳がん検診(2年に1回)	1,004人	39.3%	933人	40.2%	1,054人	39.4%
前立腺がん検診	264人	—	329人	—	329人	—
30歳代健康診査	114人	—	133人	—	122人	—
健康増進健診	71人	—	77人	—	99人	—
肝炎ウイルス検診	64人	—	92人	—	64人	—
骨粗しょう症検診	81人	—	65人	—	93人	—

※受診率は公的な報告がある40～69歳（子宮頸がんは20～69歳）対象者の率を掲載。

※胃がん・子宮頸がん・乳がん検診は、2年に1回の受診として、受診率は以下の算定式により算定。

（前年度受診者数＋当該年度受診者数－2年連続受診者数）/佐賀県推計対象者数×100

※受診者数は年齢に関わりなく全数を掲載。

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	清掃総務費
事務事業名	05	資源ごみ回収促進事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課				施策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 212	
1,599	1,209			1,200	9	390		

【令和5年度における事務事業の概要】

リサイクルの推進及びごみ減量化対策の一環として、資源ごみの集団回収活動（リサイクルサンデー）に取り組んだ地区（団体）に対し、回収量に応じて補助金を交付しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

リサイクルサンデーに取り組んだ地区等に対し、資源ごみの回収量に応じた補助金を交付することにより、リサイクル活動を推進し、ごみの減量化を図ることができました。

○実施団体数 174 団体（うち行政区 164 区）

○資源ごみ回収量 435.7 トン（前年比 △60 トン）

○回収量の内訳 (単位：トン)

	紙類 (新聞、雑誌等)	金属類 (スチール缶、アルミ缶)	ビン類 (ビール瓶、一升瓶)	計
R5	378.5	46.3	10.9	435.7
R4	438.1	46.0	12.2	496.3
増減	△ 59.6	0.3	△ 1.3	△ 60.6

○補助金等の単価 (kgあたり)

区 分	紙 類	スチール缶	アルミ缶	ビール瓶	一升瓶
市補助金	2円	2円	10円	—	—
業者買取額	—	—	30円	5円	10円
計	2円	2円	40円	5円	10円

※計・・・実施地区、団体の収入額単価

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	清掃総務費
事務事業名	06	ごみ集積所整備促進事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		市民交流部 環境政策課			施策	21		生活環境の保全
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
320		258				258	62	P. 212

**【令和5年度における事務事業の概要】**

家庭から排出されたごみの散乱や小動物による被害を防ぎ、集積所を衛生的に管理するため、地区が行う集積所の設置や整備に対し、事業費の3分の1（上限20千円）を補助金として交付しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

地区が行う集積所の設置や整備に要する経費を補助し、集積所の衛生管理を良好に保つことができました。

○補助対象数 12 地区 13 基（新設 4基、増設 6基、入替2基、改修 1基、前年比△4基）



ごみ集積所

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	01	一般廃棄物収集運搬事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策		21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 212	
202,041	200,677			98,394	102,283	1,364		

【令和5年度における事務事業の概要】

ごみの資源化と適正な分別収集を推進するため、種別に応じた市指定のごみ袋等を作製し、市内の小売店で販売しました。

また、市内約1,500か所のごみ集積所に排出される家庭系の一般廃棄物を収集運搬業者2社に委託し、衛生的かつ適正に収集し、処理施設であるさが西部クリーンセンター及び環境センターへ運搬しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

市指定のごみ袋等を作製するとともに、集積所に排出されるごみを収集運搬業者2社に委託して、衛生的かつ適正に収集運搬することができました。

○指定ごみ袋等の作製

- ・ 枚数 2,628,000 枚
- ・ 作製費 17,091,206 円

ごみ袋：2,625,000枚  
ステッカー：3,000枚

○指定ごみ袋等の販売

- ・ 枚数 2,436,025 枚
- ・ 塵芥処理手数料 97,955,160 円 (歳入：ごみ袋の販売料)
- ・ 塵芥処理手数料徴収業務委託料 14,859,751 円 (歳出：ごみ袋の販売手数料)

○一般廃棄物の収集運搬委託料

- ・ (有)水興社 87,050,700 円
- ・ (有)河原産業 80,946,800 円 計 167,997,500 円

○一般廃棄物の収集運搬実績

(単位：トン)

	可燃	不燃	粗大	ペットボトル等	計
	青袋	黄袋・赤袋	ステッカー	緑袋・橙袋	
R5	8,339.6	551.1	1.4	136.1	9,028.2
R4	8,502.4	562.6	1.0	126.5	9,192.5
増減	△ 162.8	△ 11.5	0.4	9.6	△ 164.3

※不燃(赤袋)及びペットボトル等(緑・橙袋)は環境センターリサイクル施設で処理した後の排出量を計上しています。

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	02	環境センター管理運営事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 212	
51,898	50,588			39,776	10,812	1,310		

【令和5年度における事務事業の概要】

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）のうち、ビン類やペットボトル、発泡スチロール製トレイ等の資源ごみをリサイクルするための前処理を行い、ごみの再資源化に取り組みました。

また、最終処分場の適正管理を行うとともに、環境センター周辺の各種環境調査を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

家庭から出たビン類やペットボトル等の資源ごみについては、環境センター内のリサイクルセンターに集約し、品目ごとにリサイクルの前処理を行い、リサイクル業者へ搬出することでごみの再資源化を図ることができました。

○主な支出内容

- ・光熱水費 1,394 千円
- ・修繕料 1,907 千円
- ・手数料 12,621 千円 （県シルバー人材センター派遣手数料等）
- ・環境センター施設運転管理業務委託料外3件  
28,744 千円 （重環オペレーション(株) 他）
- ・発泡スチロールトレイ再商品化業務委託料外5件  
2,706 千円 （(有)佐賀資源開発 他）
- ・工事請負費 175 千円 （エアコン設置電気工事）
- ・備品購入費 948 千円 （エアコン購入費用）

○再資源化（リサイクル）の状況

（単位：トン）

品 名	処理量		
	R5	R4	増減
ビン類	219.2	216.6	2.6
ペットボトル	134.8	125.6	9.2
発泡スチロール製トレイ	1.3	0.9	0.4
乾電池	10.8	9.4	1.4
蛍光灯	4.1	3.2	0.9
合 計	370.2	355.7	14.5

※R5. 4. 1～リチウムイオン電池等の回収を開始（R5実績：71kg）

※財源内訳の「その他」のうち31,400千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	04	佐賀県西部広域環境組合運営負担金			6つのまちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課		市民交流部 環境政策課			施 策		21	生活環境の保全
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 214	
843,184	843,184				843,184	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的かつ適正に処理するため、4市5町で構成する、さが西部クリーンセンターを運営する佐賀県西部広域環境組合に対して負担金を支出し、一部事務組合による効率的な事業運営を図りました。

【令和5年度における事務事業の成果】

さが西部クリーンセンターの適正かつ効率的な事業運営を図ることができました。

○負担金の内訳

(単位：千円)

管理運営負担金	施設整備負担金	長期債元利償還金交付税措置額負担金※	合 計
372,286	127,890	343,008	843,184

※4市5町全体の地方交付税措置分を伊万里市で受入れています。

○ごみ処理量及び負担金額、割合

市町名	ごみ処理量 (トン)	処理量 割合(%)	負担金		
			金 額 (千円) ( )は交付税除く額	割合(%)	交付税除く 割合(%)
伊万里市	13,890.76	25.36	843,184 ( 500,176 )	34.82	24.06
3市5町分	40,876.74	74.64	1,578,262	65.18	75.94
合 計	54,767.50	100.00	2,421,446 ( 2,078,438 )	100.00	100.00

※表中のごみ処理量はさが西部クリーンセンターでの処理量で、災害ごみは含まれていません。

○ごみ処理量の推移

(単位トン)

	ごみの種別	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
伊万里市	可燃ごみ	12,860.48	12,470.59	12,403.65	12,137.08	12,060.11
	不燃ごみ	756.80	823.87	762.98	723.01	700.27
	粗大ごみ	1,140.09	1,287.66	1,218.10	1,177.09	1,130.38
	合計	14,757.37	14,582.12	14,384.73	14,037.18	13,890.76

※表中のごみ処理量は、さが西部クリーンセンターでの処理量です。

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	05	環境センター適正管理事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
	-	環境センター適正管理事業 (通次繰越)						
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 214	
475, 227	437, 162		393, 400		43, 762	38, 065		

【令和5年度における事務事業の概要】

平成28年に廃止した環境センター焼却棟及び関係施設を令和4年度から令和5年度まで継続費を設定して解体工事を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年度は、アスベストを含む建築材料等の追加処分及び雨水排水設備の整備の追加工事がありました。計画的に解体工事を進め、令和6年3月19日に全ての工事を完了することができました。

○予算の執行状況

(単位：円)

年度	科目	予算現額	執行額	不用額
令和4年度	委託料	6, 460, 000	6, 358, 000	102, 000
	工事請負費	48, 500, 000	24, 945, 800	23, 554, 200
	計	54, 960, 000	31, 303, 800	23, 656, 200
令和5年度	委託料	15, 071, 000	14, 542, 000	529, 000
	工事請負費	436, 500, 000	422, 620, 000	13, 880, 000
	委託料 (通次繰越)	102, 000	0	102, 000
	工事請負費 (通次繰越)	23, 554, 200	0	23, 554, 200
	計	475, 227, 200	437, 162, 000	38, 065, 200

総事業費	委託料	21, 531, 000	20, 900, 000	631, 000
	工事請負費	485, 000, 000	447, 565, 800	37, 434, 200
	計	506, 531, 000	468, 465, 800	38, 065, 200

○解体施設

- ①焼却棟
- ②灰固形化棟
- ③オイルタンク
- ④煙突
- ⑤活性炭サイロ棟
- ⑥循環水浄化装置
- ⑦粗大ごみ焼却炉



※解体した施設の跡地は整地し、砂利を敷設している。

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	06	一般廃棄物処理基本計画改定事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 214	
2,500	2,090				2,090	410		

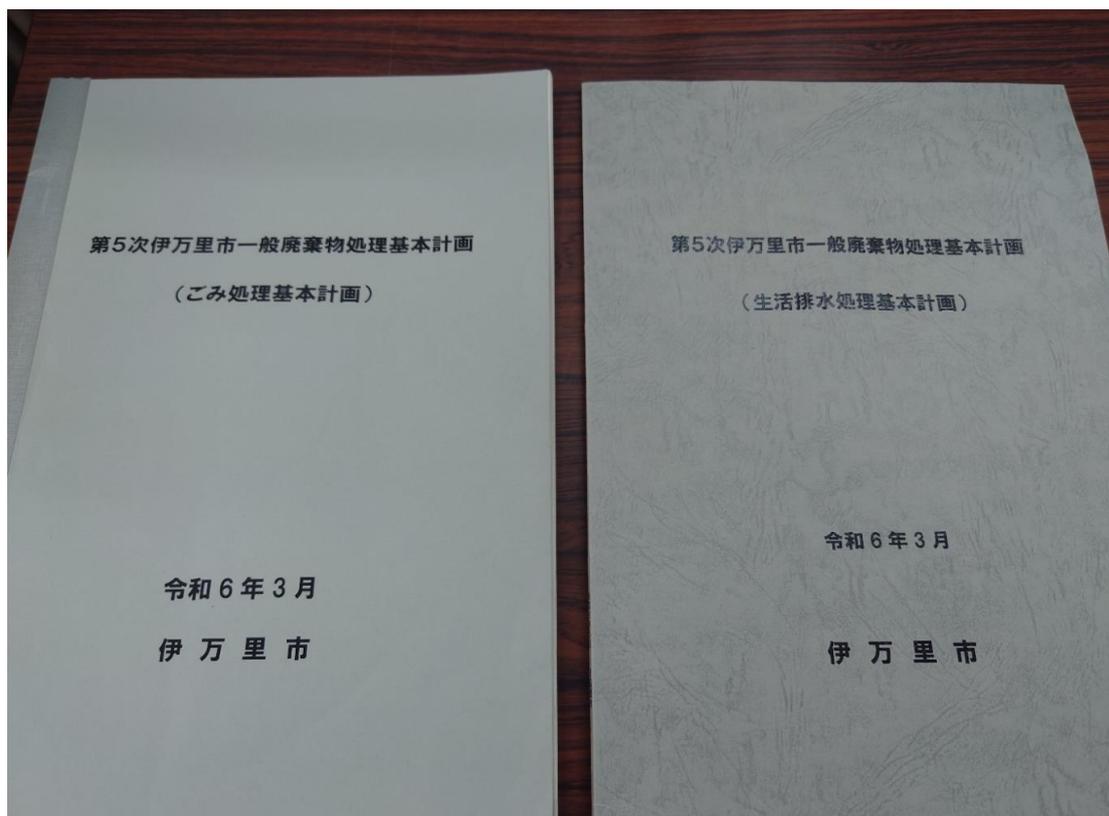
**【令和5年度における事務事業の概要】**

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、市町村がその区域内の一般廃棄物を管理し、適正な処理を行うため、一般廃棄物処理計画を定めるようになっており、その計画の改定を行いました。

- ・計画期間 令和6年度～令和15年度（10年間）

**【令和5年度における事務事業の成果】**

本市における一般廃棄物処理計画は、「ごみ処理基本計画」と「生活排水処理基本計画」に分かれており、計画の改定にあたり、パブリックコメントの実施及び伊万里市廃棄物処理等対策審議会への諮問・答申を経て、当初の予定どおり改定作業を終え、告示及び公表を行いました。



款	05 労働費	項	01 労働諸費	目	01 労働諸費	
事務事業名	03 伊万里の“いい職”説明会 開催事業		6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課		施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳			不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
358	247				247	111 P. 216

【令和5年度における事務事業の概要】

伊万里市への就職を希望する大学等の卒業予定者やUIJターン希望者等と地元企業とのマッチングを行うために、一時帰省が見込まれるお盆の時期、8月11日に合同企業相談会（企業面談会）を開催しました。

卒業後に就職を希望する高校2年生及び大学生等に対し、就職先の選択肢として市内企業を知ってもらうために、3月21日に合同企業説明会（企業説明会）を開催しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

伊万里の“いい職”相談会（企業面談会）

日時	対象者	参加企業数	参加者数
8月11日（金）	大学生、UIJター ン希望者等	20社	29名

伊万里の“いい職”説明会（企業説明会）

日時	対象者	参加企業数	参加者数
3月21日（木）	高校生向け	21社	62名
	大学生等向け	21社	10名

・雇用実績2社2名



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
事務事業名	01	農業委員会事務局運営事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		農業委員会事務局			施策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
41,190	39,651	5,015		3,417	31,219	1,539	P. 216	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

農業委員、農地利用最適化推進委員を配置し、農地法に基づく農地の権利移動の許可等の審議や、農用地利用計画の審査など、優良農地の確保と農地の効率的利用の促進を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

任期満了に伴う委員改選により、令和5年7月20日付けで農業委員14名（うち新任8名）、農地利用最適化推進委員20名（うち新任14名）が任命され新体制となりました。各担当地区において情報共有を行い、担い手への農地利用の集積・集約化及び遊休農地の発生防止・解消等の活動を推進することができました。

また、毎月1回の農業委員会会議において、農地法、農業経営基盤強化促進法等に基づき農地の権利移動等の各種申請について審議を行い、適正な農地の権利移動の許認可業務を行うことができました。

その他、農業委員会だよりを発行し（全戸配布）、無許可による農地転用の禁止や農地管理についての啓発を行うことができました。

○農地法等に基づく許認可申請の状況

申 請 の 種 類	件 数	筆 数	面 積
農 地 法 3 条	66	85	5.8ha
農 地 法 4 条	14	29	3.3ha
農 地 法 5 条	48	103	5.7ha
基盤強化法による利用権設定	159	340	48.5ha

※決算額は、総務課人件費等29,277千円を含みます。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
事務事業名	04	遊休農地調査事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		農業委員会事務局				施 策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
516	417	417				0	99	P. 218

【令和5年度における事務事業の概要】

農地法に基づき、農地の有効利用や遊休農地解消のため、市内全域の農地を対象に利用状況調査を実施しました。

調査結果を基に農地台帳の整理を行うとともに、遊休農地の所有者に対して利用意向調査を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

利用状況調査及び利用意向調査を行い、遊休農地の解消及び農地の貸借の推進を図ることができました。

○遊休農地面積（令和5年度）

	面 積
当 初	13.4ha
新規発生	14.5ha
非 農 地	5.4ha
解 消	3.4ha
年 度 末	19.1ha

（うち利用意向調査 18.5ha/229筆）

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
事務事業名	05	農地中間管理事業推進事務			6つの まちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		農業委員会事務局			施 策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
414	344				344	0	70	P. 220

【令和5年度における事務事業の概要】

農業経営の規模拡大や所得向上のため、経営農地の拡大を希望する農家に対して農地中間管理機構（佐賀県農業公社）が行う農地中間管理事業を活用した農地の貸借を推進しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

農地中間管理事業推進員を1名配置し、農地中間管理事業による貸借を推進することができました。

また、農業委員会だより（全戸配布）や、地域計画の協議の場及び農業委員会窓口において中間管理事業による貸借の情報を提供し、制度の周知を図ることができました。

○農地中間管理事業による貸借実績（令和5年度）

貸付申出者数	89名
貸付希望面積	38.5ha
貸借成立面積	30.3ha

※貸借成立面積累計（H26～R5） 164.3ha

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	03	中山間地域農業集落活動支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
161,194	160,501	120,230			453	39,818	693	P. 222

【令和5年度における事務事業の概要】

中山間地域における農業生産条件の不利を補うとともに、耕作放棄の発生防止や農地の多面的な機能（水源かん養・洪水防止等）の維持向上を図るため、協定を締結した集落に対して、面積に応じて交付金を交付しました。令和5年度は第5期対策の4年目になります。

○中山間地域等直接支払交付金

- ・交付単価（通常）10aあたり
 

田 急傾斜（1/20以上）	21,000円	緩傾斜（1/100～1/20未満）	8,000円
畑 急傾斜（15度以上）	11,500円	緩傾斜（8～15度未満）	3,500円
- ※「集落戦略の作成」を行わない集落は、上記交付単価が8割になります。

- ・負担割合 直接支払交付金 県3/4（国1/2、県1/4）、市1/4  
 推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）

【令和5年度における事務事業の成果】

協定集落に交付金を交付し、中山間地域における農業生産活動の維持を図るとともに、集落における共同活動を推進することができました。

○中山間地域等直接支払交付金 159,416千円（県費119,562千円・市費39,854千円）

- ・協定集落 61集落（通常単価 54集落 8割単価 7集落）
- ・対象農地 田 834.9ha 畑 7.6ha 合計 842.5ha
- ・加算措置 棚田地域振興活動加算 2集落  
 超急傾斜農地保全管理加算 1集落  
 集落協定広域化加算 1集落  
 生産性向上加算 3集落
- 推進事業費 745千円（県費668千円・市費77千円）※市費の支出は国の予算配分による
- 返還金 340千円（令和2・3・4年度分）

□中山間地域等直接支払交付金の推移

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
期	第4期対策	第5期対策	第5期対策	第5期対策	第5期対策
協定集落	66	61	61	61	61
協定農地(ha)	913	843	843	842	843
交付金額(千円)	159,718	159,410	159,457	160,107	159,416

※協定農地（ha）は、1ha未満を四捨五入しています。  
 ※交付金額（千円）は、千円未満を四捨五入しています。  
 ※第5期対策から4集落が取り組みを断念（役員のなり手不足等）、2集落が統合し1集落になったため、第5期対策の協定集落は61集落になりました。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	05	新規就農者支援事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課				施 策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
14,811	9,597	9,597			0	5,214	P. 224	

【令和5年度における事務事業の概要】

新規就農者の就農時における初期負担の軽減等を行い、就農意欲の喚起や就農後の定着を図りました。

- 農業次世代人材投資資金（経営開始型）※新規採択は令和3年度で終了
  - ・令和2年度までの採択者  
交付金額 1,500千円/年（最長5年間）  
※前年所得に応じて交付額が変動（資金を除く所得が100万円を超えた場合に段階的に減額し、350万円を超えた場合は交付停止）
  - ・令和3年度の採択者  
交付金額 1,500千円/年（経営開始1年目～3年目）  
1,200千円/年（経営開始4年目～5年目）  
※前年の世帯所得が600万円を超えた場合は交付停止
  - ・負担割合 県10/10（国10/10）
- 経営開始資金（令和4年度以降の採択）
  - ・交付金額 1,500千円/年（最長3年間）※夫婦の場合は1.5倍  
※前年の世帯所得が600万円を超えた場合は交付停止
  - ・負担割合 県10/10（国10/10）
- 経営発展支援事業費補助金（令和4年度以降の採択）
  - ・補助対象事業費上限 5,000千円 ※経営開始資金の交付を受けない者は10,000千円
  - ・負担割合 県3/4（国2/4） 本人1/4
- 推進事業費（事務費）
  - ・負担割合 県10/10（国10/10）

【令和5年度における事務事業の成果】

新規就農者に対し資金の交付等の支援を行い、就農意欲の喚起及び就農後の定着を図ることができました。

- 農業次世代人材投資資金（経営開始型）2,573千円
  - ・対象者 2名 令和2年度採択1名、令和3年度採択1名
- 経営開始資金 6,000千円
  - ・対象者 5名（うち夫婦1組）750千円（半期分）×3名、1,500千円×1名、2,250千円×1組
- 経営発展支援事業費補助金 786千円
  - ・対象者 1名
- 推進事業費（事務費） 238千円

□新規就農者数、資金及び給付金の交付等件数の推移

年 度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新規就農者数	12	19	13	19	20
農業次世代人材投資資金交付件数	3	5	5	5	2
親元就農等給付件数	9	15	10	9	
経営開始資金交付件数				4	5
経営発展支援事業交付件数				2	1

※新規就農者数は、法人に就農した者を含みます。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	07	有害鳥獣対策事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
15,509	14,736				14,736	773	P. 224	

【令和5年度における事務事業の概要】

イノシシなどの有害鳥獣による農作物被害を軽減し農業経営の安定を図るため、駆除や被害防止対策を行う「伊万里有田地区有害鳥獣対策協議会」や市猟友会に委嘱する「伊万里市有害鳥獣捕獲隊」の活動を支援しました。

また、新規に狩猟免許を取得し、有害鳥獣駆除に従事した者に対して免許取得に係る経費の一部を助成しました。

○捕獲報償金 イノシシ(幼・成獣) 2,500円 アライグマ 1,000円

【令和5年度における事務事業の成果】

有害鳥獣の駆除や被害防止対策に要する経費の補助を行い、農作物被害を軽減し農業経営の安定を図ることができました。

○補助金支出実績

- ・イノシシ捕獲 4,097 頭(補助金 10,243千円) ※R5.2月～R6.1月
- ・アライグマ捕獲 518 頭(補助金 518千円) //
- ・捕獲わな導入 40 基(補助金 1,254千円)
- ・わな狩猟免許取得 5 人(補助金 250千円)
- ・伊万里市有害鳥獣捕獲隊活動費助成 1,000千円
- ・駆除委託経費 1,461千円

○伊万里有田地区有害鳥獣対策協議会負担金 10千円

有害鳥獣捕獲頭数の推移

年度	イノシシ (頭)	アライグマ (頭)	アナグマ (頭)	タヌキ (頭)	カラスなど (羽)
R元	3,219	295	78	31	155
R2	4,757	533	139	81	1,073
R3	3,812	511	113	108	820
R4	3,724	492	149	124	999
R5	4,008	537	104	124	1,100

※駆除期間は5月～2月 (R2より5月～3月)

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費	
事務事業名	08	地域計画策定事業			6つの まちづくり	03		活気あふれる産業づくり	
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施 策	13		農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	454	決算額 (千円)	450	財 源 内 訳				不用額 (千円)	4
				国・県支出金	450	地方債		その他	
						一般財源	0		
									P. 224

【令和5年度における事務事業の概要】

令和5年4月1日に施行された農業経営基盤強化促進法の改正によって、「人・農地プラン」が「地域計画」と名称を変えて法定化されました。「地域計画」では、新たに、10年後に目指す地域の農地利用を示した「目標地図」を作成する必要があります。地域計画は2か年で策定することとされているため、令和7年3月末までに145集落（生産組合等）と協議（話し合い）を行い、13地区で地域計画を策定する計画です。

- 地域計画策定推進緊急対策事業
  - ・負担割合 推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）

【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年9月に各町生産組合長会で地域計画について説明と協議（話し合い）の日程調整を依頼をし、61集落（生産組合等）で協議（話し合い）が完了しました。

- 地域計画策定推進緊急対策事業（事務費） 450千円
  - ・時間外勤務手当 327千円
  - ・消耗品費 70千円
  - ・燃料費 8千円
  - ・複写機使用料 45千円
- 集落との協議
  - ・説明及び協議（話し合い）集落（生産組合等）数 延べ225集落
  - ・協議が完了した集落（生産組合等）数 61集落

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
協議等回数(延べ)	144	2	8	7	23	22	19	225
協議完了集落数	1	0	7	6	9	20	18	61

※協議等回数(延べ)は、生産組合長会出席の集落数もカウント

○協議（話し合い）の様子



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	09	農業振興地域整備計画策定事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
6,996	6,296					6,296	700	P. 224

【令和5年度における事務事業の概要】

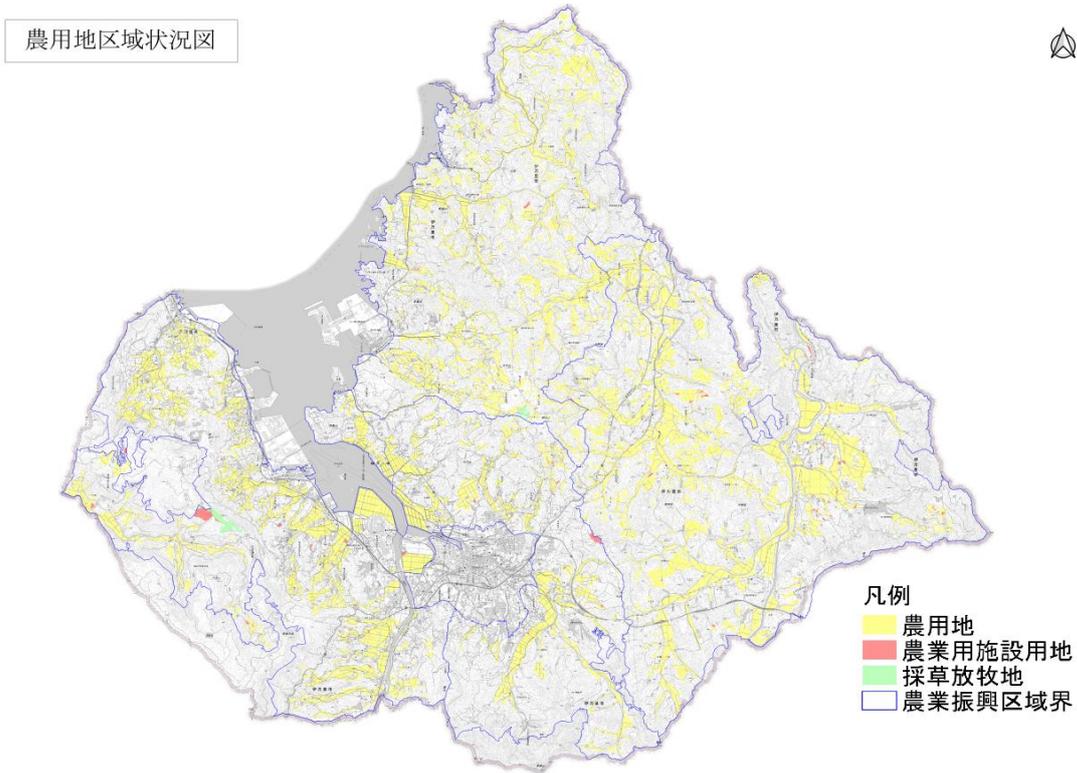
優良な農地を確保・保全するとともに、農業振興のための各種施策を計画的に推進するため、伊万里農業振興地域整備計画の見直しを令和5年度から令和6年度にかけて行います。令和5年度は計画見直しに必要な基礎調査を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

農用地土地利用を検討する基本的なデータとして、現況の土地利用を把握するための農用地区域状況図を作成したほか、伊万里農業振興地域整備計画の見直しに必要な調査等を行い、基礎資料を作成しました。

- 基礎調査
  - (1)農用地区域状況図作成
  - (2)農用地突合処理
  - (3)現地調査及びヒアリング
  - (4)農用地不突合調書作成
  - (5)農用地土地利用図書作成
  - (6)農家意識調査
- 委託料 6,296千円

【農用地区域状況図】



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	10	農業DX推進事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課				施 策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
300	300					300	0	P. 224

【令和5年度における事務事業の概要】

農業分野におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、スマート農業技術等の普及による生産体制の充実、生産性の向上等を図るため、西松浦農業振興センター、市、伊万里市農業協同組合の3者で「伊万里市農業DX推進協議会」を組織し、市内農家の新たな取組を推進しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

- 伊万里市農業DX推進協議会設立
  - ・8月21日設立総会（西松浦農業振興センター・市・伊万里市農業協同組合）
- 視察研修
  - ・10月25日九州みどりの食料システムEXP02023を視察（13人参加）
- JAいまり農業まつりに企業招致
  - ・12月2～3日ドローンの展示・実演



- JAもも部会実証事業の実施
  - ・1月25日ハウス内温度管理システムの設置



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	12	水稻営農物価高騰対策支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
13,748	12,092	10,900				1,192	1,656	P. 226

**【令和5年度における事務事業の概要】**

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、原油価格の高止まりや物価の高騰により、農業経営に影響を受けている水稻耕作農家の経営回復を図るため、生産にかかる経費の支援を行いました。

- 水稻営農物価高騰対策支援金
  - ・令和5年度主食用米の作付面積に対し、10a当たり1,200円
- 交付要件
  - ・令和5年度の営農計画書を伊万里市農業再生協議会に提出していること。
  - ・令和5年産主食用米を11a以上作付けしていること。
  - ・水稻営農物価高騰対策支援金の交付を受けた後においても農業経営を継続する意思があること。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

原油価格の高止まりや物価の高騰により、農業経営に影響を受けていた水稻農家の生産意欲を維持することができました。

- 水稻営農物価高騰対策支援金（12,092千円）

**【実績】**

交付農家 : 1,307戸  
 決算額 : 12,092千円（支援金：11,988千円 事務費：104千円）  
 対象面積 : 99,903a  
 平均交付額 : 11,988千円 ÷ 1,307人 = 9,172円/人



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	13	農地集積・集約化事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 226	
9,469	9,469	9,469			0	0		

**【令和5年度における事務事業の概要】**

農業生産性を高め、競争力を強化していくには、農地が利用されやすくなるよう農地の集約化等を進める必要があるため、農地中間管理機構を通じて認定農業者等の担い手への集積・集約化に取り組む地域に対し、地域集積協力金及び集約化奨励金を交付しました。

○負担割合

- ・地域集積協力金 県10/10 (国10/10)
- ・集約化奨励金 県10/10 (国10/10)

**【令和5年度における事務事業の成果】**

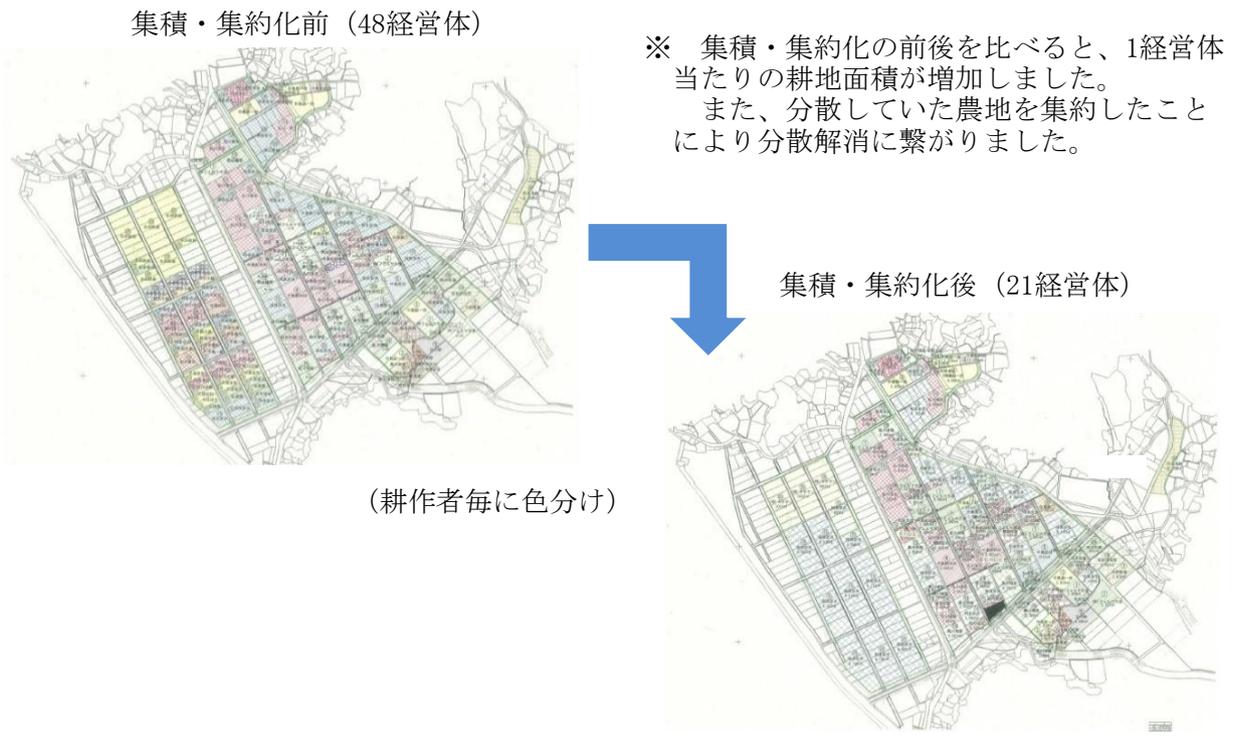
担い手への農地集積と集約化を支援し、1経営体あたりの耕地面積の増加や農地の分散解消を図りました。

○地域集積協力金

要 件：令和5年3月から令和6年2月末までの間に、農地中間管理機構に貸し付けられた農地面積のうち、10%以上が担い手以外から新たに担い手に集積されること。  
 交付額：8,976,000円 (対象面積2,640 a × 交付単価34,000円/10 a)

○集約化奨励金

要 件：地域の農地面積に占める担い手の0.5ha以上の団地面積の割合が、目標年度（令和7年2月末）までに10ポイント以上増加すること。  
 交付額：493,000円 (対象面積493 a × 交付単価10,000円/10 a)



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	02	伊万里梨産地強化支援事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 226	
1,026	1,008	714		200	94	18		

**【令和5年度における事務事業の概要】**

伊万里梨は、生産者の高齢化・後継者不足による栽培面積の減少、老木化による生産量の減少等の問題を抱えていることから、老木化による生産量減少の改善を図るための改植支援の強化など、梨産地の強化・維持を図るためのさまざまな支援を行いました。

補助メニュー

- 就農フェア
  - ・就農相談会（福岡市）ブース出展料等
- 伊万里梨園を守る会支援事業費補助金
  - ・新規設立支援（200千円/1団体）、研修生受入団体（150千円/1団体）
- 伊万里梨栽培研修給付金
  - ・単身：100万円/年、夫婦：150万円/年
- 伊万里梨園地若返り推進事業費補助金
  - ・借受補助（3千円/a）
- 果樹園地改植支援事業費補助金（R4～）（10/10県費）
  - ・改植等の促進費（170千円/10a）
- 樹園地整備継承促進事業費補助金（R4～）（10/10県費）
  - ・園地集積支援 常緑果樹（5千円/1a）、落葉果樹（10千円/1a）

**【令和5年度における事務事業の成果】**

梨産地の維持・強化のために意欲的に栽培面積の拡大や改植等に取り組む梨生産者、団体等を支援し、伊万里梨の産地維持を図ることができました。

- 就農フェア（117千円）
  - ・マイナビ農林水産FEST福岡会場出展料等
- 伊万里梨園地若返り推進事業費補助金（177千円）
  - ・1農家 59a
- 果樹園地改植支援事業費補助金（714千円）
  - ・7農家 45.7a

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	03	園芸農業機械・施設等整備支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
150,814	123,478	102,878			20,600	0	27,336	P. 226

【令和5年度における事務事業の概要】

収益性の高い園芸農業を確立するため、収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コスト削減などの取組に必要な機械・施設等の整備に対して助成しました。

- さが園芸生産888億円推進事業費補助金（県単事業）  
補助率 県1/2（1/3）、市1/10

【令和5年度における事務事業の成果】

農業所得の向上に向けた経営規模の拡大や先進的技術の導入などに取り組む農家を支援し、農業経営の強化を図ることができました。

- さが園芸生産888億円推進事業費補助金（総事業費212,023千円 補助金123,478千円）
  - ・事業実施主体 6団体、11個人
  - ・事業内容 パイプハウス、高設栽培施設、梨花粉開葯機等
  - ・対象品目 きゅうり、いちご、アスパラガス、梨、ぶどう等

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

○事業実績

年度	取組主体数	総事業費（千円）	補助金（千円）
R元	11 (10)	307,932 (99,152)	147,075 (52,175)
R2	10 (9)	834,575 (105,577)	365,859 (58,554)
R3	13	111,709	64,337
R4	14 (13)	944,141 (174,141)	527,092 (103,777)
R5	17	212,023	123,478

※R元、R2、R4年度は産地パワーアップ事業費補助金分を含む

（ ）内がさが園芸生産888億円推進事業費補助金分の数字



さが園芸888運動

チャレンジ!活気あふれるさが園芸へ



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	04	第3次施設園芸等燃料高騰対策支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
6,699	4,846	4,800				46	1,853	P. 226

【令和5年度における事務事業の概要】

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、原油価格の高止まりや物価高騰により、農業経営に影響を受けている施設園芸等農家の経営回復を図るため、燃料費の購入にかかる経費の支援を行いました。（園芸：令和5年2月から令和5年6月分、茶：令和5年4月から10月分）

○施設園芸等燃料高騰対策支援金

国のセーフティネット支援単価×購入量×1/4（A重油・灯油）

国のセーフティネット支援単価×購入量×1/4×2.18（LPガス）

※国の支援単価が（円/kg）であるが、単位を（円/立米）にするため2.18を乗じる

○交付要件

- ・市内に居住する個人又は市内に事業所を置く法人であって農業を営むもの
- ・市内の園芸施設等で農産物を栽培し、施設内の農業用機械等でA重油、灯油又はLPガスを使用していること
- ・施設園芸等燃料高騰対策支援金の交付を受けた後においても園芸施設等で農産物の栽培を継続する意思を有していること

【令和5年度における事務事業の成果】

原油価格の高止まりや物価高騰により、農業経営に影響を受けている施設園芸等農家の生産意欲を維持することができました。

○園芸農家 130件 4,845,838円

国のセーフティネット構築交付金 施設園芸10月～翌年6月、茶加工4月～10月  
※第3次施設園芸等燃料高騰対策支援事業はR5.2～R5.6までの施設園芸、R5.4～R5.10までの茶加工等が対象

【施設園芸】

重油（ℓ/円）

月	支援単価
R5.2	6.4円
R5.3	6.5円
R5.4	6.5円
R5.5	6.3円
R5.6	6.6円

灯油（ℓ/円）

月	支援単価
R5.2	6.7円
R5.3	6.9円
R5.4	6.9円
R5.5	6.7円
R5.6	7.0円

LP（立米/円）

月	支援単価
R5.2	20.0円
R5.3	24.9円
R5.4	19.4円
R5.5	13.9円
R5.6	9.4円

【茶加工】

重油（ℓ/円）

月	支援単価
R5.4	6.0円
R5.5	5.8円
R5.6	6.2円
R5.7	7.0円
R5.8	8.5円
R5.9	8.6円
R5.10	7.0円

LP（立米/円）

月	支援単価
R5.4	20.2円
R5.5	14.7円
R5.6	10.1円
R5.7	7.0円
R5.8	7.1円
R5.9	12.6円
R5.10	21.0円



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	05	畜産業費
事務事業名	05	伊万里牛産地強化支援事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
20,078	16,993				16,900	93	3,085	P. 228

【令和5年度における事務事業の概要】

肉用牛の農家や飼養頭数が減少し、ブランド牛としての産地維持が危惧される中で、産地強化・維持を図るため、肥育農家の経営規模拡大や、生産基盤の向上に要する経費等を補助しました。

補助メニュー

- ・肉用牛サポートセンター利用料(補助率1/3、上限母牛3頭/戸、子牛3頭/戸)
- ・空き牛舎の賃借料(補助率1年目:10/10、2年目:3/4、3年目:1/2、上限480千円/年)
- ・空き牛舎の購入費(補助率3/4、上限1,080千円/戸)
- ・空き牛舎の改修費(補助率1/3、上限1,000千円/年)
- ・肥育素牛の導入促進費(補助率50千円/頭、上限80頭/戸)
- ・肥育素牛の預託費(補助率1/2、最長2年、上限1,500千円/年)
- ・IoT機器等の導入費(補助率 購入:1/3、リース:1/2、上限1,000千円/年)
- ・作業従事者の雇用費(補助率1/2、上限1回/戸 158千円)
- ・牛舎施設等改修費(補助率1/3、上限1,000千円)
- ・伊万里産素牛導入費(補助率100千円/頭、上限10頭/戸)

【令和5年度における事務事業の成果】

飼料費の高止まりや枝肉販売価格の低迷により大変厳しい状況が続くなか、牛舎施設等の改修や肥育素牛の増頭等に取組む肥育農家を支援し、生産基盤の向上に貢献することができました。

○伊万里牛産地強化支援事業費補助金

・肉用牛サポートセンター利用料	7頭	250千円
・空き牛舎の賃借料	2件	302千円
・空き牛舎の購入費	1件	900千円
・肥育素牛の導入促進費	136頭	6,800千円
・肥育素牛の預託費	1件	1,292千円
・作業従事者の雇用費	6件	948千円
・牛舎施設等改修費	7件	2,601千円
・伊万里産素牛導入費	39頭	3,900千円
計		16,993千円



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	05	畜産業費
事務事業名	06	肉用牛肥育農家物価高騰対策支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課				施策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 228	
56,168	56,168	50,500			5,668	0		

**【令和5年度における事務事業の概要】**

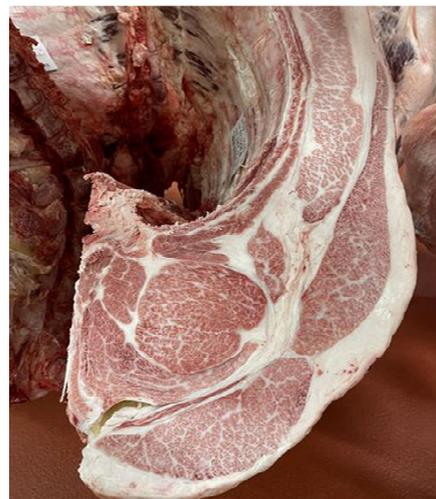
「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、物価の高騰や枝肉価格の低迷により、農業経営に影響を受けている肉用牛肥育農家の経営回復を図るため、生産にかかる経費の支援を行いました。

- 肉用牛肥育農家物価高騰対策支援金
  - ・令和5年2月1日の飼養頭数に対し、1頭当たり7,500円
- 交付要件
  - ・市内に住所を有する肉用牛肥育農家37戸（うち法人3件）

**【令和5年度における事務事業の成果】**

物価の高騰や枝肉価格の低迷により、農業経営に影響を受けていた肉用牛肥育農家の生産意欲を維持することができました。

- 肉用牛肥育農家物価高騰対策支援事業
  - 【実績】**
  - ・対象農家数 37戸（うち法人3件）
  - ・対象頭数 7,489頭
  - ・交付額 56,168千円



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	05	畜産業費
事務事業名	07	畜産農家配合飼料価格高騰対策支援事業	6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり			
担当部課	建設農林水産部 農業振興課		施策	13	農林水産業の振興			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
25,726	25,718	24,812			906	8	P. 228	

【令和5年度における事務事業の概要】

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、配合飼料価格の高止まりにより農業経営に影響を受けている畜産農家の営農継続を図るため、配合飼料価格高騰分の一部について支援を行いました。

- 畜産農家配合飼料価格高騰対策支援金
  - ・畜種毎の支援単価×飼養頭羽数
- 交付要件
  - ・市内に住所を有する肉用牛肥育農家・繁殖農家、養鶏農家（採卵鶏・肉養鶏）

※支援単価

畜 種	肥育牛	繁殖雌牛	繁殖育成牛	採卵鶏	ブロイラー
支援単価 (円/頭・羽)	2,613	433	567	12	8

【令和5年度における事務事業の成果】

配合飼料価格の高止まりにより、農業経営に影響を受けていた畜産農家の経済的負担を軽減することができました。

- 畜産農家配合飼料価格高騰対策支援事業

【実績】

- ・対象農家数 74戸
- ・対象頭羽数
  - 肥育牛 7,525頭
  - 繁殖雌牛 540頭
  - 育成牛 239頭
  - 採卵鶏 73,700羽
  - 肉用鶏 600,186羽
- ・交付額 25,718千円



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	03	農地・水保全管理支援事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課				施策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 230	
143,113	137,004	102,760		295	33,949	6,109		

【令和5年度における事務事業の概要】

農地農村が有する多面的機能を維持していくために、農業者をはじめとした住民等の組織が行う農地や農業用施設の適正な維持管理活動に対し協定農地面積に応じた補助金を交付することで平成19年度から5ヵ年事業として創設され、令和元年度で3期目に入っている。

【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年度は、79組織に活動費として補助金136,089千円を支出するとともに、活動組織からの相談に対する援助や適正な活動推進のための検査確認などを行うことにより農地、農業用施設の維持管理や長寿命化及び農村環境の良好な保全を図ることができました。

活 動 内 容	組 織 数	協定面積 (ha)	
		田	畑
農 地 維 持 活 動	79	1,594.7	320.2
資源向上活動 (共同活動)	79	1,594.7	320.2
資源向上活動 (長寿命化)	64	1,350.6	280.2

区 分	内 容	事業費 (円)
多面的機能支払補助金		136,088,546
事 務 費	負担金、旅費、消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料	694,000
計		136,782,546

支 出 内 容	補 助 率		
	国	県	市
多面的機能支払補助金	50%	25%	25%
事 務 費	100%	—	—

「資源向上活動 (共同活動) 状況」



「資源向上活動 (長寿命化) 状況」



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	05	小規模土地改良支援事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,000	650			600	50	1,350	P. 232	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

国・県の採択基準に適合しない小規模な土地改良事業について、市単独補助により地域の生産基盤整備を実施しました。

(交付条件)

- ・受益面積1ha以上、受益戸数5戸以上
- ・事業費の限度額70万円以内
- ・補助額は事業費の1/2（上限35万円）

**【令和5年度における事務事業の成果】**

農業用施設改修の認可を2箇所行い、補助金650千円を支出し、施設整備による質的向上を図ることができました。

区 分	内 容	補助金額 (円)
農道舗装	コンクリート舗装L=100.0m×W=2.5m（1箇所）	350,000
水路整備	用排水路清掃L=93.0m、土砂撤去L=60.0m	300,000
計		650,000

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

「農道舗装工事施工状況」



「農道舗装工事施工状況」



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	07	農業用排水路施設等整備事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
	13	農業用排水路施設等整備事業（繰越明許）						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	13	農林水産業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
196,965	130,904	75,114	45,000	9,718	1,072	66,061	P. 232 234	

【令和5年度における事務事業の概要】

競争力ある農業を実現するため、暗渠排水や用排水路等の基盤整備を実施するとともに、ため池の老朽化による被害を未然に防止するため、ため池改修工事や浚渫工事を行います。

【令和5年度における事務事業の成果】

大川町立川地区他の暗渠排水等の基盤整備、二里町川東地区の江湖山ため池廃止、東山代町浦川内地区他のため池浚渫工事の実施及び二里町中田地区他のため池改修工事等により、自然災害を未然に防止し、農業施設の維持及び農業生産の安定を図りました。

区 分	内 容	事業費 (円)
ため池廃止測量設計委託	大谷上（大川内町正力坊）、山王山（大坪町白野）	6,001,600
ため池浚渫工事	抜ノ前（脇田町平山）他4地区	30,000,300
ため池改修工事	棚古場（二里町中田）（R5前払金のみ）	7,000,000
ため池廃止工事	江湖山（二里町川東）堤体工、水路工	10,003,400
基盤整備工事 （伊万里東地区）	暗渠排水工事、果樹棚工事 （大川町立川、南波多町高瀬）	35,004,200
事 務 費	消耗品費、燃料費、通信運搬費、複写機使用料	900,100
ため池廃止測量設計委託 （繰越）	江湖山（二里町川東）ため池廃止測量設計1式	2,750,000
基盤整備工事（繰越）	長尾地区（黒川町長尾）暗渠排水工事 A=3.4ha	12,520,900
ため池改修工事（繰越）	長尾（大川内町正力坊）、梅ノ木谷（大坪町古賀）、物引（脇田町）	16,109,900
ため池浚渫工事（繰越）	新堤（東山代町浦川内）、黒尾岳（大川内町小石原）、飯盛小堤（二里町吉野）	10,612,800
事 務 費（繰越）	複写機使用料	500
計		124,902,100

○決算額内訳 (千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
196,965	130,904	75,114	45,000	9,718	1,072	66,061

R4繰越 44,427 41,994 27,614 10,500 4,069 -189 2,433

R5現年 152,538 88,910 47,500 34,500 5,649 1,261 63,628

※不用額は、令和6年度への繰越明許費54,654千円を含みます。 ( 54,654 ) 繰越

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	08	ため池整備促進事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
	14	ため池整備促進事業 (繰越明許)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書 P. 234	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
210,200	106,595	75,170	15,800	1,078	14,547	103,605		

【令和5年度における事務事業の概要】

ため池は灌漑用水源として重要な役割を果たしているが、堤体は老朽化により脆弱化し、洗掘されていることから維持管理に努めている。そこで災害の未然防止、危険度を図るため劣化及び耐震性等評価を行いました。また、県営事業によるため池整備を実施し、事業進捗を図ることができました。

【令和5年度における事務事業の成果】

ため池劣化及び耐震性等評価のソフト対策と県営事業ため池改修N=4箇所のハード対策を行い、住民の安全確保を図りました。

区 分	内 容	事業費 (円)
ハザードマップ作成	N=1式 287箇所 (R5前払金のみ)	12,210,000
県営事業負担金	市、地元 (越差、新堤、丹花、原)	19,200,000
計画概要書作成 (繰越)	大坂下地区	5,170,000
劣化及び耐震性等評価 (繰越)	劣化・豪雨評価 N=26箇所、耐震評価 N=6箇所	70,015,000
計		106,595,000

○決算額内訳

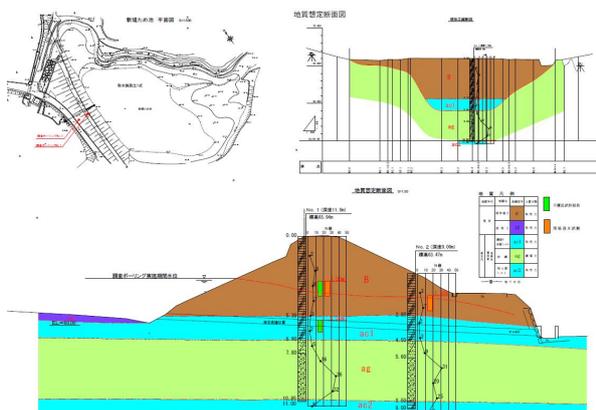
(千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
210,200	106,595	75,170	15,800	1,078	14,547	103,605

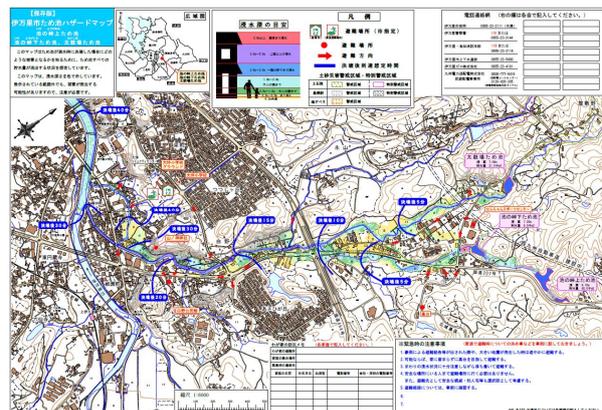
R5繰越	75,500	75,185	75,170	0	0	15	315
R5現年	134,700	31,410	0	15,800	1,078	14,532	103,290

※不用額は、令和6年度への繰越明許費103,290千円を含みます。 ( 103,290 ) 繰越

「ため池耐震性評価」



「ため池ハザードマップ」



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	10	中山間地域農業基盤・環境整備促進事業	6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり			
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課		施策	13	農林水産業の振興			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,350	2,350		800	2,396	△ 846	0	P. 234	

【令和5年度における事務事業の概要】

中山間地域の実情を踏まえ、その地域の特性を活かした農業と活力ある農村づくりに意欲があるエリアを対象に、農業生産基盤及び農村生活環境基盤の整備を行うことで、農業農村の活性化を図りました。

【令和5年度における事務事業の成果】

県営事業（伊万里東部地区中山間地域総合整備事業）に対して負担金2,350千円を納入し、中山間地域の特性を活かした農業の展開と豊かで活力のある農村づくりに貢献することができました。

区 分	内 容	事業費 (円)	負担金 (円)
農業生産基盤	萩城野倒伏堰、神谷片草排水路、仁助谷排水路、山ノ神水管橋	9,000,000	1,350,000
生活環境基盤	石坂表防火水槽	5,000,000	1,000,000
計		14,000,000	2,350,000

○負担率

農業生産基盤 国55%、県30%、市10%、地元5%  
生活環境基盤 国55%、県25%、市10%、地元10%



萩城野倒伏堰（工事前）



萩城野倒伏堰（竣工後）



神谷片草排水路（工事前）



神谷片草排水路（竣工後）



仁助谷排水路（工事前）



仁助谷排水路（竣工後）

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	11	経営体育成基盤整備事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
17,500	17,500			8,200	8,750	550	0	P. 234

【令和5年度における事務事業の概要】

東山代干拓地区の農地（A=49.9ha）は、湿田が多く麦作や畑作物など裏作の振興が図れない状況であり、また狭小の区画が点在しているため大型機械の導入が困難な状況である。このことから農業機械は個人利用及び作業委託が行われているため、今回の整備により担い手による農地集積を進め、農業経営の安定化を図ることとしている。

【令和5年度における事務事業の成果】

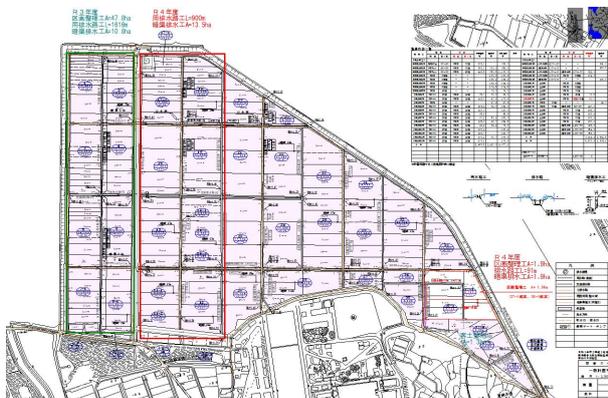
県営事業（東山代干拓地区経営体育成基盤整備事業）に対して負担金17,500千円を納入し、担い手による農地集積が進み、農業経営の安定化を図ることができました。

区 分	内 容	事業費（円）	負担金額（円）
農 地 整 備	農地整地、農業用排水路、暗渠排水	100,000,000	17,500,000
計		100,000,000	17,500,000

○負担率

農地整備（経営体育成基盤整備事業） 国55%、県27.5%、市8.75%、地元8.75%

東山代干拓計画平面図



水路現況



暗渠配水管整備状況



ほ場現況



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	15	特定鉱害復旧事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
36,741	29,081			31,656	△ 2,575	7,660	P. 236	

【令和5年度における事務事業の概要】

本事業は、東山代町大久保地区において道路陥没が発生し、現地を確認したところ、石炭採掘に起因した浅所陥没であったことから、特定鉱害復旧事業の事業認定を受けました。営農に必要な道路であり、早急に復旧する必要があるため、令和5年度は道路復旧工事を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

石炭採掘が原因となることから、原型復旧による農道の復旧を早急に実施するため、道路復旧工事を実施しました。

区 分	内 容	事業費(円)
工 事 請 負 費	工事請負費	28,848,600
事 務 費	通信運搬費、複写機使用料	232,000
計		29,080,600

着 工 前

1号ブロック積 L=44.0m



成 工 前

1号ブロック積 L=44.0m



款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	01	森林経営管理事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
14,851		12,917			12,917	0	1,934	P. 238

**【令和5年度における事務事業の概要】**

荒廃した森林の管理を促進するために平成31年4月1日に施行された森林経営管理制度に基づき、私有林における経営管理の意向調査及び経営管理権集積計画の策定を行いました。また、令和4年度に策定した集積計画に基づき、森林整備（間伐）を実施しました。さらに、林業事業体に対する担い手確保対策補助や、小学生を対象とした森林林業普及啓発のための木育教室を開催しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

- ・南波多町古川区の制度対象森林117haにおいて意向調査を実施し、最終的に165筆79haの経営管理権集積計画を策定しました。
- ・令和4年度以前に策定した集積計画に基づき、南波多町高瀬区の間伐を11.48ha実施し、今後の森林整備に繋げることが出来ました。
- ・市内の2林業事業体に対し、森林整備を担う人材を確保し雇用の安定化を図るための補助金を交付しました。
- ・森林、林業、環境教育の一環である木育教室を開催し、市内3小学校で児童計84名が参加しました。金づちを用いて、県産ヒノキを使用した万能台を製作しました。

▼地元説明会



▼木育教室



※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	03	林業後継者育成等支援事業			6つの まちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,542		2,877			1,427	1,450	665	P. 238

【令和5年度における事務事業の概要】

伊万里西松浦森林組合に対し、森林整備に関する担い手の確保や育成及び通年雇用を促進するため、森林整備担い手育成事業として技術・技能の向上や安全衛生対策及び福利厚生費等に対し補助を行いました。

また、伊万里・有田町管内において地域林業の担い手たる林業後継者の育成、確保を図る目的で結成された「伊万里有田地区森林・林業協議会」に負担金を支払うことで、林業経営研修会等の開催へと繋げることが出来ました。

【令和5年度における事務事業の成果】

伊万里西松浦森林組合に対し、技術・技能の向上や安全衛生対策及び福利厚生費等に対する補助を行うことで、林業基盤の整備と経営の安定化を図ることが出来ました。

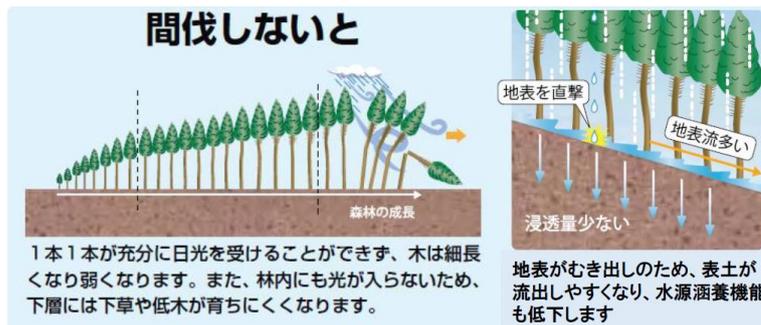
また、伊万里有田地区森林・林業協議会に対し負担金を支払い、協議会が行う林業経営研修会等に参加し、森林・林業に関する新たな知識の習得が出来ました。

項 目	支出額 (円)	備 考
森林整備担い手育成事業費補助金	2,804,523	内訳 ・基金助成(その他) 1,426,908円 ・市(一般財源) 1,377,615円
伊万里有田地区森林・林業協議会負担金	72,000	・市(一般財源) 72,000円
計	2,876,523	

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	07	森林経営管理事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	13	農林水産業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 240	
16,896	12,507			12,507	0	4,389		

【令和5年度における事務事業の概要】

令和3・4年度に定めた経営管理権集積計画に基づく経営管理権を設定した市内の森林(私有林)について、間伐を実施しました。



【令和5年度における事務事業の成果】

間伐により、林内に日光が届くようになり、下層植生の繁茂に必要な環境を整えることができ、水源涵養や土砂流出の防止等、森林が持つ公益的機能の維持・回復を図ることができました。

地 区 名	委託料決算額 (円)	間伐面積	間伐筆数	森林所有者数
黒川町横野、立目	7,881,500	9.77ha	71筆	10人
南波多町水留、原屋敷	4,625,500	5.23ha	45筆	16人

●業務着工前 (間伐前)



●業務完了後 (間伐後)



※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	08	木材加工流通施設等整備支援事業（繰越明許）			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 240	
200,000	200,000	200,000			0	0		

**【令和5年度における事務事業の概要】**

国の森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金を活用し、カーボンニュートラルを見据えたグリーン成長の実現のための施設や機械の整備等を行う事業所等に対し、補助金を交付します。

令和5年度は、木材加工流通施設を新たに整備する西九州木材事業協同組合に対して、補助金を交付しました。

- ・補助金交付先：西九州木材事業協同組合
- ・交付額：200,000千円

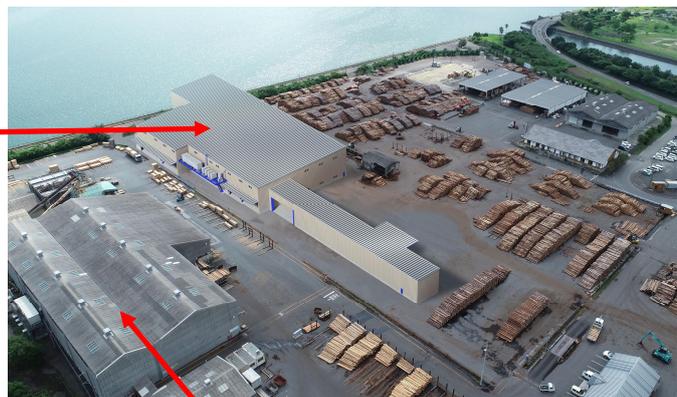
**【令和5年度における事務事業の成果】**

大径木製材設備の導入により、伊万里木材コンビナート全体では、未利用材・小径木・中径木・大径木まであらゆる原木の受入れ可能な体制が整備され、国産製材の生産性向上や林業経営基盤の強化を図ることができました。

- 既存施設（小・中径木加工施設） 原木直径40cmまで
- 新規整備施設（大径木加工施設） 原木直径70cmまで

- ・事業実施主体：西九州木材事業協同組合
- ・施設整備場所：伊万里市山代町（伊万里木材コンビナート内）
- ・新規整備施設：木材加工流通施設（大径木製材ライン一式）
- ・総事業費：1,540,908千円
- ・補助金額：200,000千円

▼工場全体



新規整備  
大径木工場

▼工場内 搬送ライン



既存施設  
小中径木工場

款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業振興費
事務事業名	02	海域環境・生態系保全管理支援事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
585		584				584	1	P. 242

【令和5年度における事務事業の概要】

水産多面的機能支払補助金では、漁業者等で構成された活動組織が行う海底清掃及び海面清掃に要する経費の一部を補助しました。

沿岸漁業振興特別対策事業費補助金では、漁業者が行うアオナマコの種苗放流（25,000尾）に要する経費の一部を補助しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

水産多面的機能支払補助金では、経費の一部を補助することで、活動組織が行う水産業・漁村の多面的機能を発揮するための地域活動を支援することができ、環境・生態系の維持回復や安心して活動ができる海域の確保などを図ることができました。

補助金交付先	佐賀県環境・生態系保全対策地域協議会 (協議会が国費、県費、市費をとりまとめ、活動組織へ一括交付)
活動組織	波多津地区海環境を守る会
補助対象経費	3,667,000円
補助率	市15% (国70%、県15%)
補助金額	550,050円

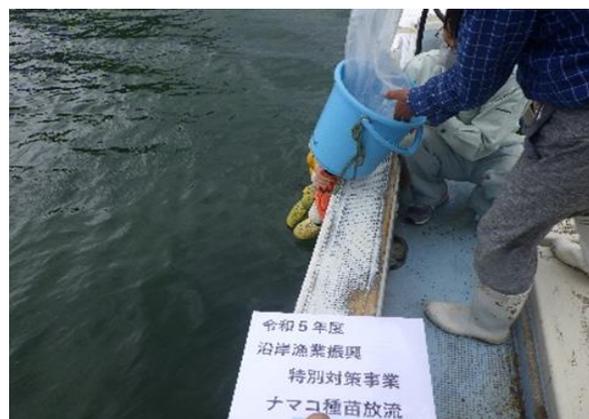
沿岸漁業振興特別対策事業費補助金では、経費の一部を補助することで、定着性の高い魚介類の放流を支援することができ、安定的な漁獲量の確保を図ることができました。

補助金交付先	佐賀玄海漁業協同組合 波多津支所
補助対象経費	137,500円
補助率	1/4以内
補助金額	34,000円

●実施状況（海底清掃）



●実施状況（アオナマコの種苗放流）



款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業振興費
事務事業名	03	第2次漁業燃料高騰対策支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 242	
1,250	1,250	1,000			250	0		

**【令和5年度における事務事業の概要】**

「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、原油価格や物価の高騰により、漁業経営に影響を受けている漁業者の経営継続を図るため、所有船の種類に応じて支援を行いました。

- 漁業燃料高騰対策支援金
  - ・船内機船、船内外機船所有者 50,000円/隻 (上限1回)
  - ・船外機船所有者 25,000円/隻 (上限1回)
- 交付要件
  - ・市内に住所を有する佐賀玄海漁業協同組合波多津支所の正・准組合員

**【令和5年度における事務事業の成果】**

原油価格や物価の高騰により、漁業経営に影響を受けていた漁業者の経済的負担を軽減することができました。

- 漁業燃料高騰対策支援金
- 【実績】**
- ・対象漁業者 26名
  - ・交付額 1,250,000円
- |      |        |              |            |
|------|--------|--------------|------------|
| (内訳) | 船内機船所有 | 24人×50,000円= | 1,200,000円 |
|      | 船外機船所有 | 2人×25,000円=  | 50,000円    |
|      | 合計     |              | 1,250,000円 |

款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	漁港管理費
事務事業名	01	波多津漁港管理事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
11,494	11,222	2,444	6,000			2,778	272	P. 242

**【令和5年度における事務事業の概要】**

波多津漁港内の漁業者就業環境の改善を図るため、昭和58年から漁港内に設置されている水銀灯照明をLED照明へ改修するとともに、漁港利用者等の安全を確保するため、漁港係船環の更新工事を実施しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

屋外照明灯をLED照明に更新したことで、漁業就業環境の改善をすることができました。また、係船環更新工事により、係留船舶の安全を確保することができました。

科 目	決算額 (円)	内 容
消 耗 品 費	19,844	係留使用許可ラベルシール、トイレトーパー
光 熱 水 費	321,685	漁港内照明電気料、漁港内トイレ電気料・水道料
手 数 料	158,057	漁港内トイレし尿汲取料
賠償責任保険料	640	道路賠償責任保険料
委 託 料	418,000	漁港管理業務委託料、広場管理業務委託料
工 事 請 負 費	9,781,200	LED化工事、係船環更新工事
原 材 料 費	314,793	補修用資材
備 品 購 入 費	154,000	オイルフェンス
負 担 金	54,000	佐賀県漁港漁場協会負担金
計	11,222,219	

●LED化工事



●係船環更新工事



款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	漁港管理費
事務事業名	02	波多津漁港管理事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策	13	農林水産業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 244	
22,295	22,295			22,200	95	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

波多津漁港施設は、平成16年度に施設の改修工事を実施しましたが、経年劣化により亀裂等が随所に見られたため、現況調査及び健全度の判定を行い、長寿命化計画を策定しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

波多津漁港施設の長寿命化計画を策定したことで、令和7年度以降の改修計画を立てることができました。

●現況写真

上部工（RC床版）鉄筋露出・脱落状況



下部工（鋼管杭）発錆状況



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	04	工場等設置奨励事業	6つのまちづくり			03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 246	
3,056	3,049			3,000	49	7		

【令和5年度における事務事業の概要】

市内に工場等の新設や増設を奨励することにより、産業の振興や新たな雇用の場を確保するため、新たな設備投資を行った事業者に対し、工場等設置奨励金を交付しました。

- ・対象要件：投下固定資産額が2,000万円を超えること
- ・交付期間：3年間（事業開始年度の翌年度から交付）

【令和5年度における事務事業の成果】

新たな設備投資が行われた4事業所に対し、工場等設置奨励金3,049千円を交付することにより、企業の安定的な経営を支援するとともに、市内において新たな雇用の場を確保することができました。

○交付期間

- ・1年目分 2件 278千円
- ・2年目分 1件 606千円
- ・3年目分 3件 2,165千円

○製造業の場合

※課税された固定資産税相当額を奨励金として交付

1年目分	不均一課税(90%免除)	10%
2年目分	不均一課税(75%免除)	25%
3年目分	不均一課税(50%免除)	50%

■ 奨励金

- ・七ツ島工業団地（黒川町）



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	11	産業DX推進事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
12,258		12,175			12,100	75	83	P. 250

【令和5年度における事務事業の概要】

コロナ禍以降の消費行動、働き方等の変化に加え、人材不足や原料、資材等の高騰など、企業を取り巻く環境の変容に伴い、企業活動においてもICTを活用した業務改善、効率化など、新たな視点を持ったビジネス改革（DX：デジタルトランスフォーメーション）への取組が重要視されていることから、DXを推進するフェアやセミナーの開催、ITツールの導入補助金等により市内企業のDXへの取組を促進しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

1 DXセミナー開催

日 程：令和5年8月23日（水）～令和5年11月2日（木）で  
全6回開催  
場 所：伊万里商工会館、先進企業視察（有田町）  
参加者：市内事業所24社延べ64名

各回では、企業が取り組むDXとは何か、中小企業が取り組んできたDX事例の紹介のほか、他社の視察や課題抽出のワークショップ、業務改善ツールの体験など、DXについて基礎から学べるセミナーを実施し、参加企業のDXへの取組を促進しました。

セミナー開催事業は令和5年度で終了し、令和6年度は事業者の個別の課題に対応するため、中小企業DX支援事業費補助金に伴走支援型のDX推進計画策定のメニューを加えています。



2 DX推進フェア開催

日 時：令和5年10月27日（金）10:00～16:00  
場 所：ロイヤルチェスター伊万里  
来場者：35社 59名  
出展者：15社

ITツールや商材・サービスに直接触れることができる機会を提供するDX推進フェアを初めて開催し、出展企業と来場者のビジネスマッチングの機会創出と市内企業のDXへの取組を促進しました。



3 中小企業DX支援事業費補助金

予 算：10,000千円  
対象事業：ITツール（ソフトウェア・クラウドサービス）の導入を伴う事業  
※ITツールの導入が必須であり、ハードウェアはソフトウェアの利用に際して必要最小限の機器が対象。  
補助金額：対象事業費の2/3以内 下限50千円～上限500千円  
実 績：28社 9,941千円 平均355千円/社

新しい生活様式の実践や生産性の向上に向けて、DXに取り組む市内の中小企業に補助金を交付しました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	12	まちなか賑わい創出事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
11,000	10,681	1,474			9,207	319	P. 250	

【令和5年度における事務事業の概要】

遊休物件を活用した中心市街地の活性化に向けて、企業委託型地域おこし協力隊による空き店舗や空き家、遊休地の実態調査を行うとともに、適宜オーナーに対する意向調査を進めました。

また、地域商業の活性化を図るため、空き店舗への新規出店者に対し、改装経費の一部を補助しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

1 地域おこし協力隊運營業務委託

令和4年度から引き続き、株式会社RURAL（本社：東京都）と企業等委託型地域おこし協力隊運營業務委託契約を締結し、令和5年8月1日には、2人目となる地域おこし協力隊員に対し委嘱状を交付しました。

①委託先 株式会社RURAL 令和4年9月1日 契約

②協力隊員 1人目 令和5年2月1日委嘱 2人目 令和5年8月1日委嘱

③活動内容

- ・遊休物件の現状調査 93件(空き店舗46件, 空き家35件, 空き地12件)
- ・オーナーへの意向調査 23件(空き店舗20件, 空き家 1件, 空き地 2件)
- ・アンケート調査  
目 的：物件遊休化の未然防止及び新規遊休物件の調査

回答数：195件

- ・遊休物件活用策の調査研究

3年間の活動概要（参考）

- ・遊休物件の調査による活用可能な物件の抽出
- ・遊休物件の活用策に係る企画立案 など



・池田隊員(令和5年8月委嘱) (右)  
梶山隊員(令和5年2月委嘱)

2 地域商業活性化支援事業費補助金

補助金額：対象事業費の2/3以内 上限 1,000千円（県外からの移住者 1,500千円）  
予 算：3,000千円  
実 績：2,948千円（3件 内訳：飲食店、美容室、雑貨店）  
県補助金：1,474千円

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	14	第2次プレミアム付商品券発行事業	6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課	施策	14	商工業の振興			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
99,600	99,472	82,450			17,022	128	P. 250	

【令和5年度における事務事業の概要】

食料品価格等物価高騰の中、市民の消費生活を下支えし地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を販売しました。  
また、従来の紙の商品券に加え、市として初となる電子商品券を発行し、キャッシュレス化に対応した地域経済の振興を図りました。

区分	第2次伊万里がんばろう応援券（紙版）	伊万里がんばろうPay（電子版）
発行数	40,000冊（額面総額：2億円）	20,000口（額面総額：1億円）
額面/セット	5,000円（500円×10枚）	5,000円
券種構成/セット	地元応援券：3,000円 + 共通券：2,000円	
販売価格/セット	4,000円	
使用期間	令和5年11月1日（水）～令和6年1月31日（水）	
販売対象	伊万里市民	
取扱店	市内で営業している店舗で、取扱店登録を受けた店舗（356店舗） ※地元応援券は、市内に本社を有する取扱店のみ使用可 共通券は、すべての取扱店で使用可	

【令和5年度における事務事業の成果】

区分	第2次伊万里がんばろう応援券（紙版）	伊万里がんばろうPay（電子版）
販売数	40,000冊（完売）	20,000口（完売）
使用金額	199,425,500円	99,935,105円
使用率	99.71%	99.94%



款	07	商工費	項	01	商工費	目	03	企業誘致推進費
事務事業名	02	企業立地勸奨事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14		商工業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
4,067		4,002				4,002	65	P. 252

【令和5年度における事務事業の概要】

市内において新たな雇用機会の創出及び伊万里東部工業団地やバンリビルへの誘致を図るため、企業訪問等による積極的な立地勸奨を行いました。

また、既存企業における事業拡張や円滑な事業活動を促進するため、フォローアップ活動に取り組みました。

【令和5年度における事務事業の成果】

○令和5年度 企業訪問実績

- ・立地勸奨数 110社
- ・フォローアップ数 55社

○令和5年度 進出企業

企業名	協定	雇用者数	事業内容
上田石灰製造（株）	R5.8	8人	生石灰、消石灰の製造
ネクストコアテクノロジーズ（株）	R6.1	90人	アモルファスモータ、高性能磁性材の開発・製造
日本ディスク（株）	R6.3	12人	ITサービス事業

【上田石灰製造（株）協定写真】



【ネクストコアテクノロジーズ（株）協定写真】



【日本ディスク（株）協定写真】



款	07	商工費	項	01	商工費	目	03	企業誘致推進費
事務事業名	03	ビジネス支援サービス業等立地促進事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14		商工業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
21,822		21,774	1,425		18,838	1,511	48	P. 254

【令和5年度における事務事業の概要】

企業誘致に取り組む中で、大学新卒者やUIJターン希望者等の就職先となる事務系企業の誘致を図るため、受け皿となるオフィススペースとして、バンリビルを賃借しました。

また、バンリビル等に進出した企業に対し、ビジネス支援サービス業等立地奨励金を交付しました。

○拠点オフィス借上料 18,889千円（月額1,574,100円）

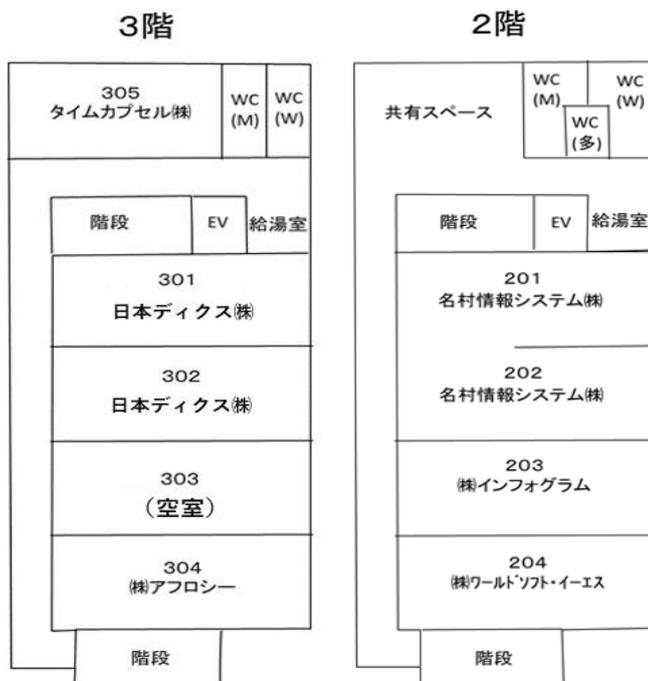
○ビジネス支援サービス業等立地奨励金

- ・1年目分 0件
- ・2年目分 3件 2,885千円

【令和5年度における事務事業の成果】

新たな雇用等を行われた3事業所に対し、ビジネス支援サービス業等立地奨励金2,885千円を交付することにより、企業の安定的な経営を支援するとともに、市内において新たな雇用の場を確保することができました。

○伊万里市ビジネス支援オフィス（バンリビル）への入居状況（令和6年3月末現在）



※財源内訳の「その他」のうち2,800千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	02	観光PR事業	6つのまちづくり			03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15	観光の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 254	
17,222	15,498			15,400	98	1,724		

【令和5年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により減少した交流人口及び観光消費の回復を図り、本来のターゲット層の「本物志向」、「シニア層」に加え、情報発信力の高い「若者層」へ本市の魅力を実践するため、観光パンフレット「旅伊万里」及びポスターを全面リニューアルしたほか、インスタグラムの市公式アカウント「ぐるっと伊万里散歩」(saga\_imari)による情報発信の強化を行いました。

また、「西鉄グランドホテル」(福岡県)、「ホテルオークラJRハウステンボス」(長崎県)において伊万里産食材を使用した料理を伊万里鍋島焼で提供する「伊万里フェア」の開催に加え、「若者層」に人気がある福岡市内の飲食店において伊万里産食材による新メニューを開発及び提供する「伊万里ジャックFUKUOKA」を実施しました。

このほか、大川内山で開催された「風鈴まつり」と時期を合わせ、福岡空港国内線ターミナルビルや都内、福岡県内のホテルなどで伊万里鍋島焼風鈴を掲出し、イベントを通じた本市の魅力発信にも注力しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

以下のとおり観光PRを実施し、本市の魅力を実践しました。

- ・インスタグラム市公式アカウント「ぐるっと伊万里散歩」による情報発信

記事投稿を134回、ストーリー投稿を228回実施し、その結果、フォロワー数は2,417増の計4,983にのぼり、投稿を見た人の数を示すリーチ数は約60万となり、このアカウントにより年間60万人に向け情報発信することができました。(フォロワー数、リーチ数ともに令和6年3月時点)

- ・大川内山風鈴祭りの開催時期に合わせた伊万里鍋島焼風鈴の掲出

首都圏、福岡都市圏のホテルや飲食店など10ヶ所、701個を掲出しました。このことにより、「伊万里鍋島焼風鈴」を通じた本市の魅力の発信ができました。

- ・伊万里フェアの開催

伊万里鍋島焼の器で伊万里産の食材を提供する「伊万里フェア」を以下のとおり開催し、特産品を通じた本市の魅力発信を行いました。

ホテルオークラJRハウステンボス (令和5年7月1日～8月31日)

西鉄グランドホテル (令和6年3月30日)

- ・伊万里ジャックFUKUOKAの開催

第1ターム	5月10日～5月31日	1店舗
第2ターム	6月1日～6月30日	5店舗
第3ターム	7月1日～7月31日	5店舗
第4ターム	8月1日～8月31日	5店舗



(主な支出内容)

・委託料	：インスタグラム市公式アカウントの運用	4,840千円
	観光パンフレット・ポスター制作	3,526千円
	伊万里ジャックFUKUOKA	2,750千円

※ 財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	03	観光振興団体支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15		観光の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
34,044		31,284			31,200	84	2,760	P. 256

【令和5年度における事務事業の概要】

市物産観光振興協議会では、福岡市天神において「伊万里プロモーションフェア」と題し、市内事業者による物産展や抽選会などPRイベントを実施したほか、福岡ソフトバンクホークスのオープン戦に協賛し「伊万里デー」を開催するなど、物産観光PRの取組により誘客の拡大を図りました。

市観光協会においては、事務局長として新たにプロパー職員を配置し、組織体制の強化を図るとともに、移管を受けたグリーン・ツーリズム事業では、農家民宿実践者の掘り起こしや旅行会社への営業に取り組みました。

また、パンフレット作成やホームページのリニューアルを行い、情報発信力の強化に取り組んだほか、旅行会社との連携による募集型企画旅行により、コロナ禍で落ち込んだ誘客の回復を図りました。

【令和5年度における事務事業の成果】

以下のとおり各種団体と連携した事業を行うことにより、誘客の促進及び消費額の向上を図ることができました。

- ・福岡都市圏における伊万里プロモーションフェア…（2月3日～4日、3月2日～3日）  
福岡三越ライオン広場及び天神地下街イベントコーナーにおいて、福岡都市圏へ向けた販売促進及び本市の認知度向上と魅力発信のため、物産展を開催し、伊万里市の特産品が当たる抽選会には多くの方が参加されました。また、「くすきの杜」や「鷹工房」による体験ブースが好評で、伊万里での体験予約につなげることが出来ました。  
福岡三越ライオン広場 各店舗の総売上570,397円 抽選会参加者1,800人  
天神地下街イベントコーナー 各店舗の総売上760,943円 抽選会参加者4,150人
- ・福岡ソフトバンクホークス2024オープン戦スポンサーゲーム…（3月16日）  
入場ゲートでサンプリングを配布したほか、イベントスペースでは、ふるさと納税返礼品を景品とした総得点予想や伊万里の特産品が当たる抽選会を実施しました。そのほか、球場内のスクリーンで本市のCMを放映、試合前インフォメーションでは伊万里市の観光や物産のPR、各球団へ伊万里牛を贈呈しました。（観客数：36,468人）
- ・阪急交通社、第一観光との連携による募集型企画旅行助成の受入実績…2,141名

（支出内容）

- ・地域活性化企業人受入負担金 7,467千円
- ・物産観光振興協議会補助金 6,359千円
- ・観光協会補助金 14,802千円
- ・観光振興強化事業費補助金 2,240千円



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	04	どっちゃん祭り開催支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15		観光の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 256	
2,998	2,997			2,900	97	1		

【令和5年度における事務事業の概要】

4年ぶりに開催された「どっちゃん祭り」について、開催に要する補助金をどっちゃん祭り実行委員会に支出しました。



【令和5年度における事務事業の成果】

これまで8月上旬に開催されていましたが、酷暑による熱中症のリスクを回避するため、今回は5月下旬に開催されました。

また、司会は、市シティプロモーション公認サポーターの石本愛さん、伊万里市出身でサガテレビアナウンサーの平川邦明さんが務められ、伊万里愛あふれる掛け合いで会場は大いに盛り上がりました。

- ・開催日 : 令和5年5月28日(日)
- ・イベント内容 : 佐賀県警音楽隊によるオープニングアクト、市内外の団体によるダンスの披露、市内中学校のブラスバンド部による演奏、大道芸人によるパフォーマンス、総踊り、女みこしの合戦と伊万里太鼓の共演
- ・人出 : 約30,000人
- ・支出内容 : 工事請負費 497千円 (物産展会場用電源設置工事)  
負担金、補助及び交付金 2,500千円 (どっちゃん祭り開催補助金)

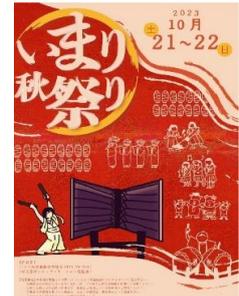


※ 財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	05	いまり秋祭り開催支援事業			6つのまちづくり	03	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15	15	観光の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
5,907	5,893			5,800	93	14	P. 256	

【令和5年度における事務事業の概要】

郷土色豊かな伝統を織りなす市民総参加の祭りである「いまり秋祭り」について、開催に要する補助金をいまり秋祭振興会へ支出しました。



【令和5年度における事務事業の成果】

恒例のわっしょいパレードや市民総踊りをはじめ、田子の浦部屋の力士や市シティプロモーション公認サポーターの石本愛さんらによる来場者参加型イベントの開催、市内事業者による物産展など大いに盛り上がりました。

- ・開催日：令和5年10月21日（土）、22日（日）
- ・主なイベント：観光大使オンステージ、伊万里太鼓の演奏、大相撲 いまり秋祭り場所、ブラスバンドフェスティバル、伊万里高校書道パフォーマンス、2023 ミスジャパン 吉田愛 トークショー、カラオケ★トンテントン、伝統芸能披露、花火
- ・人 出：約100,000人（10月21日 約40,000人、10月22日 約60,000人）
- ・振興会決算額：6,485千円

・支出内容

- 手数料： 93千円（総踊り用浴衣クリーニング代）
- 補助金：5,800千円



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	07	市内周遊観光券発行支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15	観光の振興	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
9,086		7,932			7,900	32	1,154	P. 258

【令和5年度における事務事業の概要】

本市への宿泊者を対象に旅行予約サイト上での宿泊割引に加えて、周遊観光券（食事や土産、体験等を補助する割引券）を発行することで、さらなる誘客の拡大と市内における観光客の消費額増大を図りました。



【令和5年度における事務事業の成果】

【事業内容】

- (1) 名 称 『伊万里まるごと周遊観光券』
- (2) 構 成 宿泊者1名対象 : 宿泊割引1,000円、観光券2,000円分  
宿泊者2名以上対象 : 宿泊割引2,000円、観光券4,000円分
- (3) 取 扱 数 宿泊者1名対象 : 750件（冊）  
宿泊者2名以上対象 : 375件（冊）
- (4) 助 成 率 100%以内（食事・土産・体験にかかった料金を割引）
- (5) 利用期間 令和5年10月16日～令和6年1月31日
- (6) 対象施設 市観光協会会員で、  
①宿泊 伊万里旅館組合加盟施設、その他宿泊施設など  
②食事 伊万里牛メニュー提供店、伊万里駅付近飲食店  
③土産 伊万里市観光協会、市菓子組合加盟店など  
④体験 伊万里有田焼伝統産業会館、くすきの杜など 延べ88施設
- (7) 事業費 7,931,598円

【事業実績】

- (1) 利用件数 本事業を利用した宿泊は、1名対象分742件、2名以上対象分374件
- (2) 観光券の利用額 2,276,000円  
利用率 76.3% (2,276,000円/2,980,000円 (2,000円×1,490冊))
- (3) 旅行予約サイト、市特集ページの閲覧数  
旅行予約サイト上で展開した市特集ページの閲覧数は、3か月間の掲載期間の中で74,593回となりました。

※ 財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	08	魅力向上プロジェクト事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15		観光の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,520		3,063			3,000	63	457	P. 258

**【令和5年度における事務事業の概要】**

本市の観光振興の柱である大川内山において新たな「おもてなし」の創出を目的として、環境に配慮しつつ散策が可能な車両「グリーンスローモビリティ(低速電動車)」のテスト走行を行うとともに、大川内山における新たな誘客施設の設置について関係者から意見を吸い上げ、検討を行いました。

また、本市と連携協力協定を締結している森永製菓(株)の新本社ビル建設に伴い、創業者生誕の地「伊万里」から、同社の発展を願い、本市との連携の深化を図るために寄贈する、350年の歴史と伝統、そして技術の粋を結集した「伊万里鍋島焼」を制作しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

○グリーンスローモビリティのテスト走行について

- ・車両 : ヤマハ発動機社製グリーンスローモビリティ(7人乗り)
- ・参加者 : 大川内山区民、伊万里鍋島焼協同組合窯元の関係者、伊万里市職員など
- ・協力会社 : ヤマハ発動機株式会社技術・研究本部、T-PLAN株式会社
- ・内容 : グリーンスローモビリティの導入にあたって、車両の特徴(速度、車幅、操作性など)や大川内山での走行経路(ルート、道幅、走行時間、駐車場など)の検証を行うため、テスト走行を実施しました。
- ・テスト結果 : 事故やテスト走行にかかる諸問題の発生は特にありませんでした。一部の観光スポットでは運航に支障のある箇所があったため、コースの検討が必要です。



▲テスト走行のようす



▲大川内山での風景

○寄贈する伊万里鍋島焼の制作業務委託について

- ・委託先 : 伊万里鍋島焼協同組合
- ・委託料 : 1,500,000円
- ・成果品 : 色絵エンゼル橘紋瓶子(右写真のとおり)
- ・寄贈先 : 森永製菓(株) (令和6年度に寄贈)



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	09	観光基盤関連施設整備事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15		観光の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
20,293	16,410	4,002		12,400	8	3,883	P. 258	

【令和5年度における事務事業の概要】

令和6年度に開催されるSAGA2024国スポ・全障スポに向けて、県内外の方々が市内の公共的な施設を快適に利用できるよう、佐賀県の「KIZUKI・看板改修支援事業費補助金」を活用し、老朽化した案内看板の改修及び撤去を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

老朽化が進み景観を損ねていた市内の公共的な看板について、県の補助制度を活用し、集中的に改修及び撤去を行いました。

市境の歓迎塔や市内の案内板等に、令和5年6月に正式発表した市の新たなロゴマークを取り入れ、統一感を生み出すことができました。(写真)

①



②



③



看板 (抜粋)	設置場所
① 市境歓迎看板	大川内町、松浦町、二里町 (旧国見有料道路、長井手橋付近)
② 歓迎塔 (国見台公園)	二里町
③ 歓迎塔 (森永公園)	大坪町
④ 歓迎塔 (いまりんビーチ)	黒川町
⑤ 文化財説明看板	市内各所 (大野岳タイワンツバメシジミ繁殖地説明ほか)
⑥ 自転車歩行者専用道路看板	瀬戸町

- ・改修59基
- ・撤去5基

事業費：16,410,279円  
うち委託料 1,873,300円  
工事請負費 14,536,979円

- 県支出金：KIZUKI・看板改修支援事業費補助金  
補助率 2/1 補助上限 400,000円/基  
交付額 4,002,088円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	10	高速バス「いまり号」再構築（直行便新設）支援事業	6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課	施策	15	観光の振興			
予算現額 (千円)	5,850	決算額 (千円)	4,301	財 源 内 訳			不用額 (千円)	1,549
				国・県支出金	2,900	地方債	その他	一般財源
								1,401
								1,549
								P. 260

【令和5年度における事務事業の概要】

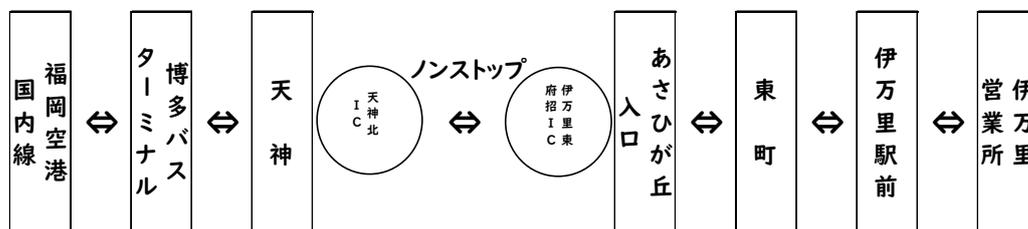
昭和自動車㈱が、コロナ禍で乗客が減少した高速バス「いまり号」の回復のため試験的に創設した伊万里～福岡をつなぐ直行便の運行費用及び利用促進キャンペーンに係る経費を補助金として交付しました。



【令和5年度における事務事業の成果】

- ・ 事業期間 : 令和5年10月1日から令和6年2月29日  
※運行は上記期間中の土曜日、日曜日、祝日  
※計47日
- ・ 運行内容 : 【伊万里⇒福岡】  
①伊万里営業所（8:22発）→福岡空港国内線（10:13着）  
②伊万里営業所（14:52発）→福岡空港国内線（16:43着）  
【福岡⇒伊万里】  
①福岡空港国内線（11:13発）→伊万里営業所（13:22着）  
②福岡空港国内線（17:43発）→伊万里営業所（19:52着）  
※直行便のみ記載  
※計188便

- ・ 停留所 : 以下のとおり  
●福岡伊万里間直行便のバス停



- ・ キャンペーン : 直行便の乗客の中から抽選で伊万里牛を進呈（50名に進呈）
- ・ 実績 : 乗車人員 2,619人

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	02	道路管理事業（単独）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 264	
254,777	240,040	19,169	127,100		93,771	14,777		

【令和5年度における事務事業の概要】

身近な生活道路である市道について、歩行者や車両が安全に利用できるよう、市内全域の側溝整備、舗装、路肩等の維持補修工事や街路樹等の維持管理を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

側溝や舗装など道路施設の維持補修や街路樹管理などを行い、道路の機能維持や歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

工 種	事 業 費	事 業 内 容
側 溝 整 備	6,364	5路線 L=98m（改修含む）
一 般 補 修	21,759	39路線 n=44箇所（側溝補修、路肩補修等）
法 面 対 策	3,505	9路線 A=212㎡
舗 装 補 修	147,378	51路線 A=21,330㎡
局 部 改 良	9,086	5路線 L=134m
道路照明灯修繕	10,362	3路線 n=14基
小 計	198,454	
委 託 料	23,791	33件（街路樹管理業務、草刈業務、 支障木伐採業務、用地測量業務）
使用料及び賃借料	836	市道補修用モーターグレーダー借上料等
原 材 料 費	10,089	生コン、側溝、アスファルト合材等
用 地 購 入 費	771	5件
備 品 購 入 費	1,889	ウッドチップ等
事 務 費	4,210	消耗品費、光熱水費、修繕料、通信運搬費
小 計	41,586	
合 計	240,040	

【令和5年度における市道に関する要望・通報件数状況】

	件数	採択件数	採択率
要 望 書	212件	61件	28.8%
通 報（電話、来庁等）	251件	122件	48.6%
LINE 通 報	35件	29件	82.9%
合 計	498件	212件	42.6%

※不用額は、令和6年度への繰越明許費9,900千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	03	道路管理事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 264	
5,715	5,690	2,813	2,700		177	25		

【令和5年度における事務事業の概要】

道路防災・付属物点検結果に基づき、老朽化した法面の補修工事を行い、適切な市道の維持管理に努めました。

【令和5年度における事務事業の成果】

市道中山上～井野尾線の法面工事をを行い、歩行者や車両の通行における安全性の確保を図ることができました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道中山上～井野尾線	5,640	法面補修工事 L=135m モルタル吹付工 A=1,738㎡
事 務 費	50	消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合 計	5,690	

【市道中山上～井野尾線】

1工区



2工区



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	04	道路管理事業（単独）（繰越明許）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 266	
5,622	5,622				5,622	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

身近な生活道路である市道について、歩行者や車両が安全に利用できるよう、市内全域の側溝整備、舗装路肩等の維持補修工事や街路樹等の維持管理を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

側溝や舗装など道路施設の維持補修を行い、道路の機能維持や歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

路線名	事業費	事業内容
市道小石原1号線	2,035	道路改良工事 L=27.0m
市道小麦原5号線	2,860	道路改良工事 L=33.9m
市道板木3号線(長谷2号橋)	727	橋梁架替工事 L= 5.0m
合 計	5,622	

【市道小石原1号線】



【市道小麦原5号線】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	05	道路管理事業（社会資本整備総合交付金）（繰越明許）		6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり		
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 266	
36,902	36,902	17,518	19,200		184	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

道路防災・付属物点検結果に基づき、老朽化した法面の補修工事を行い、適切な市道の維持管理に努めました。

【令和5年度における事務事業の成果】

市道みどりが丘1号線道路法面補修調査設計業務委託及び市道中山上～井野尾線の法面工事をを行い、歩行者や車両の通行における安全性の確保を図ることができました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道みどりが丘1号線	3,011	L=135m A=4,700㎡ 法面調査、地質調査
市道中山上～井野尾線	32,060	法面補修工事 L=135m モルタル吹付工 A=1,738㎡
事 務 費	1,831	消耗品費、燃料費、通信運搬費、複写機使用料
合 計	36,902	

【市道中山上～井野尾線】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	02	市道改良事業（単独）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 266	
12,000	2,393				2,393	9,607		

【令和5年度における事務事業の概要】

地域に密着した生活道路の整備を進めるために、市単独事業により集落内の道路3路線の改良工事を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

道路拡幅の改良工事を行うことで、利便性の向上や安全性の確保を図ることができました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道戸石川4号線	1,252	局部改良工事 L=49.6m (As舗装工 219.6㎡)
市道提川～笠椎線	1,141	舗装工事 L=37.5m (As舗装工 163.0㎡)
合 計	2,393	

【市道戸石川4号線】



【市道提川～笠椎線】



※不用額は、令和6年度への繰越明許費9,607千円です。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	03	市道改良事業（道整備交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 266	
10,140	10,140	5,000	4,900		240	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

道整備交付金を活用し、市道讃岐～古場線の改良工事を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

地域再生計画の目標として、市道と林道を一体的に整備することにより森林施業や治山事業などを円滑に進め、利便性の向上や安全性の確保を進めることができました。

(千円)

路線名	事業費	事業内容
市道讃岐～古場線	10,028	道路改良工事 L=96.7m（排水工 82m As舗装工 444㎡）
事務費	112	消耗品費、通信運搬費、複写機使用料
合計	10,140	

【市道讃岐～古場線】

起点側より



終点側より



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	04	市道改良事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 268	
33,309	19,996	9,908	10,500		△ 412	13,313		

【令和5年度における事務事業の概要】

社会資本整備総合交付金を活用し、市道重橋～中山線の舗装工事を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

市道の利便性向上や安全性の確保を図るため、道路拡幅後の舗装工事を行うことができました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道重橋～中山線	12,856	道路舗装工事 L=155m (As舗装工 1,183㎡)
	7,066	道路舗装工事(その2) 前払金 L=125m (As舗装工 941㎡)
事 務 費	74	消耗品費、燃料費、通信運搬費、複写機使用料
合 計	19,996	

【市道重橋～中山線】



※不用額は、令和6年度への繰越明許費13,313千円です。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	05	市道改良事業（道整備交付金）（繰越明許）	6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり			
担当部課	建設農林水産部 道路河川課		施策	17	道路・交通体系の整備			
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,120	3,120	1,550	1,400		170	0	P. 268	

【令和5年度における事務事業の概要】

道整備交付金を活用し、林道と市道を一体的に整備するため地域再生計画に基づき市道讃岐～古場線の改良工事を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

地域再生計画の目標として、市道と林道を一体的に整備することよりの森林施業や治山事業などを円滑に進め、利便性の向上や安全性の確保を進めることができました。

(千円)

路線名	事業費	事業内容
市道讃岐～古場線	3,103	道路改良工事 L=44.0m（排水工 44m As舗装工 143㎡）
事務費	17	燃料費
合計	3,120	

【市道讃岐～古場線】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	06	市道改良事業（社会資本整備総合交付金）（繰越明許）	6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり			
担当部課		建設農林水産部 道路河川課	施策	17	道路・交通体系の整備			
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
7,866	7,866	3,904	3,500		462	0	P. 268	

【令和5年度における事務事業の概要】

社会資本整備総合交付金を活用し、市道重橋～中山線の舗装工事を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

市道の利便性向上や安全性の確保を図るため、道路拡幅後の舗装工事を行うことができました。

(千円)

路線名	事業費	事業内容
市道重橋～中山線	7,806	道路舗装工事 L=155.0m (As舗装工 1,183㎡)
事務費	60	消耗品費、通信運搬費
合計	7,866	

【市道重橋～中山線】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	02	交通安全施設整備事業（単独）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 270	
41,875	41,859				41,859	16		

【令和5年度における事務事業の概要】

道路利用者の安全を確保するため、ガードレール等の防護柵設置や路面標示の区画線設置及び道路反射鏡等の交通安全施設を整備しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

交通安全施設の整備を行うことにより、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

工 種	事 業 費	事 業 内 容
防護柵設置	20,704	18路線 L=913.5m
区画線設置	17,385	28路線 L=25,569.2m
安全帯設置	2,783	4路線 L=98.6m
原 材 料 費	987	道路反射鏡、支柱等
合 計	41,859	

防護柵

【市道浪瀬峠～桃川線】



区画線

【市道大坪～松島線】



【市道内の馬場1号線】



【市道公園橋線】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	03	交通安全施設整備事業(補助)			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 270	
87,162	17,873	8,792	10,400		△ 1,319	69,289		

【令和5年度における事務事業の概要】

社会資本整備総合交付金を活用し、歩行者や高齢者、障がいのある人たちに配慮した道路環境をつくるため市道提川～川西線の歩道拡幅の用地を取得し、改良工事を実施しています。

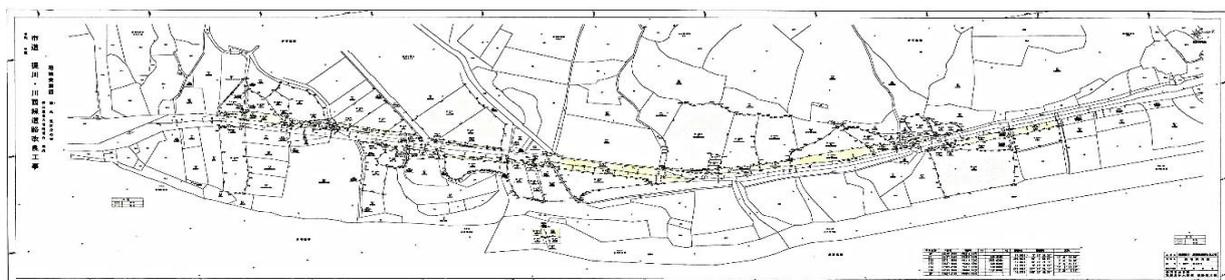
【令和5年度における事務事業の成果】

道路拡幅に伴う用地取得を行い、供用に向けて事業の進捗を図ることができました。

(千円)

路線名	事業費	事業内容
市道提川～川西線	10,600	道路改良工事(前払金)L=300m (道路土工 1,936m <sup>3</sup> )
用地購入費	3,442	20筆 2244.7m <sup>2</sup> (田、畑、山林、原野、ため池、公衆用道路)
物件移転補償費	2,878	スギ・ヒノキ、庭木類 1式 (3筆)
事務費	953	消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合計	17,873	

【市道提川～川西線】



※不用額は、令和6年度への繰越明許費69,280千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	04	交通安全施設整備事業（補助）（繰越明許）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 270	
36,120	36,120	18,920	17,100		100	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

道路交通安全施設等対策事業費補助金を活用し、市道の歩道拡幅工事に取り組みました。また、歩行者等の河川への転落を防ぐため、転落防止柵の設置を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

歩行者等の転落を防ぐため、河川構造物上に転落防止柵の設置を行い、歩行者の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道大里2号線	3,222	防護柵設置工事 L=156m
市道提川～川西線	28,578	測量設計、補償調査
	2,606	道路改良工事 (L=390m、A=1,776.7㎡)
事 務 費	1,714	消耗品費、通信運搬費、複写機使用料
合 計	36,120	

【市道大里3号線】



【市道提川～川西線】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	02	橋りょう管理事業（補助）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課		建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
120,650	86,997	47,260	35,800		3,937	33,653	P. 272	

【令和5年度における事務事業の概要】

国の補助金を活用し、平成25年度に作成した伊万里市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、第2佐代川橋、明神橋の補修工事を実施し、松浦跨線橋、重橋の補修工事に取り組みました。また、橋りょうの定期点検を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

補修工事を行う事により老朽化した橋りょうの健全度が高まり、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

また、定期点検を行い、橋りょうの現状における健全性を把握することができました。

（千円）

橋りょう名	事業費	事業内容
市道橋定期点検	24,562	詳細設計（相生橋、学校橋） 定期点検（提川橋ほか18橋）
第2佐代川橋 <small>（市道浦ノ崎～西大久保～野々頭線）</small>	34,508	橋りょう補修工事 L=20.3m 橋面舗装 82㎡、防護柵補修工 40.2m
明神橋 <small>（市道市村1号線）</small>	10,676	橋りょう補修工事 L=13.2m 上部工補修 1式、防護柵取替工 26.3m、塗装工 45㎡
松浦跨線橋 <small>（市道浪瀬峠～桃川線）</small>	4,900	橋りょう補修工事 L=17.0m（前金払） 橋面舗装工 123㎡、伸縮装置取替工 18.3㎡
重橋 <small>（市道重橋～中山線）</small>	11,298	橋りょう補修工事 L=21.0m（前金払） 橋面舗装工 115㎡、伸縮装置取替工 11.0㎡
事務費	1,053	普通旅費、消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合計	86,997	

【第2佐代川橋】



【明神橋】



※不用額は、令和6年度への繰越明許費33,653千円です。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	03	橋りょう管理事業（単独） （繰越明許）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 272	
4,113	4,113				4,113	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

身近な生活道路である市道について、歩行者や車両が安全に通行できるよう、老朽化した橋りょう1橋の架け替えを実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

老朽化した橋りょうの橋梁架替工事を行う事により、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

橋りょう名	事業費	事業内容
長谷2号橋 (市道板木3号線)	4,113	橋梁架替工事 L=5.0m W=7.0m
合 計	4,113	

【長谷2号橋】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	04	橋りょう管理事業（補助） （繰越明許）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 274	
22,796	22,784	12,386	9,200		1,198	12		

【令和5年度における事務事業の概要】

国の補助金を活用し、平成25年度に作成した伊万里市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、公園橋、滝野校橋の詳細設計を行いました。また、楠久跨線橋、第2佐代川橋及び明神橋の補修工事を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

補修工事を行う事により老朽化した橋りょうの健全度が高まり、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

橋りょう名	事業費	事業内容
公園橋 (市道公園橋線)	7,402	詳細設計 (n=1式)
滝野校橋 (市道滝川内7号線)	5,877	詳細設計 (n=1式)
楠久跨線橋 (市道楠久～辻の堂線)	4,768	橋りょう補修工事 L=17.0m 塗替塗装 111.6㎡、橋面工 55.3㎡、断面修復工 1式
第2佐代川橋 (市道浦ノ崎～西大久保～野々頭線)	2,473	橋りょう補修工事 L=20.3m (前払金) 橋面舗装 82㎡、防護柵補修工 40.2m
明神橋 (市道市村1号線)	2,000	橋りょう補修工事 L=13.2m (前払金) 上部工補修 1式、防護柵取替工 26.3m、塗装工 45㎡
事務費	264	普通旅費、消耗品費、使用料及び賃借料
合計	22,784	

【楠久跨線橋】



款	08	土木費	項	03	河川費	目	03	河川改良費
事務事業名	01	河川局部改修事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
24,840	10,234		10,700		△ 466	14,606	P. 276	

【令和5年度における事務事業の概要】

治水安全度の低い普通河川天神川の護岸の整備を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

普通河川天神川の護岸整備により、周辺の農地の洪水被害の危険度が低減し、地域住民の安心安全な生活を確保することができました。

(事業内容)

河川名 普通河川天神川 (大川内町小石原地内)

工事内容 L=63.0m 護岸工

着工前



成 工



※不用額は、令和6年度への繰越明許費14,527千円を含みます。

款	08	土木費	項	03	河川費	目	03	河川改良費
事務事業名	02	浦分地区浸水対策事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課		建設農林水産部 道路河川課				施策	22	防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 278
45,913	43,810			44,600		△ 790	2,103	

【令和5年度における事務事業の概要】

浸水常襲地区である黒川町浦分地区の浸水対策のために地質調査、測量設計等を行いました。

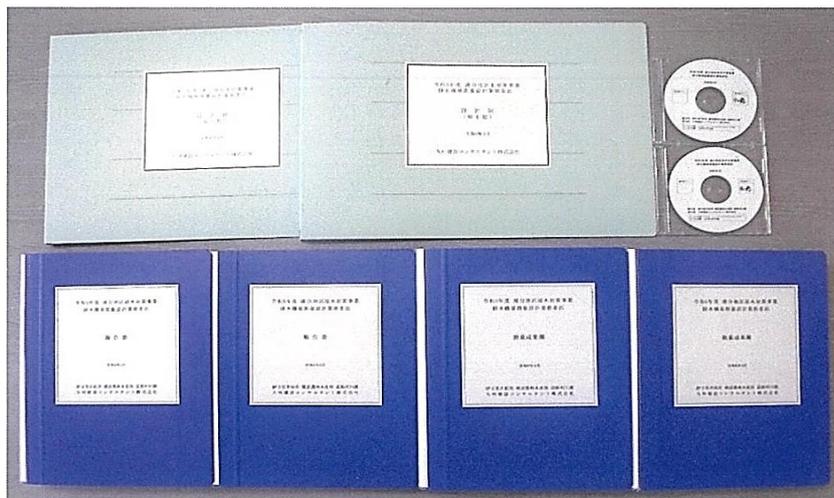
【令和5年度における事務事業の成果】

排水機場予定地の地質調査や測量を行い、その結果を基に、排水機場建設工事のための設計図等を作成することができました。

(事業内容)

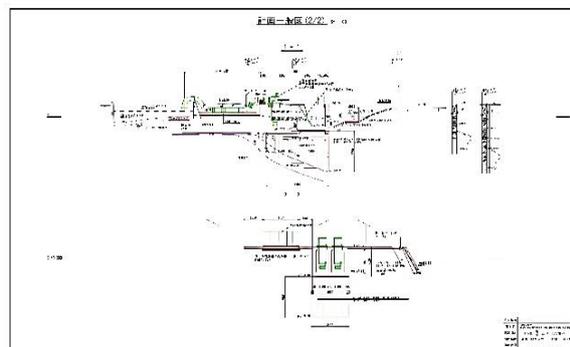
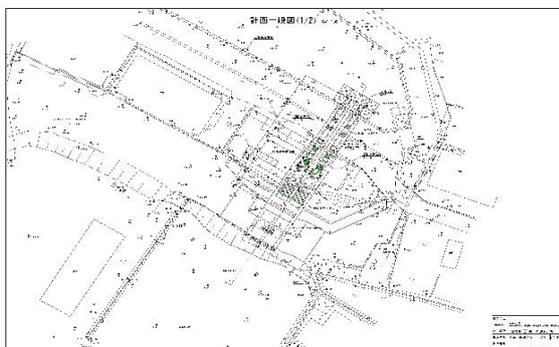
浦分地区浸水対策事業 測量設計業務委託 (黒川町浦分地内)

成果品



計画平面図

計画断面図



款	08	土木費	項	03	河川費	目	04	土砂災害対策費
事務事業名	01	急傾斜地整備事業				6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
46,739	12,513	6,233	5,200	1,967	△ 887	34,226	P. 278	

【令和5年度における事務事業の概要】

県の急傾斜地整備事業を活用し、整備要望があった急傾斜地崩壊危険区域内の斜面崩壊防止工事を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

要望があった5地区のうち、1地区の崩壊防止工事を実施し、周辺住民の安全を確保することができました。

残りの4地区は、令和6年度に繰越して崩壊防止工事を行います。

(事業内容)

浦潟地区（黒川町浦潟地内）

延長 L=20.0m

落石防護網工

着工前



成 工



※不用額は、令和6年度への繰越明許費34,226千円です。

款	08 土木費	項	04 港湾費	目	01 港湾管理費	
事務事業名	03 港湾整備促進事業	6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 伊万里湾総合開発課		施策	16	港湾の活用	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳			不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
33,500	33,500		30,100	3,400	0	P. 280

【令和5年度における事務事業の概要】

伊万里港湾沿岸において、海岸管理者である佐賀県が実施する海岸保全施設の補修等を行う事業及び伊万里港の港湾施設の機能回復等を行う事業に対し、その経費の一部を負担しました。

(千円)

事業内容	事業期間	事業費	市負担率	市負担額
海岸保全施設（樋門）補修	R4-R6	30,000	0.5/10	1,500
久原南泊地埋没浚渫	R5-R7	90,000	1/6	15,000
楠久2号橋りょう落橋防止装置設置	R4-R8	102,000	1/6	17,000
合 計		222,000	-	33,500

【令和5年度における事務事業の成果】

海岸保全施設（護岸・樋門）補修の実施及び橋りょうの耐震補強工事等により、伊万里湾沿岸の海岸保全施設の機能が回復され防災機能の向上に貢献することができました。

なお、事業費ベースで海岸保全施設補修は約30%、久原南泊地の浚渫は約77%、橋りょうの耐震補強工事は約58%が完了している状況です。



※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

款	08	土木費	項	04	港湾費	目	02	港湾振興費
事務事業名	01	伊万里港ポートセールス推進事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 伊万里湾総合開発課			施策	16		港湾の活用
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
22,324		13,762			12,600	1,162	8,562	P. 280

【令和5年度における事務事業の概要】

平成9年度に伊万里港国際コンテナターミナル（黒川町七ツ島地区）が供用開始されたことに伴い、平成11年8月に佐賀県、伊万里市、民間物流業者、関係団体により設立された「佐賀県伊万里港振興会」を推進母体として、官民一体で国内外の荷主や船社に対し、集荷と航路誘致の両面から伊万里港のポートセールスを行いました。

《主な取組内容》

- ・国際物流総合展への出展、伊万里港セミナーの開催などの広報事業
- ・輸出入のバランス改善を目的とした「輸出コンテナ助成」
- ・新規航路開拓を目的とした「東南アジア・台湾輸出入コンテナ助成」

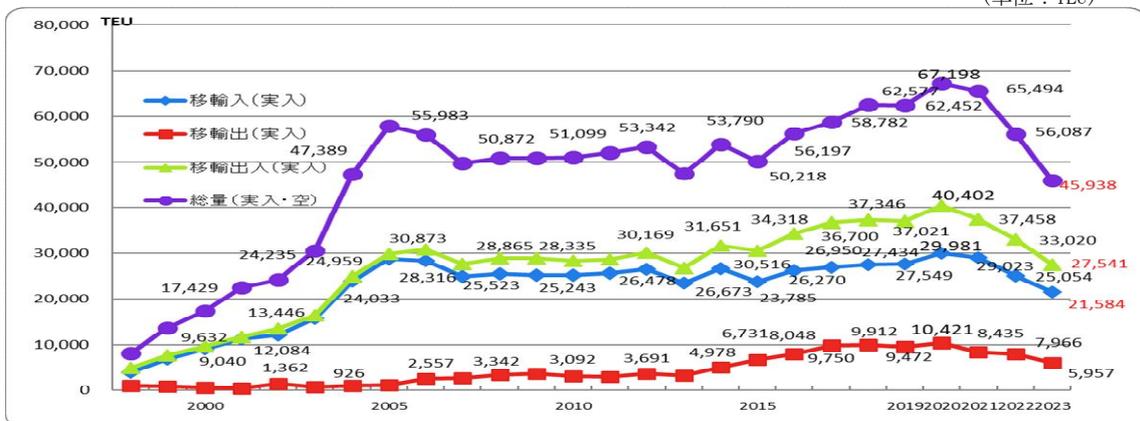
【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年の伊万里港のコンテナ貨物取扱量は、新型コロナウイルスによる巣ごもり需要の終息などによる世界的な財需要の低迷や中国経済の減速等に伴い、実入の移輸出貨物は5,957TEU、また移輸入貨物は21,584TEUで、移輸出入合計で27,541TEUとなり、前年より5,479TEU減少（△16.6%）する中、令和4年度から実施している「東南アジア・台湾輸出入コンテナ助成制度」の成果として、令和5年度の新規荷主は7社あり、伊万里港を前年度から継続利用した荷主は約80%と高い定着率となるなど、新規荷主の獲得に加え、継続利用によるコンテナ取扱量の減少を抑制することができました。

※TEU・・・20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ取扱個数の単位

伊万里港コンテナ貨物取扱量

(単位：TEU)



令和5年 品目別コンテナ貨物取扱量

順位	移 輸 出	TEU	前年比	移 輸 入	TEU	前年比
1	ロール紙	2,778	▲ 33.3%	家具・家具装備品	6,123	▲ 19.9%
2	古紙	830	▲ 26.9%	日用品雑貨(衣類を除く)	3,648	▲ 20.4%
3	原木・木材製品	804	▲ 29.5%	動物性飼料原料	2,235	17.1%
4	機械・機械部品	292	▲ 23.8%	船舶用部品	1,321	8.9%
5	鉱物製品	135	26.2%	機械・機械部品	1,003	▲ 58.7%
6	水産品	105	38.2%	わら	927	▲ 21.0%
7	肥料・肥料原料	93	447.1%	原木・木材製品	839	4.2%
8	鉄鋼製品	45	▲ 30.8%	鉄鋼製品	729	▲ 14.7%
9	窯業製品	43	▲ 4.4%	衣類・身廻品・履物・繊維工業品	681	13.1%
10	金属製品・原料	31	1450.0%	寝具	640	▲ 22.0%
	その他	801	▲ 3.7%	その他	3,438	13.8%
	計	5,957	▲ 25.2%	計	21,584	▲ 13.9%

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	01	都市計画総務費
事務事業名	01	都市計画総務事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課		建設農林水産部 都市政策課			施策	19	都市空間の形成	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
10,832	10,194	2,300				7,894	638	P. 282

【令和5年度における事務事業の概要】

都市での活動や生活を円滑にする動脈的な役割を果たす都市計画道路の計画について、長期未着手となっている4路線の見直し案を作成しました。  
 景観計画については、令和4年度に作成した景観計画を実効性のあるものにするため、景観条例を制定しました。  
 また、都市づくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、個別具体の都市計画の指針として地区別の将来のあるべき姿をより具体的に明示し、地域における都市づくりの課題とこれに対応した整備等の方針を決め、都市全体を見渡しなが将来の都市像を描き、都市拠点への居住機能や医療・福祉・商業・公共交通等の様々な都市機能の誘導により、コンパクトシティの実現に向けた計画を策定しています。

【令和5年度における事務事業の成果】

都市計画道路八谷搦駅前線外3路線について、将来的な必要性を検討し、計画を見直すことにより、適正な都市計画道路の整備計画の見直し案を作成することができました。  
 景観条例を令和6年1月1日から施行し、佐賀県遺産である里地区の「里小路の矢竹生垣通り」と大川内山地区の「秘窯の里 大川内山」の良好な景観の保全を行いました。  
 また、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定については、現況及び上位関連計画を整理し、住民アンケートを実施、集計、解析することで、住民の意向を把握しました。

決算額内訳 (千円)

費 目	事業費	事業内容
委員報酬	125	都市計画審議会委員報酬
報 償 費	104	景観計画策定委員謝礼
旅 費	31	都市計画審議会委員旅費
光熱水費	34	蓮池跨線橋電気代
委 託 料	9,777	都市計画道路見直し業務委託 都市計画マスタープラン策定業務委託 立地適正化計画策定業務
負 担 金	123	都市計画協会会費
合 計	10,194	



里地区の「里小路の矢竹生垣通り」



大川内山地区の「秘窯の里 大川内山」

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	01	都市計画総務費
事務事業名	02	都市計画総務事業（繰越明許）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策		19	都市空間の形成	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
6,550	5,778					5,778	772	P. 282

【令和5年度における事務事業の概要】

都市計画法第6条第1項の規定により、都道府県は都市計画区域について、概ね5年ごとに都市計画に関する基礎調査として、人口規模、産業分類別の就業人口の規模、市街地の面積、土地利用、交通量その他国土交通省令で定める事項に関する現況及び将来の見通しについて調査を実施することとなっており、その調査を実施する県に対し、その経費の一部を負担しました。

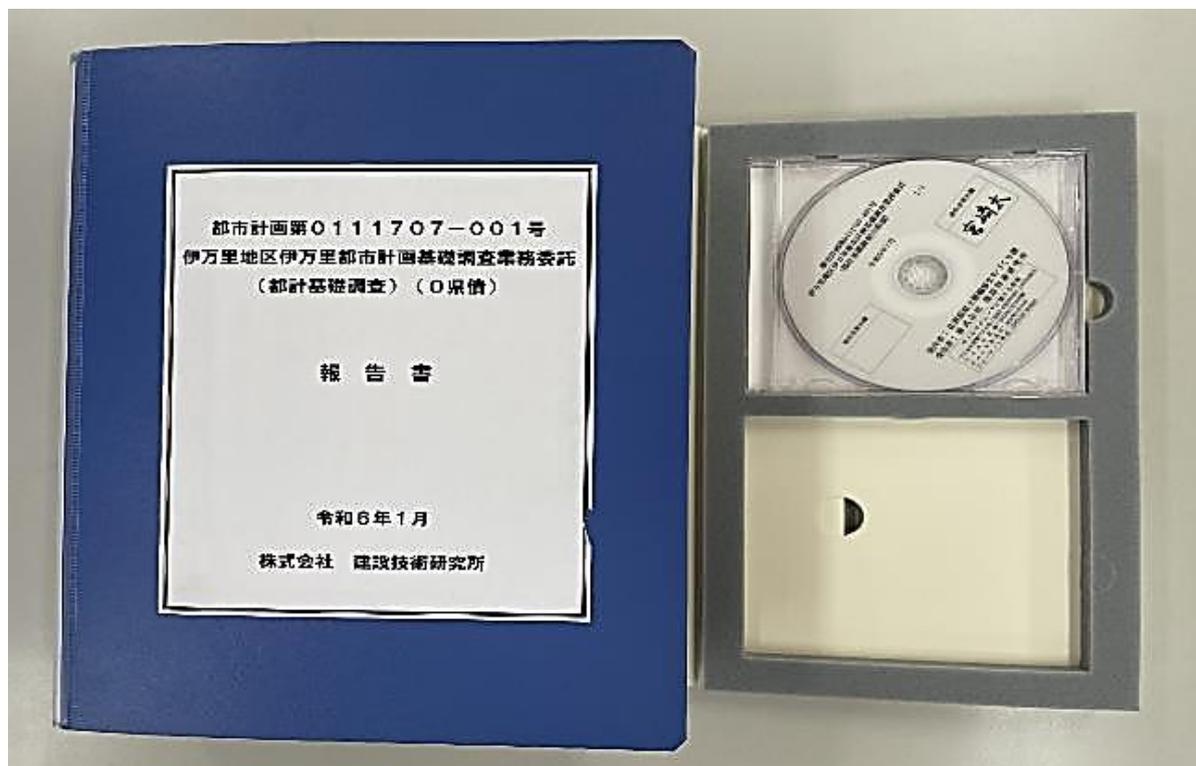
【令和5年度における事務事業の成果】

県において、令和2年度に実施された国勢調査の結果公表に伴い、都市計画の変更等を行う際に必要となる都市計画基礎調査の中で、伊万里地区伊万里都市計画基礎調査が実施され、本市では、この基礎データを活用し、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を策定しています。

決算額内訳

(千円)

費 目	事業費	事業内容
負 担 金	5,778	伊万里地区伊万里都市計画基礎調査
合 計	5,778	



伊万里地区伊万里都市計画基礎調査業務委託 報告書

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	02	公園事業費
事務事業名	01	都市公園管理事業				6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課		建設農林水産部 都市政策課				施策	19	都市空間の形成
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
152,345	93,212	12,748	12,900	28,074	39,490	59,133	P. 282	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

市内の都市公園37か所と公園緑地5か所を定期的に巡回し、遊具の点検、草刈、樹木管理を行いました。

また、都市公園3公園において、複合遊具の更新、インクルーシブ遊具、ユニバーサルデザイントイレの整備を行いました。複合遊具の更新については、国の公園施設長寿命化対策支援事業を活用しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

適正な維持管理を行うことに加え、遊具の更新、公園整備により、利用者に安全で安心な休憩やレクリエーションの場、緑と触れ合う場を提供することができました。

国見台公園 複合遊具

更新前



更新後



森永公園 複合遊具

更新前



更新後



伊万里ファミリーパーク インクルーシブ遊具

整備前



整備後



※財源内訳の「その他」のうち27,800千円は、ふるさと応援基金繰入金

※不用額は令和6年度への繰越明許費57,050千円を含みます。

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	02	公園事業費
事務事業名	02	普通公園管理事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策	19	都市空間の形成		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,566	9,908			5,440	4,468	658	P. 284	

【令和5年度における事務事業の概要】

市内の自然公園3か所、河川公園3か所、児童遊園等5箇所、森林公園1箇所を定期的に巡回し、遊具の点検、草刈、樹木管理を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

適正な維持管理を行うことに加え、遊具の更新、公園整備により、利用者に安全で安心な休憩やレクリエーションの場、緑と触れ合う場を提供することができました。

自然公園

大平山公園、高尾山公園、竹の古場公園

河川公園

桃川親水公園、大黒堰歴史ふれあい広場、ウォーターフロントこまなき

児童遊園等

大川児童遊園、山代児童遊園、片竹児童遊園、川東児童遊園、大川ふれあい広場公園

森林公園

都川内森林公園

大平山公園

作業前



作業後



都川内森林公園

作業前



作業後



※財源内訳の「その他」のうち5,400千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	02	公園事業費
事務事業名	03	公園施設等改修事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 施設営繕課			施策	19	都市空間の形成		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 286	
3,198	2,903				2,903	295		

**【令和5年度における事務事業の概要】**

公園施設等のトイレの衛生環境の改善と危険性の除去を図るため、落下式トイレの簡易水洗化など、改修等のための実施設計を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

下記の実施設計を行いました。

施 設 名	設 計 内 容
深山運動広場	落下式トイレの簡易水洗化・洋式化，建物内外装の改修
東山代運動広場	【中央トイレ】 落下式トイレの簡易水洗化・洋式化，建物内外装の改修 【アーチェリー場トイレ】 落下式トイレの解体 【ゲートボール場トイレ】 落下式トイレの休憩所としての改修
南波多ミニスポーツ会館	落下式トイレの洋式化
国見台相撲場	落下式トイレの洋式化
竹の古場公園	【山頂側トイレ】 落下式トイレの解体 【公園入口付近トイレ】 簡易水洗和式トイレの洋式化
高尾山公園	【山頂側トイレ】 落下式トイレの解体 【駐車場付近トイレ】 落下式トイレの簡易水洗化・洋式化
里・福和児童公園	落下式トイレの解体
腰岳健康の森	落下式トイレの解体

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	03	都市下水道事業費
事務事業名	03	雨水ポンプ場更新事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	上下水道部 下水道施設課			施策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 288	
206,912	18,714	8,222	9,800		692	188,198		

【令和5年度における事務事業の概要】

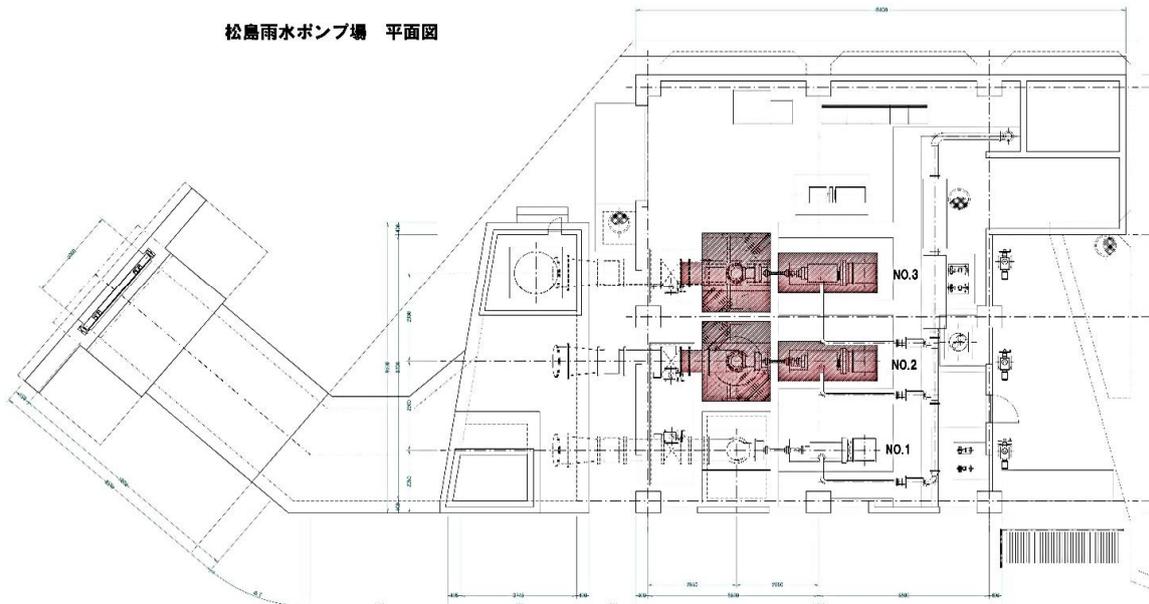
松島雨水ポンプ場は、昭和55年度から整備を行い、昭和62年4月に供用を開始しました。当施設の機械及び電気設備は、耐用年数を大幅に経過しているため、ストックマネジメント計画に基づき継続費を設定し年次的に更新を行います。  
 継続費（期間：令和5年度～令和7年度、事業費：469,697千円）  
 令和5年度から6年度にかけては、排水ポンプ3台の内、2台（NO.2及びNO.3）の更新を行います。  
 なお、NO.1ポンプについては、平成26年度に更新が完了しています。

【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年度は、2台のポンプの更新に係る機械設備更新工事と電気設備更新工事を発注しました。

- ・排水ポンプ
- 形 式 : 縦軸軸流ポンプ
- ポンプ口径 : φ700mm
- 吐 出 量 : 55.2m<sup>3</sup>/min (×3台)
- 全 揚 程 : 2.0m

松島雨水ポンプ場 平面図



※不用額は、令和6年度への継続費途次繰越185,269千円を含みます。

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	02	市営住宅管理事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策	20	住宅施策の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
33,004	32,420			25,757	6,663	584	P. 288	

【令和5年度における事務事業の概要】

住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で住宅を賃貸することで、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的に、市営住宅を9団地に706戸設置しています。

市営住宅の入居申し込み受付や入居及び退去の手続き、家賃の算定、家賃等の納付書発送及び収納処理、滞納者への窓口相談や納付指導を行う等、公営住宅法に基づき、管理・維持・運営を行っています。

また、現入居者や新たな入居者に安全で安心な住宅を提供するため、施設管理業務の委託と住宅内の経年劣化等による破損個所の修繕や器具の取替工事を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

修繕を204件、施設管理業務委託を6件、器具取替等工事を10件行い、市営住宅入居者に安全で安心な住宅を提供しました。

決算額内訳

(千円)

費 目	事業費	事業内容
需用費 修繕料	10,976	市営住宅(9団地)修繕 204件
需用費 その他	1,131	市営住宅の管理運営に要する経費 消耗品費、印刷製本費、光熱水費(浄化槽電気代)
役務費	1,156	市営住宅の管理運営に要する経費 通信運搬費、手数料(コンビニ収納等)、 賠償責保険料(火災共済)
委託料	9,533	貯水槽清掃業務委託 汚水処理施設管理業務委託 樹木管理等業務委託 市営住宅管理人業務委託外2件
使用料及び賃借料	121	建築工事標準単価表使用料
工事請負費	9,457	住宅用火災警報器取替工事 立花市営住宅等宅水道メーター取替工事 立岩市営住宅屋上防水シート改修工事 久原市営住宅解体工事外6件
原材料費	26	住宅補修資材
負担金、補助及び交付金	20	市営住宅駐車場等管理組合補助金
計	32,420	

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	04	空家等管理促進事業 (社会資本整備総合交付金)			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施 策	20	住宅施策の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 290	
1,000	1,000	500			500	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

平成26年11月に空家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、市では、平成29年3月に空家等の適正管理に関する条例を改正すると共に、同年12月に伊万里市空家等対策計画を策定し、空家等の適正な管理に関して必要な事項を定め、倒壊等の事故、犯罪及び火災の未然防止並びに生活環境の保全を図り、市民の安全で安心な暮らしの実現のために事業に取り組んでいます。

市内に点在する空き家の状況把握に努め、老朽化が進み危険な空き家については、所有者等に対し必要な措置として、適切な管理の指導や解体依頼を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

市で把握している空き家等について、職員による現況確認を行い、老朽化に応じた区分作業を行うとともに、老朽化が進み危険な空家等の所有者等に対して、空家等の適正管理の依頼及び指導を行い、周辺住民の良好な生活環境と安全を確保することができました。

決算額内訳

(千円)

費 目	事 業 費	事 業 内 容
負担金、補助及び交付金 補助金	1,000	特定空家等除却事業費補助金 500千円/件×2件=1,000千円
計	1,000	

過去の実績

区 分	R元	R2	R3	R4	R5
依頼及び指導件数	延べ46件	延べ40件	延べ51件	延べ38件	延べ40件
除却補助件数	2件	0件	0件	1件	2件

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	05	実家に帰ろう住宅改修等支援事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策	20	住宅施策の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 290	
24,400	10,107	1,182		8,900	25	14,293		

【令和5年度における事務事業の概要】

本市で生まれ育った人が進学や就職などをきっかけに市外へ転出した後、再び本市に戻るUターンの促進と将来の空き家化を未然に防ぐため、市外在住者等がUターンするために必要な実家の改修又は解体・新築を行う費用の一部を補助しました。

①改修事業

- ・改修補助金 500千円(改修費の1/2)
- ・子育て加算 200千円/人(18歳未満)
- ・地域指定加算 100千円

②解体・新築事業

- ・解体補助金 1,000千円(解体費の1/2)
- ・新築補助金 300千円
- ・子育て加算 200千円/人(18歳未満)
- ・地域指定加算 100千円

【令和5年度における事務事業の成果】

下記のとおり、令和5年度は16世帯が補助を受け、31人が移住されました。

決算額内訳 (実家に帰ろう住宅改修等補助金)

区 分	件数	金額	移住者数
改修	13件	7,479千円	24人
解体・新築	3件	2,628千円	7人

過去の実績 (件数)

区 分	R4	R5
改修	3件	13件
解体・新築	1件	3件
移住者数	7人	31人



令和5年度 広報チラシ

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	02	住宅建設費
事務事業名	01	市営住宅改修事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 施設営繕課			施策		20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
37,705	16,458	7,209	8,800		449	21,247	P. 292	

【令和5年度における事務事業の概要】

伊万里市公営住宅等長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用しながら老朽化が進んだ市営住宅を改修し、市営住宅の長寿命化を図りました。

【令和5年度における事務事業の成果】

立花市営住宅を改修することにより、建物の長寿命化を図ることができました。

(千円)

市営住宅	事業費	事業内容
立花市営住宅	16,136	排水管改修工事 屋外埋設部の排水管の更新
その他	322	公用車等に係る費用
合計	16,458	

【立花市営住宅】



※不用額は、令和6年度への繰越明許費20,498千円を含みます。

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	02	住宅建設費
事務事業名	02	一般住宅耐震改修等促進事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策	20	住宅施策の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
246	246	184			62	0	P. 292	

【令和5年度における事務事業の概要】

平成17年11月に建築物の耐震改修の促進に関する法律が一部改正されたことにより、平成19年3月に佐賀県耐震改修促進計画が策定され、また、平成25年5月に同法律が一部改正されたことにより、平成30年3月に伊万里市耐震改修促進計画を策定しました。

これに基づき、住宅の耐震化等を推進することを目的として、建築基準法の旧耐震基準(昭和56年5月31日)以前に建てられた木造一戸建て住宅の耐震性を確認する耐震診断を実施するための登録建築士を派遣しました。また、既存耐震不適格建築物である一戸建て住宅等に対する耐震改修工事や避難道路沿いに存する地震等で倒壊の危険性があるブロック塀等の撤去を実施するための耐震改修事業費について、住宅・建築物の所有者に直接的な補助を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

木造一戸建ての耐震診断派遣事業として、1件の診断を実施しました。また、避難道路沿いに存するブロック塀2件に対して、撤去費用の補助を行いました。

決算額内訳 (千円)

費 目	事 業 費	事 業 内 容
委託料	100	木造住宅耐震診断派遣事業業務委託料 耐震診断 1件(図面なし1件、図面あり0件)
負担金、補助 及び交付金	146	耐震改修事業費補助金 耐震改修費用補助 0件 0円 ブロック塀等撤去補助 2件 146,000円
計	246	

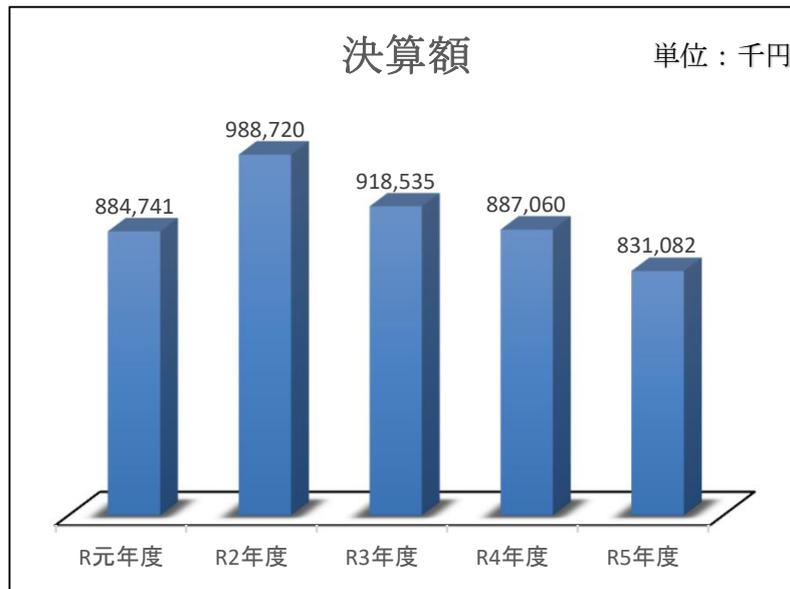
過去の実績

区 分	R元	R2	R3	R4	R5
耐震診断 補助	1件	3件	2件	7件	1件
耐震改修 費用補助	0件	0件	1件	0件	0件
ブロック塀等 撤去補助	0件	1件	2件	3件	2件

款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
事務事業名	01	伊万里・有田消防組合運営負担金			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
831,082		831,082			3,000	828,082	0	P. 292

【令和5年度における事務事業の概要】

市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを推進するために、火災予防や消火、救急、救助活動などの消防事務を行っている伊万里・有田消防組合に対し、その運営経費に係る負担金を支出しました。



【令和5年度における事務事業の成果】

伊万里・有田消防組合において、市内で発生した各種災害に迅速に対応し、市民の安全・安心の確保に貢献することができました。

※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金



改修工事が完了した伊万里消防署の訓練塔（副塔）

款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
事務事業名	02	佐賀県防災航空隊運営負担金			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
4,008		3,935				3,935	73	P. 292

**【令和5年度における事務事業の概要】**

消防組織法第30条により、県は市町の長の要請に応じ、航空機を用いて市町の消防を支援するために佐賀県防災航空隊を設置し、各消防本部から派遣されている職員を隊員として充てています。その人件費に相当する額を定められた負担割合に基づき支出しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

佐賀県防災航空隊に係る市町負担金を負担し、市民の安全・安心の確保に貢献することができました。



佐賀県消防防災ヘリ「かちどき」

※防災航空隊と伊万里消防署との合同水難訓練（イマリンビーチ）

款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	01	消防団運営事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
103,318	99,614	36,327			20,926	42,361	3,704	P. 294

【令和5年度における事務事業の概要】

大規模複雑化、多様化する災害に対応するため、現場活動に必要な装備品の整備と併せて、団員の出動報償金の見直し及び福利厚生充実を図ることで、消防団の円滑な活動・運営の環境づくりを行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

消防団の装備品として、消防用ホース124本及び救命用ボート3艘、胴付長靴12着を整備し、円滑な現場活動及び団員の安全な活動のための環境を整備することができました。

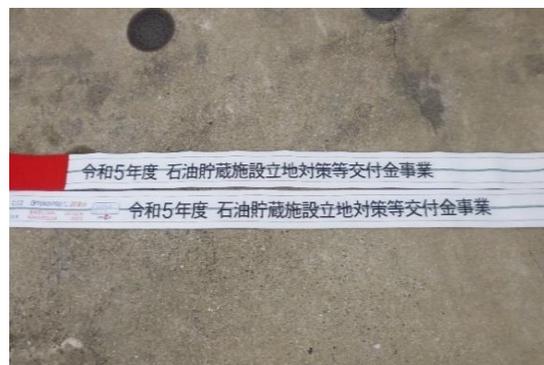
また、消防団員の福利厚生のため、消防団員出動報償金の見直しを行うとともに、消防団員退職報償金掛金、佐賀県市町総合事務組合消防補償事務負担金及び消防団員福祉共済制度加入補助金を支出し、福利厚生を充実させることができました。

・消防団員報酬	32,824,650円
・出動報償金	6,464,000円
・消防団団旗装飾業務委託料	500,000円
・消防用ホース等	4,480,740円
・消防団員退職報償金掛金	17,817,600円
・佐賀県市町総合事務組合消防補償事務負担金	2,986,760円
・消防団員等福祉共済制度加入補助金	886,000円
・消防団運営交付金等	4,140,000円
・その他	29,514,119円
合計	99,613,869円

※財源内訳の「その他」のうち500千円は、まちづくり基金繰入金



伊万里市消防団旗



消防用ホース

款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	02	消防団車両管理事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
8,522	8,422		7,900		522	100	P. 296	

【令和5年度における事務事業の概要】

消防団活動を充実させるため、経年により劣化が見られる小型動力ポンプ付積載車を更新計画に基づいて整備しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

小型動力ポンプ付積載車2台を更新整備（内、1台は総務省消防庁無償貸付車両）したことにより、消防団の災害現場に対する活動能力を向上させることができました。



大川内分団第1部

山代分団第1部  
(総務省消防庁無償貸付車両)

款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	03	消防団施設整備支援事業				6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	総務部 消防調整課				施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
514	514				514	0	P. 296	

【令和5年度における事務事業の概要】

消防団施設の整備、強化促進を図るため、行政区が所有するホース乾燥施設の新設・補修及び小型動力ポンプ付積載車格納庫の補修に要する経費に対して補助金を交付しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

行政区が所有する消防団施設の新設及び補修に要する経費を補助したことにより、消防団施設を早急に整備することができました。

- ①ホース乾燥施設新設費補助
  - ・大坪地区東円蔵寺区（大坪分団第5部） 200,000円
- ②ホース乾燥施設補修費補助
  - ・木須町木須東区（伊万里分団第1部） 160,000円
- ③小型動力ポンプ付積載車格納庫補修費補助
  - ・南波多町笠椎区（南波多分団第2部） 154,000円

合計514,000円

過去5年間の補助事業の件数

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
件数		2件	3件	1件	4件	3件
内 訳	新設	1件	0件	0件	2件	1件
	補修	1件	3件	1件	2件	2件

款	09	消防費	項	01	消防費	目	03	消防施設費
事務事業名	01	消防用設備管理事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	総務部 消防調整課				施策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
8,751	6,929				6,929	1,822	P. 296	

【令和5年度における事務事業の概要】

消防用設備の整備、強化促進を図るため、老朽化した防火水槽、消火栓の改修を行いました。また、行政区が所有する防火水槽の補修費に対して補助金を交付しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

伊万里市が保有する防火水槽、消火栓の改修を行うとともに、行政区が所有する防火水槽の補修に要する経費を補助し、消防用設備を整備したことで、有事の際には迅速かつ効果的な活動ができる環境を構築することができました。

○有蓋防火水槽改修工事	1,650,000円
○その他（消防水利維持管理用原材料費等）	43,938円
○消火栓工事負担金	3,637,700円
○防火水槽補修費補助 （波多津町煤屋区、大川町戸石川区、二里町中田区）	1,597,000円

合計6,928,638円

過去5年間の補助事業の件数

		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
件数		5件	1件	3件	6件	3件
内 訳	新設	0件	0件	0件	0件	0件
	補修	5件	1件	3件	6件	3件

款	09	消防費	項	01	消防費	目	05	災害対策費
事務事業名	02	防災活動事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課				施策	22	防災体制の整備
予算現額 (千円)	1,094	決算額 (千円)	880	財 源 内 訳			不用額 (千円)	214
				国・県支出金	49	地方債		
				その他		一般財源	831	
								P. 296

【令和5年度における事務事業の概要】

伊万里市地域防災計画に基づき、国や県など関係機関との連携を図り、防災体制の充実に取り組みました。

【令和5年度における事務事業の成果】

自然災害の対策については、国の防災基本計画、県の地域防災計画の修正を踏まえた上で伊万里市地域防災計画の修正を行いました。

地区防災会活動の活性化と防災委員の防災意識の向上を図るため、佐賀地方気象台や防災コーディネーターを講師に招いて防災講演会を開催しました。

7月9日の市民防災の日に合わせて、市役所市民ロビーで昭和42年水害の記録写真や防災備蓄品、防災気象情報についての展示を行い、災害に備えて考える機会を提供し、備蓄促進や防災意識の向上を図りました。

原子力災害の対策については、佐賀県原子力防災訓練において、嬉野市への住民避難訓練等を実施し、関係機関の相互連携の強化と住民の防災意識の啓発に努めました。



・防災講演会の講演の様子



・「市民防災の日」に合わせた展示



・原子力防災訓練における一般住民避難訓練の様子



・原子力防災訓練における避難退域時検査訓練の様子

款	09	消防費	項	01	消防費	目	05	災害対策費
事務事業名	03	防災行政無線施設管理事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課	総務部 防災危機管理課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 298	
20,268	17,952	17,951			1	2,316		

【令和5年度における事務事業の概要】

災害時や緊急時に市民へ情報を迅速に伝達する防災行政無線施設の維持管理を行いました。

【市役所親局】



操作卓



J-ALERT  
(全国瞬時警報システム)

【屋外拡声子局】



【令和5年度における事務事業の成果】

防災行政無線の適切な維持管理をはじめ、関係するシステム等の適切な運用を行い、防災体制の充実に努めました。

1. 委託料  
保守点検業務委託、戸別受信機設置業務委託
2. ASP利用料  
防災行政無線及びJアラートと防災ネットあんあん、緊急速報メール、市ホームページ、LINE等のSNS、ケーブルテレビ、電話・FAX配信サービス、職員・駐在員連絡メール及び多言語配信サービスをシステム連携するための利用料
3. IP無線機利用料  
市役所と町コミュニティセンター（波多津、南波多、大川、松浦）の停電時における連絡用無線機の回線利用料
4. 防災ネットあんあん利用料  
佐賀県が運用する防災ネットあんあんの県内市町が負担する利用料
5. 電気料  
181局の電気料（中継局 1局、再送信局 2局、屋外拡声子局 178局）
6. 防災行政無線（固定局）電波利用料  
親局 1局、中継局 1局、再送信局 2局、可搬型親局 1局 の電波利用料
7. 簡易無線局電波利用料  
市役所と地区・町コミュニティセンター（伊万里、牧島、大坪、立花、大川内、黒川、二里、東山代、山代）間の停電時における連絡用無線機の電波利用料
8. 修繕料  
防災行政無線の設備を修繕するための修繕料

款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	03	いじめ・教育相談事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4,150	3,984	1,167			2,817	166	P. 304	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

平成27年3月の伊万里市いじめの防止等に関する条例制定に伴い、いじめ防止対策を実効的に行うための専門機関として、市に伊万里市いじめ問題対策委員会を、全学校にいじめ対策委員会を設置しています。

教育相談の専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラー4名を拠点校に配置し、全小学校で巡回相談を行っており、不登校やいじめなど子どもや保護者が抱える悩みについての相談や診断等の適切なカウンセリングを行いました。

今年度は1日4～8時間、1か月に1～3日程度実施しました。

必要に応じ、いじめ防止等緊急スクールカウンセラーを派遣する等の支援を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

カウンセラーの助言を受けたことで学校に登校できるようになったなど、児童や保護者などの抱える問題を改善することができました。

○拠点校：伊万里小、大坪小、二里小、南波多郷学館

・相談件数：458件

・相談人数：延べ 694人

また、些細なことでも早い段階から対応を行い、いじめに対して適切な指導をしたことで、解消に向かった事例もありました。

市いじめ問題対策委員会では、実際にあったいじめの事例を共有するなど、児童生徒が安心して生活し、健やかに成長することができる環境づくりに努めるとともに、諮問事案について審議を行いました。

**【スクールカウンセラー年度別相談件数】**

年 度	相談件数
平成30年度	456件
令和元年度	459件
令和2年度	458件
令和3年度	408件
令和4年度	461件
令和5年度	458件

款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	04	教育研究事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,825	2,770	189		1,421	1,160	55	P. 304	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

児童生徒の基礎学力の定着・向上と教員の指導力の向上を図るため、「伊万里市教育研究会」に、及び人権同和問題の啓発を行うため、「伊万里市人権・同和教育研究協議会」に事業委託を行いました。

また、小中連携による学力向上や帰国・外国人児童生徒に対する支援について、県からの委託を受け、事業を実施しました。

実践的なプログラミング教育のため、市立学校1校をモデル校として、講師派遣による出前授業を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

各教科ごとに部会を設置し、各教科・領域の研究や指導方法・指導技術の開発、改善等を行うとともに、人権・同和教育に係る研修会等の実施を行いました。

また、南波多郷学館をモデル校として、ロボット・ドローンプログラミング教材を活用した講師派遣による出前授業を行い、プログラミングソフト（スクラッチ）でプログラムしたロボット・ドローンの動きを児童生徒が体験することができました。

※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金



款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	09	教科書購入事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
9,510	8,696			8,600	96	814	P. 306	

【令和5年度における事務事業の概要】

令和5年度は、小学校の国語・算数・社会・理科の4教科、中学校の国語・数学・社会・理科のデジタル教科書を購入するとともに、教員用教科書の購入を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

デジタル教科書を主要教科で整備し、児童生徒の学習への興味や関心を高め、多くの資料や情報を素早く提供することができるようになったことで、その学力向上を図るとともに、電子黒板を効果的に活用することができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	11	学びの保障対策事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
23,919	23,919	5,250		18,600	69	0	P. 306	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

ICT支援員を5名配置し、1人1台端末を活用した授業やオンライン授業などを行うため教職員のICT活用支援を行いました。また、使用される端末の故障等の対応に関する支援を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

ICT活用支援、ICT機器のトラブル対応、教職員向けの研修等を行うことにより、授業における1人1台端末を活用したICT環境の活用推進を図ることができました。  
また、学びの保障として、オンライン授業の推進ができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	01	小学校管理事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 教育総務課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
184,148	170,651		19,100	2,591	148,960	13,497	P. 306	

【令和5年度における事務事業の概要】

小学校13校及び義務教育学校（前期）1校において、児童の安全の確保と良好な学習環境を維持するため、日常的な施設の維持管理に要する経費と学校運営に必要な備品等の整備費用として170,651千円を支出しました。

令和5年5月1日現在

学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数
伊万里小	538	26	黒川小	101	8	二里小	232	14
牧島小	68	7	波多津小	81	9	東山代小	381	16
大坪小	473	23	南波多郷学館 (前期課程)	98	8	山代東小	114	9
立花小	557	24	大川小	105	8	山代西小	32	6
大川内小	88	8	松浦小	99	8	合 計	2,967	174

【令和5年度における事務事業の成果】

教材備品、図書備品等の購入・充実により学習環境の維持に努めるとともに、新たに高速カラー複合機を導入したことで、児童や保護者等へカラーで分かりやすい資料の提供や印刷時間の短縮等により教職員の業務負担の軽減につながりました。

また、各学校施設の適正な維持・管理をはじめ、黒川小学校の校舎屋根の防水工事による雨漏りの解消や立花小学校及び伊万里小学校（職員用）トイレの洋式化工事を行い、児童の安全・安心の確保、学校施設環境の改善に努めることができました。

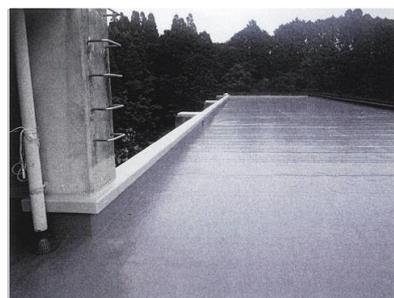
※財源内訳の「その他」のうち、1,238千円は教育振興奨励基金繰入金

※不用額は、令和6年度への繰越明許費2,816千円を含みます。

【主な工事】

- ・黒川小学校屋上防水改修工事
- ・立花小学校外1校トイレ洋式化改修工事
- ・市内小中学校プールろ過装置改修工事

黒川小 屋上防水改修工事



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	03	小学校施設環境改善事業			6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 教育総務課			施策		07	学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,554		2,553		1,900		653	1	P. 310

【令和5年度における事務事業の概要】

昨今の猛暑の影響で、夏場の教室は過酷な環境にあることから、市立学校の特別教室（理科室、音楽室、家庭科室、多目的室）39教室にエアコンを設置するための実施設計を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

令和6年度の設置に向け、エアコン設置工事の実施設計を完了することができました。



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	01	小学校遠距離児童通学支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
41,694	39,603	2,276				37,327	2,091	P. 310

**【令和5年度における事務事業の概要】**

通学距離4Km以上の児童及び学校統合により遠距離通学となった児童に対し、定期券などの通学費の補助を行いました。

また、黒川小学校と波多津小学校にスクールバス、南波多郷学館及び東山代小学校に通学用タクシーをそれぞれ運行しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

通学距離4Km以上及び学校統合により遠距離通学となる児童19名に対して定期券・ガソリン代を補助したほか、児童109名に対してスクールバス・タクシーの運行を通じて、通学に係る費用の保護者の負担の軽減を図ることができました。



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	03	小学校要保護・準要保護児童就学援助事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
24,421		20,882	24			20,858	3,539	P. 310

【令和5年度における事務事業の概要】

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行等の経費の一部を援助しました。

また、令和6年度入学者（新1年生）の保護者へ、入学前に新入学学用品費の支給を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

要保護児童3名、準要保護児童393名（うち40名は令和6年度入学者）へ就学に係る費用の一部を援助することで、保護者の経済的負担を軽減し、就学機会を確保することができました。

小学校就学援助率 (準要保護)	H30	R元	R2	R3	R4	R5
割合 (%)	9.68	9.93	9.70	10.79	11.29	11.90
市の就学援助 受給者数 (人)	314	319	308	342	345	353
児童数 (人)	3,244	3,214	3,176	3,171	3,057	2,967

新入学学用品費対象者及び市外学校除く

※年度末時点の人数

※市外0名

款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	04	小学校パソコン管理事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 310	
54,838	52,236			500	51,736	2,602		

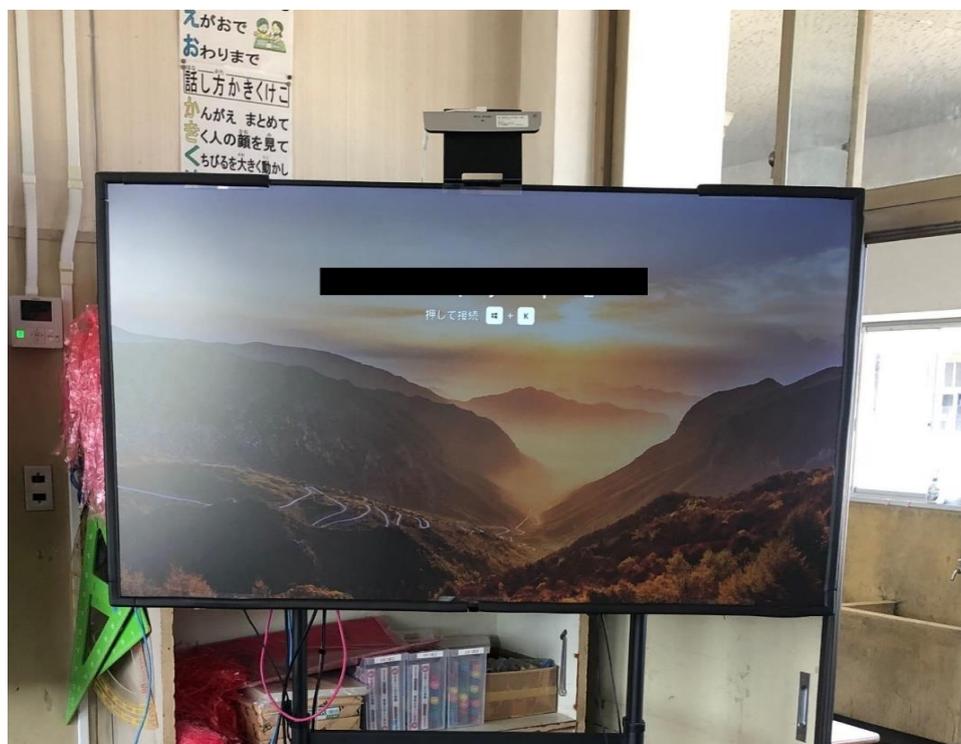
【令和5年度における事務事業の概要】

情報化社会に対応する能力を養うために、タブレットパソコンや電子黒板等のICT機器の整備、教職員の校務処理に必要な校務用パソコンの整備を行いました。  
令和5年度は、校務用パソコン及び学校の教室で使用する電子黒板や無線LANの整備を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

経年劣化した電子黒板等を更新することで、学習指導要領で目標とされるICT機器を整備し、児童生徒の学習活動の充実を図るとともに、教職員の業務負担軽減を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	03	学校建設費
事務事業名	01	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 教育総務課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
627,544	627,134	176,038	404,600	46,496	0	410	P. 310	

【令和5年度における事務事業の概要】

老朽化した東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの3施設を複合施設として整備するため、施設の建設工事に着手しました。

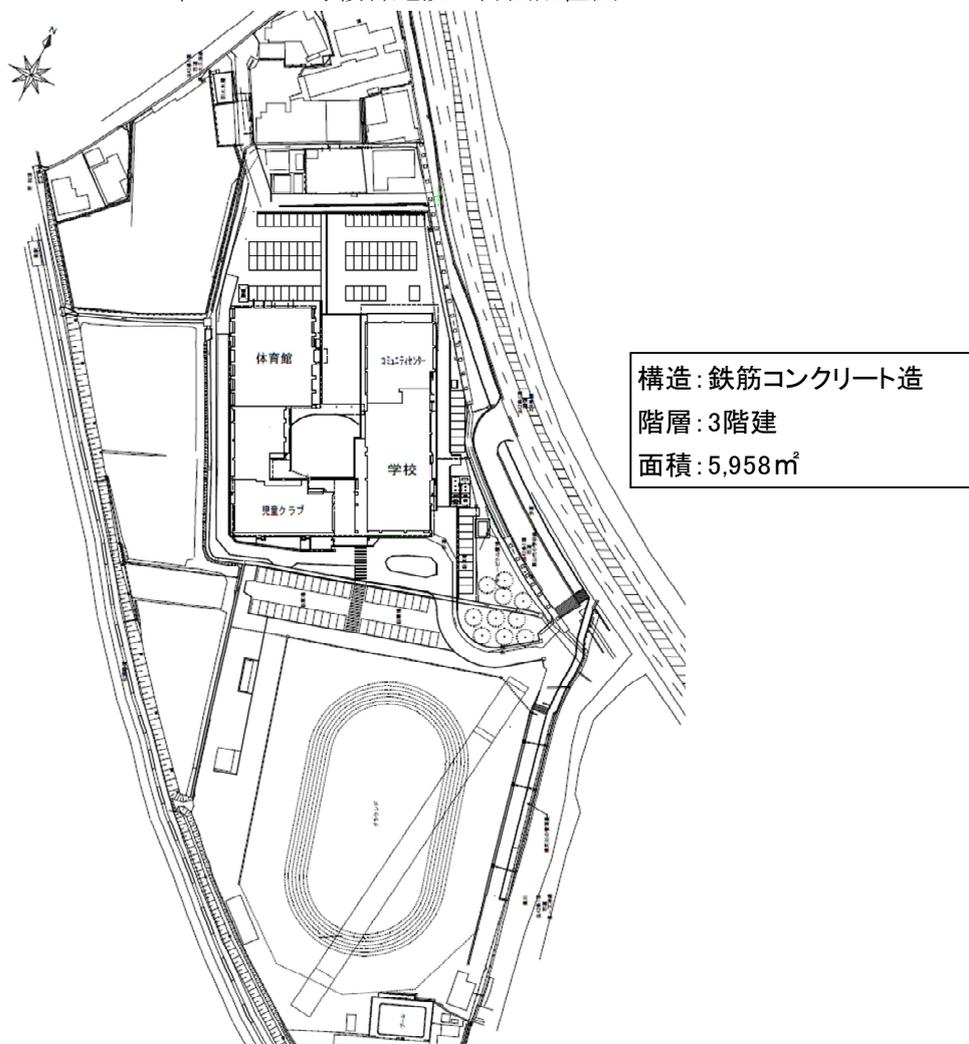
【令和5年度における事務事業の成果】

令和4年度の実施設設計を基に、東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの複合施設の建設工事に着手しました。(工事全体進捗率28.1%)

※不用額は、令和6年度への継続費通次繰越1千円を含みます。

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金

◆東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設 計画配置図



(全体進捗率28.1%)

工 事	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年度割	28.1%	66.2%	5.7%

款	10	教育費	項	02	小学校費	目	03	学校建設費
事務事業名	02	東陵中校区小中一貫校等整備事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 312	
113,745	113,744	21,907	82,500	9,238	99	1		

【令和5年度における事務事業の概要】

大川小学校、松浦小学校の校舎老朽化及び児童数の減少に伴い、両小学校を東陵中学校と統合し、令和7年度から新たに義務教育学校として開校するため、東陵中学校の校舎改修に着手しました。

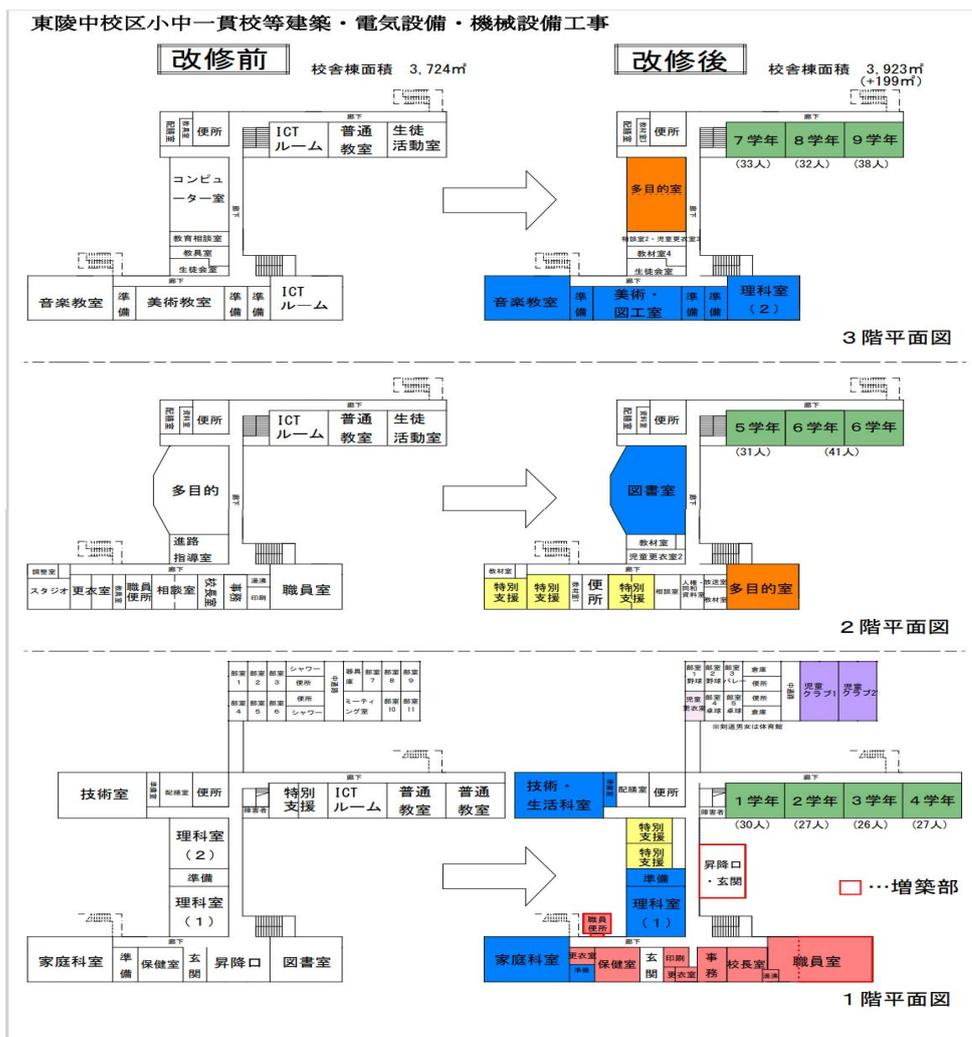
【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年9月から東陵中学校の昇降口・職員室・職員便所の増築工事、多目的室を図書室へと改修工事を行いました。（工事全体進捗率31.8%）

※不用額は、令和6年度への継続費通次繰越1千円を含みます。

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金

◆東陵中校区小中一貫校 計画配置図



工 事	令和5年度	令和6年度
年度割	31.8%	68.2%

款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	01	中学校管理事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 312	
92,815	86,572		1,900	148	84,524	6,243		

【令和5年度における事務事業の概要】

中学校6校及び義務教育学校（後期）1校において、生徒の安全の確保と良好な学習環境を維持するため、日常的な施設の維持管理に要する経費と学校運営に必要な備品等の整備費用として86,572千円を支出しました。

令和5年5月1日現在

学校名	生徒数	学級数	学校名	生徒数	学級数
伊万里中	545	22	東陵中	97	5
啓成中	275	12	国見中	313	13
青嶺中	102	5	山代中	101	4
南波多郷学館 (後期課程)	75	5	合計	1,508	66

【令和5年度における事務事業の成果】

教材備品、図書備品等の購入・充実により学習環境の維持に努めるとともに、新たに高速カラー複合機を導入したことで、生徒や保護者等へカラーで分かりやすい資料の提供や印刷時間の短縮等により教職員の業務負担の軽減につながりました。

また、各学校施設の適正な維持・管理をはじめ、青嶺中学校のトイレの洋式化工事を行い、生徒の安全・安心の確保、学校施設環境の改善に努めることができました。

※不用額は、令和6年度への繰越明許費319千円を含みます。

【主な工事】

- ・青嶺中学校トイレ洋式化改修工事
- ・伊万里中学校プール排水管更生工事
- ・啓成中学校理科室ガス管改修工事

トイレの洋式化

改修前



改修後



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	03	中学校施設環境改善事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 教育総務課				施 策	07	学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,648		2,648		1,900		748	0	P. 314

**【令和5年度における事務事業の概要】**

昨今の猛暑の影響で、夏場の教室は過酷な環境にあることから、市立学校の特別教室（理科室、音楽室、家庭科室、被服室、美術室、多目的室）34教室にエアコンを設置するための実施設計を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

令和6年度の設置に向け、エアコン設置工事の実施設計を完了することができました。



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	01	中学校遠距離生徒通学支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
26,125	23,552	1,745				21,807	2,573	P. 314

【令和5年度における事務事業の概要】

通学距離6Km以上の生徒及び学校統合により遠距離通学となった生徒に対し、定期券等の通学費の補助を行うとともに、青嶺中学校、国見中学校にスクールバス等を運行しました。

また、自転車通学を行う要保護及び準要保護生徒に対し、ヘルメット購入に係る費用を補助しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

通学距離6Km以上及び学校統合により遠距離通学となる生徒11名に対して定期券・ガソリン代・自転車購入費を補助したほか、生徒49名に対してスクールバス・タクシーの運行を通じて、通学に係る費用の負担軽減を図ることができました。

また、自転車通学を行う要保護及び準用保護生徒13名に対し、ヘルメット購入に係る費用の補助を行い、通学に係る費用の保護者の負担の軽減を図ることができました。



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	03	中学校要保護・準要保護生徒就学援助事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
22,198	18,862	100				18,762	3,336	P. 316

【令和5年度における事務事業の概要】

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行等の経費の一部を援助しました。

また、令和6年度入学者（新1年生）の保護者へ、入学前に新入学学用品費の支給を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

要保護生徒5名、準要保護生徒248名（うち50名は令和6年度入学者）へ就学に係る費用の一部を援助することで、保護者の経済的負担を軽減し、就学機会を確保することができた。

中学校就学援助率 (準要保護)	H30	R元	R2	R3	R4	R5
割合 (%)	14.19	14.58	13.28	14.00	13.41	13.13
伊万里市の就学援助 受給者数 (人)	203	209	192	208	204	198
児童数 (人)	1,431	1,433	1,446	1,486	1,521	1,508

新入学学用品費対象者及び市外学校除く

※年度末時点の人数

※市外0名

款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	04	中学校パソコン管理事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策		07	学校教育の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
33,756	32,210			100	32,110	1,546	P. 316	

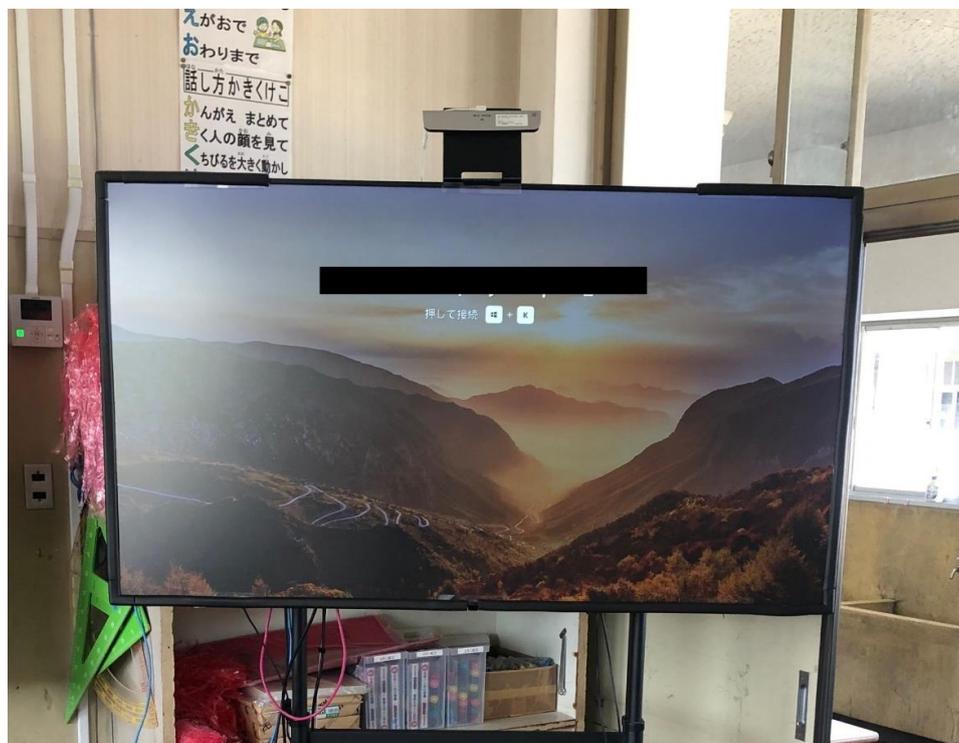
**【令和5年度における事務事業の概要】**

情報化社会に対応する能力を養うために、タブレットパソコンや電子黒板等のICT機器の整備、教職員の校務処理に必要な校務用パソコンの整備を行いました。  
令和5年度は、校務用パソコン及び学校の教室で使用する電子黒板や無線LANの整備を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

経年劣化した電子黒板・サーバーを更新することで、学習指導要領で目標とされるICT機器を整備し、児童生徒の学習活動の充実を図るとともに、教職員の業務負担軽減を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	03	学校建設費
事務事業名	01	中学校建設事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 318	
471,105	442,804	23,006	317,000	102,798	0	28,301		

【令和5年度における事務事業の概要】

伊万里中学校の外構・屋外運動場の整備や剣道場の建設、柔道場の床改修工事を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

外構整備や屋外運動場の拡張整備、剣道場の建設、柔道場の床改修工事及び柔道畳の新調により、令和元年度から取り組みました伊万里中学校の全ての工事が完了し、生徒に快適な学習環境を提供することができました。

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金



《工事概要》

《事業経過》

所在地	伊万里市立花町4063番地1	平成29年5月～11月	旧校舎耐力度調査
敷地面積	30,527㎡	8月～平成30年2月	基本設計業務委託
校舎	鉄筋コンクリート造4階	平成30年8月～平成31年3月	実施設計業務委託
延床面積	6,797㎡	10月～12月	地質調査業務委託
普通教室18室、特別支援教室4室		令和元年9月～令和2年12月	南校舎建設工事
理科室3室、家庭科室、美術室		令和3年1月～3月	旧3棟舎解体工事
技術室、音楽室、図書室		4月～令和4年5月	北校舎建設工事
生徒会室、保健室		令和4年7月～10月	屋内運動場改修
教育相談室3室、多目的室3室、他		7月～11月	旧1,2棟舎解体工事
剣道場棟	鉄骨造1階 332㎡	令和5年6月～令和6年3月	剣道場建設工事
部室棟	鉄骨造1階 88㎡		部室棟建設工事
屋外トイレ	鉄骨造1階 24㎡		外構工事
体育館	床改修 905㎡	総事業費	2,760百万円
柔道場	床改修 157㎡		
運動場	有効面積 11,700㎡		

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	02	カブトガニ保護促進事業			6つの まちづくり	02		想像的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施 策	12		文化財の保護
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,476	1,476				1,400	76	0	P. 320

【令和5年度における事務事業の概要】

カブトガニの保護活動を充実させるため、その活動の拠点施設である「伊万里湾カブトガニの館」を運営する『牧島のカブトガニとホテルを育てる会』に対し、施設運営費の補助金として1,444千円を支出しました。

ほかに、カブトガニ研究調査業務委託として『佐賀県立伊万里高等学校理化・生物部』に対し16千円を、伊万里市カブトガニを守る会補助金として『伊万里市カブトガニを守る会』に対し16千円を支出しました。



伊万里湾カブトガニの館

【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年度の伊万里湾カブトガニの館の入館者数は3,709名でした。(コロナ禍の令和2年度を除く令和元年度から令和4年度(3年間)までの平均入館者数3,956名)

伊万里市カブトガニを守る会を中心に、カブトガニの産卵地清掃を行い、ボランティアの参加を含め、延べ62名の参加がありました。今回の清掃では、2トントラック2台分のゴミを回収することができました。

「カブトガニの産卵を観る会」を開催し、約80名の参加がありました。当日は、伊万里高校理化・生物部によるカブトガニの解説が行われ、参加者の方々は興味深げに耳を傾けていました。また、観る会と同日に、カブトガニ増殖のためにカブトガニの館や伊万里高校、牧島小学校で約1年間飼育した幼生約1,390匹を放流しました。

カブトガニの産卵つがい数について、令和3年と令和4年は、平成28年～令和2年(5年間)の平均である522つがいの3倍近くの約1,500つがいを記録していましたが、令和5年は、471つがいを記録し、平均並みのつがい数となりました。

幼生の飼育については、令和5年12月に牧島小学校、二里小学校、青嶺中学校の3校へ幼生の引き渡しを行い、飼育しています。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



産卵を観る会の様子



幼生放流の様子

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	05	市美術展開催事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
137		137				137	0	P. 320

【令和5年度における事務事業の概要】

市民や市内クラブに所属している人等から創作意欲に溢れる作品を公募し、絵画、書、写真・工芸の部門別に「伊万里市美術展」を開催しました。

- 主催：市美術展実行委員会（絵画2人、書5人、写真1人、工芸2人、計10人で組織）  
市教育委員会
- 会場：市民センター 文化ギャラリー

【令和5年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、今年度は、会場をコロナ以前の市民センター文化ギャラリーへと移し、開催しました。感染症による規制が緩和されたこともあり、出品者数・出品点数・観覧者数においては、令和4年度の数を上回りました。

一般市民へ作品発表の場を提供するとともに、市民に美術鑑賞の機会を提供し、市民参加型の文化芸術の振興を図ることができました。

○部門ごとの開催期日、出品点数

- ・前期（5/10～5/14）：絵画 出品点数 56点
- ・中期（5/17～5/21）：書 出品点数 246点（一般40点、小中学生206点）
- ・後期（5/24～5/28）：写真・工芸 出品点数 写真 63点・工芸 53点

○出品者数：308人

○観覧者数：延べ約1,023人

過去の部門別出品点数

部門	絵画	書（一般）	書（学生）	写真	工芸	計	出品者数
H28	54	57	195	74	41	421	327
H29	60	70	220	72	37	459	354
H30	57	65	251	65	42	480	377
R元	47	66	250	70	46	479	379
R3	52	49	196	45	41	383	314
R4	45	31	170	45	42	333	262

※R2年度は中止

年度別観覧者数

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R3	R4
人数	1,182	1,284	1,244	1,333	1,481	1,071	952

※R2年度は中止

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	08	同和問題講演会開催事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課			施 策		11	人権教育と啓発の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 322	
576	510	500			10	66		

【令和5年度における事務事業の概要】

同和問題に対する市民の意識高揚を図るため、8月の同和問題啓発強調月間において同和問題講演会を開催しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

同和問題講演会を実施し、市民への同和教育の推進・向上に努めることができました。

- 期 日 8月29日（火）
- 会 場 市民センター文化ホール
- 講 師 落語家 笑福亭 鶴笑 氏
- テーマ 「誰も傷つけない本当の笑い」
- 参加者 350人



同和問題講演会の様子

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	09	同和教育集会所管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	11		人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,437	2,020	542				1,478	417	P. 322

**【令和5年度における事務事業の概要】**

同和問題解決の拠点施設である同和教育集会所の管理運営を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

人権啓発交流事業「粘土教室」「料理教室」を実施するなど、市民への同和教育の推進・向上に努めることができました。

	施設利用者数
令和元年度	784
令和 2年度	636
令和 3年度	635
令和 4年度	647
令和 5年度	710



粘土教室



同和問題研修



料理教室

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	11	社会人権・同和教育団体支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	11		人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,440	1,440	480				960	0	P. 324

【令和5年度における事務事業の概要】

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の早期解決を図るため、「市人権・同和教育推進協議会」と協働し、地域に密着した教育・啓発を実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

各種研修講座を開催し、市民の人権意識の向上に努めることができました。特に、新たなスタイルの住民啓発として、職員出演・制作によるオリジナル人権啓発動画を活用したことで、これまでの課題であった若い世代への啓発を促進することができました。

事業名	実施回数	参加者数
指導者育成講座	6	169
地区巡回講座	38	815
PTA等研修講座	21	987
企業・事業所研修講座	14	990
住民啓発事業	85	4,356
計	164	7,317



PTA研修



地区巡回講座

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	12	市民音楽祭開催事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
100	100					100	0	P. 324

【令和5年度における事務事業の概要】

市内を中心に活動する団体が、合唱、吹奏楽やバイオリン、箏、ハーモニカなど多彩な演奏や歌を披露する「市民音楽祭」を開催しました。

- 主催：市民音楽祭実行委員会（歌・合唱団体3人、器楽・重奏団体3人、計6人で組織）  
市教育委員会
- 会場：市民センター 文化ホール

【令和5年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響で、日頃の練習の成果を発表する場が少なくなりましたが、観客を入れた市民音楽祭を開催することができました。地域における芸術文化の継続や活動団体のモチベーションの向上につながりました。

- 開催期日：12月3日（日）
- 出演団体：20団体（器楽・重奏 11団体、歌・合唱 9団体）
- 出演者数：278人
- 参観者数：約230人
- ※参考（令和4年度）
  - ・出演団体：17団体（器楽・重奏 11団体、歌・合唱 6団体）
  - ・出演者数：217人
  - ・参観者数：約220人

過去の出演団体・出演者数

	出演団体	出演者数
H28	16	236
H29	19	270
H30	20	280
R元	23	343
R3	13	154
R4	17	217



令和5年度の開催の様子

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	19	史跡大川内鍋島窯跡学術調査事業	6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 生涯学習課		施策	12	文化財の保護			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,583	1,529	1,069		400	60	54	P. 326	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

大川内山にある史跡大川内鍋島窯跡の将来的な保存・整備・活用を図り、地域活性化に資するため、平成26年度から国県の補助金を活用し遺構の範囲や性格、歴史の変遷を確認する発掘調査を実施しています。

発掘調査対象として、史跡内にある日峯社下窯跡について、窯跡及び物原の基礎データを確認する調査を行っています。

今年度は、これまでの発掘調査の報告書作成と日峯社下窯跡の発掘調査を行いました。

また、令和6年3月22日に調査指導委員会会議を開催しました。



発掘調査の様子

**【令和5年度における事務事業の成果】**

令和2年から令和4年に整理作業を行った成果をふまえ、4次～8次調査分の報告書を作成しました。発掘調査では、2か所にトレンチを設定し掘り下げを行い、調査の結果、第7室の空間地の存在を確認しました。これらの成果は今後の史跡整備の基礎資料として活用します。

調査指導委員会会議では、今回の調査結果をふまえて指導委員より指導を受け、令和6年度以降の調査内容について、詳細な検討を加えることができました。

指導委員からは一般製品の種別変化について、土層による違いに着目することで、層位での意匠変化の傾向が確認できると考えられることや、同一層の意匠の差は、複数の陶工を表しているのか、時代差によるものなのか検討する必要があるなどの指導を受けました。

また、発掘調査の現地を視察し、今回のトレンチを含め西側の空間地と物原（失敗品の廃棄場所）の位置関係について明確にするべきなどの指導を受けました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



指導委員会会議の様子

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	20	腰岳遺跡群学術調査事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施 策	12		文化財の保護
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
653	444	196				248	209	P. 328

【令和5年度における事務事業の概要】

日本有数の黒曜石原産地である腰岳の文化的な保護を目的とした事業で、令和5年度は令和4年度に引き続き、腰岳遺跡群に関連する資料収集を行いました。

また、昨年度の調査指導会議より、過去に実施した調査の出土遺物の再整理を優先して行うよう指導があったため、整理作業を実施しました。

これらの成果報告と指導助言を受けるため、有識者らによる第2回調査指導会議を開催しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

資料収集は、腰岳黒曜石に関する岩石学・地質学的調査報告書などの腰岳関連資料や、研究グループによる腰岳黒曜石の調査刊行物などを収集しました。再整理作業では、昭和59・60年に実施した発掘調査での出土遺物を対象とし、主に器種ごとの分類作業を行いました。

令和6年3月18日・19日の2日間、学識経験者5名を調査指導委員、文化庁調査官をオブザーバーとして、第2回調査指導会議を開催しました。日程調整がつかなかった調査指導委員2名のうち、長崎大学教育学部准教授 隅田祥光氏については、令和6年3月26・27日に、個別での調査指導を受けました。事業の成果報告を行い、今後の調査方法を確認しました。

調査指導会議では、収集した資料については最終的な総括報告書に反映できる形で整理していくよう指導を受けました。また、再整理作業と岩石学的調査についても指導助言を受け、今後の事業内容の充実化を図ることができました。岩石学的調査については、長崎大学とも連携して進めていく予定です。



黒曜石洗浄作業



洗浄後の乾燥



第2回調査指導会議



再整理（分類作業）状況視察

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	21	放課後子ども教室開催事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課			施策	09	青少年の健全育成の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
594	384	254			130	210	P. 328	

【令和5年度における事務事業の概要】

地域住民等の協力・参画を得ながら、文化・芸術の分野ではミニ門松づくりや茶道教室のほかチェス教室など、スポーツの分野では陸上教室やバスケットボール教室など、様々な学習や体験、交流の機会を提供する「放課後子ども教室」を開催しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

子どもたちの社会性、自主性、創造性を育むとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもたちが安心して過ごせる環境（居場所）づくりを推進することができました。

○実施教室数等

7コミュニティセンター7教室

○実施内容（参加子ども人数）

- ・伊万里地区 お菓子作り、ミニ門松作り、クリスマスの小物作り、親子料理教室（56人）
- ・牧島地区 陸上教室、ミニ門松作り（236人）
- ・大坪地区 親子で手づくり教室、チェス教室、留守家庭児童クラブ交流会、親子料理教室（261人）
- ・立花地区 リズムダンス、茶道教室、鬼火たき、節分行事（290人）
- ・大川内地区 茶道教室（97人）
- ・黒川地区 休日図書館（234人）
- ・山代地区 バスケットボール教室、料理教室、体験教室（137人）

○参加子ども人数

延べ 1,311人



リズムダンス教室（立花）



茶道教室（大川内）

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	22	地域学校協働活動推進事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課			施 策		09	青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
751	174	116			58	577	P. 328	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」を円滑に進めるため、「地域学校協働活動推進員」を全小学校区に配置しました。

- 地域学校協働活動推進員  
14名（小学校毎に1名）
- 地域学校協働活動推進員協議会  
R5.10.5、R6.2.26開催

**【令和5年度における事務事業の成果】**

新型コロナウイルス感染症拡大により行事の実施できなかった期間が続いたことが影響し、地域と学校をつなぐ活動が難しいところもありましたが、活動ができた小学校区では、学校と地域が相互に連携・協働し、「地域学校協働活動」を円滑に進めることができ、「学校を核とした地域づくり」を推進することができました。

- 活動実施小学校区数  
10小学校区
- 地域学校協働活動推進員活動実績  
計 116時間
- 協働活動サポーター活動実績  
計 96時間
- 主な活動内容
  - ・大坪小学校： 朝の読み語り活動
  - ・大川内小学校： 田んぼの学校
  - ・南波多郷学館： 南波多子ども教室（昔遊び、手話、書道、スポーツ）、川柳教室、総合学習補助、ふるさと探訪、南パタピカリン大作戦（清掃活動）、登下校の見守り・交通教室、大野岳シバハギ植樹、話し方大会練習
  - ・大川小学校： 大川町駅舎及び周辺の清掃活動
  - ・松浦小学校： クリーン作戦活動、総合学習補助、昔遊び学習
  - ・山代東小学校： 職業講話補助、花いっぱい運動、通学路除草作業、地域伝統芸能の講話補助、親子木工教室、古里再発見
  - ・山代西小学校： 日本の古い楽器（三味線）を学ぼう体験

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	02	青少年育成費	
事務事業名	02	青少年相談事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	09		青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	1,841	決算額 (千円)	1,839	財 源 内 訳				不用額 (千円)	2
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
							1,839		
P. 328									

【令和5年度における事務事業の概要】

青少年相談室を設置し、青少年や保護者等からの悩み事の相談に対応しました。

- 相談業務委託先：青少年なやみ相談つくしの会（教職経験者等7人）
- 開設日時：土・日・祝日、年末年始休日を除く、月曜日から金曜日の9:00～17:00

【令和5年度における事務事業の成果】

青少年や保護者等が抱える悩みに対して、相談者が気軽に来所または電話により相談できる体制・環境を整え、青少年センターの相談機能を充実させることができました。

- 年間相談件数：157件
- 青少年相談室案内カードの配付  
小学1年生から高校3年生までの全児童、生徒

過去5年の相談件数

年 度	H30	R元	R2	R3	R4
件 数	100	46	153	111	157

相談内容の内訳

	学校生活	交友	問題行動	家庭生活	その他	計
R2	112	5	0	7	29	153
R3	10	16	0	5	80	111
R4	22	17	0	29	89	157
R5	11	8	0	9	129	157

一人で悩まず電話してみよう  
 (0955) 22-7867  
 せいしやうねんそうだんしつ 青少年相談室  
 朝9:00～夕方5:00 (月～金)

- ◆ 名前は言わなくてもいいよ。
- ◆ ひみつは守るよ。
- ◆ いやなこと・くやしいこと・こまったことがあったら電話してね。
- ◆ 友だちや家ぞくのこと、学校のことなど、なんでも話していいよ。

表

学校や家庭の中でのいろいろな悩みや不安をかかえている子どもたちや保護者の相談に応じます。

〒848-0045  
 伊万里市松島町73-1 生涯学習センター内  
 伊万里市青少年センター

**青少年相談室**  
 TEL 0955-22-7867

電話相談・面接相談どちらでもいいです。  
 受付 午前9時～午後5時 (月～金曜日)

裏

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	02	青少年育成費		
事務事業名	03	青少年育成市民会議支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	09		青少年の健全育成の推進		
予算現額 (千円)	400	決算額 (千円)	400	財 源 内 訳				不用額 (千円)	0	決算書
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 330

【令和5年度における事務事業の概要】

市民が丸となって次代を担う青少年の健全育成を図るために組織された「伊万里市青少年育成市民会議」に対して、事業費補助を行うとともに、非行防止パトロール等の実施、青少年育成関係団体の組織強化・活動支援を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

○「伊万里市青少年育成市民会議」の事業

例年実施している「伊万里サマーキャンプ」は台風接近のため沖縄での本研修は中止となりましたが、引き続き各町青少年育成町民会議や関係団体の取り組みに対する支援を行い、地域の青少年育成活動を促進することができました。

また、非行防止活動については、全国強調月間にあわせ、広報誌や市ホームページに掲載し啓発するとともに、定期巡回パトロールや地域環境点検等を実施し、青少年の健全育成に努めました。

[主な支援内容]

- ・各町民会議交付金
- ・青少年団体連絡協議会交付金
- ・サマーキャンプ
- ・加盟団体等事業費支援費  
(社会を明るくする運動、子ども110番のぼり旗作成費用)
- ・子ども話し方大会後援(市子ども会連合会主催)

○「伊万里市青少年団体連絡協議会」の事業

「チャレンジ『Day』キャンプ」、「スタミナ焼肉オリエンテーリング」の2事業を実施しました。

**対象**  
小学  
4～6年生

**参加費**  
500円  
(保険料含む)

ひとりでキャンプも夢じゃない!!  
**チャレンジ『Day』キャンプ**

**11月11日(土)**  
※8:30～16:00

**事業目的**  
伊万里の豊かな自然の中で野外活動を実施することで、心身を鍛えると共に、将来の地域社会に貢献できる創造性、自主性及び協働性を培う。

**募集内容**  
開催場所: 郡川内森林公園(大川内町)  
募集人数: 25人(先着順)  
募集期間: 令和5年9月4日(月)～9月29日(金)  
※天候の状況によっては、開催場所・活動内容を変更することがあります。

**活動内容**  
○テント設置 ○火起こし体験  
○キャンプ飯作り ○大自然ビンゴ

**申込み方法**  
申込書を青少年センターへ持参  
または  
メールやファックスにて提出  
問合せ・申込み先  
伊万里市青少年団体連絡協議会事務局  
(伊万里市青少年センター内)  
住所 伊万里市松島町7-3番地1  
0955-22-1262  
0955-22-7900  
seishounen@city.imari.lg.jp

主催 伊万里市青少年団体連絡協議会・伊万里市教育委員会

**第34回**  
**スタミナ焼肉オリエンテーリング**  
2024  
日時 **3/24(日)** 集合9:00 解散13:30  
チェックポイントでゲームをクリアして食材をゲットしよう!  
お楽しみ抽選会もあるよ!

**場所**  
郡川内森林公園周辺  
(少雨決行)

**募集期間**  
令和6年  
2月13日(火)～2月22日(木)

**対象**  
市内在住の  
小・中学生を含む  
1組3,4人の  
グループ

**参加費**  
2,000円  
(1組あたり)  
※当日徴収

**先着  
20組**

主催 伊万里市青少年団体連絡協議会・伊万里市教育委員会  
後援 伊万里市青少年育成市民会議

募集チラシ

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	01	図書館管理運営事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 市民図書館			施 策	08	生涯学習の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
33,437	32,383			683	31,700	1,054	P. 332	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

施設の維持管理等を行いました。令和5年度は、全館の照明のLEDへの更新と、読書バリアフリー法に基づき、バリアフリー資料をまとめて置く本棚を改造しました。

また、事業5年目となる西九州させば広域都市圏連携事業では、域内の7つの公共図書館を巡回して、互いの図書館資料を運搬する配本事業と、5つの図書館で職員のスキルアップを図りました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

令和5年7月に開館28周年を迎え、市民と一緒に誕生日を祝う「図書館☆(ほし)まつり」をコロナ禍前の手法で開催しました。施設利用については、新型コロナウイルスが5類移行となってから、徐々に来館者数が増え、展示コーナー等の利用日数はのべ251日間、図書館が主催した行事の参加者数は2,141人、市民が主体となって行った会議や研修会などの参加者数は4,889人と多く利用されました。

西九州させば広域都市圏連携事業では、年間2回の研修会に15名の職員が参加し、他の図書館職員と共に研鑽を深めました。

※財源内訳の「その他」のうち300千円は、ふるさと応援基金繰入金



▲バリアフリー資料コーナーを設置するために、CDの棚から本が入る棚へと改造した。



▲西九州させば広域都市圏連携事業では、圏内の職員を対象に研修を実施。  
<講師：霜鳥英梨氏、会場：波佐見町総合文化会館>

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	02	図書館資料収集事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 市民図書館			施策	08		生涯学習の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
15,000	14,992				14,900	92	8	P. 332

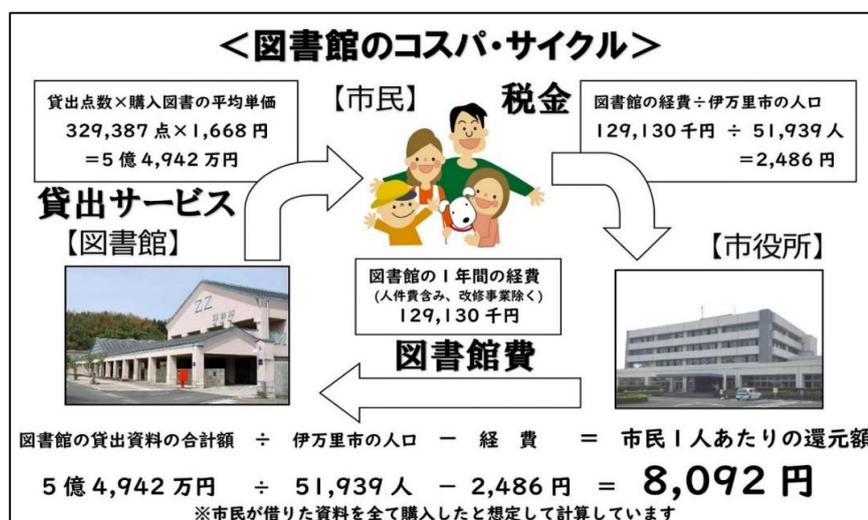
【令和5年度における事務事業の概要】

令和5年度は図書館資料として、新たに本館用図書を6,078冊、自動車図書館ぶっくん用を866冊、雑誌1,424冊と視聴覚資料89点、新聞8紙を購入しました。  
また、専門の情報を入手できる有料のデータベースを5件契約しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年度における市民図書館の利用状況は、個人登録者数47,383人、団体登録1,365団体、利用人数68,227人、貸出点数329,387点となり、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されてから、少しずつ来館する方が増えてきました。しかし、空調設備の更新工事により、特別整理休館日として21日間休館したため、利用人数や貸出点数は前年度より減少しています。一方、調査相談（レファレンス）は7,784件、予約受付件数は13,280件と、それぞれ前年度に比べてやや増加しており、読書に対する要求の高まりを見せています。加えて、インターネットによる予約は年間10,823件の申込があり、予約全体の81.5%を占めるなど、新たな利用の形につながりました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



▲図書館で借りられた本について費用対効果を検証。

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	04	図書館費		
事務事業名	03	ブックスタート事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課		教育委員会 市民図書館			施 策	08		生涯学習の推進		
予算現額 (千円)	76	決算額 (千円)	65	財 源 内 訳				不用額 (千円)	11	決算書
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 334
						65	0			

【令和5年度における事務事業の概要】

ブックスタート事業は3か月児健診の際、事業の趣旨を保護者に説明した上で、4冊の絵本の中から1冊を選んでもらい、その絵本を手渡して、赤ちゃんと保護者に対し、ボランティアや図書館職員が読み語りを行って、絵本を介したコミュニケーションを保護者に勧めるものです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に3か月児健診が集団検診から個別健診に変更となったため、ブックスタートを実施せず、絵本の受け渡しのみ行いました。

令和3年度からは他の利用者がいない館内整理休館日を活用して、市民図書館のホールでブックスタートを再開し、令和5年度も感染対策を講じながら月に1回実施しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年度は市民図書館のホールを会場として9回開催し、89人の赤ちゃんに読み語りを実施しました。また、都合が合わなかった方には別の日に来館してもらい、60人の赤ちゃんにそれぞれ絵本1冊とアドバイスブックを渡しました。

絵本を手渡すことで、保護者が赤ちゃんとのコミュニケーションを持つきっかけを作り、家族で読書や絵本に親しむ環境整備を支援することができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



▲月に一度実施しているブックスタートに来られなかった方には、窓口で絵本を手渡す。



▲絵本は4冊の中から1冊を選んでもらい、赤ちゃんにプレゼントする。

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	04	家読推進事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 市民図書館			施策	08		生涯学習の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
282	200					200	82	P. 334

【令和5年度における事務事業の概要】

令和5年度は、新潟県で「おむすび舎」という絵本の出版社で代表を務める霜鳥英梨氏を招いてうちどく推進講演会を行いました。「絵本が生まれる現場」という演題で、食と絵本を結びつける取組について語られました。

また、第8回「伊万里市民図書館・学校図書館を使った調べる学習コンクール」を開催しました。

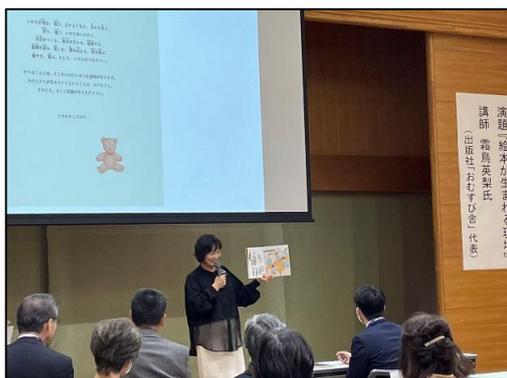
さらに、うちどく広め隊の活動として、山代西小学校と松浦健康増進施設でおはなし会を開催し、市内で活動している読み語りボランティアを派遣しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

講演会の参加者は絵本を通じて、食べ物を大切にする心や家族で食事を取ることの大切さなど、改めて食への意識を高めました。

また、図書館を使った調べる学習コンクールでは、市内の小学校から64点の応募があり、入賞作品（13点、13人）を表彰するとともに、最優秀賞の2点を全国コンクールへ推薦しました。その2点とも佳作に入賞しました。

うちどく広め隊の活動では、小学校への派遣に加え、市内に新しく設置された松浦健康増進施設において、市民図書館の司書と地域で活動するボランティアグループが一緒になっておはなし会を実施しました。松浦健康増進施設には自動車図書館「ぶっくん」による団体貸出も実施しており、新たな読書のスポットとして活用するきっかけを作りました。



▲新潟県の出版社「おむすび舎」の代表、霜鳥英梨氏を講師に迎え、うちどく推進講演会を図書館ホールで実施。



▲市内に新しく完成した「松浦健康増進施設」へ地元で活動する読み語りボランティアをうちどく広め隊として派遣。

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	05	図書館改修事業				6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 市民図書館			施策		08	生涯学習の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,258	9,938				9,938	320	P. 334	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

市民図書館は開館28周年を過ぎており、施設の老朽化に伴い、年次計画に基づき施設や設備の改修を行っています。令和5年度は、建物内に設置している空調設備の更新、ホールの移動観覧席の機材更新及び非常時でも緊急放送が使用できる放送設備の更新を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

10月の特別整理休館日に、天井を開口して空調設備の更新工事を行うことができました。その後の調整期間を経て、3月から本格稼働を行っています。また、移動観覧席や非常用放送設備を更新したことで、設備の長寿命化が図られ、安心して利用できるようになりました。



▲天井を開口して空調設備の機械を設置。  
その間、職員は別の場所で業務を行った。



▲非常用放送設備を更新したことにより、停電時でもより長い時間に対応できる。

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費
事務事業名	01	歴史民俗資料館管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12		文化財の保護
予算現額 (千円)	3,107	決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
					2,408	34	665	P. 334

**【令和5年度における事務事業の概要】**

歴史民俗資料館では、伊万里市の歴史や文化、自然を紹介する資料展示を行うとともに、出前講座や見学講座に積極的に取り組みました。

また、これまで制限してきた展示資料の撮影を許可することで、来館者のニーズに応えました。



【古代コーナー】



【カブトガニコーナー】



【見学講座の様子】

**【令和5年度における事務事業の成果】**

令和5年度の入館者数は1,569人を数え、伊万里市民を中心に郷土に対する理解を深めることができました。

※財源内訳の「その他」のうち2,400千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費
事務事業名	02	陶器商家資料館管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12		文化財の保護
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,571	1,491				1,400	91	80	P. 336

【令和5年度における事務事業の概要】

陶器商家資料館では、市重要文化財の旧犬塚家住宅である建物の公開と併せて「古伊万里」などの古陶磁器や商家に関する文書や調度品などの展示を行いました。



【令和5年度における事務事業の成果】

令和5年度の入館者数は2,433人を数え、市内外からの来訪者へ、本市のやきもの文化や商人文化に関する理解を深めるとともに、市街地観光に貢献しました。

また、2階北側窓を修理し、開閉を可能にしたことで、かつて焼き物が積み出された伊万里津を偲ぶ景観を来館者に提供しました。

※財源内訳の「その他」の1,400千円は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費	
事務事業名	03	鍋島ギャラリー管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12		文化財の保護	
予算現額 (千円)	3,062	決算額 (千円)	2,417	財 源 内 訳				不用額 (千円)	645
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
						2,350	67	P. 336	

【令和5年度における事務事業の概要】

伊万里・鍋島ギャラリーでは、市内外からの来館者へ、鍋島焼や古伊万里の歴史、伝統文化に対する理解を深めてもらうとともに観光にも活用するため、所蔵する優品の常設企画展を開催しました。また、これまで制限してきた展示資料の撮影を許可するとともに、オリジナルポストカードの販売を開始するなど、来館者のニーズに応えました。

- 「綺麗なうつわ 色鍋島と金襷手古伊万里展」 2月4日～7月30日
- 「鍋島・古伊万里展」 8月8日～10月1日
- 「鍋島・古伊万里展 青磁・染付・色絵の世界」 10月7日～4月14日

このほかに、大川内山の秋の窯元市に協賛して、伊万里・有田焼伝統産業会館においても本市が所蔵する古陶磁器を広く一般に展示公開しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

平成15年開館から20年を経て、4月21日に来館者が通算5万人に到達しました。令和5年度の来館者数も5,966人を数え、開館以来最多を更新するなど、市内外からの来館者へ鍋島焼や古伊万里の歴史、伝統文化に対する理解を深めてもらうとともに、市街地観光に貢献しました。

※財源内訳の「その他」のうち2,300千円は、ふるさと応援基金繰入金



【来館記念で配布しているしおり】



【販売中のポストカード(全5種類)】

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	01	保健体育総務事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,615	2,472				2,472	143	P. 336	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

スポーツ基本法に基づき市内各町、地区にスポーツ推進委員を配置するとともに、各町でのニュースポーツ講習会を支援する体力増進指導員を配置し、市民の更なるスポーツへの関心や参加意欲の高揚を図りました。

また、小中学生を対象としたサガン鳥栖サッカー教室を開催し、競技力向上を図りました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

①スポーツ推進委員

各町3名ずつ計39名に委嘱しているスポーツ推進委員に対して、毎月の研修会を行うなど各種スポーツの見識を深め、指導技術を向上させることができました。

②伊万里市スポーツ推進審議会

関係団体の代表者や学識経験者により組織される「伊万里市スポーツ推進審議会」において、令和5年度事業報告や令和6年度社会体育についての計画、予算等について審議しました。

③サガン鳥栖サッカー教室

サガン鳥栖の元選手やスクールコーチを講師として、小学5年生から中学2年生までを対象にサッカー教室を開催し、競技力の向上を図ることができました。



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	02	ニュースポーツ大会開催事業	6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 スポーツ課		施策	10	文化芸術・スポーツの振興			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
158	153				153	5	P. 338	

【令和5年度における事務事業の概要】

市民が気軽にスポーツを楽しみ、心身の健康を維持する機会を創出するため、ニュースポーツ大会を開催するとともに、秋と春にはスポーツの楽しさに触れる機会を創出するため、年少児から小学生を対象とした伊万里っ子キッズスポーツフェスティバルを開催しました。  
また、貸出用備品であるスカットボールを新調しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

市民がスポーツの楽しさを味わいながら仲間意識を醸成し、健康を維持する生涯スポーツを推進することができました。

大会名	参加チーム数等	参加者数
第26回市民グラウンド・ゴルフ大会	67チーム	392人
第17回市民ソフトバレーボール大会	10チーム	53人
第36回市長杯争奪市民ゲートボール大会	13チーム	79人
伊万里スポーツデイ（第12回市民ペタンク大会）	13チーム	46人
（第5回市民アジャタ大会）	6チーム	43人
（第29回伊万里っ子・キッズスポーツフェスティバル）	ラグビー 野球 ホッケー	45人
伊万里スプリングスポーツデイ （第30回伊万里っ子・キッズスポーツフェスティバル）	野球、ホッケー ビーチバレーボール フライングディスク	58人



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	03	競技スポーツ大会開催事業			6つの まちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施 策		10	文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
482		472				472	10	P. 338

【令和5年度における事務事業の概要】

競技スポーツの普及と競技力向上を図るため各競技団体と連携し、野球やソフトボール等の競技スポーツ大会を開催しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより、前年度中止となった大会も開催することができ、競技人口の拡大と競技力の向上につなげることができました。

大会名	参加チーム数等	優勝チーム
第51回伊万里市民軟式野球大会	12チーム	ミックス
第46回市長旗争奪高等学校野球大会	4校（春季）	有田工業高校
	4校（秋季）	敬徳高校
第59回国見台陸上競技選手権大会	延べ1,700人	
第50回市民早朝ソフトボール大会	一部 8チーム	立花クラブ
	二部 12チーム	ROCKERS
市長旗争奪第45回中学生野球大会	7チーム	西有田中学校
市長旗争奪第50回少年野球大会	9チーム	立花少年野球部
第46回市長旗争奪 ママさんナイターバレーボール大会	9チーム	いまり啓成A

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	04	市内一周駅伝競走大会開催事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
278	276					276	2	P. 338

【令和5年度における事務事業の概要】

各町におけるスポーツの普及、振興はもとより市内の長距離選手の発掘、育成につなげるため、市内一周駅伝競走大会を開催しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

11月26日に、市内全地区・町の参加により市内一周（全14区間60.3km）をコースとする「第70回市内一周駅伝競走大会」を開催しました。  
70回大会では、新たに小学生区間を設け、競技力の向上とともに、各地区の融和と団結力の向上を図ることができました。

【令和5年度成績】

優勝：伊万里地区 準優勝：二里町 第3位：南波多町 躍進賞：波多津町



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	05	競技スポーツ全国大会等出場支援事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 340	
1,665	1,628				1,628	37		

【令和5年度における事務事業の概要】

スポーツの全国大会等に出場する個人や団体の負担軽減を目的に、出場に要する経費の一部を助成しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

競技スポーツの全国・九州レベルの大会に出場した団体・個人（42件119人）に対し、出場に要した経費の一部を助成し、参加者の負担軽減を図るとともに競技力の向上につなげることができました。

大会区分	区分	件数	対象人員	補助金額
世界大会	個人	1件	1人	31,000円
全国大会	団体	4件	37人	540,000円
	個人	22件	36人	630,000円
九州大会	団体	3件	29人	271,000円
	個人	12件	16人	156,000円
合計	団体	7件	66人	811,000円
	個人	35件	53人	817,000円
	総計	42件	119人	1,628,000円

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	06	ウォーキング大会開催事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
300	300					300	0	P. 340

**【令和5年度における事務事業の概要】**

市民の健康づくりと自然豊かな伊万里を市内外にPRするため伊万里ウォークを開催しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

11月23日に「魅力あふれる夢のまち伊万里ウォーク2023」を開催したところ、市内外から過去最大となる854名の参加をいただき、市民が気軽に参加できる健康づくりの場を創出するとともに、市外の方に本市の魅力発信を行うことができました。

**【コース別参加者数】**

○伊万里湾岸・はちがめコース (約20km)	…	195名
○秘窯の里・鍋島コース (約12km)	…	384名
○古伊万里コース (約6km)	…	275名
		計 854名

**【地域別参加者数】**

○佐賀県内	…	643名
うち伊万里市内		(512名)
うち伊万里市外		(131名)
○福岡県	…	34名
○長崎県	…	173名
○その他	…	4名
		計 854名



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	07	スポーツ団体支援事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,767	2,767				2,767	0	P. 340	

【令和5年度における事務事業の概要】

市民へ広くスポーツの普及及び振興を図るため、伊万里スポーツフェスティバル開催のほか、各種目団体や各町スポーツ協会などへ、その活動に要する経費の一部を支援しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

スポーツ団体への支援を行ったことで、子どもから大人までスポーツに親しむ環境づくりを推進することができました。

また、「第5回伊万里スポーツフェスティバル」では、市民総参加型のスポーツイベントとして、スポーツの普及と健康増進を図ることができました。

【令和5年度成績】

●優勝：二里町 ●準優勝：大坪地区 ●第3位：南波多町

(伊万里スポーツフェスティバル対象大会成績表)

種 目	大 会 名	種 別	開催日	会 場	第1位	第2位	第3位
グラウンド・ゴルフ	市民グラウンド・ゴルフ大会	団体戦	6月2日	国見台陸上競技場 国見台球技場	二里町	大坪地区   波多津町	
ソフトボール	県民スポーツ大会予選会	一般A	6月18日～ 7月16日	国見台球技場 伊万里湾大橋球技 場	黒川町	波多津町	大坪地区   南波多町
		一般B			立花地区	大坪地区	伊万里地区   南波多町
軟式野球	県民スポーツ大会予選会	一般A	6月11日～ 8月20日	国見台野球場 伊万里松浦球技場	南波多町	大坪地区	黒川町   大川町
		一般B			二里町	大川町	立花地区   東山代町
ドッジビー	市子ども会連合会スポーツ大会	—	8月6日	国見台体育館	山代町	伊万里地区	牧島地区
ゲートボール	市長杯争奪市民ゲートボール大会	—	9月7日	伊万里松浦球技場	東山代町	東山代町	南波多町
相撲	市長旗争奪青年相撲大会	団体戦	8月6日	国見台相撲場	二里町	大川町	黒川町
ベタンク	伊万里スポーツデイ(秋)	—	10月1日	国見台球技場	二里町	二里町	黒川町
アジャタ	伊万里スポーツデイ(秋)	—	10月1日	国見台体育館	大坪地区	二里町	南波多町
バレーボール	市民バレーボール大会	一般男子	10月9日	国見台体育館外	伊万里地区	南波多町	二里町   牧島地区
		一般女子			大坪地区	伊万里地区	二里町   立花地区
ゴルフ	市民ゴルフ大会	—	11月10日	佐世保国際カントリー倶楽部	二里町	東山代町	黒川町
陸上	市内一周駅伝競走大会	—	11月26日	浦ノ崎駅前～市内一円	伊万里地区	二里町	南波多町
卓球	市長杯争奪各町対抗卓球大会	男・女混成団体戦	3月3日	国見台体育館	二里町	山代町	大川内町

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務事業
事務事業名	08	県民スポーツ大会出場支援事業	6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 スポーツ課		施策	10	文化芸術・スポーツの振興			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,093	687				687	406	P. 340	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

県内4地区の持ち回りで毎年開催される県民スポーツ大会に出場する選手及びチームに対し、出場経費を支援するための補助金を交付しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

10月14日、15日に鳥栖市、神崎市、基山町、上峰町、みやき町、吉野ヶ里町を中心に交流大会として開催された「第76回県民スポーツ大会」において、市民の参加促進及び伊万里市チームの活躍に貢献することができました。

しかし、国スポ・全障スポ本大会の前年にあたり、県民スポーツ大会の開催種目が減ったことにより、参加選手数も減少しました。

<伊万里市チーム出場種目数>

12種目

水泳、陸上競技、テニス、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、弓道、剣道、ボウリング、ゲートボール、ゴルフ、グラウンド・ゴルフ



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務事業
事務事業名	09	スポーツ合宿誘致事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,700		1,174			1,100	74	526	P. 340

**【令和5年度における事務事業の概要】**

市民と市外の高校生等との合同練習などによる競技力の向上を図るとともに、スポーツの振興と宿泊に伴う経済の振興を目的にスポーツ団体の合宿に対し、宿泊費の一部を助成しました。

助成要件：2泊以上の宿泊で、延べ宿泊者数が20人以上の場合  
 助成内容：1名あたり1,000円/泊（1団体上限100,000円）

**【令和5年度における事務事業の成果】**

高校生の陸上合宿「伊万里アスリート・アカデミー」において、19団体延べ1,223人を誘致し、競技力の向上及び市外の方へ伊万里の魅力発信を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

	団体数	延べ人数	補助額
令和元年度	31	2,072人	3,016,500円
令和2年度	2	149人	149,000円
令和3年度	10	755人	717,000円
令和4年度	11	738人	724,000円
令和5年度	19	1,223人	1,174,000円

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	10	ハーフマラソン大会開催事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,000		2,000			2,000	0	0	P. 340

【令和5年度における事務事業の概要】

スポーツの振興に加え、交流人口の拡大や観光情報の発信を目的として、伊万里ハーフマラソンを開催しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

平成27年から開催し10回目の節目の大会となる2024大会は、参加定員規模をコロナ前に戻して開催したところ、全国各地から2,898人のエントリーがあり、県内外の参加者に対し、伊万里の魅力発信を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

伊万里ハーフマラソン2024(IMARI HALF-MARATHON2024) エントリー集計

種目別エントリー数

種目 No.	種目・種別	2024	2023	2022 オンライン	2021 オンライン	2020	2019	2018	2017	2016	2015
1	男子 18～39歳	697	459	107	219	945	914	849	922	726	595
2	男子 40～49歳	685	490	193	343	850	795	708	734	554	465
3	男子 50～59歳	619	478	186	281	657	623	520	496	395	314
4	男子 60歳以上	361	261	60	106	331	313	276	256	175	119
5	女子 18～39歳	145	111	32	50	274	257	215	250	221	135
6	女子 40～49歳	161	108	65	123	223	214	193	191	154	111
7	女子 50～59歳	167	107	60	90	168	134	112	110	65	54
8	女子 60歳以上	63	43	27	32	57	50	46	29	18	19
9	セルフ男子18歳以上	-	-	307	393	-	-	-	-	-	-
10	セルフ女子18歳以上	-	-	269	323	-	-	-	-	-	-
	小 計	<b>2,898</b>	<b>2,057</b>	<b>1,306</b>	<b>1,960</b>	<b>3,505</b>	<b>3,300</b>	<b>2,919</b>	<b>2,988</b>	<b>2,308</b>	<b>1,812</b>

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	11	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業	6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 国スポ・全障スポ推進課		施策	10	文化芸術・スポーツの振興			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
71,751	56,743	22,443			34,300	15,008	P. 340	

【令和5年度における事務事業の概要】

令和6年度開催の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀大会に向け、開催準備を行うSAGA2024伊万里市実行委員会に対する負担金等を支出しました。

【令和5年度における事務事業の成果】

SAGA2024伊万里市実行委員会において、伊万里市開催競技別リハーサル大会を4競技開催したほか、鹿児島県で開催された特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の競技会場を視察するとともに、後催市町向けの開催事業概要説明会に出席しました。

また、広報啓発活動として、各種啓発グッズ（ネックストラップやクリアファイルなど）を作製し、市、関係機関、関係団体が開催するイベント等で配布するとともに、市街地や市内公共施設等を中心にのぼり旗設置やラッピング装飾を進めたほか、県との共同プロジェクト「学校訪問2024」を実施して、市内の中学校1校及び高校3校の生徒（延べ868人）に対して、講話を通じた大会PRに努めました。

<SAGA2024伊万里市実行委員会 令和5年度決算（支出）の状況>

- 総務費 計 824,663円
  - ・会議費 83,631円（会議時のお茶代、コピー使用料）
  - ・事務局費 741,032円（事務用品、コピー使用料等）
- 開催推進費 計 57,559,838円
  - ・調査研究費 1,631,513円（鹿児島国体競技会場視察等）
  - ・広報啓発費 7,883,346円（啓発グッズ作製、まちなか装飾、ブース出展等）
  - ・市民協働推進費 1,008,358円（イベント開催、企業協賛記念品等）
  - ・開催準備費 47,036,621円（競技別リハーサル大会開催、輸送交通計画策定）

(リハーサル大会：伊万里ホッケーフィールド)



(伊万里市駅ビル装飾)



# SAGA 2024 国スポ 全障スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	01	体育施設管理運営事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
42,073		37,086				37,086	4,987	P. 340

【令和5年度における事務事業の概要】

本市スポーツ施設の核となる国見台公園体育施設をはじめ、令和4年度より供用を開始した伊万里松浦球技場や伊万里松浦グラウンド・ゴルフ場等市内の体育施設の維持管理を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

主に令和6年度に開催されるSAGA2024軟式野球競技、ホッケー競技、フライングディスク競技の会場となる国見台体育施設をはじめ、市内体育施設の老朽化に伴う修繕等を行うとともに、適切な維持管理を行いました。

【主な支出額の内訳】

・国見台陸上競技場	放送用ワイヤレスアンテナ修繕	107 千円
・国見台陸上競技場	北面雨樋修繕	149 千円
・国見台陸上競技場	PCフェンス修繕	299 千円
・国見台陸上競技場	東西ゲート修繕	195 千円
・国見台野球場	スピードガン修繕	451 千円
・国見台野球場	観客席フェンス修繕	495 千円
・国見台野球場	ダッグアウト収納ボックス等修繕	495 千円
・国見台球技場	スロープ設置工事	319 千円
・国見台武道館	LED電球修繕	718 千円
・国見台管理事務所	南面雨樋修繕	220 千円
・国見台管理事務所	倉庫シャッター修繕	1,045 千円
・伊万里松浦球技場	掲揚台移設工事	440 千円
・伊万里松浦球技場	空調機設置工事	261 千円
・黒川ゲートボール場	フェンス改修工事	435 千円
・運動広場管理清掃業務委託等		12,069 千円
・その他各体育施設光熱水費等		19,388 千円

国見台管理事務所倉庫シャッター修繕

修繕前



修繕後



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	02	散弾銃射撃場環境対策事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
117,068	46,634			46,600	34	70,434	P. 342	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

伊万里市散弾銃射撃場環境対策検討委員会で策定されたアクションプランに基づき、散弾銃射撃場内および場外の水質（表流水・地下水）調査を行いました。

令和5年2月20日の第10回検討委員会で決定された高濃度汚染土壌の撤去・対策方針に基づき、汚染土壌の撤去工事を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

アクションプランに基づき水質調査を実施するとともに、検討委員会において決定された土壌撤去方法や処分方法に基づき、高濃度汚染土壌の撤去工事を行いました。

なお、天候などの影響により工事の進捗が遅れたため、工事期間を延長（R5.9.5～R6.5.31）して対応しました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

※不用額は、令和6年度への繰越明許費70,107千円を含みます。

散弾銃射撃場高濃度汚染土壌撤去工事



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	03	国見台体育施設改修事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課				施 策	10	文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
84,967	84,575		73,700		10,875	392	P. 342	

**【令和5年度における事務事業の概要】**

老朽化の著しい国見台プールを解体するため、実施設計を行うとともに、解体工事を実施しました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

老朽化した国見台プールについて、早急に安全性を確保するため、解体工事を行うとともに、国見台体育施設の課題の一つである駐車場不足を解消するため、当面、プール跡地を約240台分の駐車スペースとして確保しました。

施工前



施工後



施工後



施工後



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	03	給食費
事務事業名	02	学校給食運営委員会支援事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施 策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
30,694	29,337	16,700				12,637	1,357	P. 344

**【令和5年度における事務事業の概要】**

学校給食運営委員会支援事業では、活動費補助として100,000円、物価高騰による保護者等の負担を軽減するための事業費補助として21,083,548円、学校給食で使用している食材費の高騰による保護者等の負担を軽減するための事業費補助として8,153,600円を交付しました。



**【令和5年度における事務事業の成果】**

令和5年度は、運営委員会が3回開催され、食材費の高騰に伴いこれまでどおりの給食の質の確保が困難であることから、給食費の改定について審議し、令和6年度からの改定が決定されました。

〔給食費改定〕 小学校4,500円⇒5,000円 中学校5,300円⇒5,900円



款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	03	給食費
事務事業名	03	学校給食センター改修事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施 策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
122,749	122,749					122,749	0	P. 344

**【令和5年度における事務事業の概要】**

給食センターの建設から17年が経過し、設備・機器の耐用年数はすでに超過しており、部分的な修繕・改修では施設の十分な機能を保つことが難しいことから、令和5年度から令和7年度までの夏休み期間において老朽化した施設・設備等の更新を行います。

また、令和5年度から令和19年度までの期間、給食センター本体施設、調理設備等の維持管理業務も併せて行います。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

令和5年度は、夏休み期間に洗浄室等の設備や機器の入替を行うとともに、アレルギー食調理室を新設しました。また、センター施設の維持管理に必要な各種点検や管理を行いました。



款	11	災害復旧費	項	01	農林水産施設災害復旧費	目	01	農業用施設災害復旧費
事務事業名	02	農業用施設災害復旧事業 (補助、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
	03	農業用施設災害復旧事業 (補助、現年)(繰越明許)						
	04	農業用施設災害復旧事業 (補助、現年)(事故繰越)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 346	
107,757	36,861	21,075	2,400	766	12,620	70,896		

【令和5年度における事務事業の概要】

令和3年度、令和4年度及び令和5年度に豪雨により被災した農業用施設の復旧工事を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

国の農業用施設災害復旧事業で採択された3年災、4年災及び5年災について復旧工事を行い、農家等の生産活動の維持と経営の安定を図ることができました。

区 分	内 容	事業費(円)
工 事 請 負 費	3年災、4年災、5年災	35,217,400
委 託 費	5年災	1,342,000
事 務 費	旅費、消耗品費、通信運搬費、使用料及び賃借料	301,258
計		36,860,658

○補助率

- ・3年災補助率 国97.0%、市1.50%、地元1.50%
- ・4年災補助率 国99.7%、市0.15%、地元0.15%
- ・5年災補助率 国98.1%、市0.95%、地元0.95%、国94.9%、市2.55%、地元2.55%

○決算額内訳

(千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
107,757	36,861	21,075	2,400	766	12,620	70,896

R5事故繰越	6,457	5,829	5,654	0	173	2	628
R5明許繰越	3,636	2,486	2,478	0	40	-32	1,150
R5現年	97,664	28,546	12,943	2,400	553	12,650	69,118
							( 61,200 ) 繰越

※不用額は、令和6年度への繰越明許費61,200千円を含みます。

款	11	災害復旧費	項	01	農林水産施設災害復旧費	目	02	農地災害復旧費
事務事業名	01	農地災害復旧事業 (補助、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
	02	農地災害復旧事業 (補助、現年)(繰越明許)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
42,245	26,144	22,274	1,200	930	1,740	16,101	P. 346 348	

【令和5年度における事務事業の概要】

令和4年度及び令和5年度に豪雨により被災した農地の復旧工事を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

国の農地災害復旧事業で採択された4年災及び5年災について復旧工事を行い、農家等の生産活動の維持と経営の安定を図ることができました。

区 分	内 容	事業費 (円)
工 事 請 負 費	4年災、5年災	24,666,400
委 託 料	5年災	1,089,000
事 務 費	消耗品費、通信運搬費、使用料及び賃借料	388,600
計		26,144,000

○補助率

- ・4年災補助率 国97.9%、市1.05%、地元1.05%
- ・5年災補助率 国94.1%、市2.95%、地元2.95%、国84.3%、市7.85%、地元7.85%

○決算額内訳

(千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
42,245	26,144	22,274	1,200	930	1,740	16,101

R5繰越 14,992      14,033      13,497      100      350      86      959

R5現年 27,253      12,111      8,777      1,100      580      1,654      15,142

( 14,469 ) 繰越

※不用額は、令和6年度への繰越明許費14,469千円を含みます。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	01	土木施設災害復旧事業 (単独、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 348	
17,474	4,891		3,600		1,291	12,583		

【令和5年度における事務事業の概要】

令和5年6月28日～7月3日、令和5年7月7日～7月11日及び令和5年9月14日～9月18日の豪雨により被災した公共土木施設のうち、国庫補助の対象とならない小規模な災害について復旧工事を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

被災した公共土木施設30箇所のうち、河川2箇所の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

残りの28箇所（河川16箇所、道路12箇所）は、令和6年度に繰越して復旧工事を行います。

普通河川 伍多田川

着工前



成 工



普通河川 長尾川

着工前



成 工



※不用額は、令和6年度への繰越明許費12,583千円です。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	02	土木施設災害復旧事業 (単独、過年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 348	
3,940	3,940		4,000		△ 60	0		

【令和5年度における事務事業の概要】

令和3年8月の豪雨により被災した市道府招上15号線について、地すべりに関する解析業務を行いました。

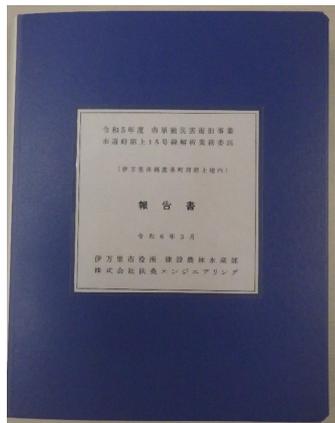
【令和5年度における事務事業の成果】

被災した市道府招上15号線について、被災後の滑動や地下水位の観測結果に基づき、地すべり機構を解析し、地すべり対策工法の検討を行うことができました。

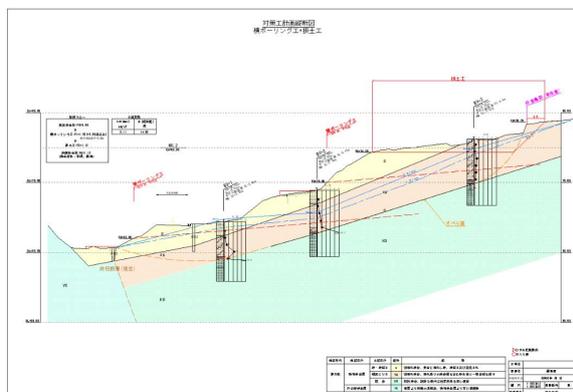
(事業内容)

市単独災害復旧事業 府招上15号線解析業務委託 (南波多町府招上地内)

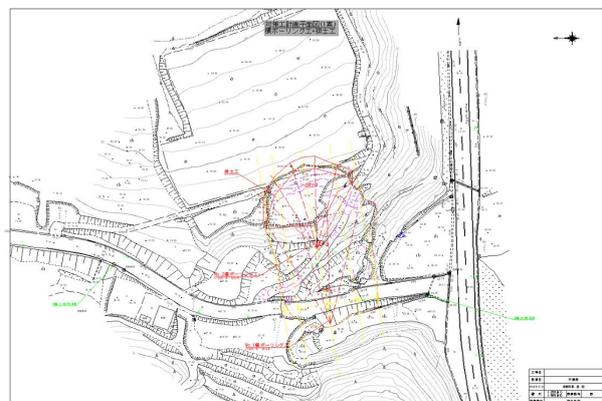
成果品



計画縦断面図



計画平面図



款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	03	土木施設災害復旧事業 (補助、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 348	
162,619	25,643	17,071	14,000		△ 5,428	136,976		

【令和5年度における事務事業の概要】

公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき、令和5年6月28日～7月3日、令和5年7月7日～7月11日及び令和5年9月14日～9月18日の豪雨により被災した公共土木施設の復旧工事を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

被災した公共土木施設26箇所のうち、4箇所（河川3箇所、道路1箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。  
残りの22箇所（河川14箇所、道路8箇所）は、令和6年度に繰越して復旧工事を行います。

普通河川 長谷川

着工前



成 工



市道 西大久保4号線

着工前



成 工



※不用額は、令和6年度への繰越明許費136,976千円です。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	04	土木施設災害復旧事業 (単独、現年)(繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 350	
7,760	6,840		6,600		240	920		

**【令和5年度における事務事業の概要】**

令和4年8月16日～18日の豪雨により被災した公共土木施設のうち、国庫補助の対象とならない小規模な災害について復旧工事を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

令和4年度に被災した公共土木施設20箇所のうち、令和5年度に繰越した14箇所（河川10箇所、道路4箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

準用河川 加倉川

着工前



成 工



市道 川西1号線

着工前



成 工



款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	05	土木施設災害復旧事業 (補助、現年)(繰越明許)		6つの まちづくり		05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
20,395	15,267	9,820	5,300		147	5,128	P. 350	

【令和5年度における事務事業の概要】

公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき、令和4年8月16日～18日の豪雨により被災した公共土木施設の復旧工事を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

令和4年度に被災した公共土木施設5箇所のうち、令和5年度に繰越した5箇所（河川5箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

普通河川 新田川

着工前



成 工



会計名	国民健康保険特別会計	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	市民交流部 市民課 健康福祉部 健康づくり課 総務部 税務課、収納管理課	施 策	06	保健医療体制の充実

【令和5年度における事務事業の概要】

国民健康保険事業の推進

国民健康保険は、地域住民の健康と福祉を保障する地域保険として、国民皆保険体制を支える大きな柱となっており、伊万里市国民健康保険においても、市民の「健康で豊かな毎日」を支えるために、必要な医療サービスを提供しながら保健事業の推進を図るとともに、保険税の収納率向上やレセプト点検、第三者求償事務などの保険給付の適正化を図り、国保財政の健全化に努めました。

令和5年度の国民健康保険の加入状況は、世帯数が6,705世帯（前年度6,906世帯）、被保険者数は10,020人（前年度10,472人）となっています。世帯数及び被保険者数ともに減少傾向にあります。

＜被保険者数調べ＞

（単位：世帯、人）

区 分	令和4年度	令和5年度	増 減	伸び率
国 保 世 帯 数	6,906	6,705	△ 201	△ 2.9%
市全世帯に占める割合	29.2	28.1	—	—
被 保 険 者 数	10,472	10,020	△ 452	△ 4.3%
市全人口に占める割合	20.0	19.3	—	—

※国保世帯数・被保険者数は年度末の数値

【令和5年度における事務事業の成果】

1. 医療費等の状況

国民健康保険法に基づく保険給付を行い、被保険者の健康保持を図るとともに、高額療養費の給付により被保険者負担の軽減を図りました。

また、出産育児一時金の給付により妊産婦及び乳幼児の健康増進を進めるとともに、葬祭費の給付を行うことで葬祭費用負担の軽減を図りました。

医療費等は下記の表に示すとおり、前年より減少しましたが、国民健康保険の被保険者数が減少しているため一人当たり医療費は増加傾向にあります。

＜国民健康保険給付費の内訳＞

（単位：千円）

区 分	令和4年度		令和5年度		増減額 (a-b)	伸び率 (a/b-1)	歳出総額に 占める割合
	支出額(b)	件数	支出額(a)	件数			
療養給付費	4,107,428	208,295	3,943,769	202,616	△ 163,659	△ 4.0%	57.1%
療養費	24,653	4,093	25,156	3,716	503	2.0%	0.4%
審査支払手数料	12,993	—	12,651	—	△ 342	△ 2.6%	0.2%
高額療養費	668,263	10,878	673,581	10,527	5,318	0.8%	9.8%
移送費	0	0	0	0	0	—	0.0%
出産育児一時金	9,168	21	15,302	32	6,134	66.9%	0.2%
葬祭費	2,970	99	2,790	93	△ 180	△ 6.1%	0.0%
傷病手当金	348	11	32	1	△ 316	△ 90.8%	0.0%
合 計	4,825,823	223,397	4,673,281	216,985	△ 152,542	△ 3.2%	67.7%

## 2. 保健衛生普及の実施

疾病の予防、早期発見及び早期治療に役立て、被保険者の健康増進を図るため保健衛生普及について、以下の事業を行いました。

### (1) 健康マイレージ事業

特定健康診査の対象となる40歳以上の被保険者のうち、健康診断の受診や運動など自主的な健康づくり活動を行った場合に、ふるさと応援寄附金の返礼品(2千円相当)を抽選により400名に交付することで健康意識の高揚を図りました。

健康マイレージ申込状況

年 度	令和4年度	令和5年度
申込者数	750名	742名

### (2) 医療費通知事業

医療内容を年3回通知することで、健康や医療に対する認識を深めました。

医療費通知送付実績

年 度	令和4年度	令和5年度
送付数	21,417通	20,834通

### (3) ジェネリック医薬品差額通知事業

継続的に服用している医薬品のうち、自己負担を500円以上軽減できる被保険者に差額通知を年2回送付して、医療費の抑制を図りました。

差額通知送付実績及び使用率

年 度	令和4年度	令和5年度
送付数	188通	147通
後発医薬品使用率	81.0%	83.1%

※使用率は各年1月の割合

### (4) 国民健康保険人間ドック・脳ドック事業

国保に加入し国保税の滞納のない世帯に属する被保険者に対し、人間ドック費用のうち11,160円と脳ドック費用のうち12,186円を助成することで疾病の早期発見に努めました。

人間ドック・脳ドック費用助成実績

コース	件数	助成単価	助成金額
人間ドック	136件	11,160円	1,518千円
脳ドック	68件	12,186円	828千円
令和5年度 実績	204件	-	2,346千円
令和4年度 実績	197件	-	2,262千円

### 3. 保険税の収納率向上

国民健康保険税の収納率向上を目的として、滞納が累積される前に電話や文書で催告を行い、その後も納付がなければ預貯金等の差押え（滞納処分）を行うなど滞納整理を強化するとともに、対応が困難な事案については、国税局OBによる高度な滞納整理業務の指導により対応策を講じるなど、滞納整理の促進に努めました。

また、納税相談のために夜間・休日開庁を実施するとともに、コンビニエンスストア収納やスマートフォン決済など納税しやすい環境を整備しました。

一方で、国民健康保険の利用制限（長期滞納者には自己負担限度額適用認定証の交付等が制限される短期保険証の交付、催告等にも無反応で悪質な滞納者には病院等受診時の支払いが通常の3割負担ではなく10割負担となる資格証明書の交付）を行うなど国民健康保険事業独自の滞納整理に取り組みました。

これにより、滞納繰越分は対前年比4.4ポイント増の28.4%となりましたが、現年度課税分の収納率は対前年比0.4ポイント減の96.2%、現年度課税分と滞納繰越分を合わせた保険税全体の収納率は、対前年度比0.2ポイント減の89.6%となりました。

### 4. 生活習慣病予防対策

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病の予防対策として、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し41,362千円を支出しました。

#### 1) 特定健康診査

	対象者数	受診者数	受診率	備考
R4	7,533	3,139	41.7%	R5.6（確定値）
R5	7,191	2,822	39.2%	R6.6（速報値）

#### 2) 特定保健指導

	対象者数	支援終了者数	終了率	備考
R3	280	218	77.9%	R4.9（確定値）
R4	284	202	71.1%	R5.9（確定値）

会計名	介護保険特別会計	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	健康福祉部 長寿社会課	施 策	02	高齢者支援の充実

### 1. 高齢者の活動支援と介護予防の充実

#### 【令和5年度における事務事業の概要】

生活習慣病の予防や認知症予防等の介護予防に関する知識の普及に努めるとともに、要支援や介護予防・日常生活支援総合事業の対象者への支援を行い、適切なサービス利用につなげました。また、地域の住民主体での介護予防活動を支援しました。

#### 【令和5年度における事務事業の成果】

いきいき百歳体操教室などの取組により、介護予防につながるだけでなく、高齢者が定期的に顔を合わせることで閉じこもりを予防しました。

介護予防・日常生活支援総合事業地域支え合い事業（以下「地域支え合い事業」という。）費補助金を交付することにより、地域支え合い事業を実施する団体の活動を支援しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護予防総務事業	22,739千円	23,080千円	23,374千円
うち総務課人件費	22,656千円	22,995千円	23,287千円
認知症予防事業	216千円	386千円	608千円
地域介護予防活動支援事業	1,439千円	1,838千円	1,909千円
新規立ち上げ指導（箇所・実人数）	6か所・140人	7か所・124人	9か所・134人
継続指導（回数・延べ人数）	402回・5,284人	475回・5,568人	425回・5,066人
高齢者生きがいづくり講座開催事業	573千円	573千円	831千円
受講人数	748人	611人	665人
高齢者保健・介護予防連携推進事業	259千円	297千円	344千円
ハイリスクアプローチ（実・延べ人数）	22人・39人	23人・43人	32人・39人
ポピュレーションアプローチ（回数・延べ人数）	42回・601人	26回・644人	35回・728人
介護予防支援サービス事業	43,205千円	42,683千円	50,544千円
うち総務課人件費	26,941千円	23,876千円	33,146千円
地域支え合い事業（実施団体数・利用延人数）	—	1団体・770人	1団体・1,265人
（事業対象者・要支援認定者の介護予防サービス計画作成）			
介護予防支援	5,034人	5,400人	5,847人
介護予防ケアマネジメント	3,514人	3,671人	3,353人

### 2. 介護サービス・生活支援の充実

#### 【令和5年度における事務事業の概要】

高齢者の生活支援として、地域包括支援センターによる総合相談等の包括的支援や日常生活を安心して過ごせるよう各種在宅サービスの提供を図りました。

また、地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業等を実施しました。

#### 【令和5年度における事務事業の成果】

地域包括支援センターでは、高齢者や家族、民生委員、医療機関、介護支援専門員などからの相談に応じ、関係機関と連携し、地域の保健・福祉・医療サービスや見守りにつなげる支援を行うことができました。

また、認知症高齢者の見守り事業を推進するため、見守りネットワーク事業の協力事業者の登録を呼びかけ、登録者数が増えたほか、成年後見制度利用促進に係る地域連携ネットワークの中核となる「成年後見サポートセンター」を設置しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
・ 包括的支援総務事業	68,021千円	70,311千円	66,492千円
うち総務課人件費	60,871千円	61,648千円	56,689千円
総合相談延件数	3,362件	3,332件	3,902件
・ 在宅医療・介護連携推進事業	4,008千円	4,449千円	4,181千円
※在宅医療・介護連携支援センターに相談員を配置、出前講座、運営委員会、多職種連携研修会等開催			
・ 生活支援体制整備事業	7,119千円	7,109千円	8,119千円
※コーディネーターを配置(地域包括支援センター5人、社会福祉協議会4人)し協議体会議、地区座談会、介護予防・生活支援サポーター養成講座等開催			
・ 認知症総合支援事業	4,020千円	4,031千円	4,047千円
認知症初期集中支援チーム員数	30人	29人	31人
チーム員会議回数	5回	5回	5回
訪問延件数	93件	61件	25件
・ 地域ケア会議運営事業	155千円	165千円	150千円
推進会議回数	1回	1回	1回
個別会議回数	26回	9回	19回
・ 高齢者紙おむつ給付事業	1,261千円	1,157千円	1,243千円
該当者人数	151人	135人	165人
給付総数	43,816枚	38,552枚	33,828枚
・ 高齢者成年後見制度利用支援事業	1,022千円	874千円	4,276千円
市長申立件数	2件	7件	6件
報酬助成件数	6件	6件	5件
・ 配食サービス事業	26千円	95千円	95千円
利用人数	4人	6人	6人
配食総数	66食	279食	261食
・ 介護保険住宅改修理由書作成支援事業	4千円	10千円	2千円
理由書作成件数	2件	5件	1件
・ 愛の一声運動推進事業	911千円	807千円	843千円
対象者人数	340人	337人	332人
訪問延回数	8,886回	7,852回	8,213回
・ 認知症高齢者見守り事業	122千円	104千円	228千円
見守りサポーター(派遣人数・延時間)	3人・99時間	3人・81時間	4人・178時間
見守りネットワーク事業(協力事業者登録数)	86か所	84か所	123か所

### 3. 介護保険事業の適正な運営

#### 【令和5年度における事務事業の概要】

介護保険制度に基づく本市の介護保険事業は、「安心して健やかな暮らしづくり」を基本理念とした第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)に基づき、被保険者の適正な要介護認定をはじめ、介護保険制度の市民等への周知、円滑な介護サービス給付体制の整備、介護サービスに伴う適正な給付、介護予防・生活支援サービスの提供を行いました。

【令和5年度における事務事業の成果】

介護認定調査や介護認定審査会の運営により適正な要介護認定を行ったほか、介護保険活用ガイドの作製及び配布により、介護保険制度の普及・啓発につながりました。

また、介護サービス費の給付により、介護を必要とする高齢者や認知症の方などが、住み慣れた自宅や地域で生活することができました。

【令和5年度末の要介護認定者数】

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
令和3年度	469人	471人	722人	542人	427人	386人	287人	3,304人
令和4年度	482人	484人	738人	508人	377人	378人	269人	3,236人
令和5年度	518人	485人	777人	504人	365人	345人	261人	3,255人

【歳 入】

介護保険の財源として、保険給付費と地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業）に対する負担割合は、国25.0%、県12.5%、市12.5%、第1号被保険者保険料23.0%、第2号被保険者保険料27.0%となっています。また、地域支援事業費（包括的支援事業・任意事業）に対する国等の負担割合は、国38.5%、県19.25%、市19.25%、第1号被保険者保険料23.0%となっています。

(1) 第1号被保険者保険料

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特別徴収保険料	1,145,144千円	1,158,689千円	1,163,392千円
収納率	100.2%	100.2%	100.2%
普通徴収保険料	95,040千円	94,033千円	101,160千円
収納率	95.3%	94.6%	95.4%
滞納繰越分普通徴収保険料	3,640千円	3,044千円	3,019千円
収納率	29.2%	26.2%	25.1%
全体収納率	99.8%	99.0%	99.1%

(2) 負担金等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認定審査会共同設置負担金（有田町）	13,846千円	13,641千円	13,925千円
国庫負担金	1,053,957千円	1,057,414千円	1,034,364千円
国庫補助金（調整交付金以外）	107,510千円	118,156千円	114,331千円
国庫補助金（調整交付金）	373,807千円	345,763千円	312,352千円
支払基金交付金	1,566,776千円	1,560,859千円	1,519,123千円
県負担金	816,573千円	827,606千円	787,017千円
県補助金	42,461千円	43,158千円	45,583千円
一般会計繰入金	970,882千円	965,965千円	946,662千円
繰越金	138,910千円	315,738千円	466,920千円

[歳 出]

(1) 被保険者の適正な要介護認定

有田町と共同設置している介護認定審査会に係る運営費用や、介護認定調査に係る主治医意見書手数料、要介護認定訪問調査業務委託料等を支出しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護認定審査会運営事業	16,534千円	16,054千円	19,619千円
うち総務課人件費	2,423千円	4,723千円	4,777千円
介護認定調査事業	29,135千円	24,998千円	24,084千円
うち総務課人件費	14,579千円	11,068千円	11,530千円

(2) 介護保険制度の市民等への周知

介護保険制度に関する制度の仕組みやサービスの利用方法等を記載した活用ガイドの作製費用を支出しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護保険制度趣旨普及事業	595千円	574千円	1,713千円

(3) 円滑な介護サービス給付体制の整備

介護保険給付及び要介護認定業務に係る一般事務経費を支出しました。また、介護保険制度の円滑な運営を行うために、医療関係者や介護保険事業者、被保険者代表等からなる介護保険運営会議の運営費、地域密着型サービス運営委員会の運営費等を支出しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護保険総務事業	80,921千円	72,276千円	74,383千円
うち総務課人件費	68,735千円	61,523千円	60,198千円
介護保険事業計画策定事業	40千円	1,198千円	2,933千円

(4) 介護サービスに伴う適正な給付

居宅サービス、施設サービス及び地域密着型サービスに伴う給付費をはじめ、それらのサービスに要した費用が著しく高額である場合の高額介護サービス費等の給付費、居宅介護住宅改修や居宅介護福祉用具購入などに要した費用に伴う給付費等を支出しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護給付事業	4,934,709千円	4,801,559千円	4,793,068千円
介護予防給付事業	199,267千円	211,260千円	236,171千円
高額介護サービス給付事業	116,567千円	112,071千円	113,069千円
高額介護予防サービス給付事業	60千円	73千円	325千円
高額医療合算介護サービス給付事業	19,267千円	20,901千円	17,124千円
特定入所者介護サービス給付事業	189,462千円	160,022千円	150,522千円
特定入所者介護予防サービス給付事業	259千円	195千円	273千円
介護給付審査支払事業	6,111千円	6,140千円	6,059千円
介護給付費点検・指導事業	2,007千円	2,016千円	2,105千円
うち総務課人件費	1,692千円	1,699千円	1,779千円
合 計	5,467,709千円	5,314,237千円	5,318,716千円

(5) 介護予防・生活支援サービスの提供

介護予防・日常生活支援総合事業の対象者に、個々の状態に応じて訪問型サービスや通所型サービスなどを提供し、在宅での自立した生活を支援しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護予防・生活支援サービス事業	152,741千円	152,704千円	153,723千円
介護予防・生活支援サービス審査支払事業	1,108千円	1,166千円	1,111千円
事業対象者数（年度末）	117人	146人	194人

(6) 決算額

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳入総額	6,375,755千円	6,551,855千円	6,557,780千円
歳出総額	6,060,017千円	6,084,935千円	6,324,338千円
差引額（翌年度繰越額）	315,738千円	466,920千円	233,442千円

会計名	後期高齢者医療特別会計	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	市民交流部 市民課 健康福祉部 健康づくり課	施 策	06	保健医療体制の充実

**【令和5年度における事務事業の概要】**

後期高齢者医療制度の推進

後期高齢者医療は、平成20年度から佐賀県後期高齢者医療広域連合が保険者となって運営を行っています。高齢者が安心して医療給付を受けられるよう保険料の収納率向上など後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めました。

令和5年度末の後期高齢者医療被保険者数は、9,020人（前年度末8,658人）となっており、団塊の世代が75歳に到達しているため被保険者数は増加傾向にあります。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

1. 後期高齢者健康診査事業

後期高齢者健康診査事業を次のとおり実施しました。

後期高齢者健康診査事業（事業費2,146千円）

	区分	実施回数	受診者数	対象者数	受診率
R5	集団方式	12回	163人	6,322人	20.1%
	個別方式	—	1,106人		
R4	集団方式	13回	138人	6,116人	17.1%
	個別方式	—	908人		

2. 後期高齢者医療滞納対策及び財政状況

市民への制度周知・理解の促進を図るため、広報紙により制度の周知を図るとともに、未納者への電話催告を行うなど、保険料の滞納防止・収納率向上に努めました。

令和5年度の歳入総額は1,559,560千円で、内訳は後期高齢者医療保険料562,536千円（36.1%）、使用料及び手数料95千円（0.0%）、一般会計繰入金987,326千円（63.3%）、繰越金2,282千円（0.1%）、諸収入7,321千円（0.5%）となっています。

現年度分保険料については、特別徴収で369,083千円（収納率100%）、普通徴収で192,375千円（収納率99.5%）となっています。

一方、歳出総額は1,551,900千円で、内訳は、総務費10,476千円（0.7%）、後期高齢者医療広域連合納付金1,533,640千円（98.8%）保健事業費3,098千円（0.2%）、諸支出金4,686千円（0.3%）となっており、歳入歳出差し引き7,660千円は、翌年度に繰り越しました。

会計名	水道事業特別会計	6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	上下水道部 管理課・水道施設課	施 策	18	上下水道の整備

**【令和5年度における事務事業の概要】**

令和5年度の水道事業は、安全で安心な水道水の安定供給を念頭に、効率的で効果的な運営に努めました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

収益的収支の状況は、水道事業収益が1,381,808千円、水道事業費用が1,300,638千円で、当年度純利益81,170千円を生じる結果となり、昨年度に引き続き、安定した経営を維持することができました。

また、主な建設改良工事として、有田川浄水場（排水処理施設）の土木工事に着手するとともに、法定耐用年数の経過や耐震化されていない配水管等の更新を行うなど、安全で安心な水道水の安定供給に努めました。

**（主な建設改良工事）※事業費は税込み**

工事名	事業費（千円）	事業内容			
水道施設（浄水場）更新事業 有田川浄水場（排水処理施設）土木工事	118,351	既設排水池撤去		1式	
		排泥池築造		1式	
国道497号道路改良工事に伴う 屋敷野送配線（市道十三塚・岩峰線） 配水管移設工事	8,708	DCIP φ150	L=	32.4m	
		撤去または埋塞	L=	5.1m	
名村線（八谷揚水管橋） 配水管改良工事	45,507	DCIP φ250	L=	26.4m	
		WEETA φ250	L=	48.4m	
		排泥管設置		1箇所	
水道管路緊急改善事業 南川東新田線（市道新天町・江湖ノ辻線外） 配水管布設替工事	100,906	DCIP φ350	L=	238.7m	
		DCIP φ250	L=	0.5m	
		DCIP φ200	L=	2.5m	
		WEETA φ350	L=	45.0m	
		PE φ100	L=	15.4m	
		PE φ75	L=	17.4m	
		排泥管設置		3箇所	
		消火栓設置工		1箇所	
		給水付替		2箇所	

**【事業の課題】**

今後は人口減少に伴う給水収益の減少や、老朽施設の更新事業の進捗に伴う減価償却費などの固定経費の増加が見込まれます。

会計名	工業用水道事業特別会計	6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	上下水道部 管理課・水道施設課	施 策	14	商工業の振興

**【令和5年度における事務事業の概要】**

令和5年度の工業用水道事業は、工業用水道事業の使命である良質で低廉豊富な工業用水の安定供給に努め、市内の15事業所に対し、年間に11,535,944m<sup>3</sup>の給水を行いました。

**【令和5年度における事務事業の成果】**

収益的収支の状況は、工業用水道事業収益が971,202千円、工業用水道事業費用が895,262千円で、当年度純利益75,940千円を生じる結果となり、昨年度に引き続き、黒字となりました。

また、主な更新工事として、浄水設備改良費では第3工業用水道長浜浄水場薬品注入設備更新工事等、配水設備改良費では第4工業用水道久原浄水場配水流量計更新工事等を実施しました。

**(主な建設改良工事) ※事業費は税込み**

工事名	事業費 (千円)	事業内容
第3工業用水道 長浜浄水場 薬品注入設備更新工事	58,493	PAC注入機更新 2台 苛性ソーダ注入機更新 1台 制御盤更新 1台
第4工業用水道 久原浄水場 取水流量計更新工事	7,954	取水流量計更新 1式
第4工業用水道 久原浄水場 配水流量計更新工事	7,944	配水流量計更新 1式

**【事業の課題】**

今後、老朽施設の更新事業の進捗に伴い取得した財産に係る減価償却費などの固定経費の増加が見込まれます。また累積欠損金も未だ1,607,361千円残っています。

会計名	下水道事業特別会計	6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	上下水道部 管理課・下水道施設課	施 策	18	上下水道の整備

【令和5年度における事務事業の概要】

下水道事業では、浸水防除、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を目的に、安全・安心で且つ快適な生活環境・水環境の向上に努めました。

【令和5年度における事務事業の成果】

収益的収支の状況は、公共下水道事業収益が1,101,373千円、公共下水道事業費用が1,087,922千円で、当年度純利益が13,451千円となりました。

また、農業集落排水事業収益が118,272千円、農業集落排水事業費用が110,286千円で、当年度純利益が7,986千円となり、ともに黒字となりました。

主な建設改良工事として、公共下水道事業では、西九州自動車道建設工事に伴う污水管移設工事や伊萬里津中継ポンプ場の機械設備及び電気設備の更新工事等を行いました。また、農業集落排水事業では、宿地区マンホールポンプ場の機械設備及び電気設備の更新工事等を行いました。

(主な建設改良工事) ※事業費は税込み

工事名	事業費(千円)	事業内容
西九州自動車道建設工事に伴う污水管移設(市道東八谷搦7号線外)工事	9,535	移設 VUφ250 L=47.2m 移設 VUφ150 L=73.0m 仮移設 VUφ150 L=14.3m
西九州自動車道建設工事に伴う污水管移設(市道札の元・古瓶屋線)工事	4,389	移設 VUφ200 L=71.7m
伊萬里津中継ポンプ場機械設備更新工事	103,400	し渣洗浄脱水機更新 N=1台 (処理能力 0.25m <sup>3</sup> /hr) 沈砂池分離機更新 N=1台 (投入水量 0.5m <sup>3</sup> /min)
伊萬里津中継ポンプ場電気設備更新工事	16,632	動力制御盤 N=1面 (屋内自立形 800W×2300H×800D) 沈砂池分離機現場操作盤 N=1面 (屋内スタンド形 600W×700H×300D)
宿地区マンホールポンプ場機械設備更新工事	7,225	ポンプ N=5台 (φ100、φ65、φ50)
宿地区マンホールポンプ場電気設備更新工事	9,998	水位計 N=2台 通報監視装置 N=9台

【事業の課題】

人口減少に伴う使用料収益の減少や、老朽化施設の更新事業の進捗に伴い取得した財産に係る減価償却費などの固定経費の増加が見込まれます。

## 社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費

消費税率（国・地方）が、平成２６年４月１日から５％から８％へ、令和元年１０月１日から８％から１０％へ引き上げられたことに伴い、消費税収の引上げ分については、その用途を明確にし、社会保障財源化することとされており、地方団体においても、地方消費税収の引上げ分を全て社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

以上の趣旨を踏まえ、令和５年度伊万里市一般会計決算における社会保障施策経費への充当状況について、次のとおり報告します。

【歳入】・地方消費税交付金(社会保障財源化分) 704,797 千円

【歳出】・社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費 10,159,054 千円

(社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費)

(単位：千円)

区 分		決算額	財 源 内 訳				
			特 定 財 源			一 般 財 源	
			国庫支出金	県支出金	その他	地方消費税 (引上分)	その他
社会福祉	障がい者福祉費	1,747,785	813,454	455,932	0	71,330	407,069
	高齢者福祉費	141,682	0	0	20,312	18,097	103,273
	児童福祉総務費	689,816	132,313	101,431	59,296	59,160	337,616
	児童手当給付費	884,884	603,650	133,757	0	21,989	125,488
	児童措置費	2,390,797	1,172,304	512,566	124,546	86,685	494,696
	保育所費	369,063	4,993	2,768	26,109	49,978	285,215
	扶助費	962,346	748,614	21,563	0	28,653	163,516
	小計	7,186,373	3,475,328	1,228,017	230,263	335,892	1,916,873
社会保険	国民健康保険特別会計繰出金	574,139	62,364	205,447	0	45,674	260,654
	介護保険特別会計繰出金	946,662	43,923	21,608	0	131,379	749,752
	後期高齢者医療特別会計繰出金	987,326	0	158,878	0	123,523	704,925
	小計	2,508,127	106,287	385,933	0	300,576	1,715,331
保健衛生	保健衛生総務費	277,474	0	0	3,977	40,779	232,718
	予防費	150,387	873	186	0	22,265	127,063
	健康増進費	36,693	459	791	0	5,285	30,158
	小計	464,554	1,332	977	3,977	68,329	389,939
合 計		10,159,054	3,582,947	1,614,927	234,240	704,797	4,022,143